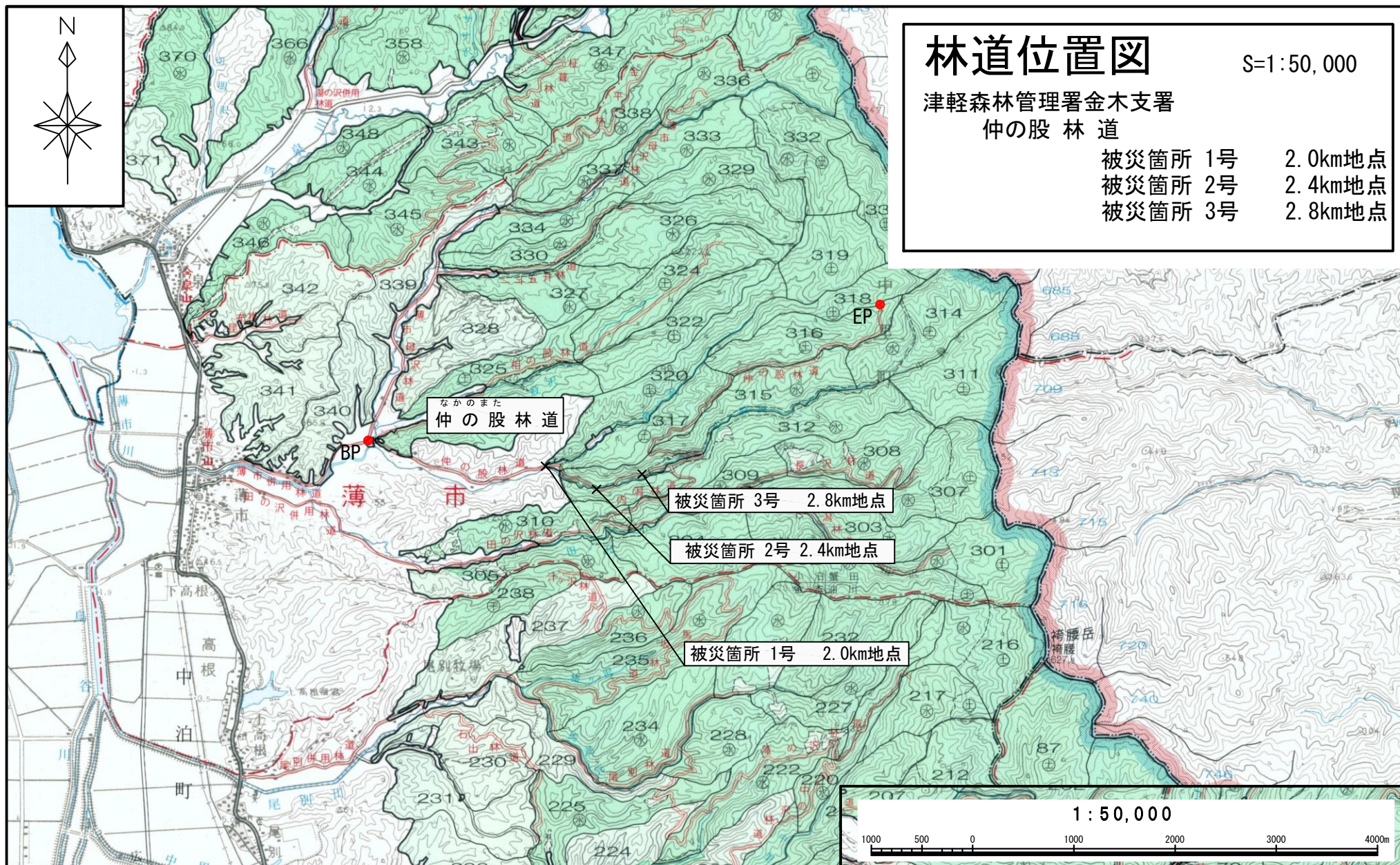


林道位置図

S=1:50,000

津軽森林管理署金木支署
仲の股林道

- 被災箇所 1号 2.0km地点
- 被災箇所 2号 2.4km地点
- 被災箇所 3号 2.8km地点



仲の股林道災害復旧工事

被災箇所 1号

(BP~90.5)

図名	縦断面図 1/2
署名	東北森林管理局 津軽森林管理署金木支署
名称	仲の股林道 災害復旧工事
縮尺	縦1:300 横1:300

被災番号 1号 - 2.0km地点

BM₁
H=35.266

勾配	盛土高	切土高	計画高	地盤高	測点	曲線
			35.00	35.00	BP=0.0	
			35.01	35.01	4	
			35.04	35.02	MC=7.1	IP ₁ R=50
			34.98	35.05	EC=14.2	
			34.98	35.07	19	
			33.77	35.07	20	
			31.23	35.09	26	
			31.43	35.10	28.3	
			31.60	35.12	34	
			32.41	35.14	40	
			33.40	35.15	43	
			34.95	35.15	45	
			35.19	35.18	52	
			35.19	35.19	55	

40.00

35.00

30.00

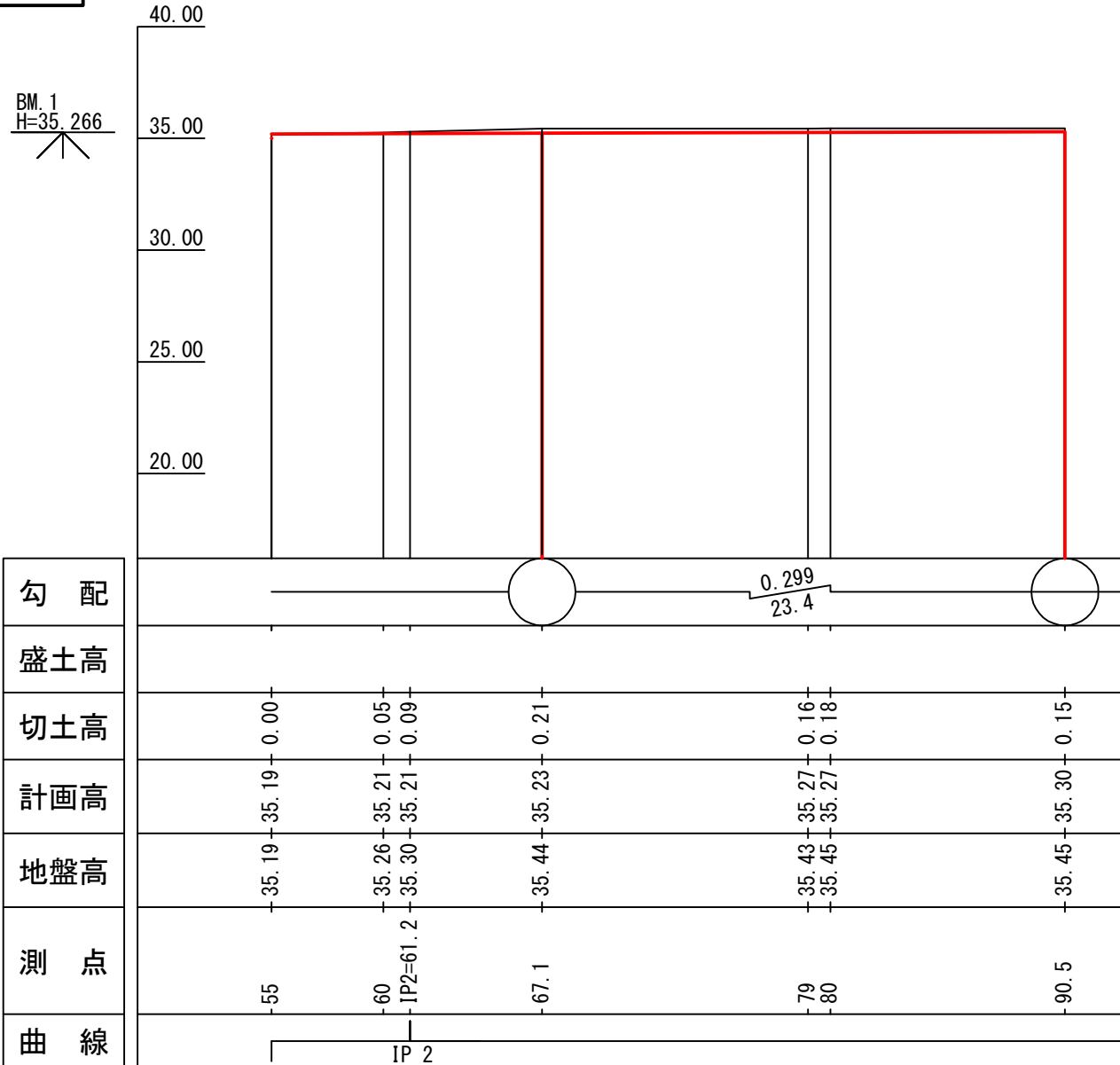
25.00

20.00

0.343
67.1

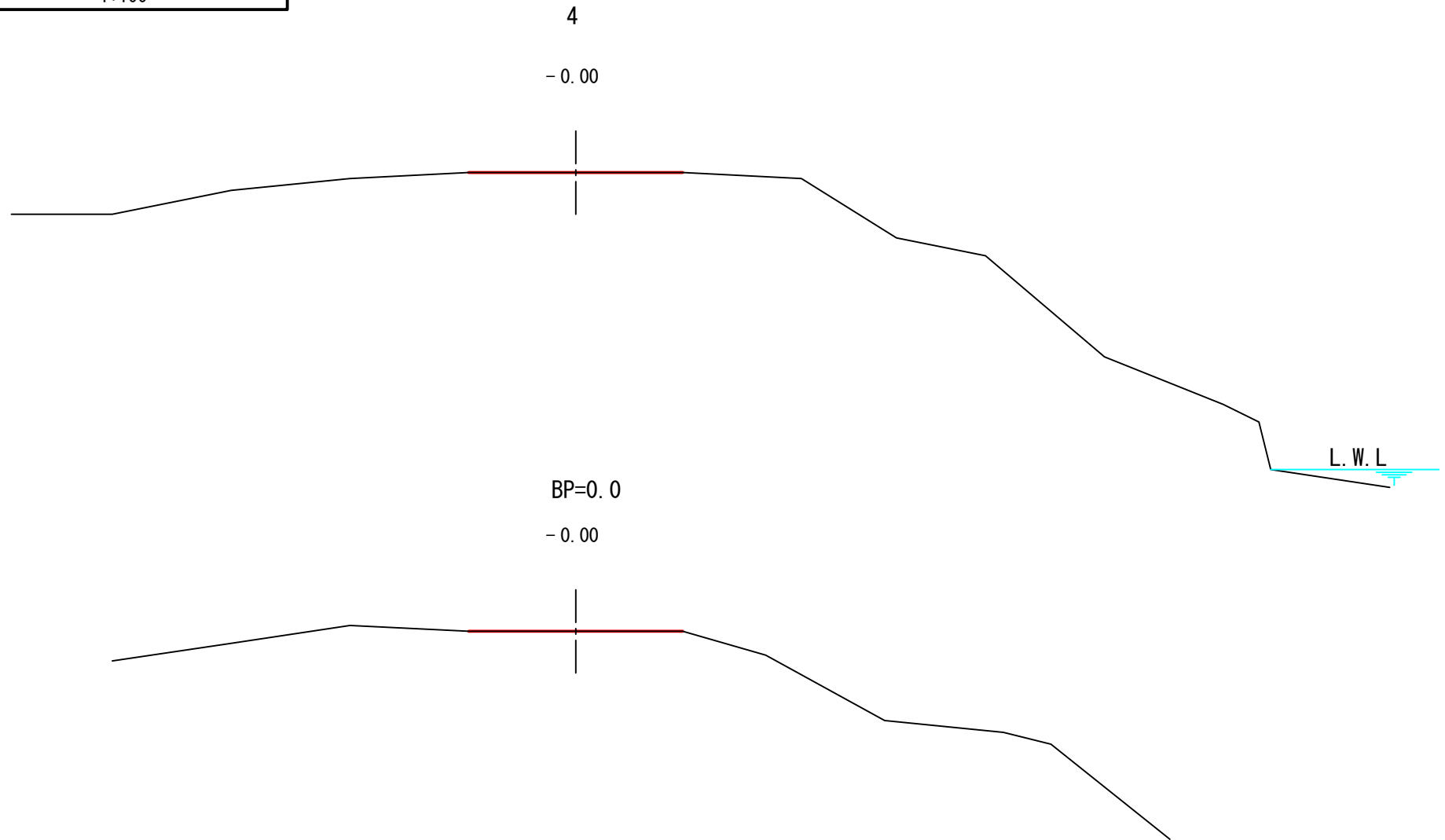
図名	縦断面図 2/2
署名	東北森林管理局 津軽森林管理署金木支署
名称	仲の股林道 災害復旧工事
縮尺	縦1:300 横1:300

被災番号 1号 - 2.0km地点



図名	横断面図 1/16
署名	東北森林管理局 津軽森林管理署金木支署
名称	仲の股林道 災害復旧工事
縮尺	1:100

被災番号 1号 - 2.0km地点



図名	横断面図 2/16
署名	東北森林管理局 津軽森林管理署金木支署
名称	仲の股林道 災害復旧工事
縮尺	1:100

被災番号 1号 - 2.0km地点

B・EC:14.2

+0.07

LBA= 0.1

MC 17.1

-0.02

S1 = 0.1

B

床掘(S1) = 21.8

埋戻(B) = 14.1

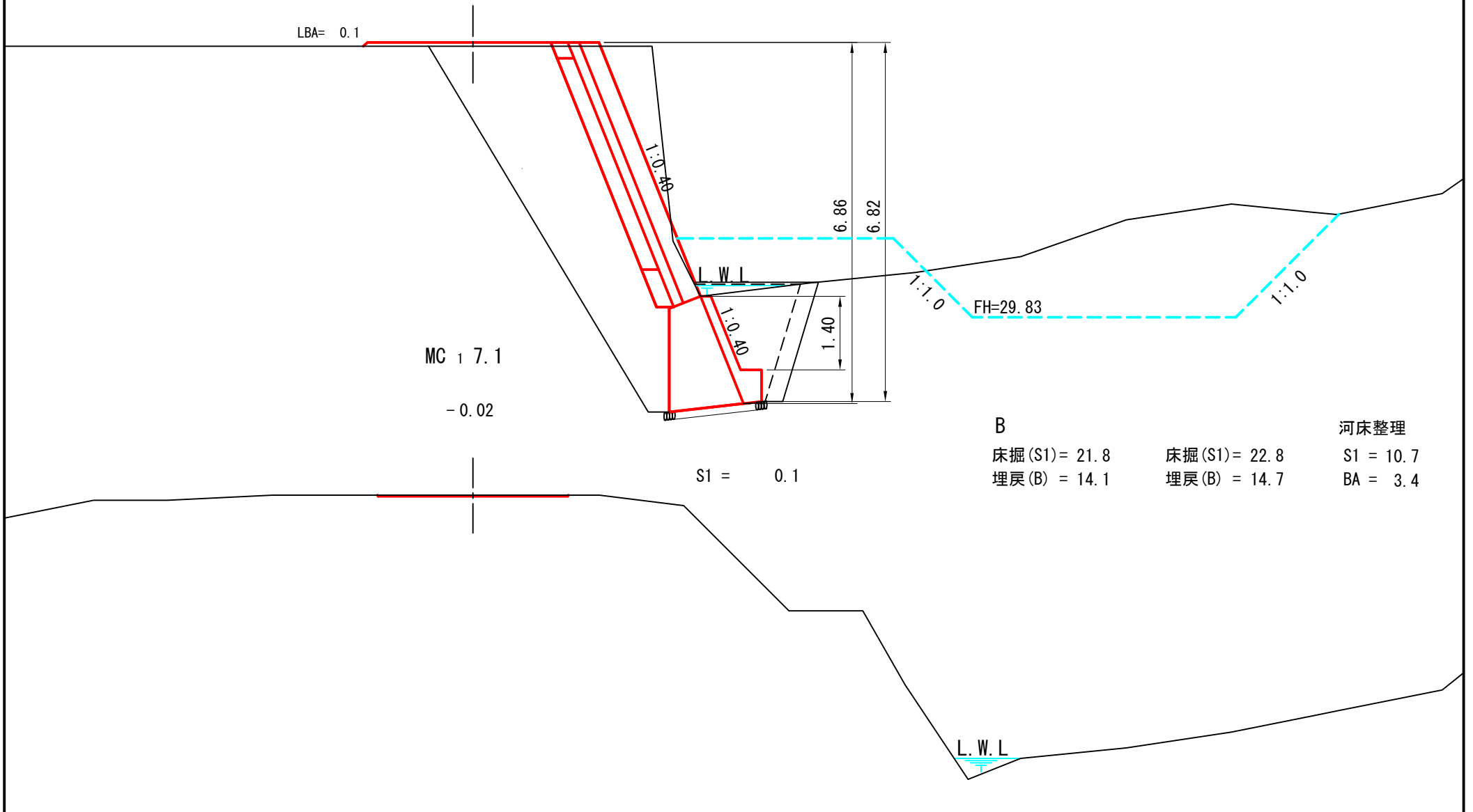
床掘(S1) = 22.8

埋戻(B) = 14.7

河床整理

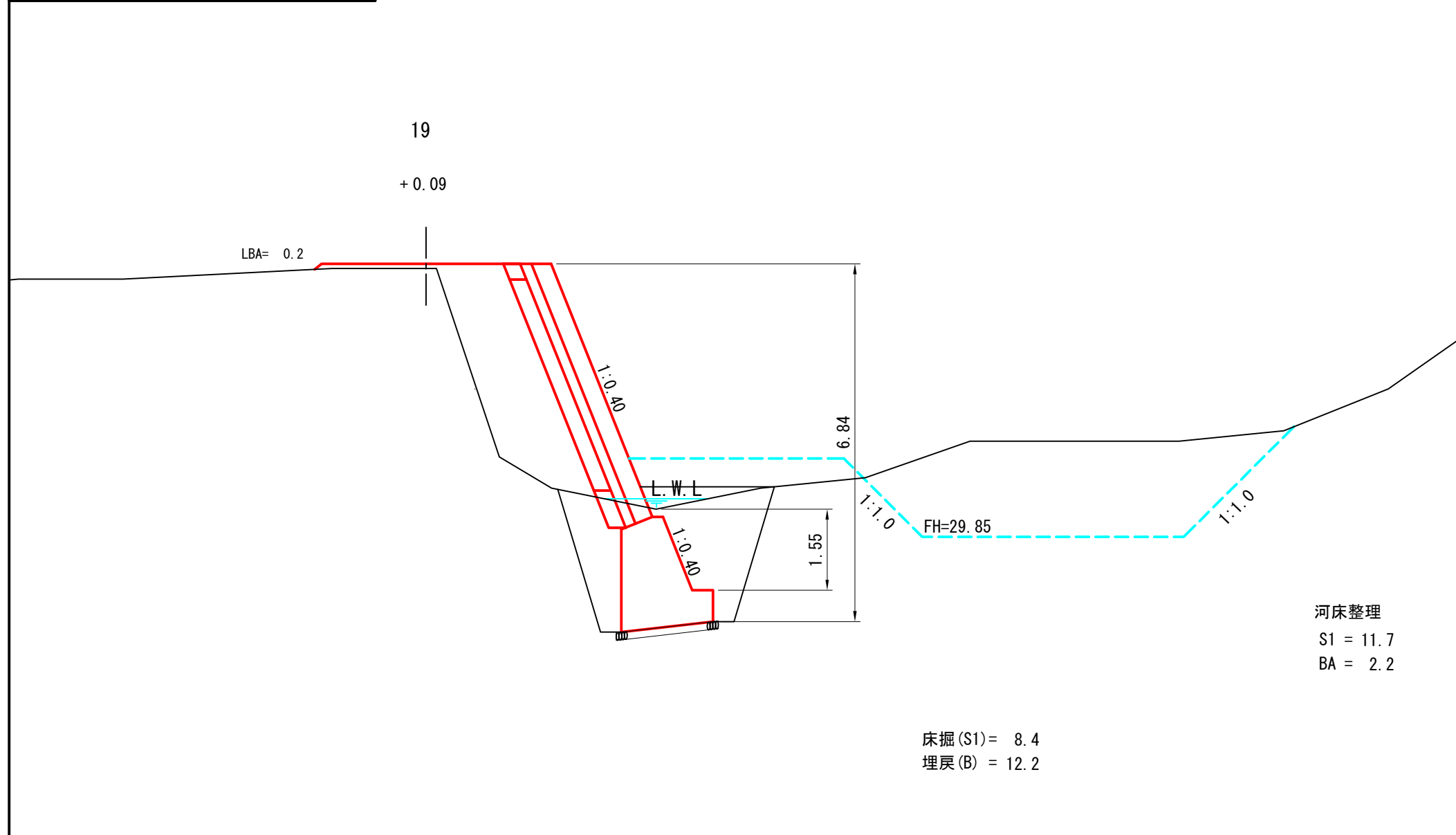
S1 = 10.7

BA = 3.4



図名	横断面図 3/16
署名	東北森林管理局 津軽森林管理署金木支署
名称	仲の股林道 災害復旧工事
縮尺	1:100

被災番号 1号 - 2.0km地点

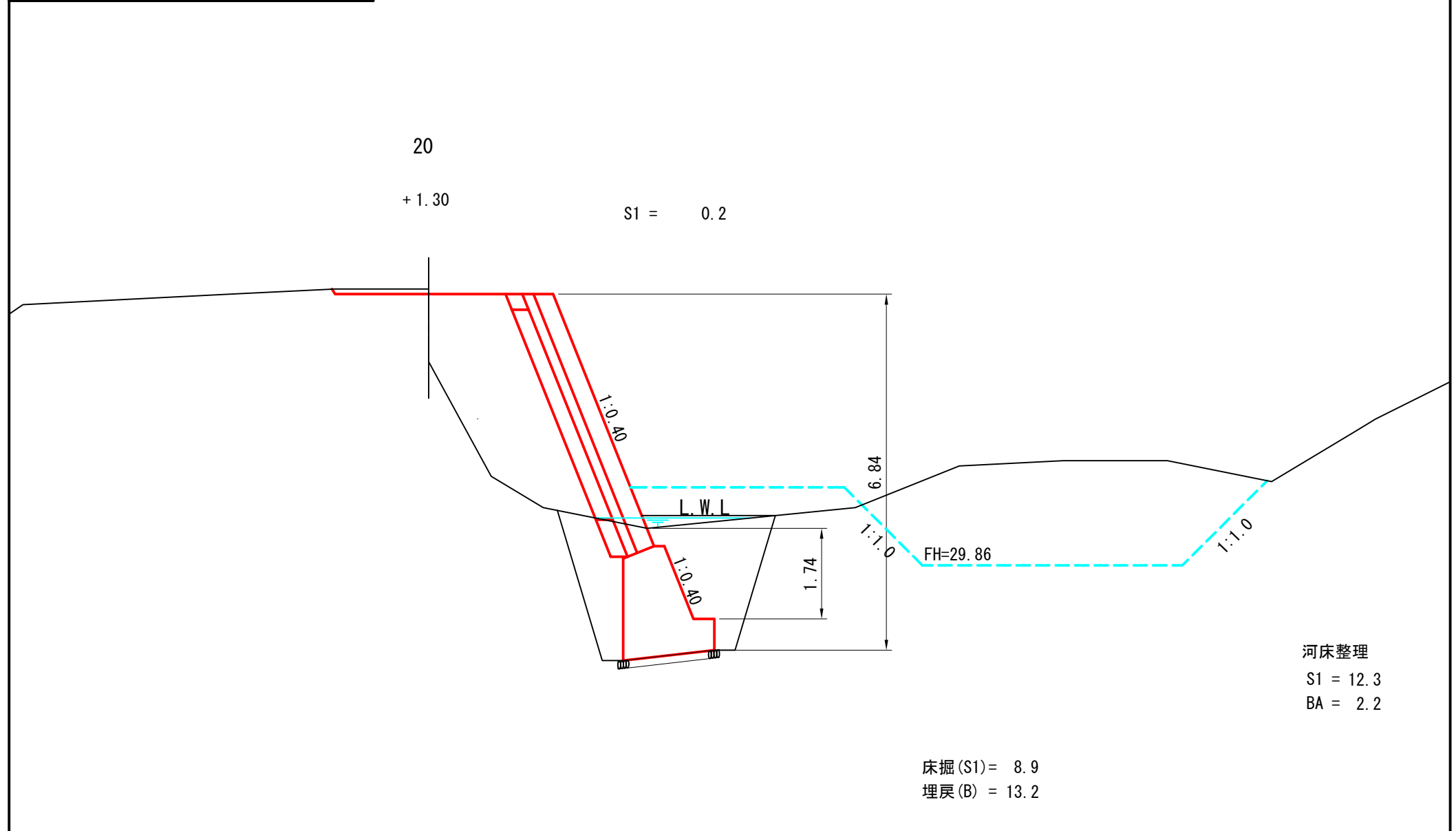


河床整理
S1 = 11.7
BA = 2.2

床掘(S1) = 8.4
埋戻(B) = 12.2

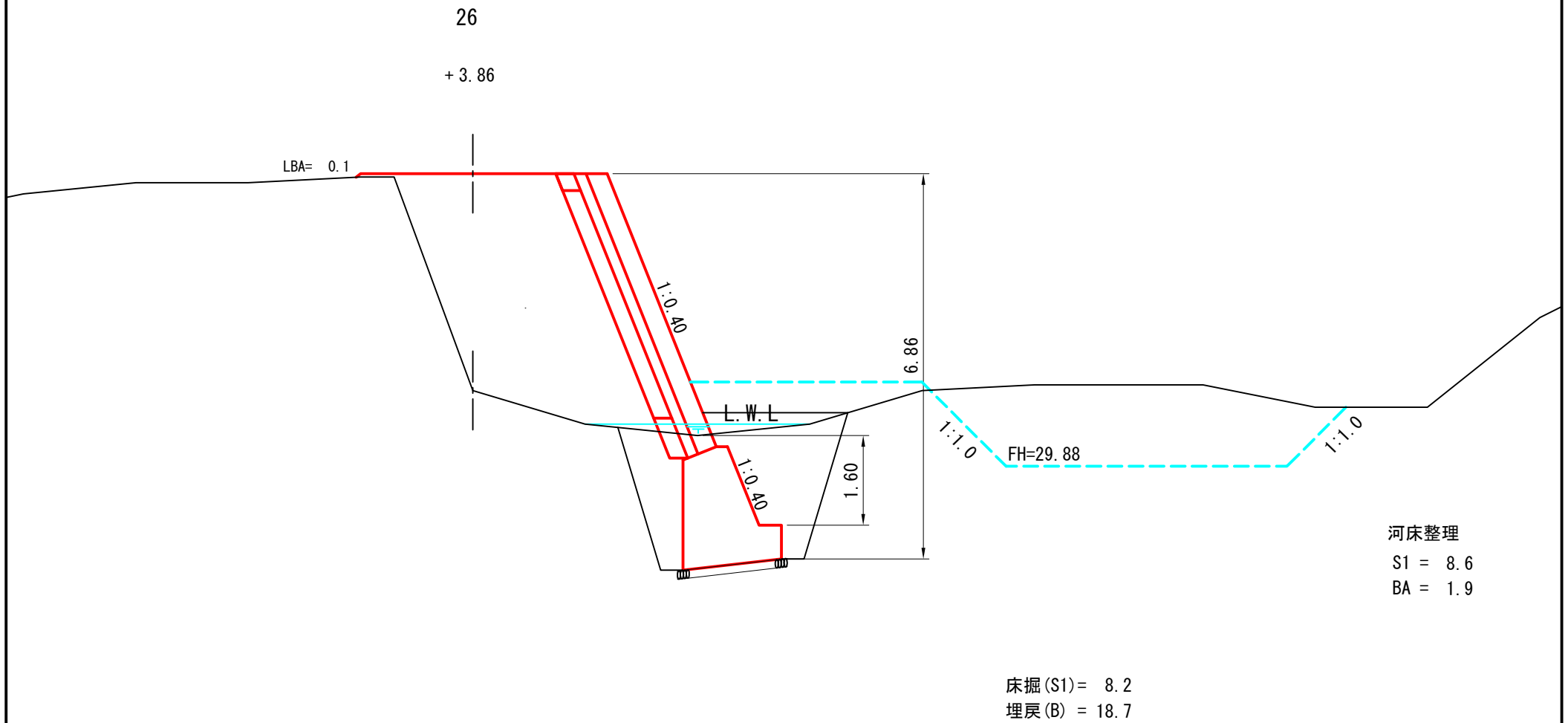
図名	横断面図 4/16
署名	東北森林管理局 津軽森林管理署金木支署
名称	仲の股林道 災害復旧工事
縮尺	1:100

被災番号 1号 - 2.0km地点



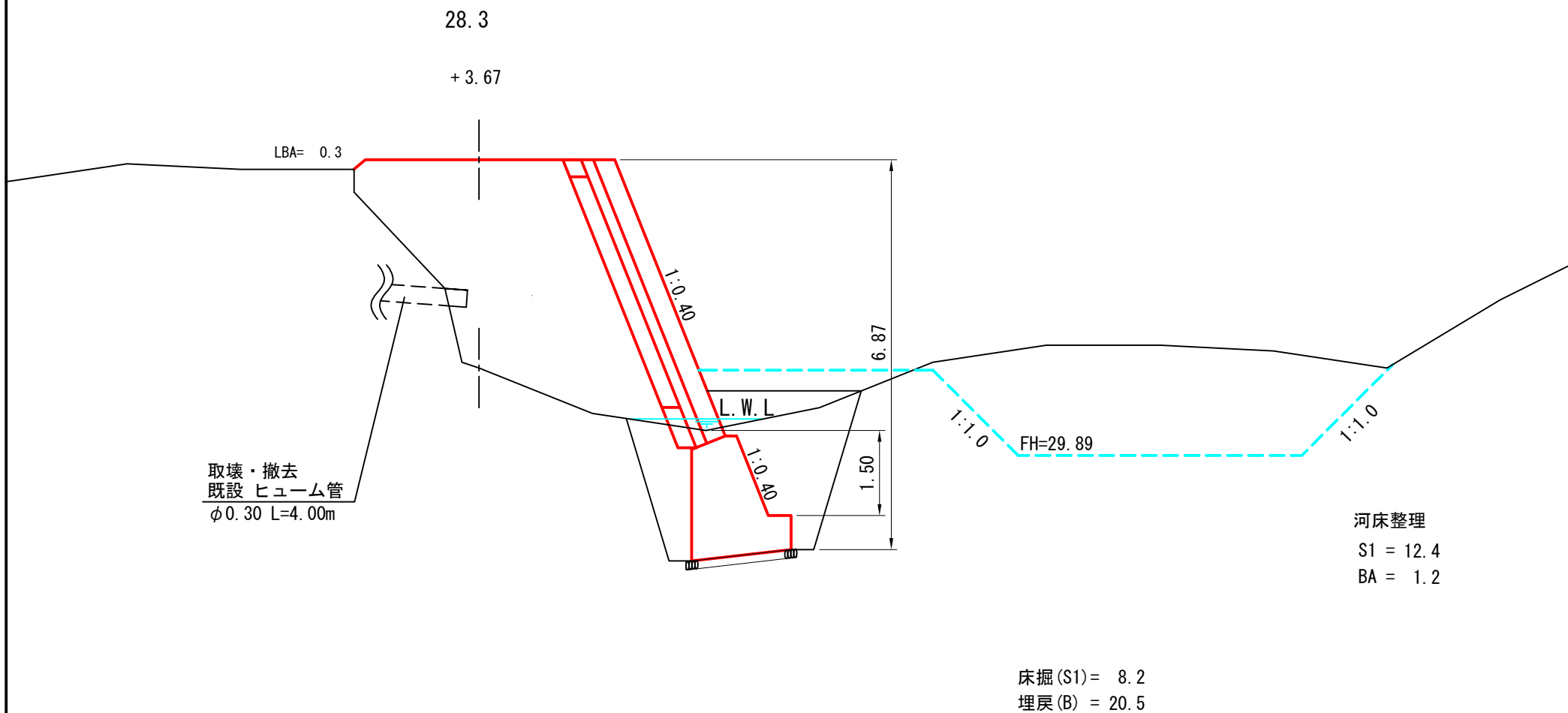
図名	横断面図 5/16
署名	東北森林管理局 津軽森林管理署金木支署
名称	仲の股林道 災害復旧工事
縮尺	1:100

被災番号 1号 - 2.0km地点



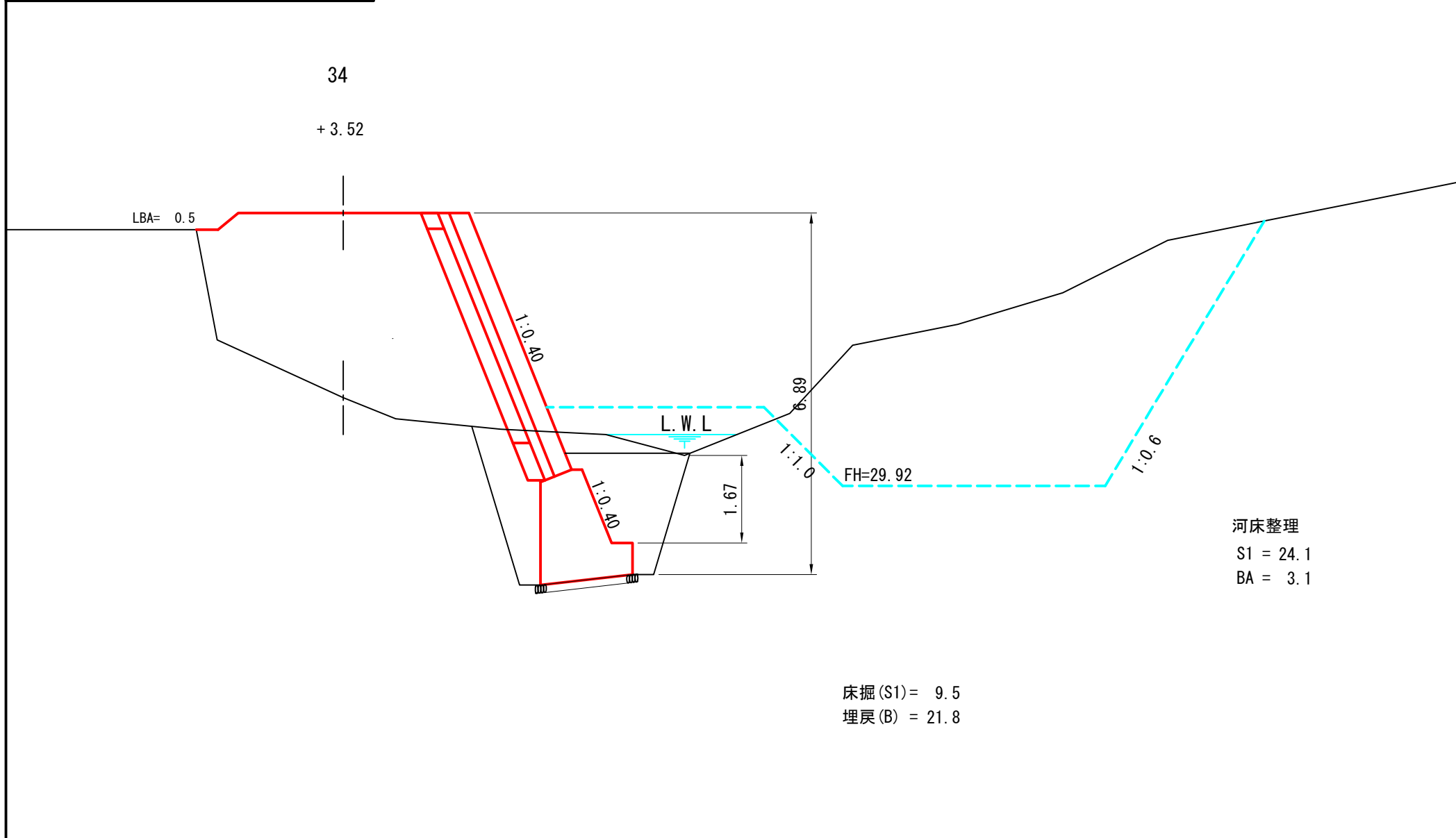
図名	横断面図 6/16
署名	東北森林管理局 津軽森林管理署金木支署
名称	仲の股林道 災害復旧工事
縮尺	1:100

被災番号 1号 - 2.0km地点



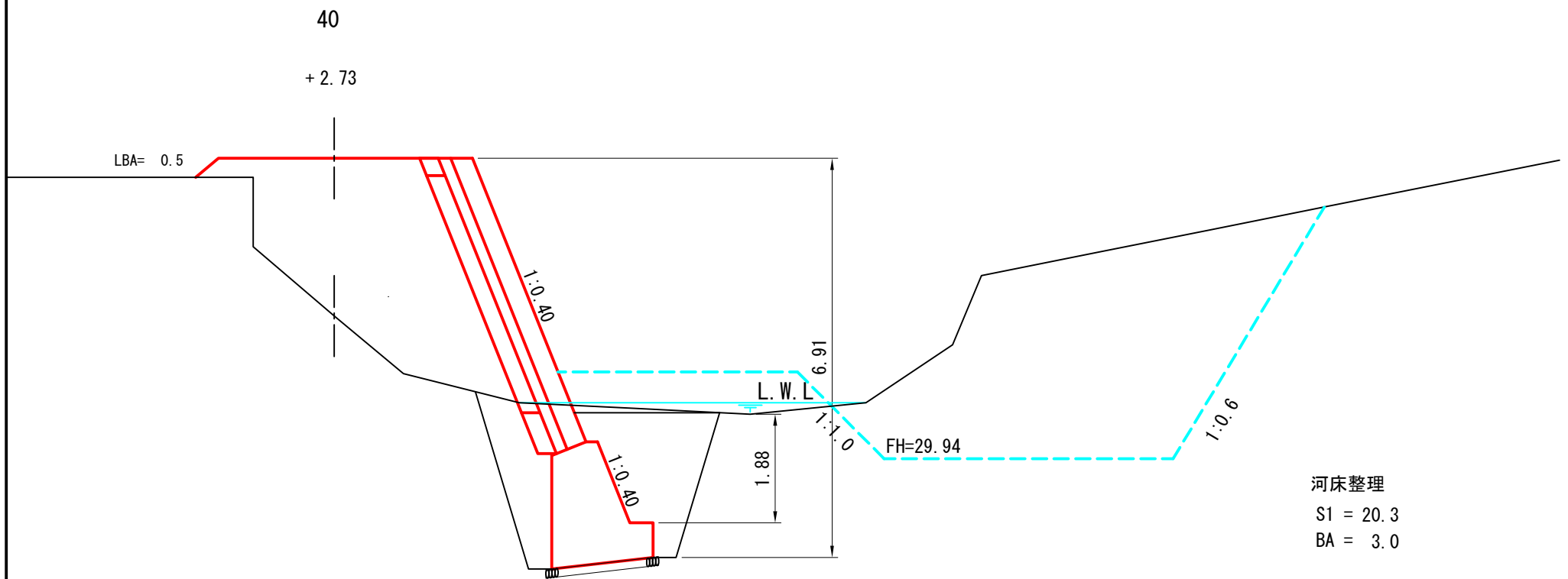
図名	横断面図 7/16
署名	東北森林管理局 津軽森林管理署金木支署
名称	仲の股林道 災害復旧工事
縮尺	1:100

被災番号 1号 - 2.0km地点



図名	横断面図 8/16
署名	東北森林管理局 津軽森林管理署金木支署
名称	仲の股林道 災害復旧工事
縮尺	1:100

被災番号 1号 - 2.0km地点

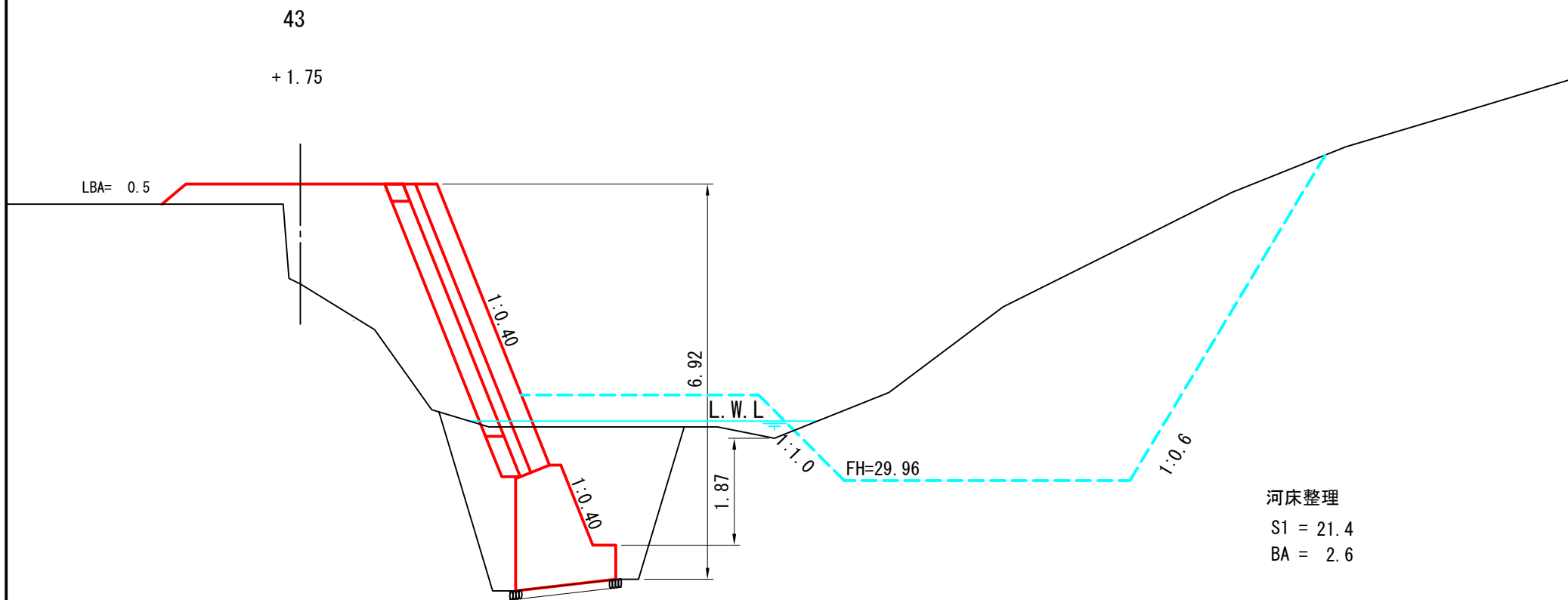


河床整理
 S1 = 20.3
 BA = 3.0

床掘(S1) = 9.5
 埋戻(B) = 17.3

図名	横断面図 9/16
署名	東北森林管理局 津軽森林管理署金木支署
名称	仲の股林道 災害復旧工事
縮尺	1:100

被災番号 1号 - 2.0km地点

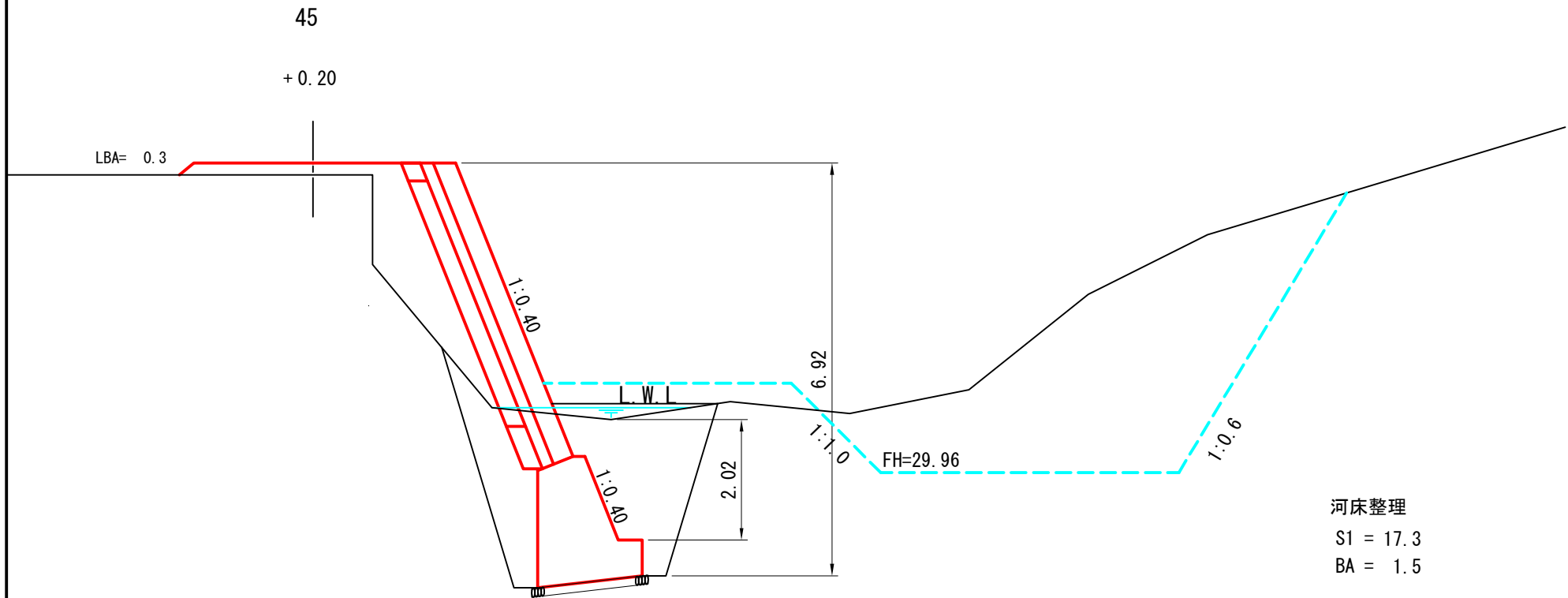


河床整理
S1 = 21.4
BA = 2.6

床掘(S1) = 9.8
埋戻(B) = 13.5

図名	横断面図 10/16
署名	東北森林管理局 津軽森林管理署金木支署
名称	仲の股林道 災害復旧工事
縮尺	1:100

被災番号 1号 - 2.0km地点

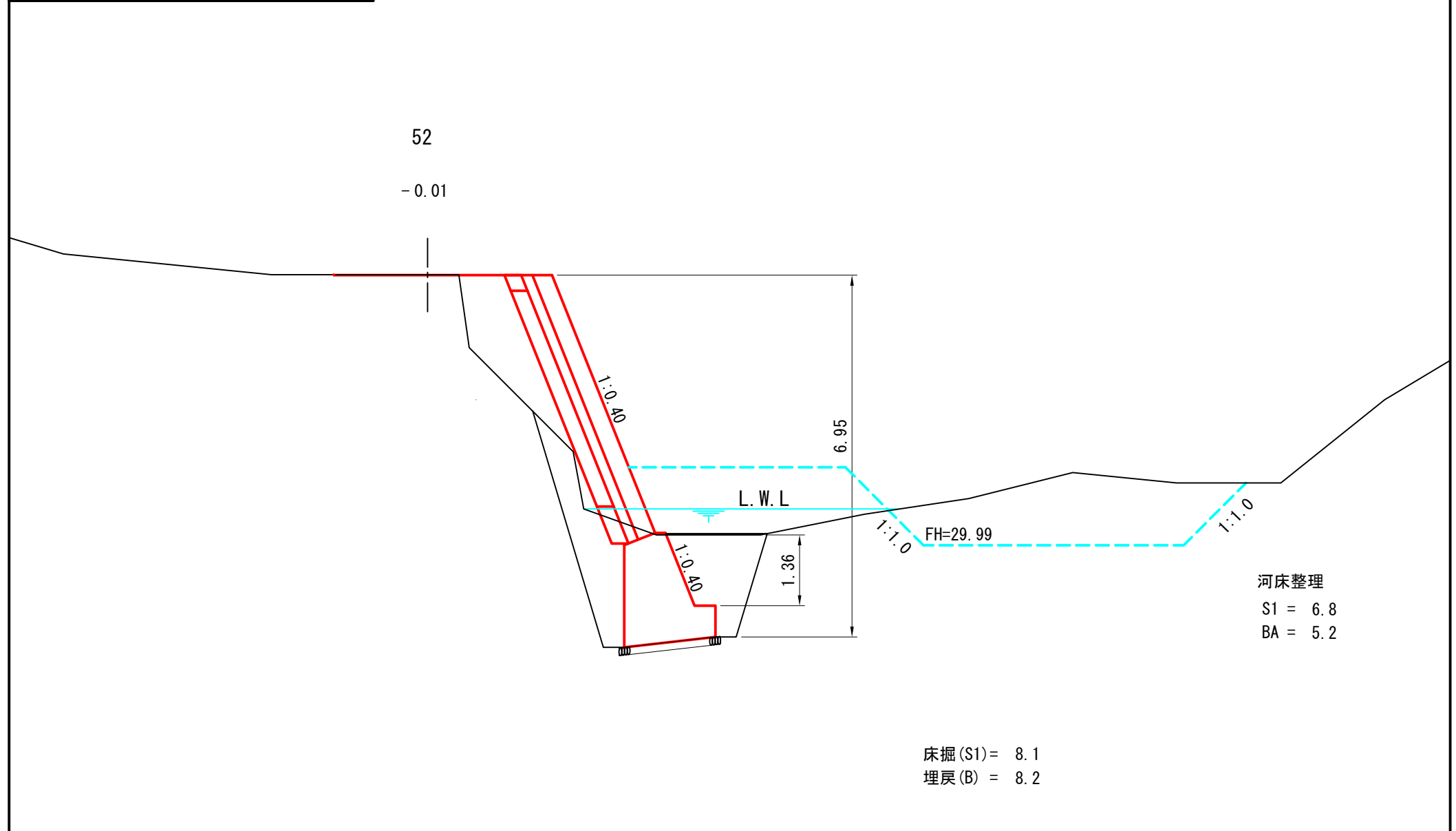


河床整理
 S1 = 17.3
 BA = 1.5

床掘(S1) = 10.3
 埋戻(B) = 10.8

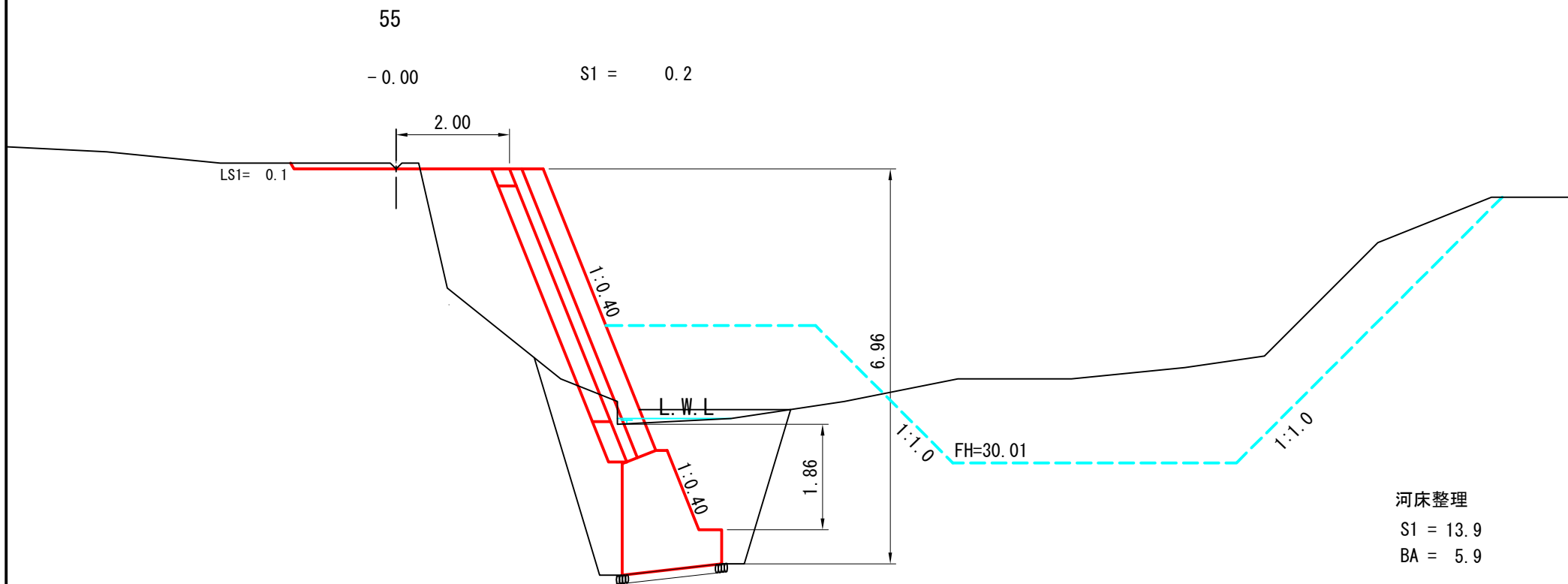
図名	横断面図 11/16
署名	東北森林管理局 津軽森林管理署金木支署
名称	仲の股林道 災害復旧工事
縮尺	1:100

被災番号 1号 - 2.0km地点



図名	横断面図 12/16
署名	東北森林管理局 津軽森林管理署金木支署
名称	仲の股林道 災害復旧工事
縮尺	1:100

被災番号 1号 - 2.0km地点

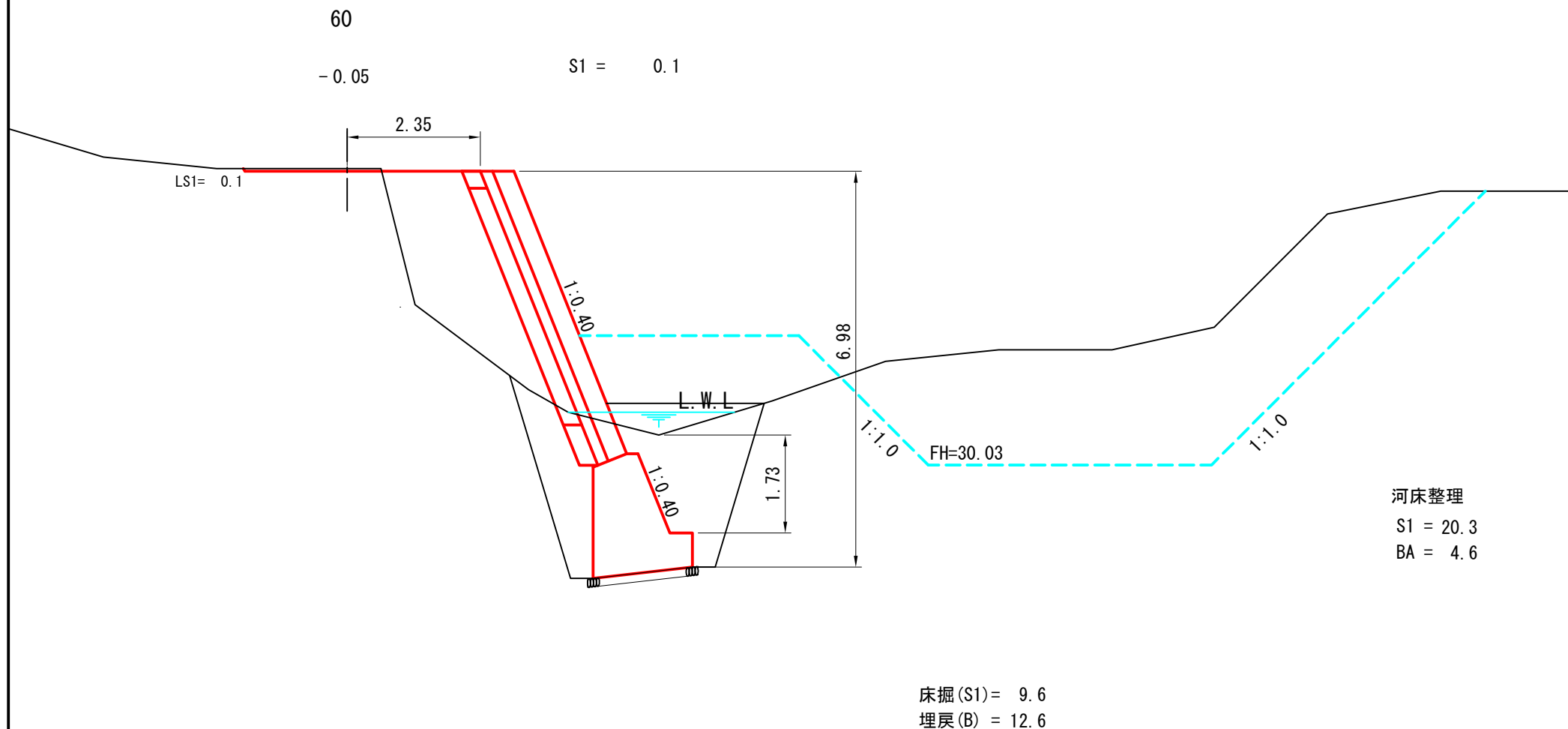


河床整理
 S1 = 13.9
 BA = 5.9

床掘(S1) = 9.9
 埋戻(B) = 11.4

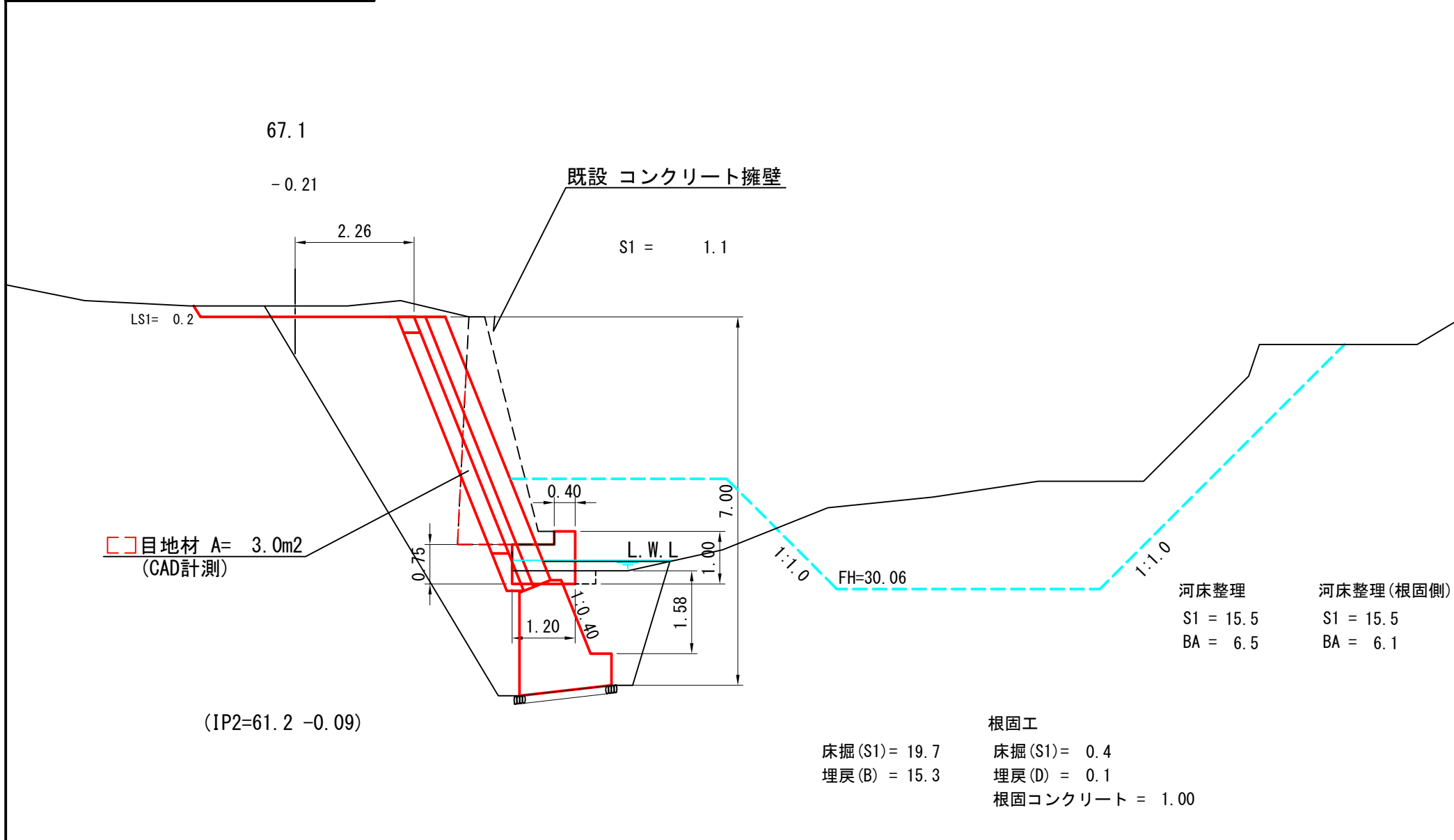
図名	横断面図 13/16
署名	東北森林管理局 津軽森林管理署金木支署
名称	仲の股林道 災害復旧工事
縮尺	1:100

被災番号 1号 - 2.0km地点



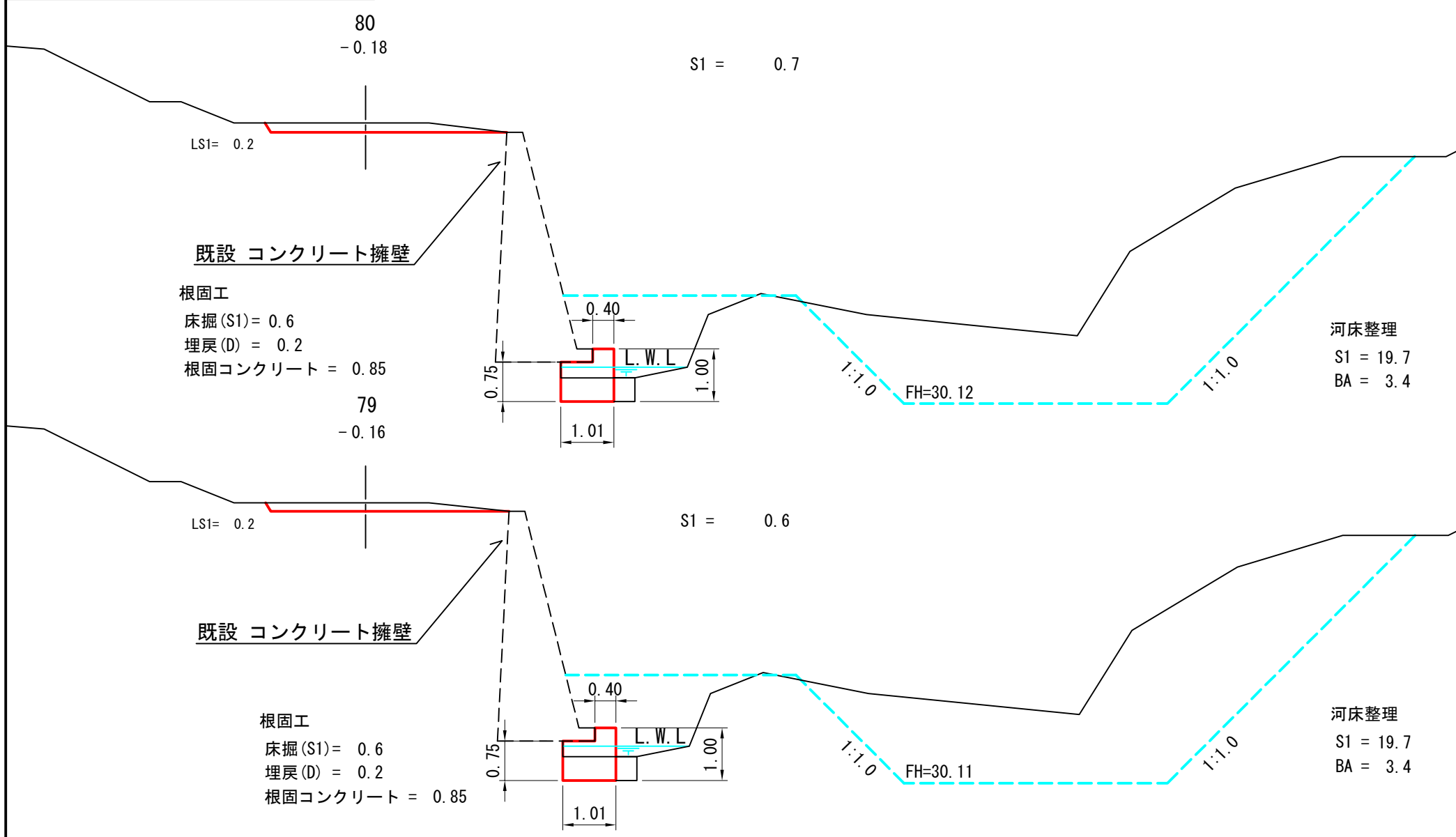
図名	横断面図 14/16
署名	東北森林管理局 津軽森林管理署金木支署
名称	仲の股林道 災害復旧工事
縮尺	1:100

被災番号 1号 - 2.0km地点



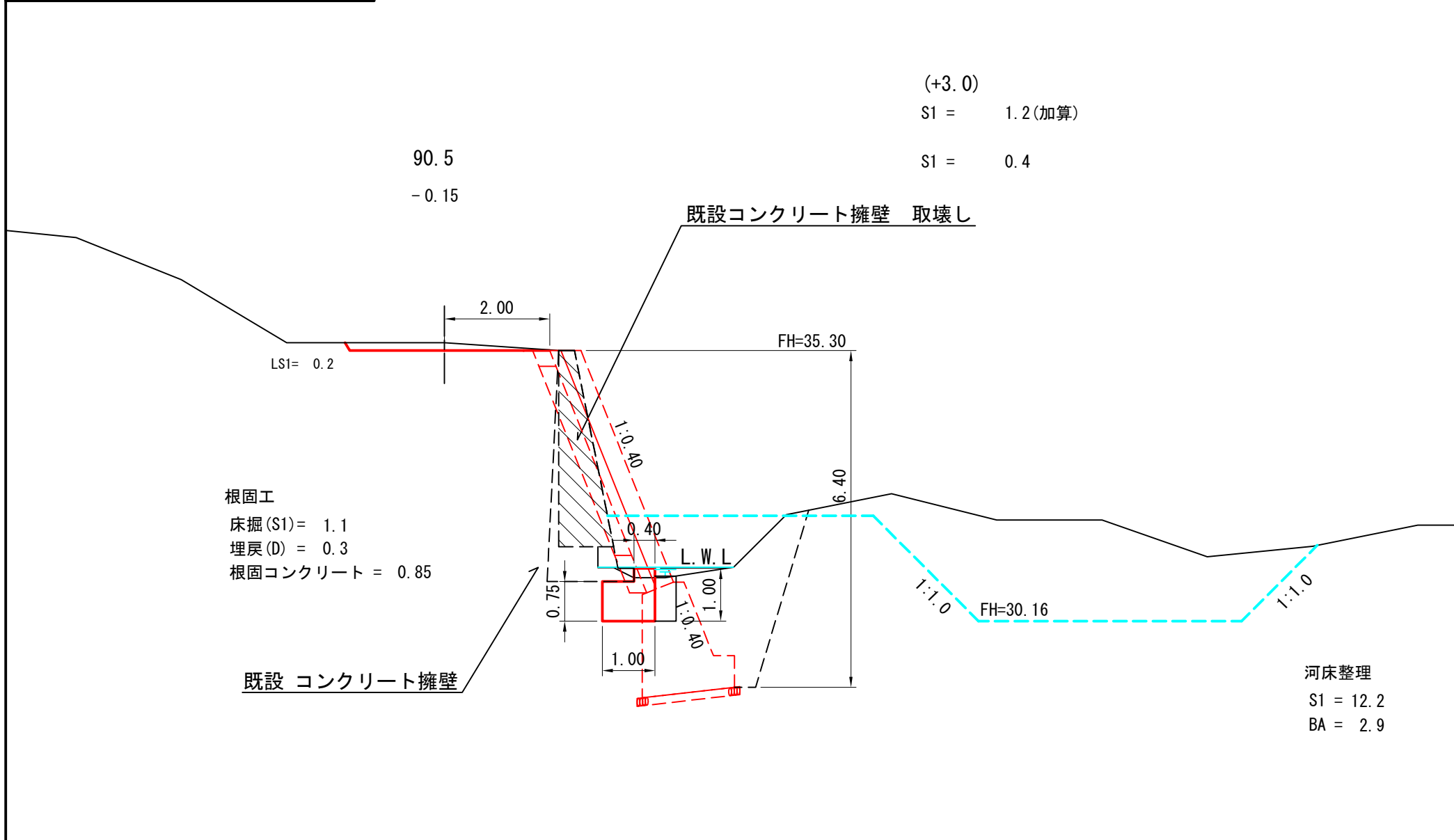
図名	横断面図 15/16
署名	東北森林管理局 津軽森林管理署金木支署
名称	仲の股林道 災害復旧工事
縮尺	1:100

被災番号 1号 - 2.0km地点



図名	横断面図 16/16
署名	東北森林管理局 津軽森林管理署金木支署
名称	仲の股林道 災害復旧工事
縮尺	1:100

被災番号 1号 - 2.0km地点



(+3.0)
 S1 = 1.2 (加算)
 S1 = 0.4

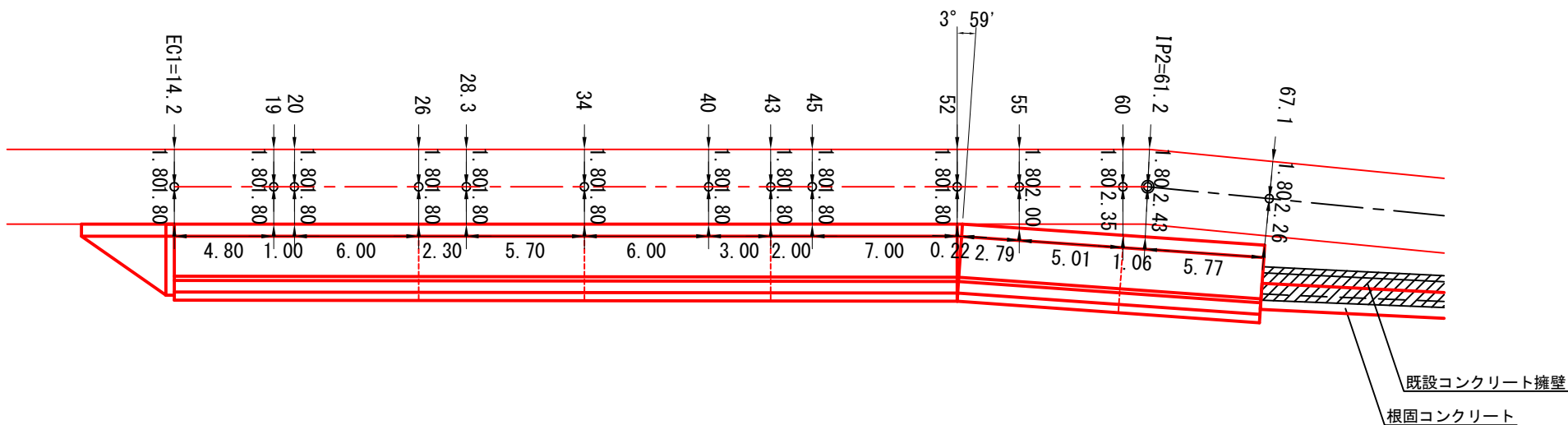
根固工
 床掘 (S1) = 1.1
 埋戻 (D) = 0.3
 根固コンクリート = 0.85

河床整理
 S1 = 12.2
 BA = 2.9

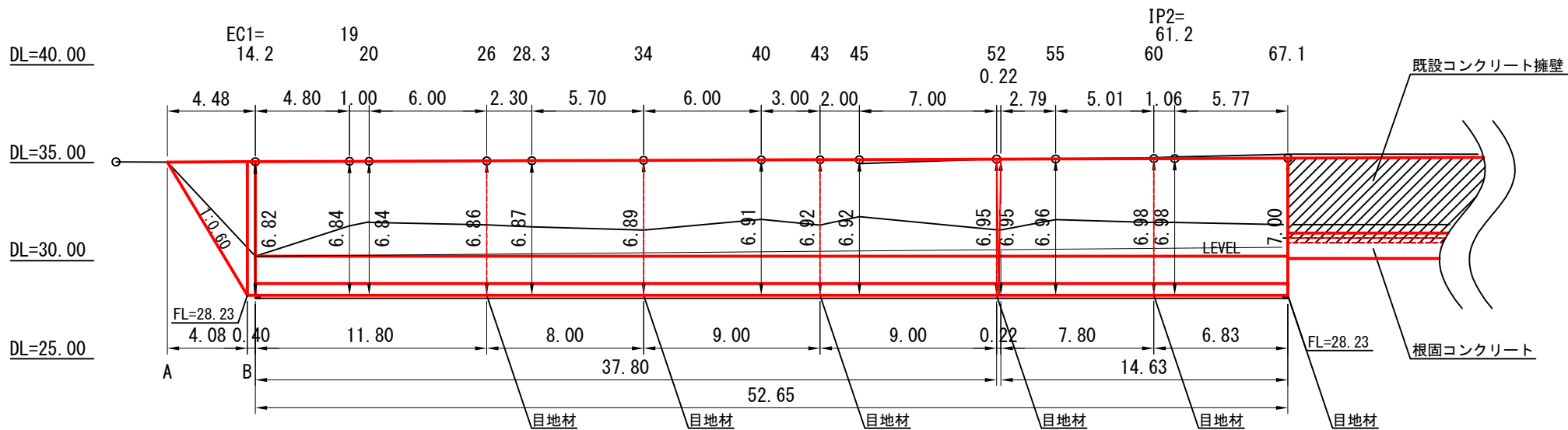
図名	構 造 図 1/11
署名	東北森林管理局 津軽森林管理署金木支署
名称	仲の股林道 災害復旧工事
縮尺	1:300

被災番号 1号 - 2.0km地点

平 面 図



正 面 図



図名	構造図 2/11
署名	東北森林管理局 津軽森林管理署金木支署
名称	仲の股林道 災害復旧工事
縮尺	1:100

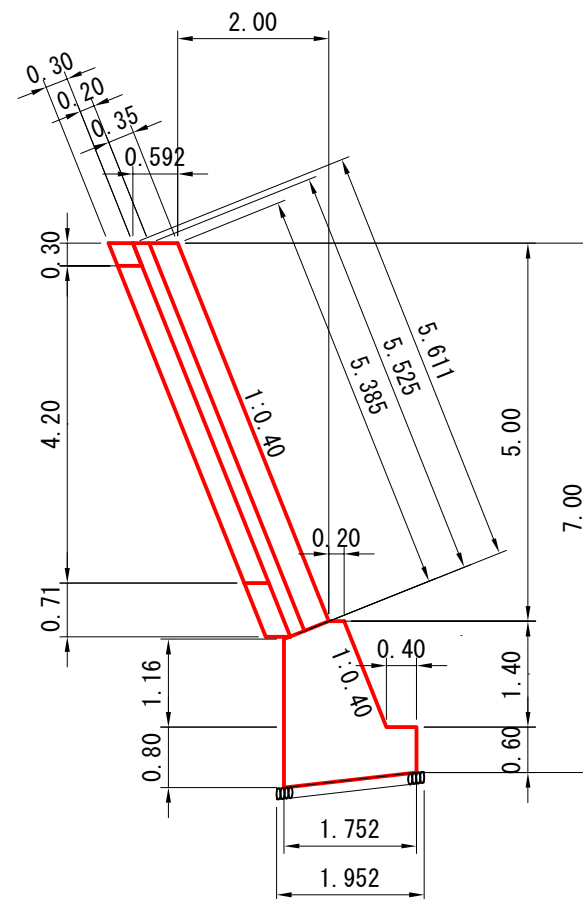
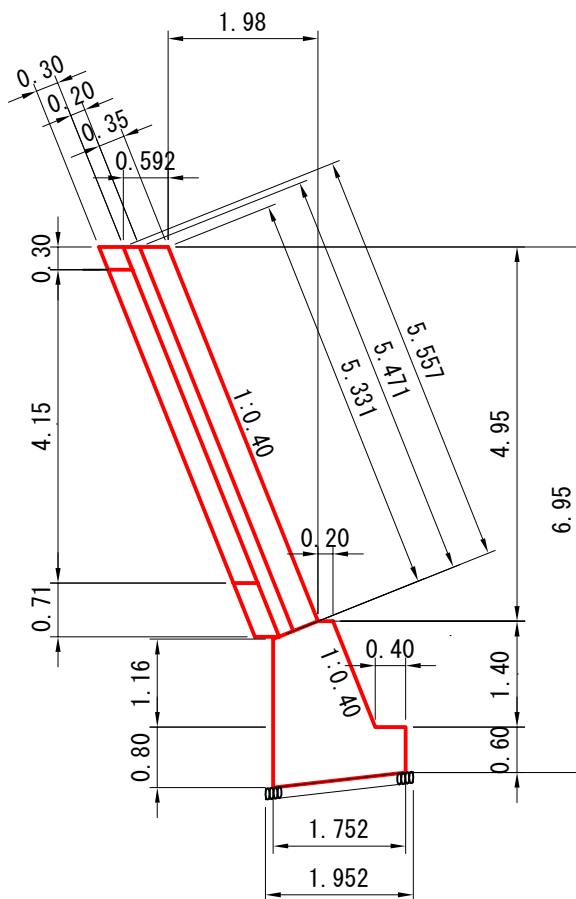
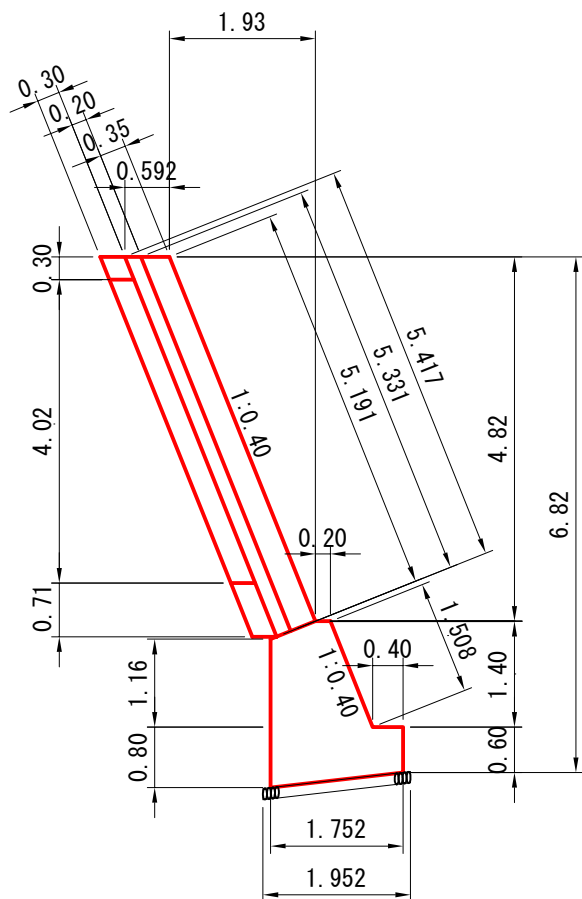
被災番号 1号 - 2.0km地点

TW-L-N(b-S)
法長係数(1:0.40)=1.077

EC1=14.2

52

67.1



図名	構造図 3/11
署名	東北森林管理局 津軽森林管理署金木支署
名称	仲の股林道 災害復旧工事
縮尺	1:100

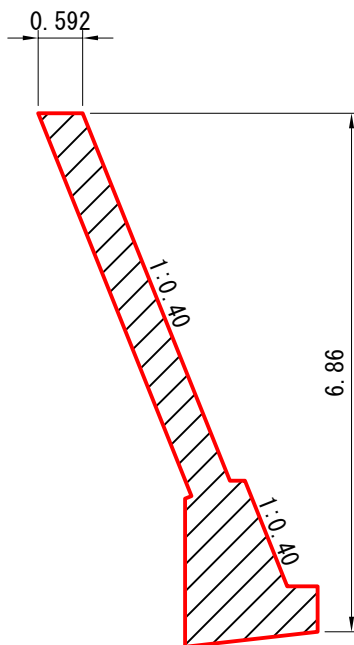
被災番号 1号 - 2.0km地点

TW-L-N(b-S)

法長係数(1:0.40)=1.077

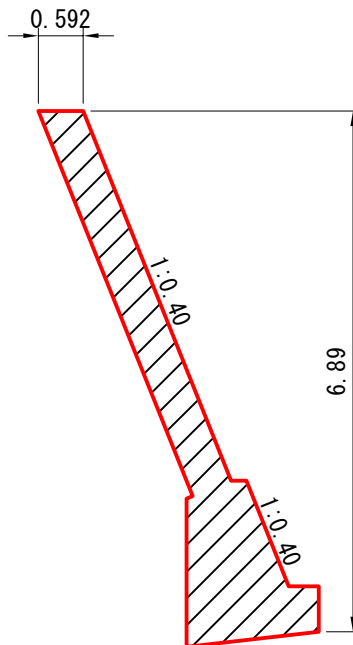
目地材

26



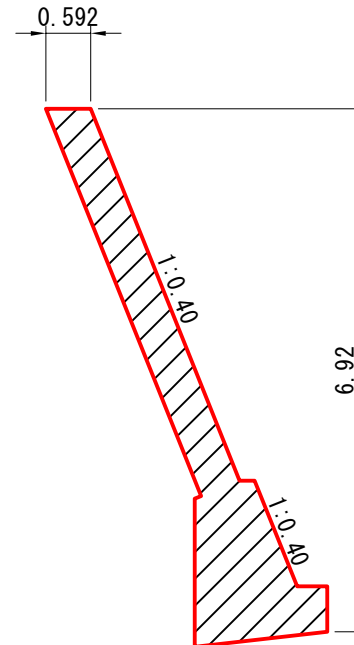
A = 5.6 m² (CAD計測)

34



A = 5.6 m² (CAD計測)

43



A = 5.6 m² (CAD計測)

図名	構造図 4/11
署名	東北森林管理局 津軽森林管理署金木支署
名称	仲の股林道 災害復旧工事
縮尺	1:100

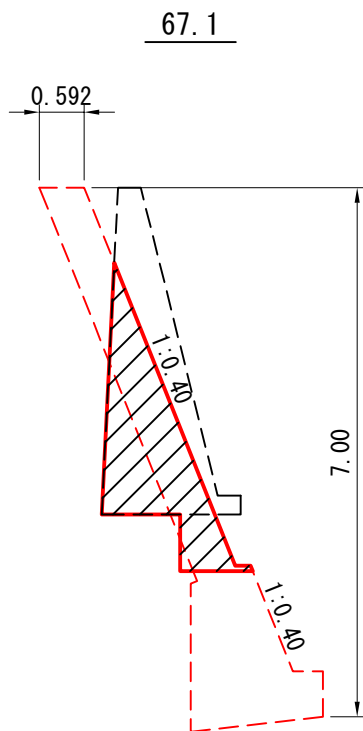
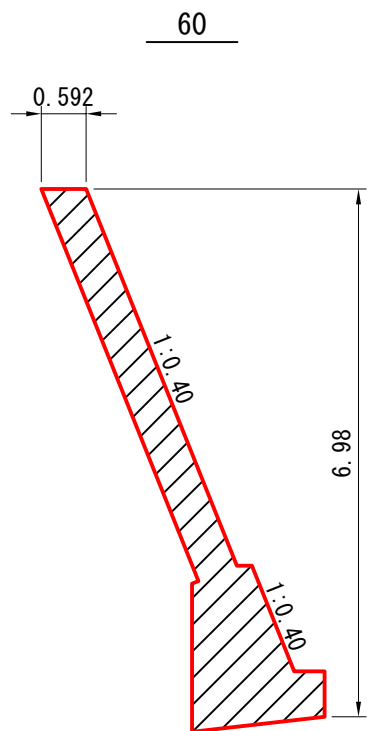
被災番号 1号 - 2.0km地点

TW-L-N(b-S)

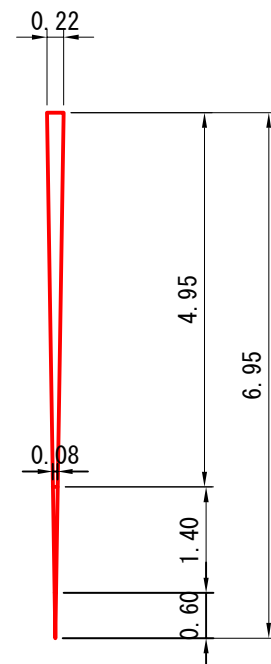
法長係数(1:0.40)=1.077

目地材

屈曲部コンクリート(内側屈曲)



A=3-59'



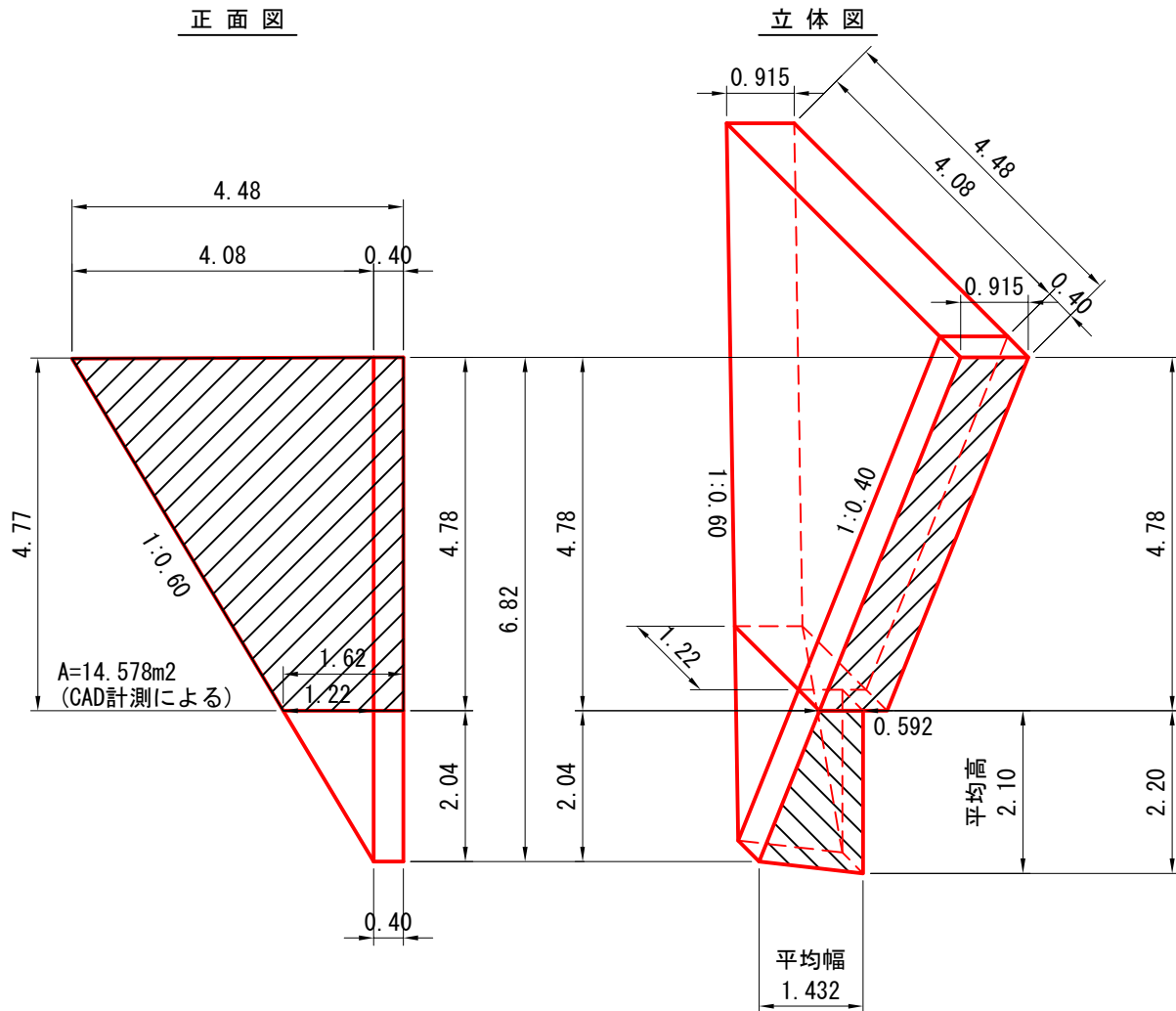
図名	構 造 図 5/11
署名	東北森林管理局 津軽森林管理署金木支署
名称	仲の股林道 災害復旧工事
縮尺	1:100

被災番号 1号 - 2.0km地点

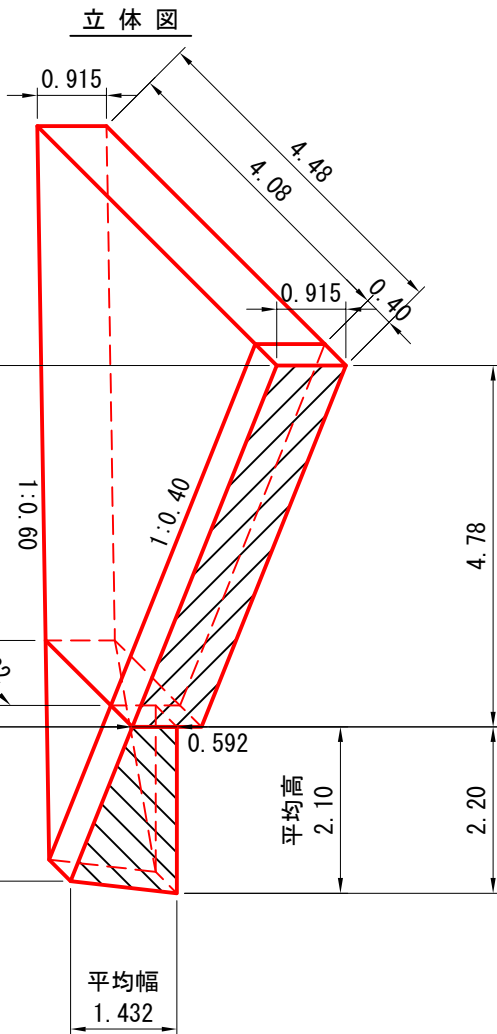
TW-L-N(b-S)
法長係数(1:0.40)=1.077

端部止コンクリート

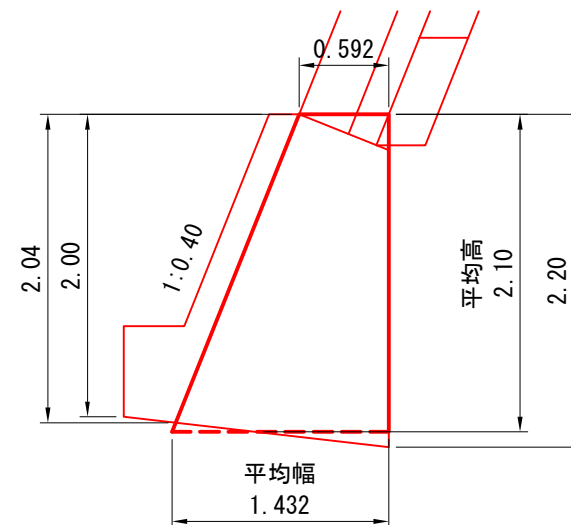
正面図



立体図



下段擁壁箇所
平均高・平均幅算出図(1:50)



下段擁壁箇所 A = $(0.592 + 1.432) \div 2 \times 2.10 = 2.125 \text{ m}^2$

コンクリート

ブロック箇所 = $14.578 \times 0.915 = 13.34 \text{ m}^3$

下段擁壁箇所 = (2.125×0.40)

+ $(1.22 \times 2.10) \div 6 \times (2 \times 0.592 + 1.432) = 1.97 \text{ m}^3$

計 = 15.31 m^3

普通型枠

ブロック箇所 = $(0.40 \times 4.78 + (4.08 + 1.22) \div 2 \times 4.77) \times 1.077$

= 15.67 m^2

下段擁壁箇所 = $(1.62 + 0.4) \div 2 \times 2.10 \times (1.000 + 1.077) = 4.41 \text{ m}^2$

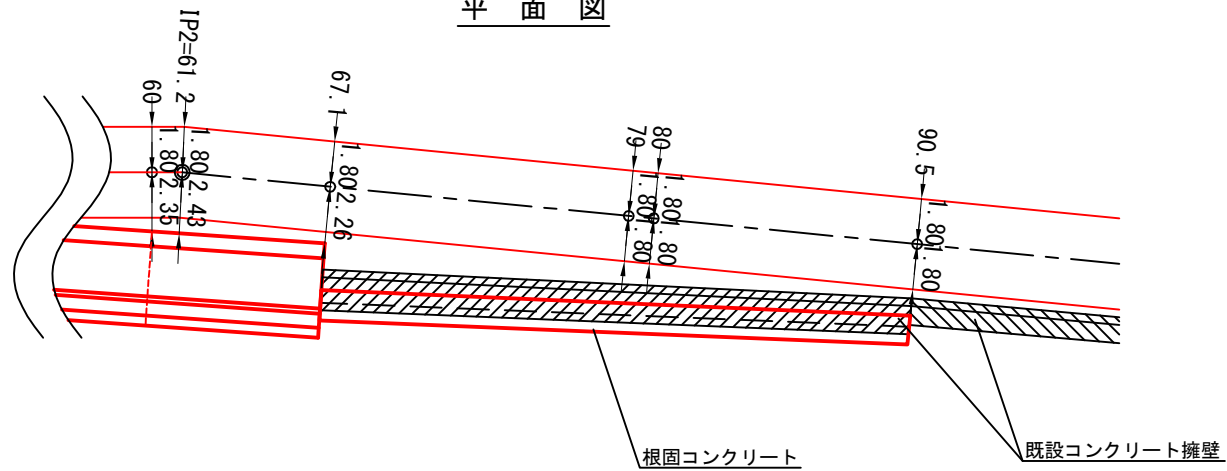
計 = 20.08 m^2

図名	構 造 図 6/11
署名	東北森林管理局 津軽森林管理署金木支署
名称	仲の股林道 災害復旧工事
縮尺	1:300

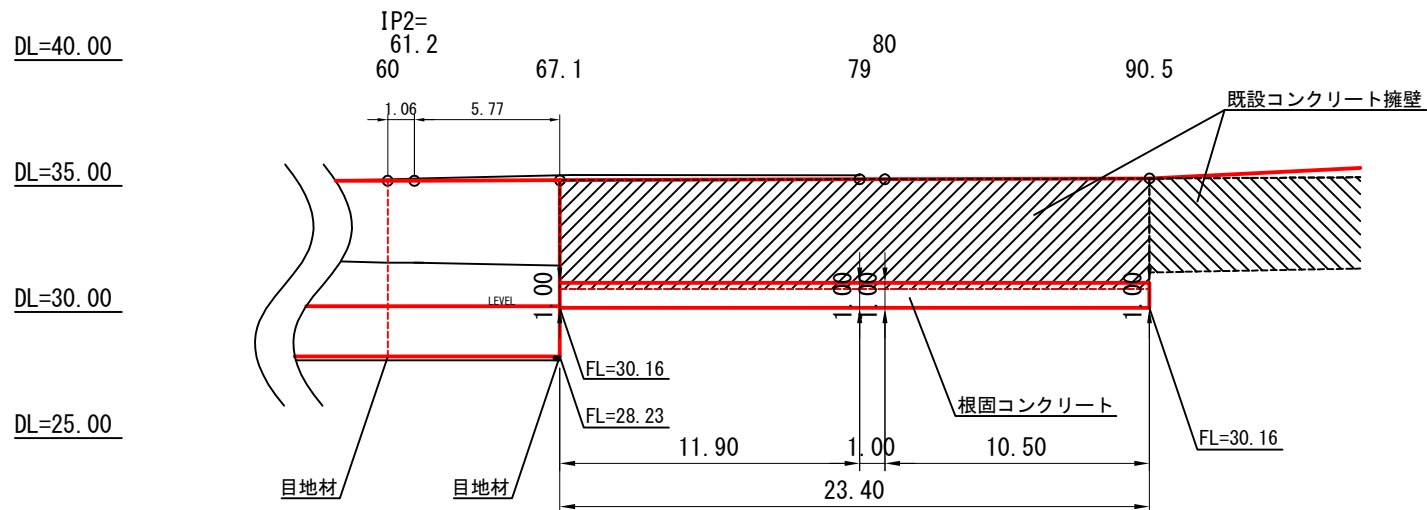
被災番号 1号 - 2.0km地点

根固コンクリート工 詳細図

平面図

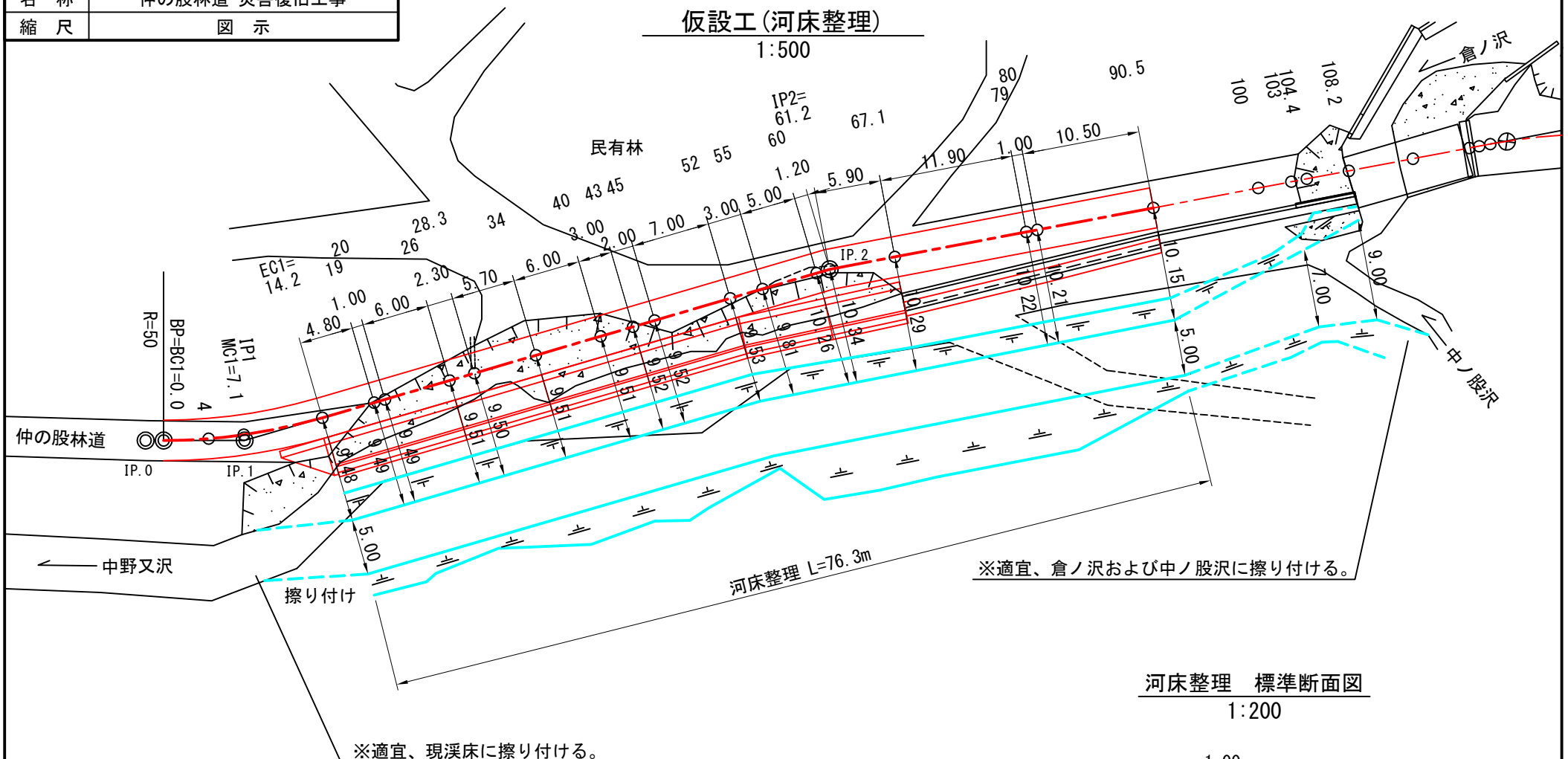


正面図



図名	構造図	7/11
署名	東北森林管理局 津軽森林管理署金木支署	
名称	仲の股林道 災害復旧工事	
縮尺	図示	

被災番号 1号 - 2.0km地点

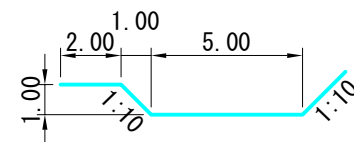


※適宜、倉ノ沢および中ノ股沢に擦り付ける。

※適宜、現溪床に擦り付ける。

河床整理 標準断面図

1:200



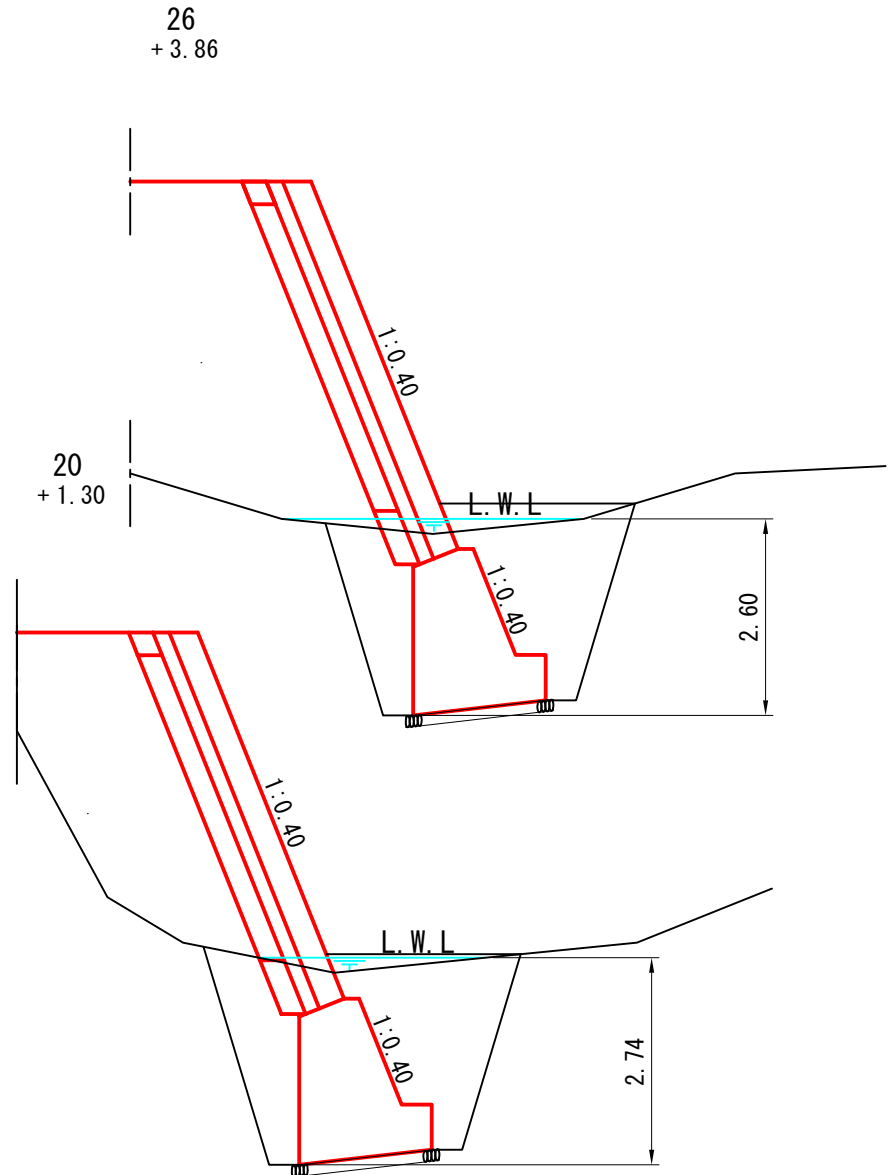
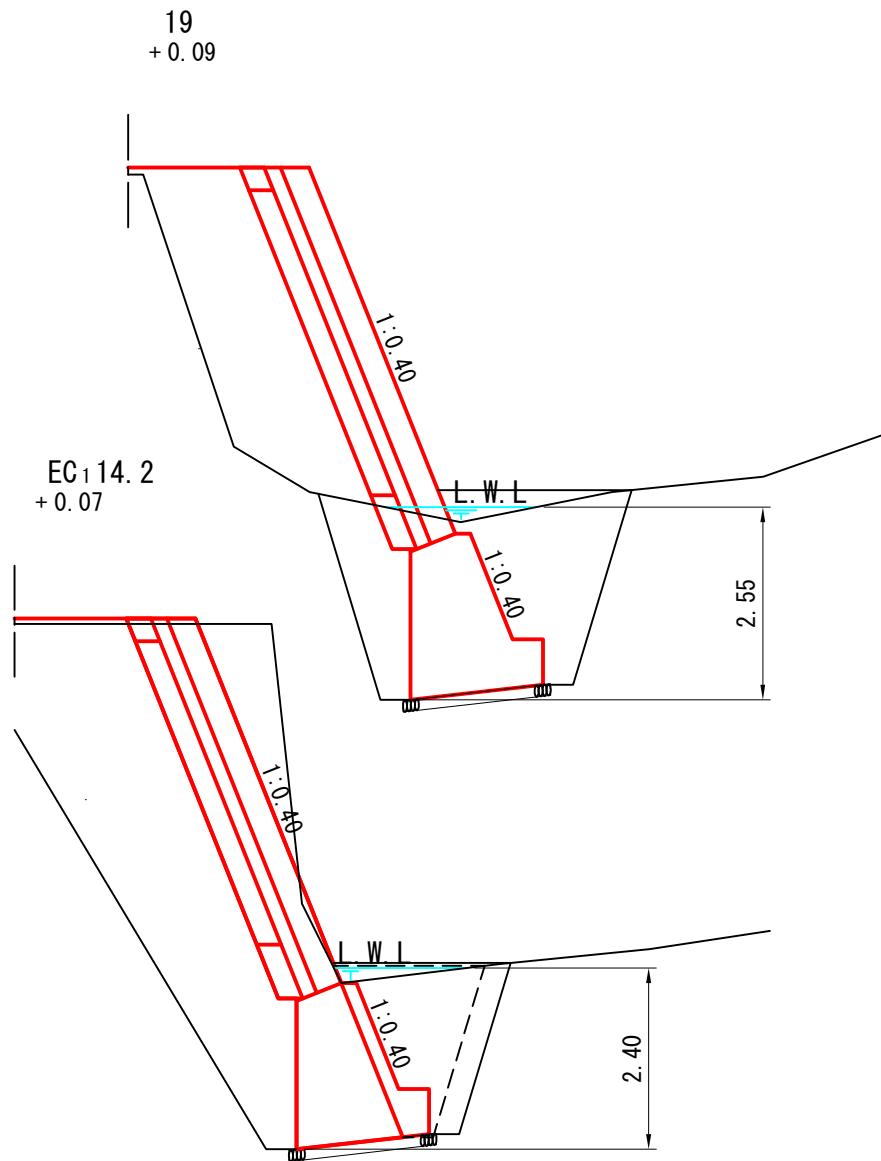
※仮締切工として、河床整理で流心の切替を行う。

※測点100以降の河床整理については、橋梁部護岸工事を踏まえ、適宜実行する。

図名	構造図 8/11
署名	東北森林管理局 津軽森林管理署金木支署
名称	仲の股林道 災害復旧工事
縮尺	1:100

被災番号 1号 - 2.0km地点

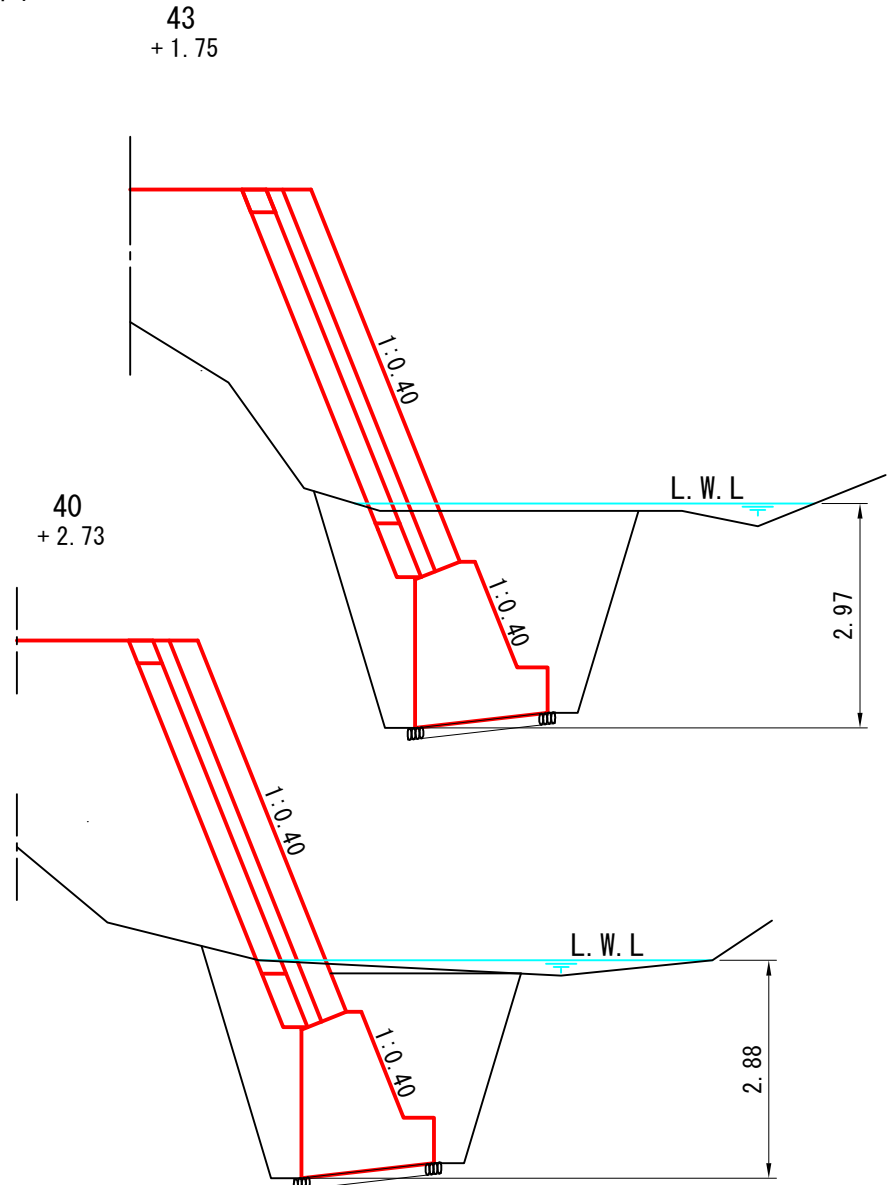
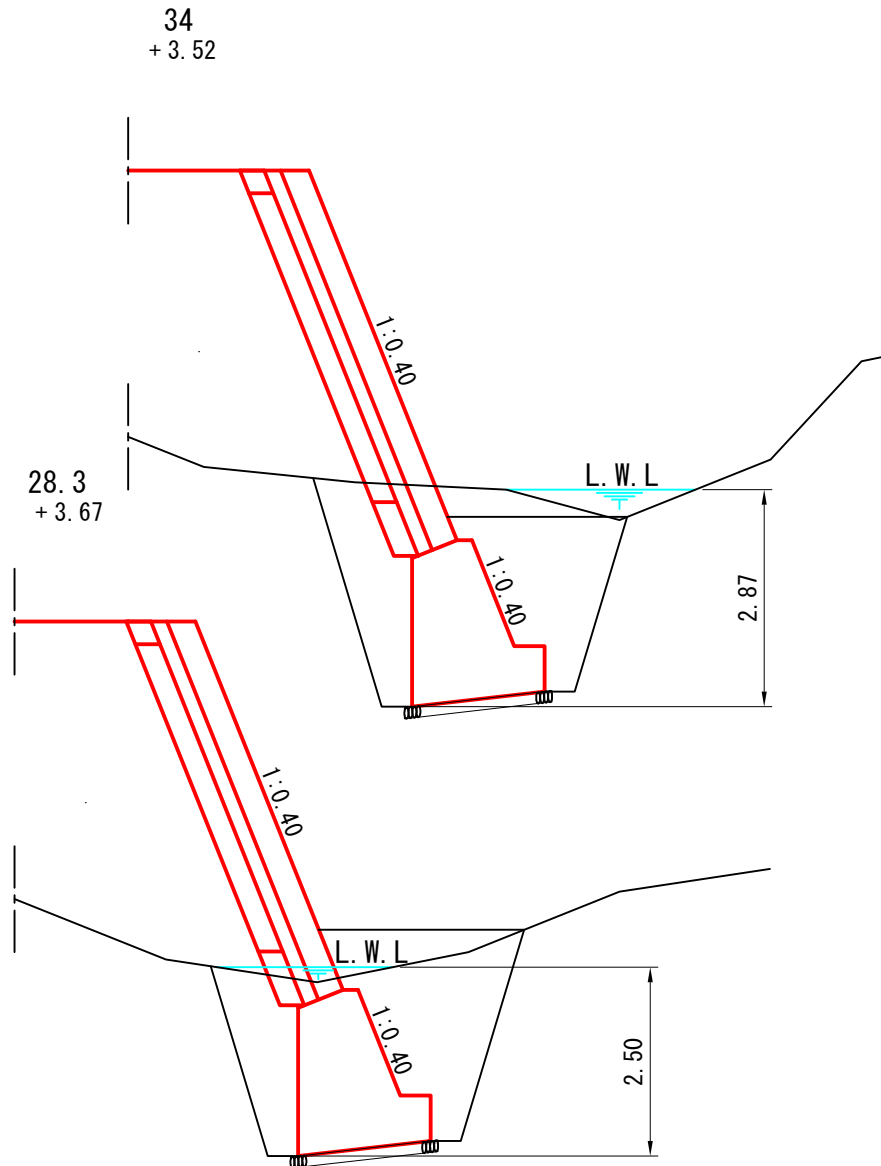
水替工
平均水深(H)算定図



図名	構造図	9/11
署名	東北森林管理局 津軽森林管理署金木支署	
名称	仲の股林道 災害復旧工事	
縮尺	1:100	

被災番号 1号 - 2.0km地点

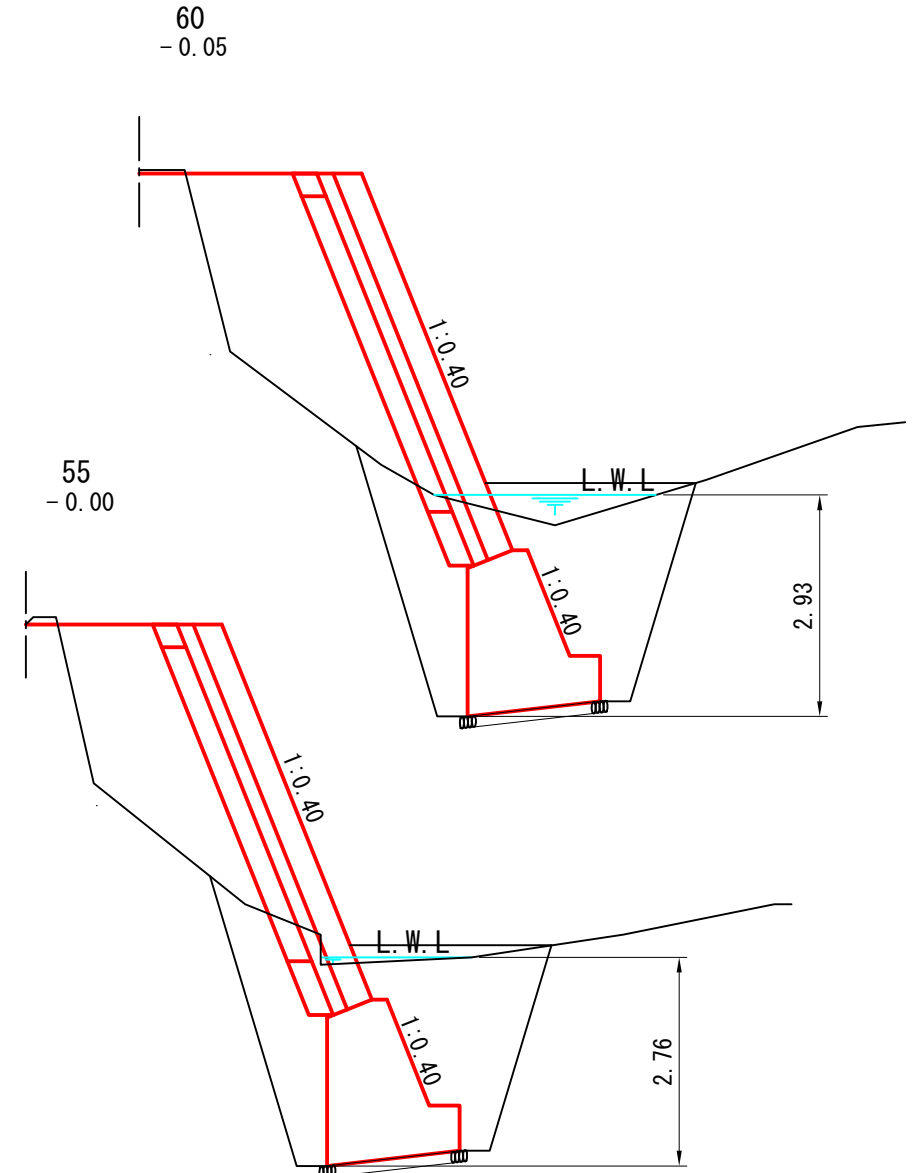
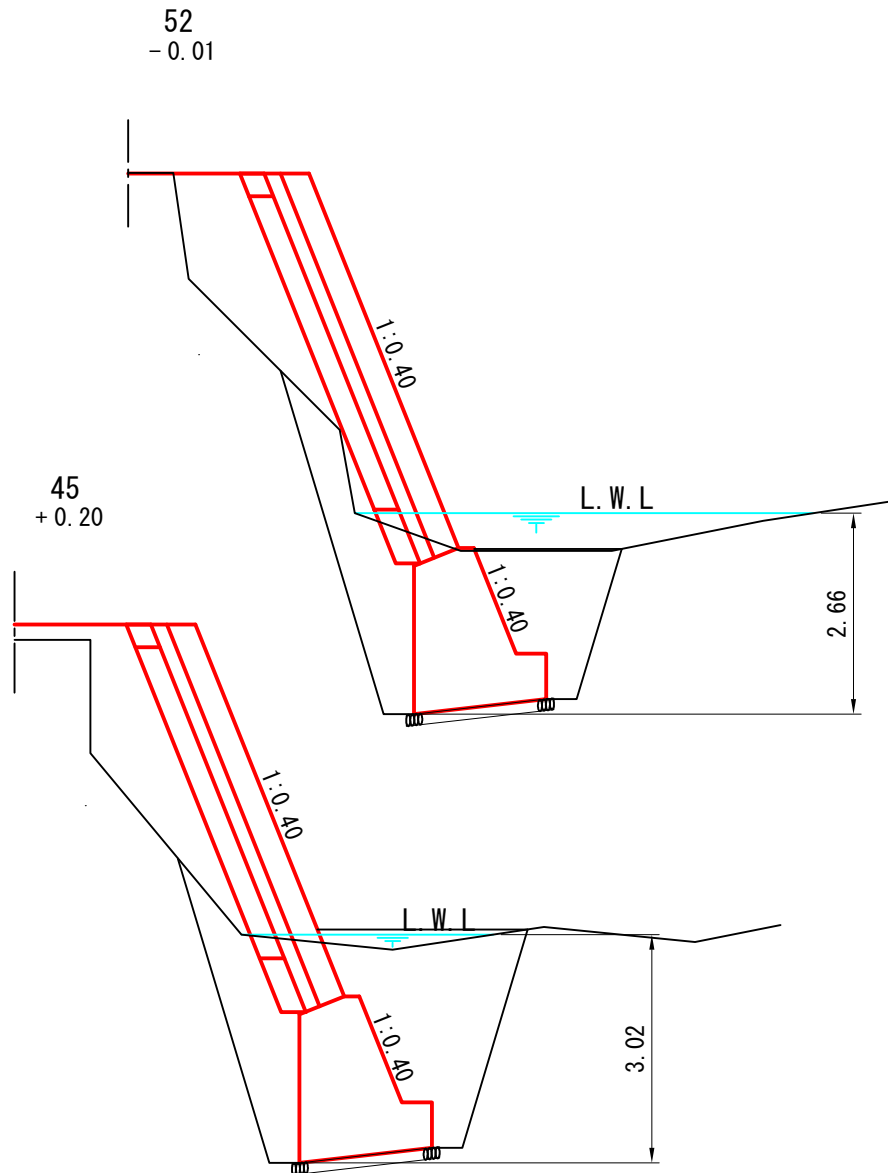
水替工
平均水深(H)算定図



図名	構 造 図	10/11
署名	東北森林管理局 津軽森林管理署金木支署	
名称	仲の股林道 災害復旧工事	
縮尺	1:100	

被災番号 1号 - 2.0km地点

水 替 工
平均水深(H)算定図



図名	構 造 図 11/11
署名	東北森林管理局 津軽森林管理署金木支署
名称	仲の股林道 災害復旧工事
縮尺	1:100

被災番号 1号 - 2.0km地点

水替工
平均水深(H)算定図

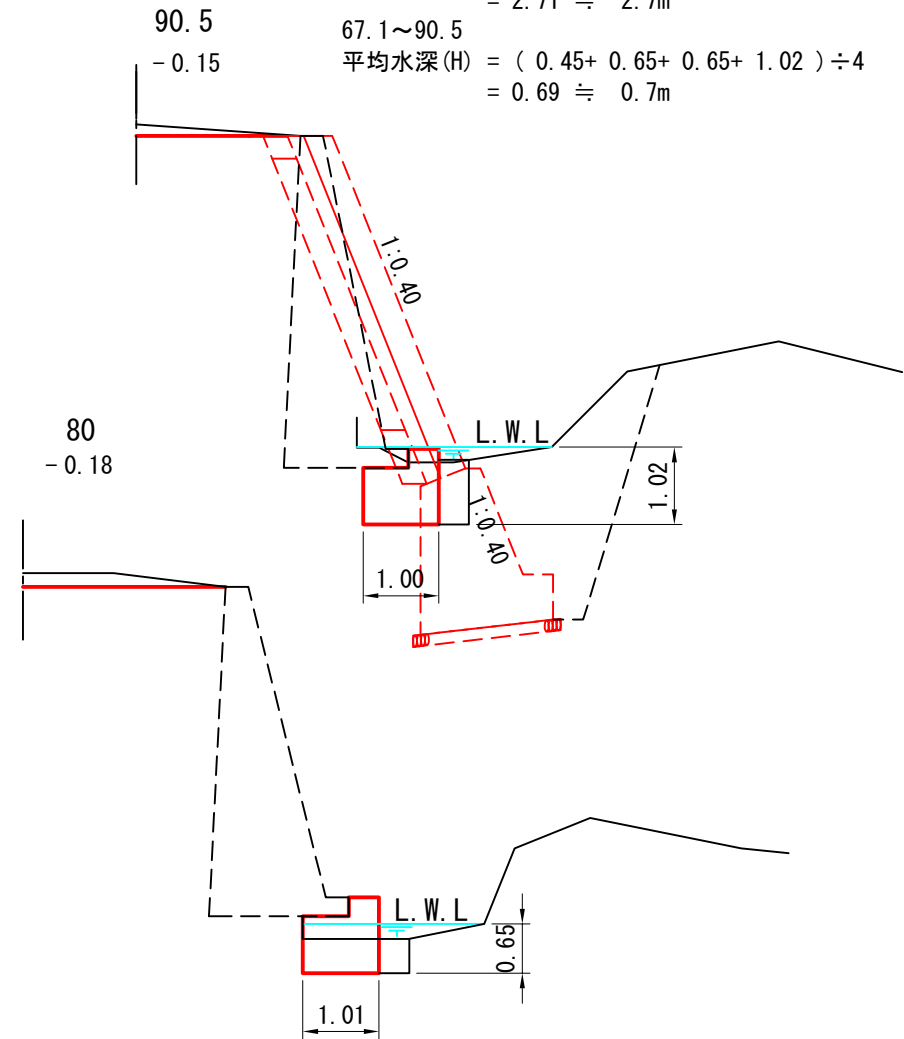
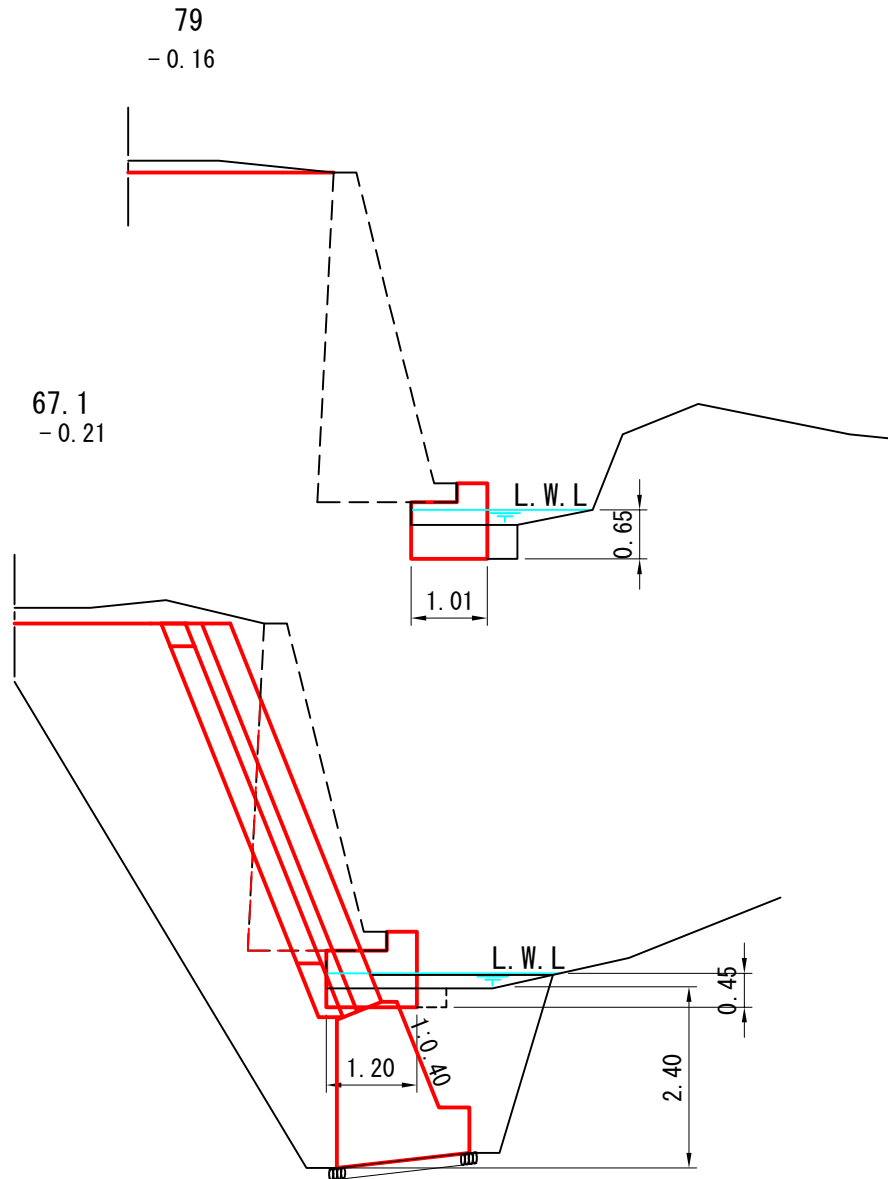
水替工

EC1 14.2~67.1

$$\begin{aligned} \text{平均水深(H)} &= (2.40 + 2.55 + 2.74 + 2.60 + 2.50 + 2.87 + 2.88 \\ &\quad + 2.97 + 3.02 + 2.66 + 2.76 + 2.93 + 2.40) \div 13 \\ &= 2.71 \approx 2.7\text{m} \end{aligned}$$

67.1~90.5

$$\begin{aligned} \text{平均水深(H)} &= (0.45 + 0.65 + 0.65 + 1.02) \div 4 \\ &= 0.69 \approx 0.7\text{m} \end{aligned}$$



図名	参 考 図	1/4
署名	東北森林管理局 津軽森林管理署金木支署	
名称	仲の股林道 災害復旧工事	
縮尺	1:100	

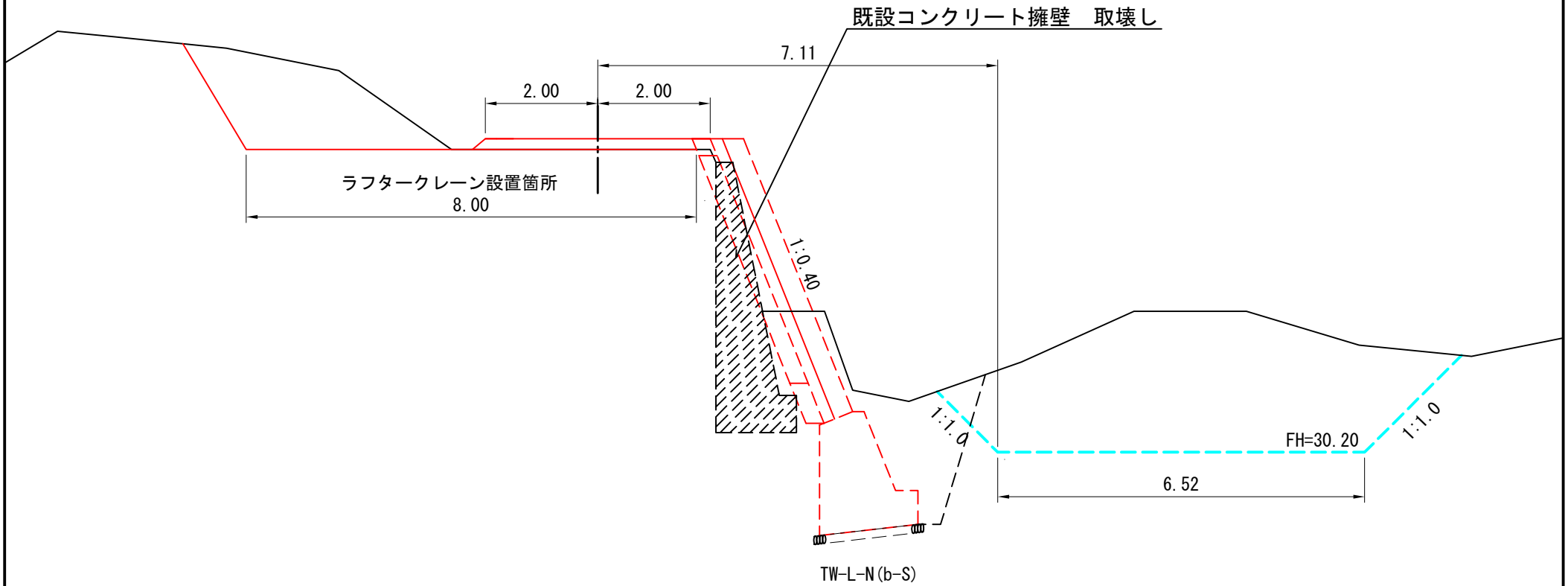
被災番号 1号 - 2.0km地点

仮設工(河床整理)

90.5~108.2 擦り付け参考図

※測点100以降の河床整理については、橋梁部護岸工事を踏まえ、適宜実行する。

100



図名	参 考 図	2/4
署名	東北森林管理局 津軽森林管理署金木支署	
名称	仲の股林道 災害復旧工事	
縮尺	1:100	

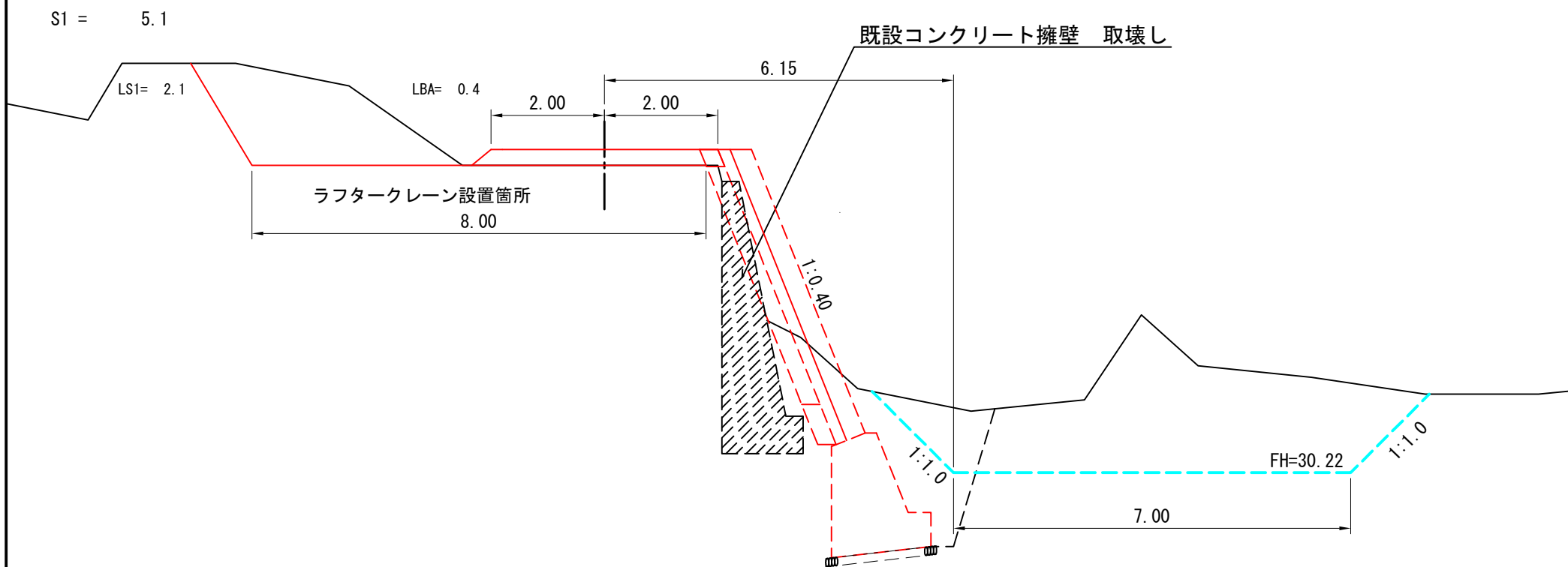
被災番号 1号 - 2.0km地点

仮設工(河床整理)

90.5~108.2 擦り付け参考図

※測点100以降の河床整理については、橋梁部護岸工事を踏まえ、適宜実行する。

103



図名	参 考 図	3/4
署名	東北森林管理局 津軽森林管理署金木支署	
名称	仲の股林道 災害復旧工事	
縮尺	1:100	

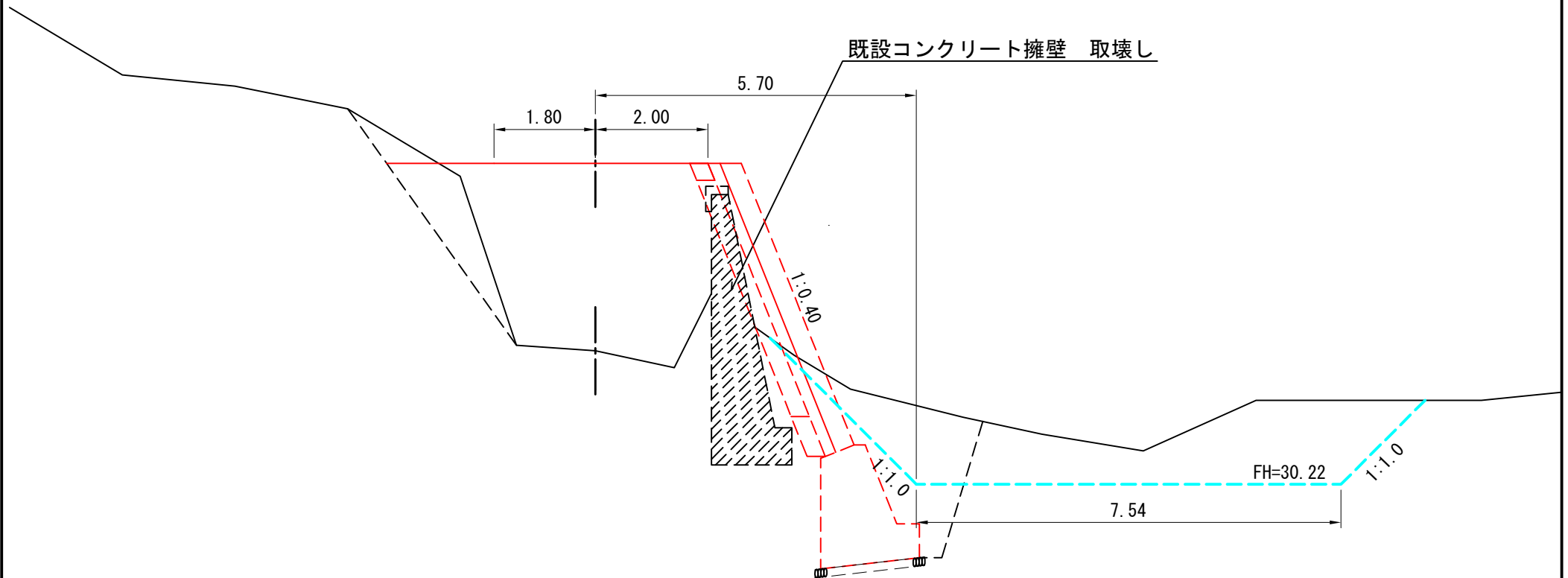
被災番号 1号 - 2.0km地点

仮設工(河床整理)

90.5~108.2 擦り付け参考図

※測点100以降の河床整理については、橋梁部護岸工事を踏まえ、適宜実行する。

104.4



図名	参 考 図	4/4
署名	東北森林管理局 津軽森林管理署金木支署	
名称	仲の股林道 災害復旧工事	
縮尺	1:100	

被災番号 1号 - 2.0km地点

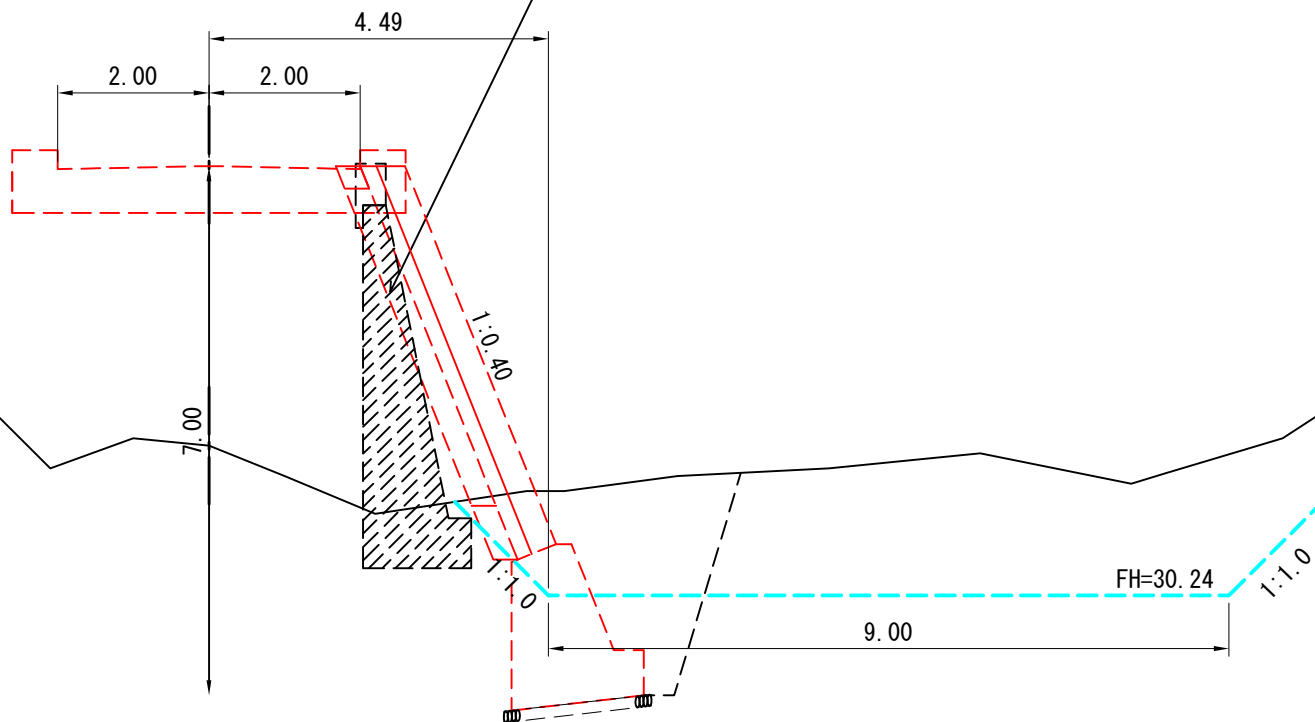
仮設工(河床整理)

90.5~108.2 擦り付け参考図

※測点100以降の河床整理については、橋梁部護岸工事を踏まえ、適宜実行する。

108.2

既設コンクリート擁壁 取壊し



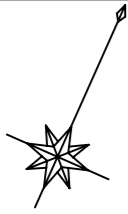
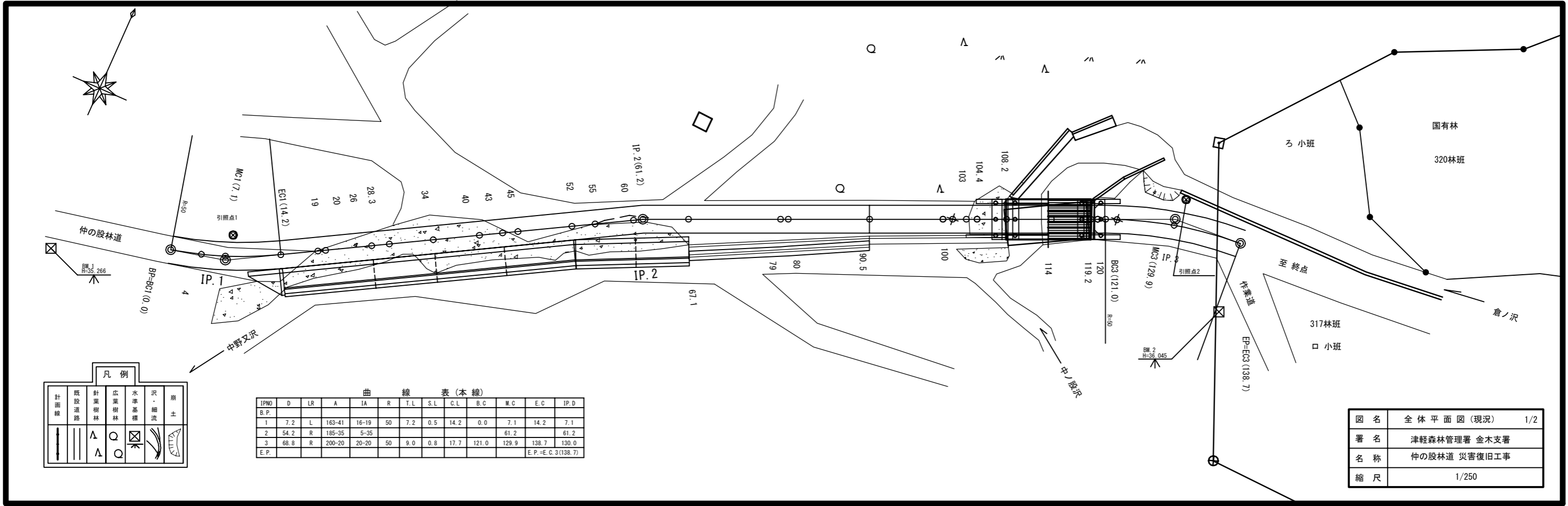
仲の股林道災害復旧工事

被災箇所 1号

(90.5~EP)

図 面 目 録 1/2

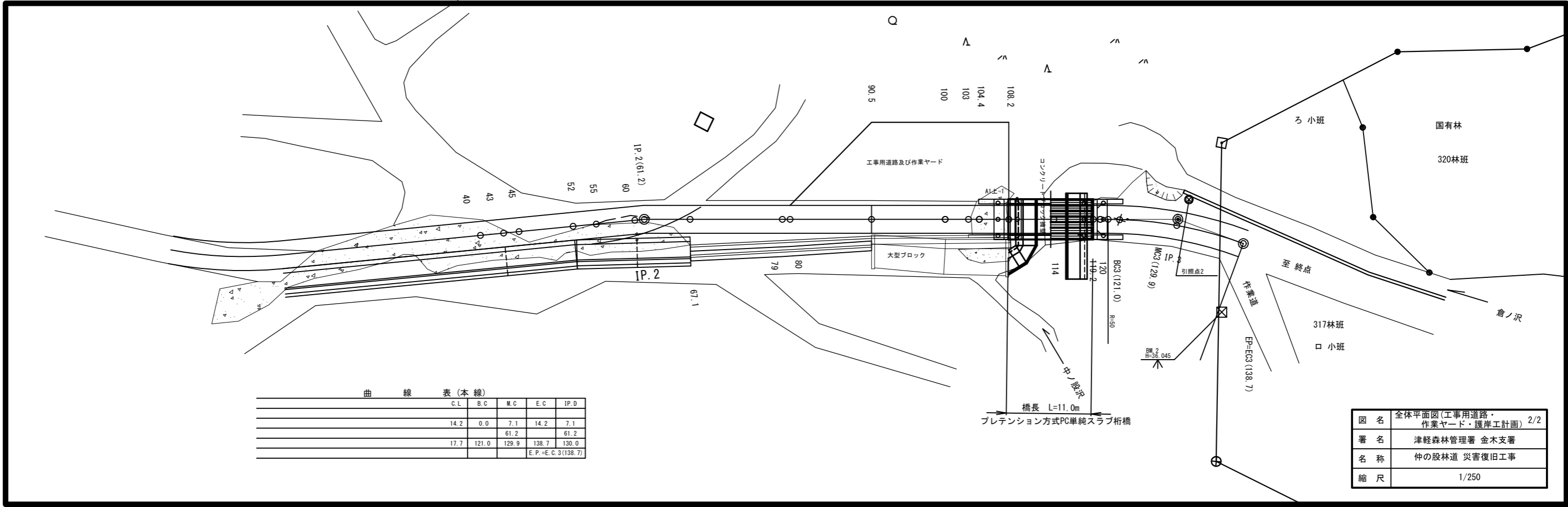
図 面 番 号	図 面 名 称	図 面 番 号	図 面 名 称
1/24	全体平面図 1/2	14/24	構造図 4/14
2/24	全体平面図 2/2	15/24	構造図 5/14
3/24	縦断面図	16/24	構造図 6/14
4/24	土工標準図 1/2	17/24	構造図 7/14
5/24	土工標準図 2/2	18/24	構造図 8/14
6/24	横断面図 1/5	19/24	構造図 9/14
7/24	横断面図 2/5	20/24	構造図 10/14
8/24	横断面図 3/5	21/24	構造図 11/14
9/24	横断面図 4/5	22/24	構造図 12/14
10/24	横断面図 5/5	23/24	構造図 13/14
11/24	構造図 1/14	24/24	構造図 14/14
12/24	構造図 2/14		
13/24	構造図 3/14		



凡例	
計画線	既設道路
針葉樹林	広葉樹林
水準基準	沢・細流
崩土	

IPNO	D	LR	A	IA	R	T.L	S.L	C.L	B.C	M.C	EC	IP.D
B.P.												
1	7.2	L	163-41	16-19	50	7.2	0.5	14.2	0.0	7.1	14.2	7.1
2	54.2	R	185-35	5-35						61.2		61.2
3	68.8	R	200-20	20-20	50	9.0	0.8	17.7	121.0	129.9	138.7	130.0
E.P.												E.P.=E.C.3(138.7)

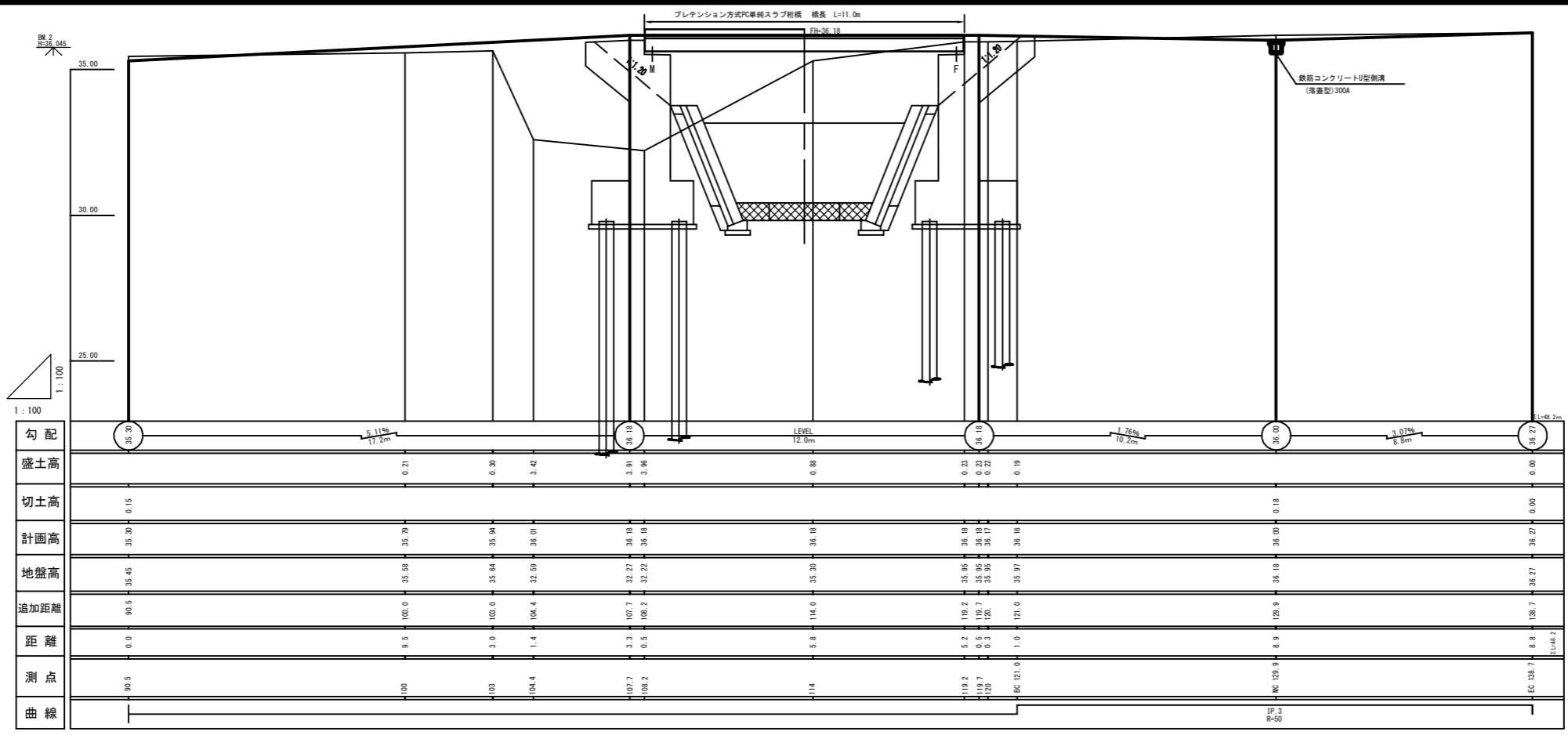
図名	全体平面図(現況)	1/2
署名	津軽森林管理署 金木支署	
名称	仲の股林道 災害復旧工事	
縮尺	1/250	



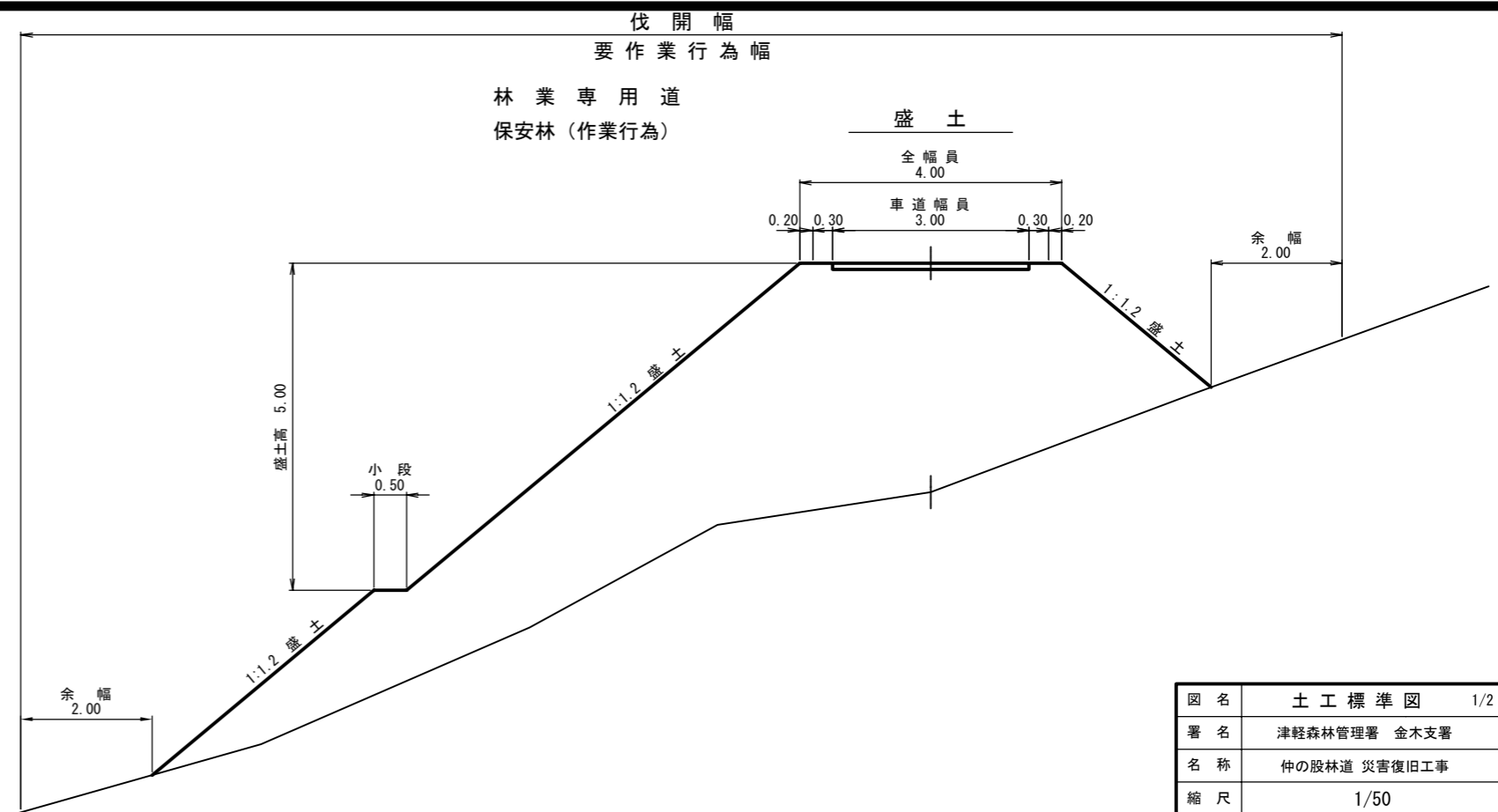
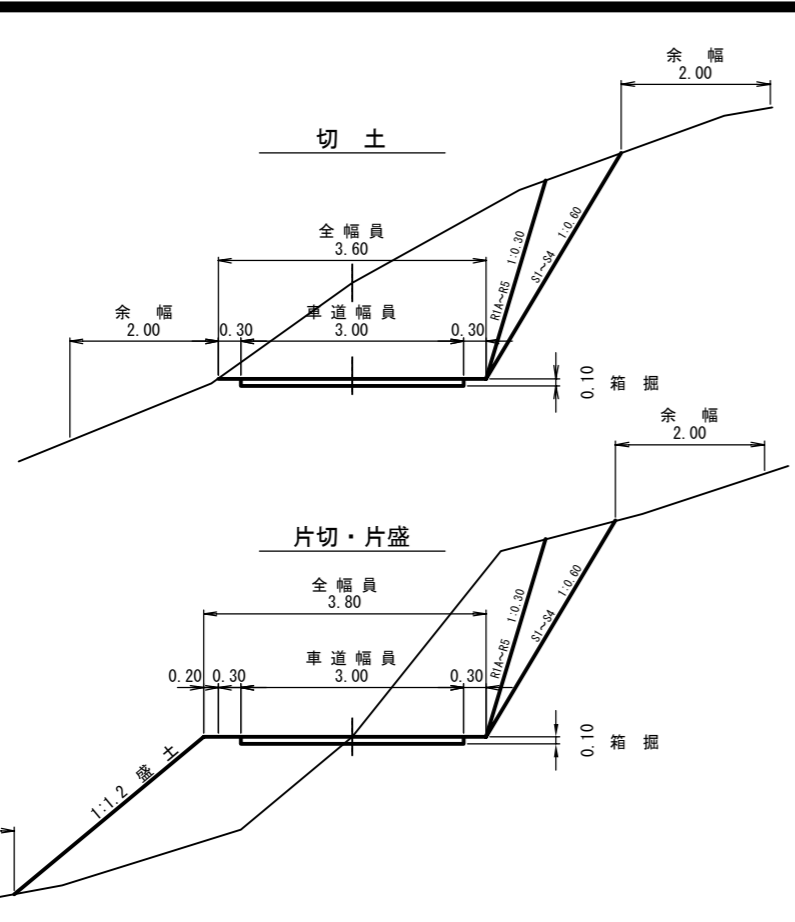
曲線表(本線)

C.L	B.C	M.C	E.C	IP.D
14.2	0.0	7.1	14.2	7.1
		61.2		61.2
17.7	121.0	129.9	138.7	130.0
E.P.=E.C.3(138.7)				

図名	全体平面図(工事用道路・作業ヤード・護岸工計画) 2/2
署名	津軽森林管理署 金木支署
名称	仲の股林道 災害復旧工事
縮尺	1/250



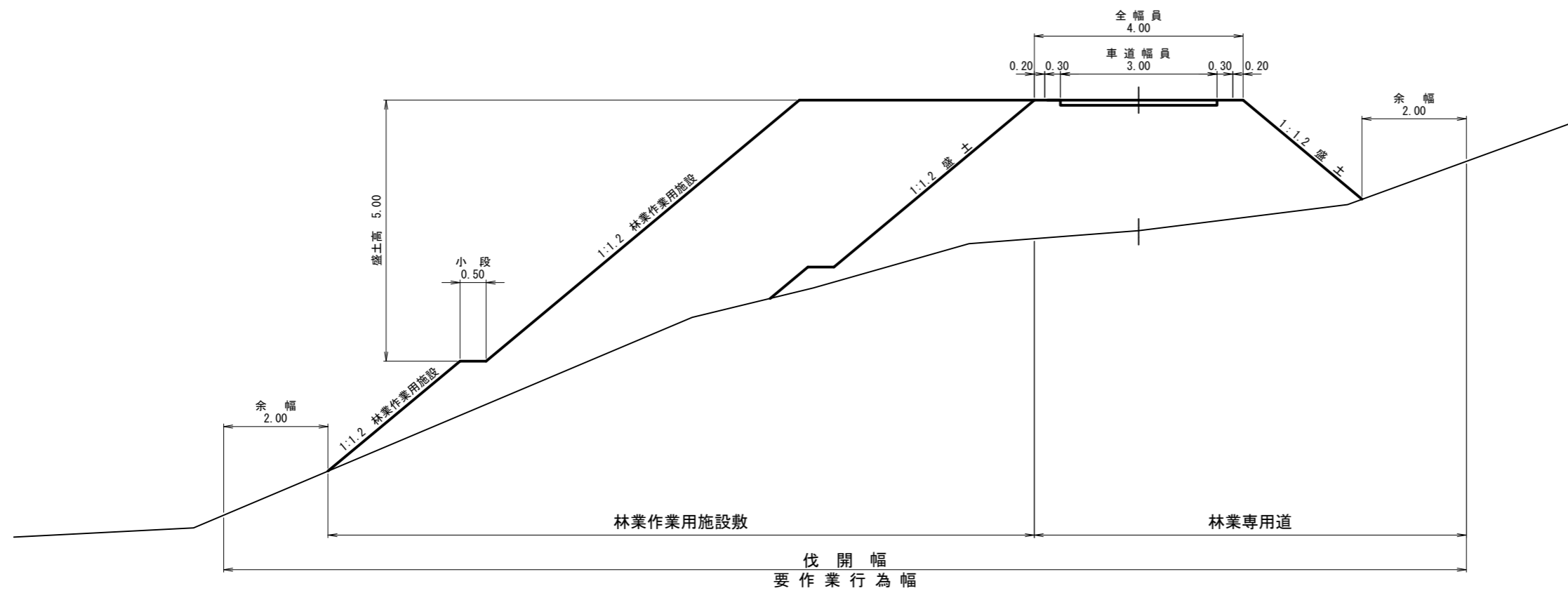
図名	縦断面図 1/1
署名	津軽森林管理署 金木支署
名称	仲の股林道 災害復旧工事
縮尺	縦1/100 横1/100



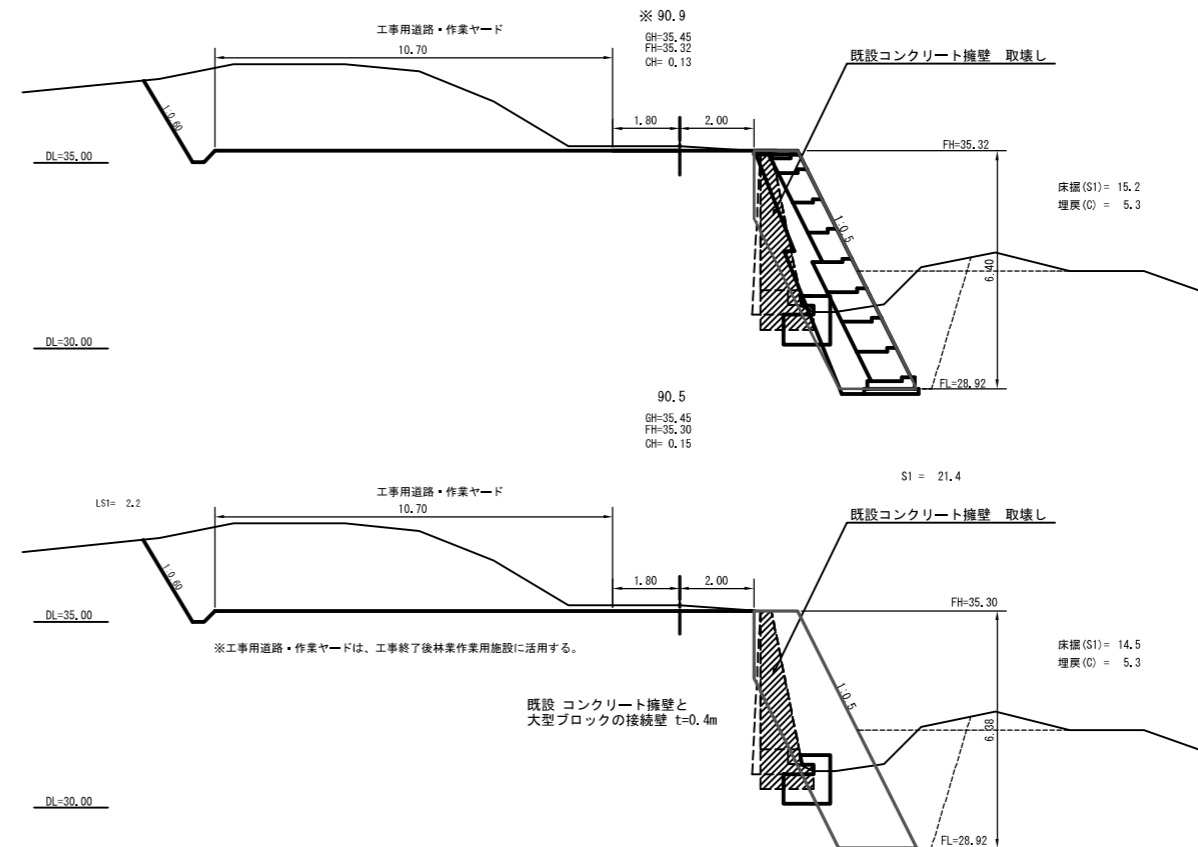
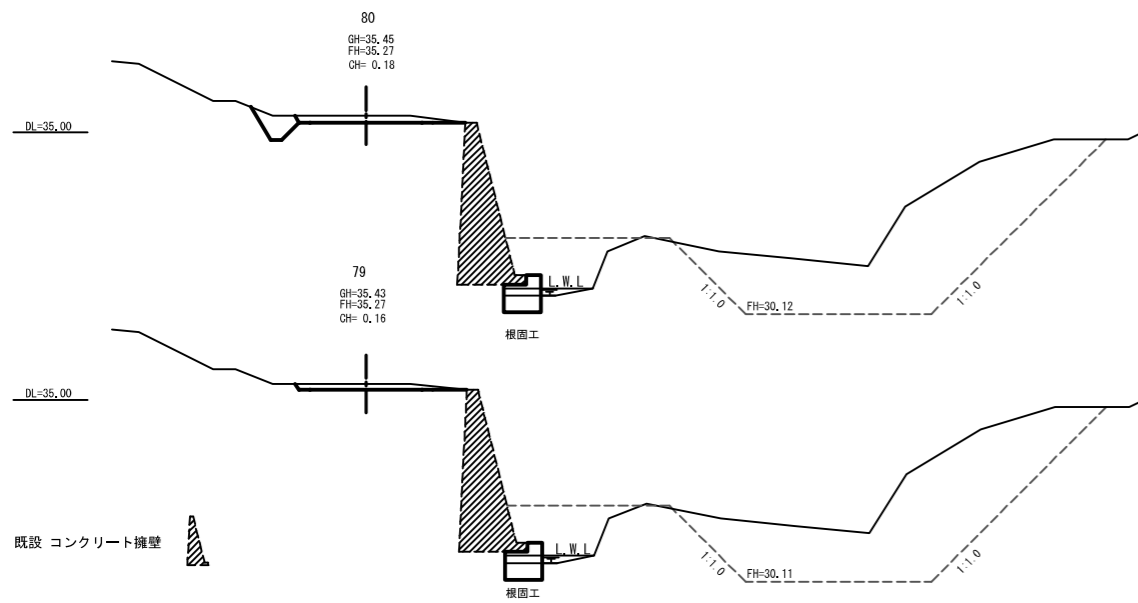
図名	土工標準図	1/2
署名	津軽森林管理署	金木支署
名称	仲の股林道 災害復旧工事	
縮尺	1/50	

保安林（作業行為）

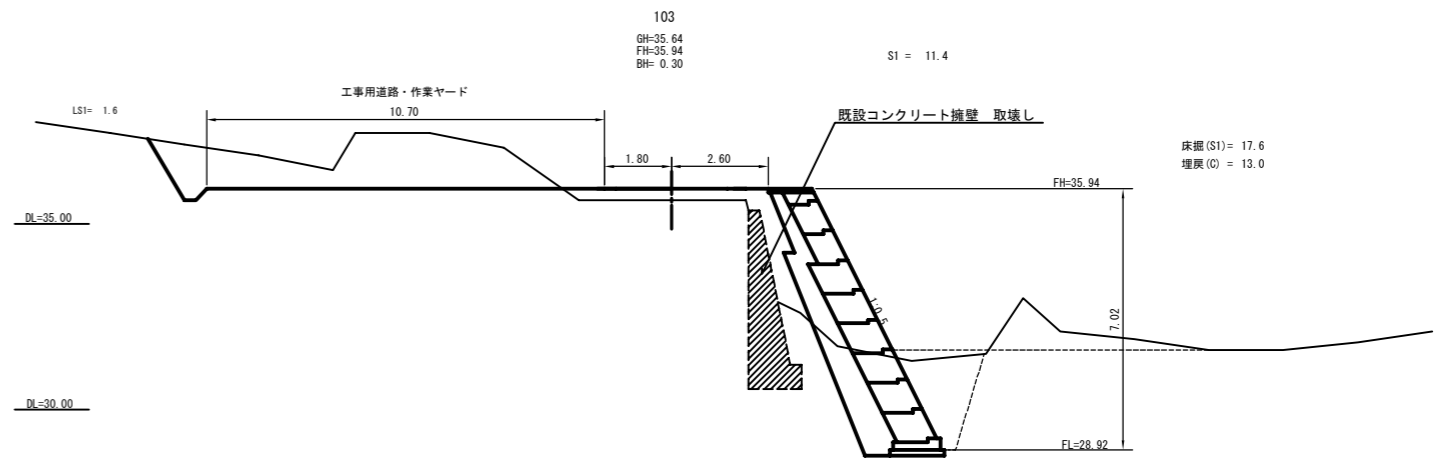
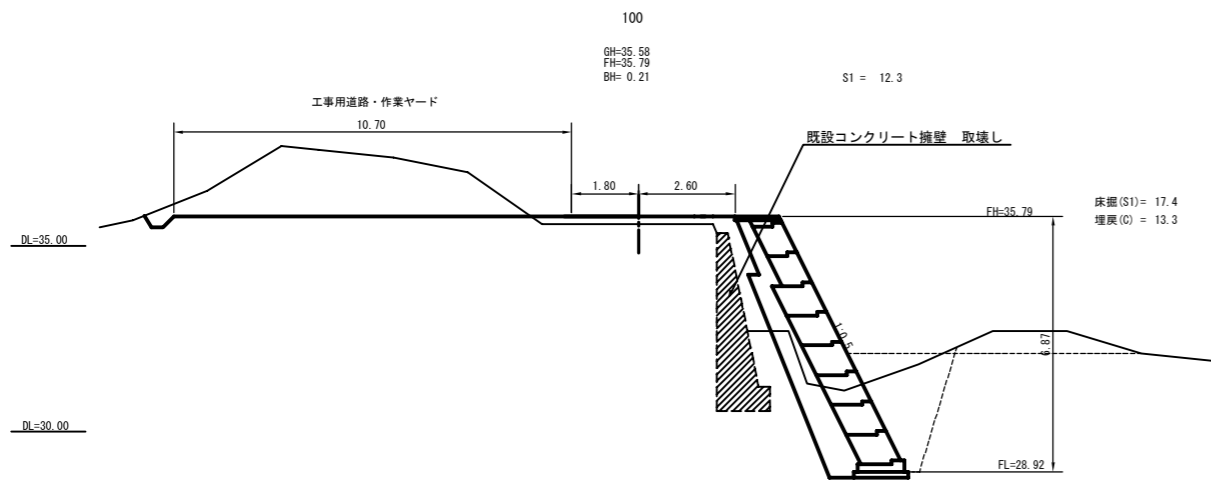
林業作業用施設



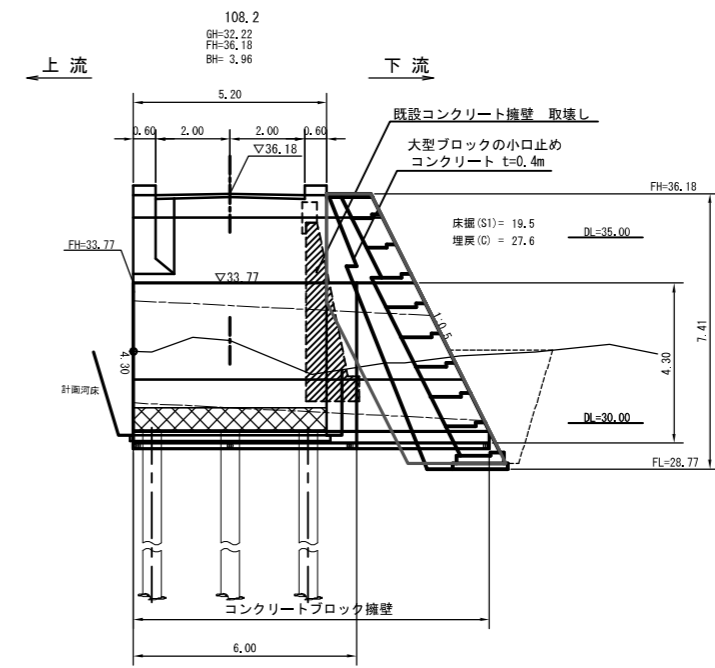
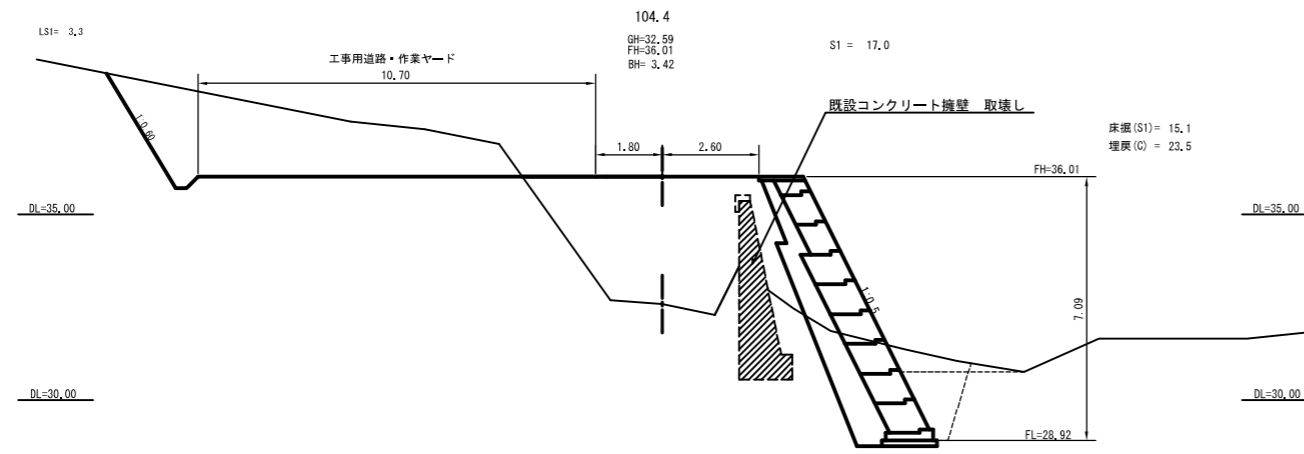
図名	土工標準図	2/2
署名	津軽森林管理署 金木支署	
名称	仲の股林道 災害復旧工事	
縮尺	1/50	



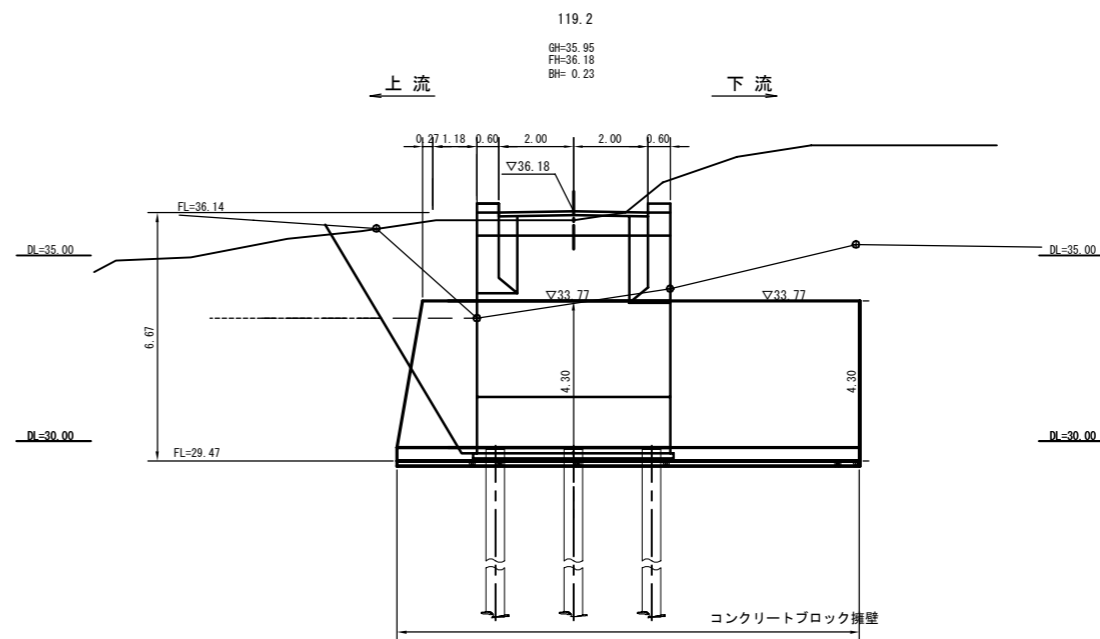
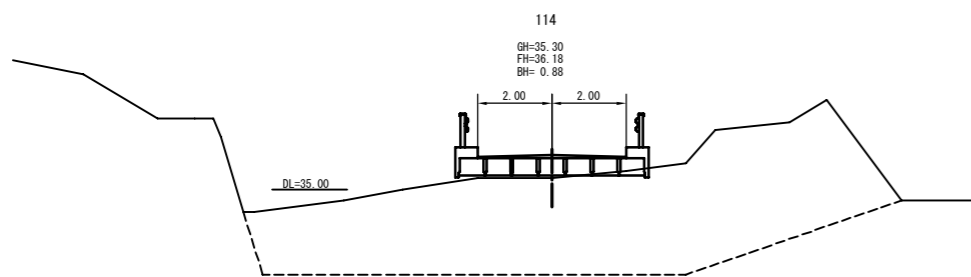
図名	横断面図	1/5
署名	津軽森林管理署	金木支署
名称	仲の股林道 災害復旧工事	
縮尺	1/100	79 ~ 90.9



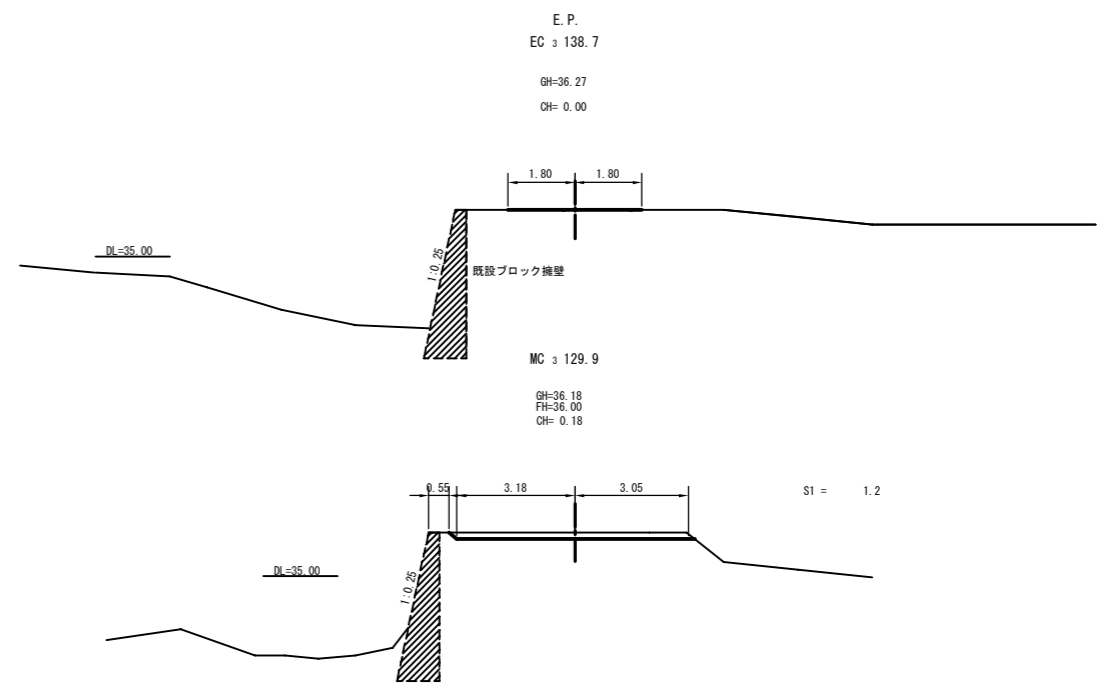
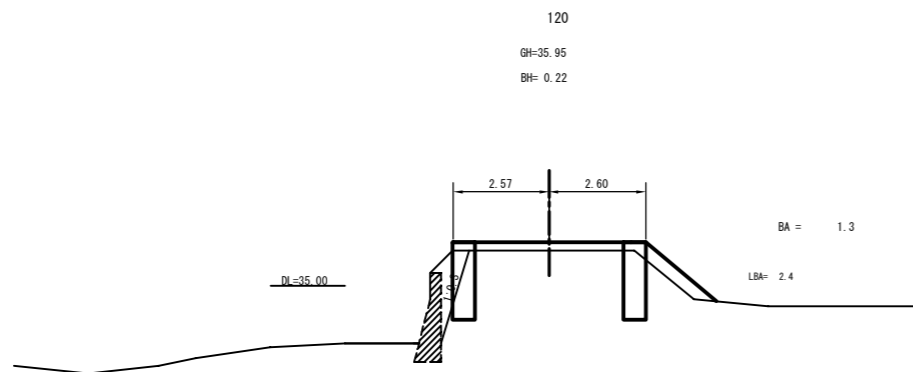
図名	横断面図	2/5
署名	津軽森林管理署 金木支署	
名称	仲の股林道 災害復旧工事	
縮尺	1/100	100 ~ 103



図名	横断面図	3/5
署名	津軽森林管理署	金木支署
名称	仲の股林道 災害復旧工事	
縮尺	1/100	104.4 ~ 108.2

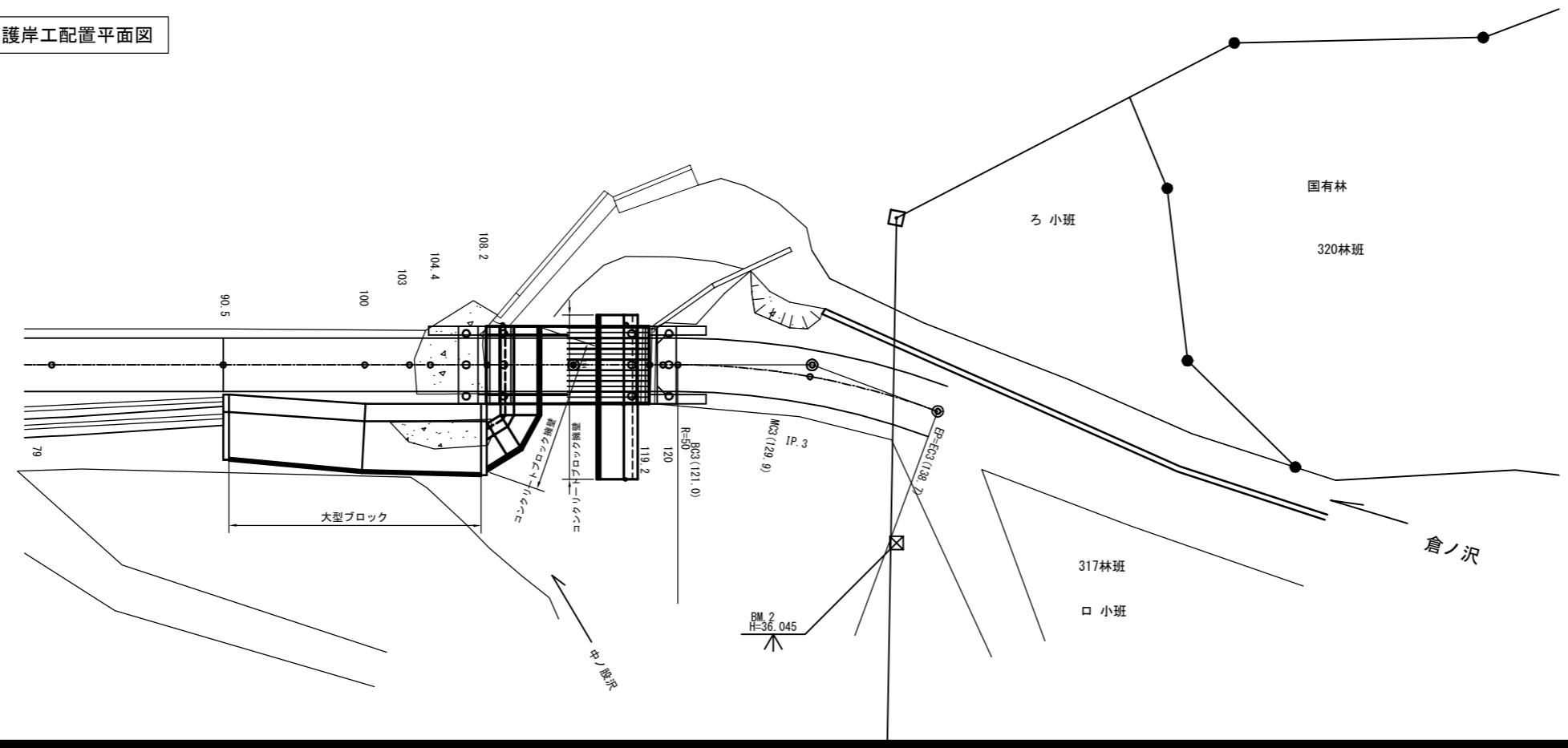


図名	横断面図	4/5
署名	津軽森林管理署 金木支署	
名称	仲の股林道 災害復旧工事	
縮尺	1/100	114 ~ 119.2



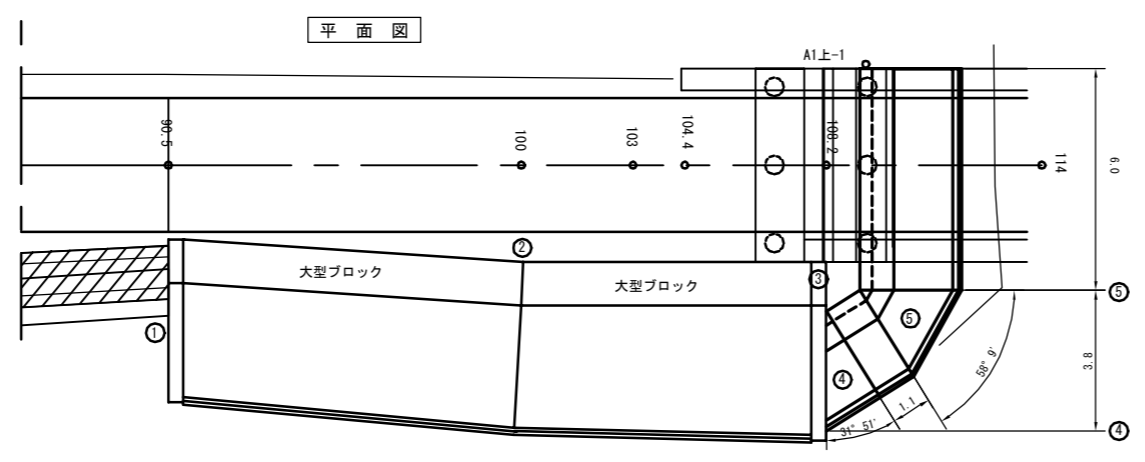
図名	横断面図	5/5
署名	津軽森林管理署 金木支署	
名称	仲の股林道 災害復旧工事	
縮尺	1/100	120 ~ E.P. EC 3 138.7

護岸工配置平面図



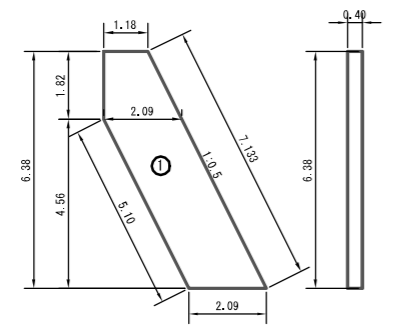
図名	構造図 1/14
署名	津軽森林管理署 金木支署
名称	仲の股林道 災害復旧工事
縮尺	1/200

A1橋台 上下流
護岸配置図



図名	構造図	3/14
署名	津軽森林管理署	金木支署
名称	仲の股林道 災害復旧工事	
縮尺	1/100	

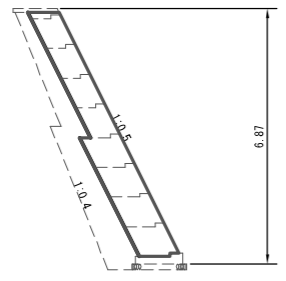
①
測点90.5~90.9右側
既設 コンクリート擁壁と
大型ブロックの接続壁 t=0.4m



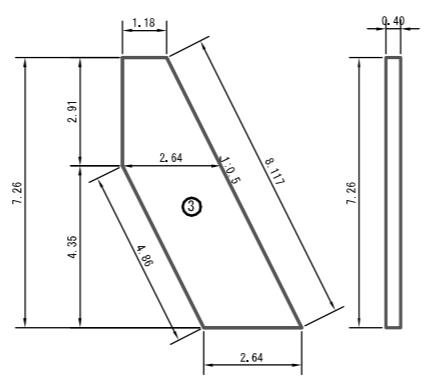
コンクリート	12.51m ² /m
型枠	14.05m ² /m
擁壁枠	12.51m ²

②
大型ブロック
目地材

A = 6.38 m² (CAD計測)

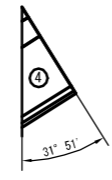


③
A1橋台下流側
測点107.8~108.2付近右側
大型ブロックの小口止め t=0.4m



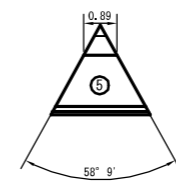
コンクリート	5.56m ² /m
型枠	15.89m ² /m
擁壁枠	5.56m ²

④
A1橋台下流側
護岸ブロック擁壁の
外側屈曲(端部)



ブロック面積	3.98m ²
裏コンクリート	0.64m ²
裏込砂	0.53m ²
埋戻し(C)	0.78m ²
基礎コンクリート	0.06m ²
基礎砕石	0.16m ²

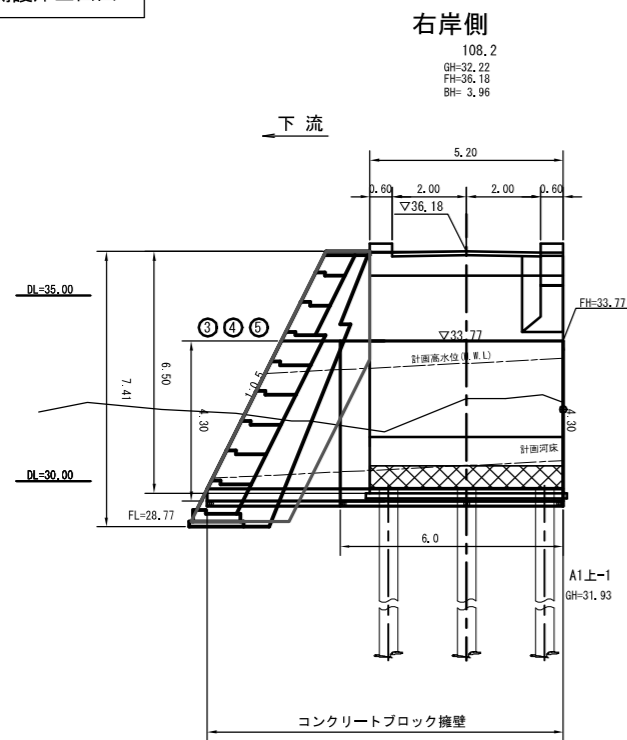
⑤
A1橋台下流側
護岸ブロック擁壁の
外側屈曲



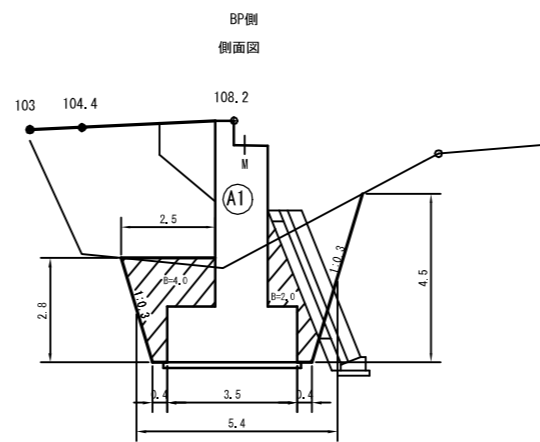
ブロック面積	7.04m ²
裏コンクリート	1.02m ²
裏込砂	0.84m ²
埋戻し(C)	1.25m ²
基礎コンクリート	0.08m ²
基礎砕石	0.26m ²

図名	構造図 4/14
署名	津軽森林管理署 金木支署
名称	仲の股林道 災害復旧工事
縮尺	1/100

A1橋台正面図
上流側護岸正面図

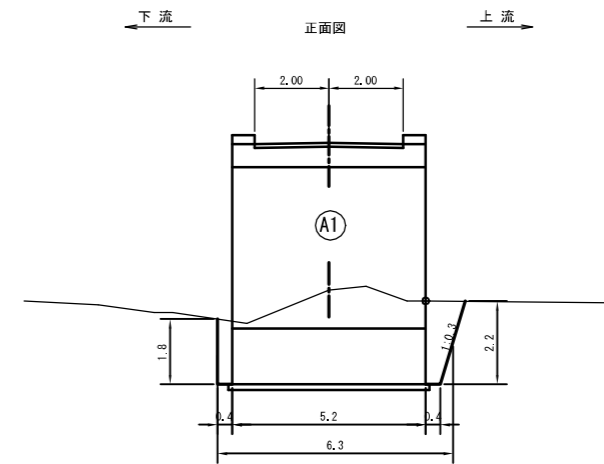


A1橋台床掘算定図



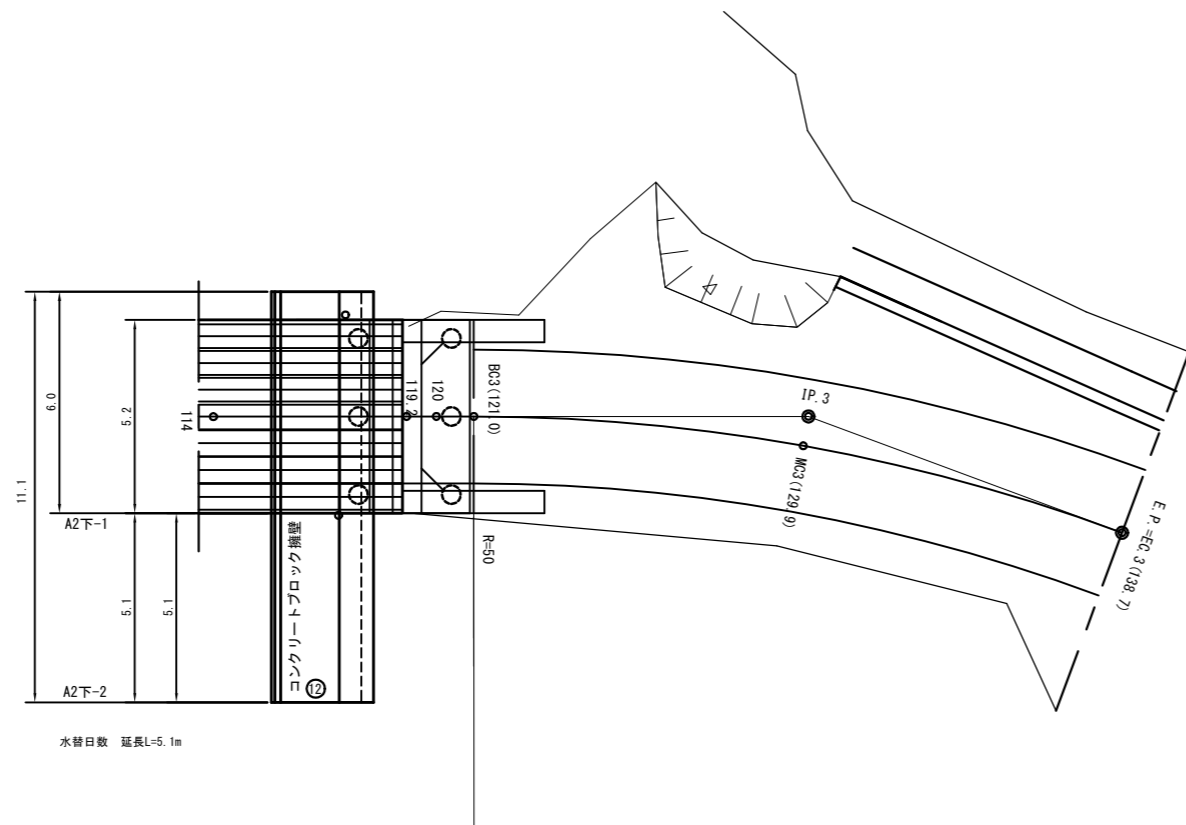
- ① 平均高
 $H = \frac{2.8 + 4.5 + 1.8 + 2.2}{4} = 2.8m$
- ② 床掘 (S1)
 $S1V = 5.4 \times 6.3 \times 2.8 = 95.3m^3$
- ③ 埋戻 (C)
 $V = (4.0 + 2.0) \times 6.3 = 37.8m^3$

右岸側



図名	構造図	5/14
署名	津軽森林管理署 金木支署	
名称	仲の股林道 災害復旧工事	
縮尺	1/100	

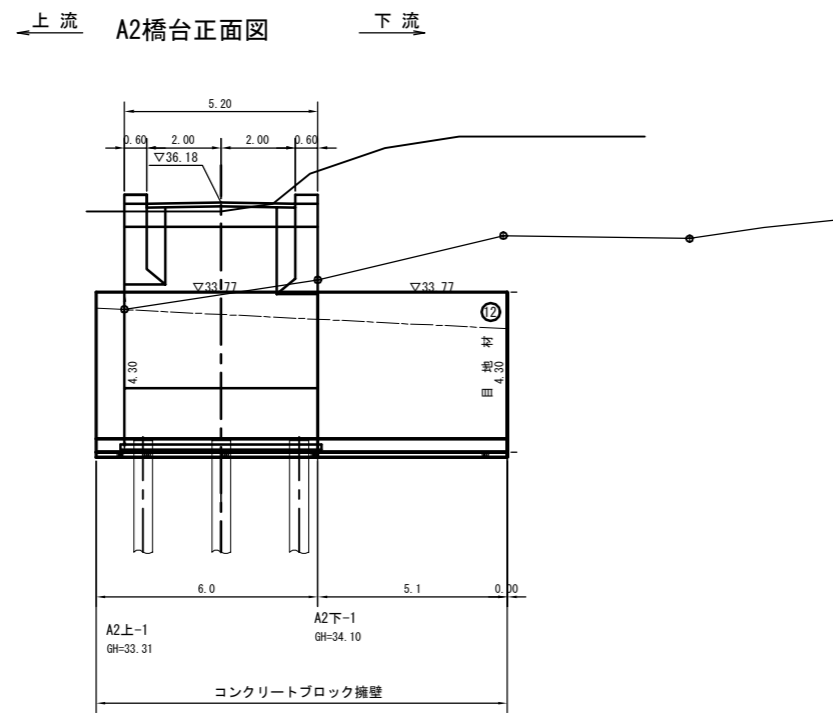
A2橋台上下流
下流護岸配置図



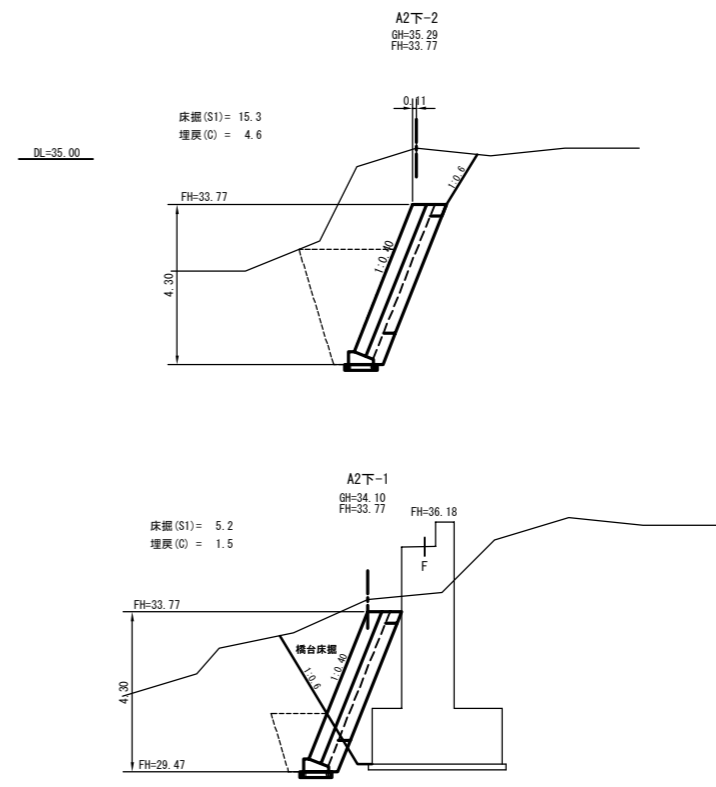
水替日数 延長1=5.1m

図名	構造図
署名	津軽森林管理署 金木支署
名称	仲の股林道 災害復旧工事
縮尺	1/100

A2橋台正面図
下流護岸正面図

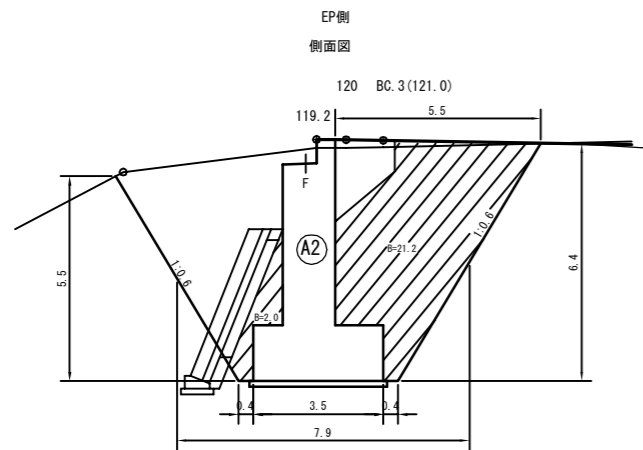


A2橋台左岸側下流
護岸床掘図

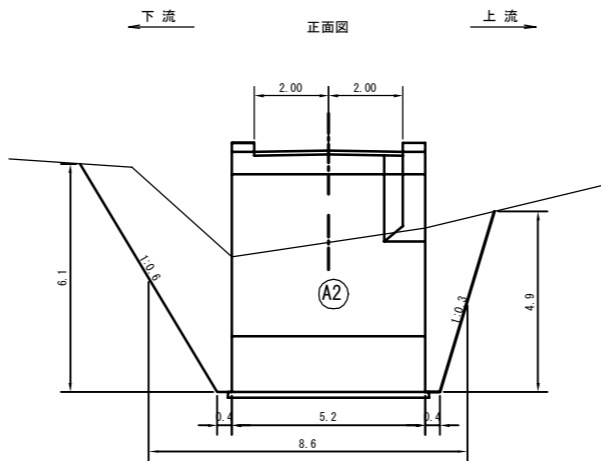


図名	構造図	7/14
署名	津軽森林管理署 金木支署	
名称	仲の股林道 災害復旧工事	
縮尺	1/100	

A2橋台床掘算定図

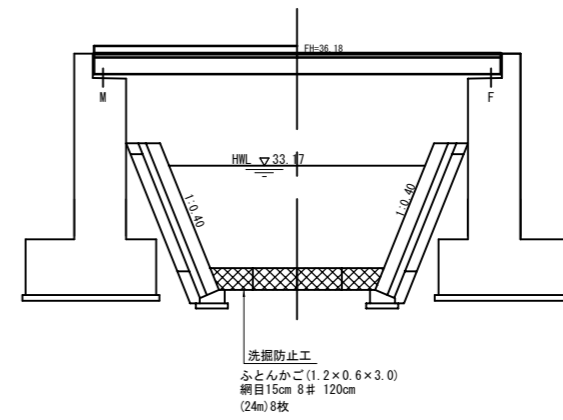


左岸側



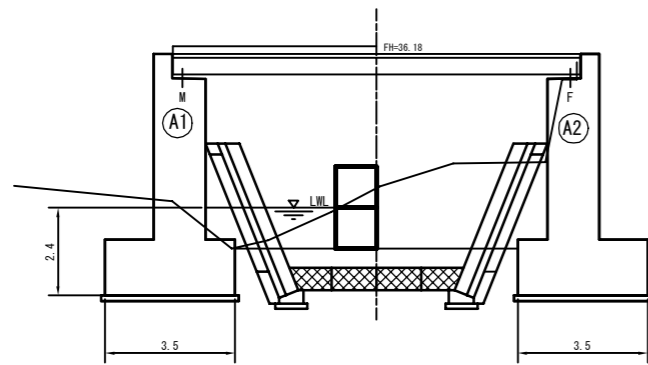
- ① 平均高
 $H = \frac{5.5 + 6.4 + 6.1 + 4.9}{4} = 5.7\text{m}$
- ② 床掘 (S1)
 $S1V = 7.9 \times 8.6 \times 5.7 = 387.3\text{m}^3$
- ③ 埋戻 (C)
 $V = (2.0 + 21.2) \times 8.6 = 199.5\text{m}^3$

洗掘防止ふとんかご



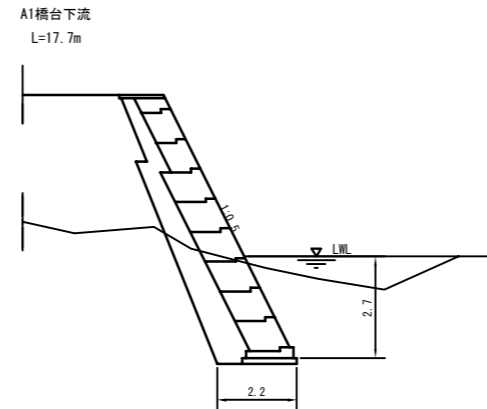
図名	構造図	8/14
署名	津軽森林管理署 金木支署	
名称	仲の股林道 災害復旧工事	
縮尺	1/100	

A1・A2橋台
水替日数算定図



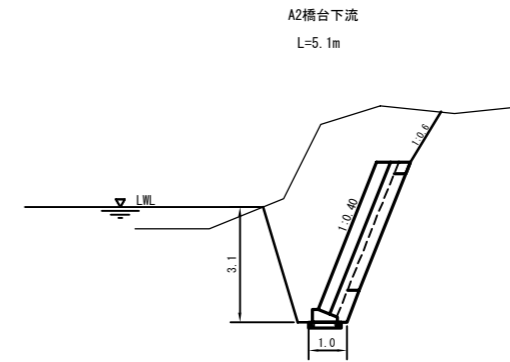
A1橋台・A2橋台共通
水替工日数算定表より（最大値を採用）
A1橋台及びA2橋台 下幅：L=3.5m 水深：H=2.4m
最大値（橋台1基当たり）下幅：3.6m 水深：2.0m
上記から5.09日を算定

A1橋台側
水替日数算定図



水替工日数算定表（擁壁m当たり）より
下幅：L=2.2m 水深：H=2.0m（最大値）
上記から0.73日を算定
 $0.73 \times 17.7m = 12.92$ 日

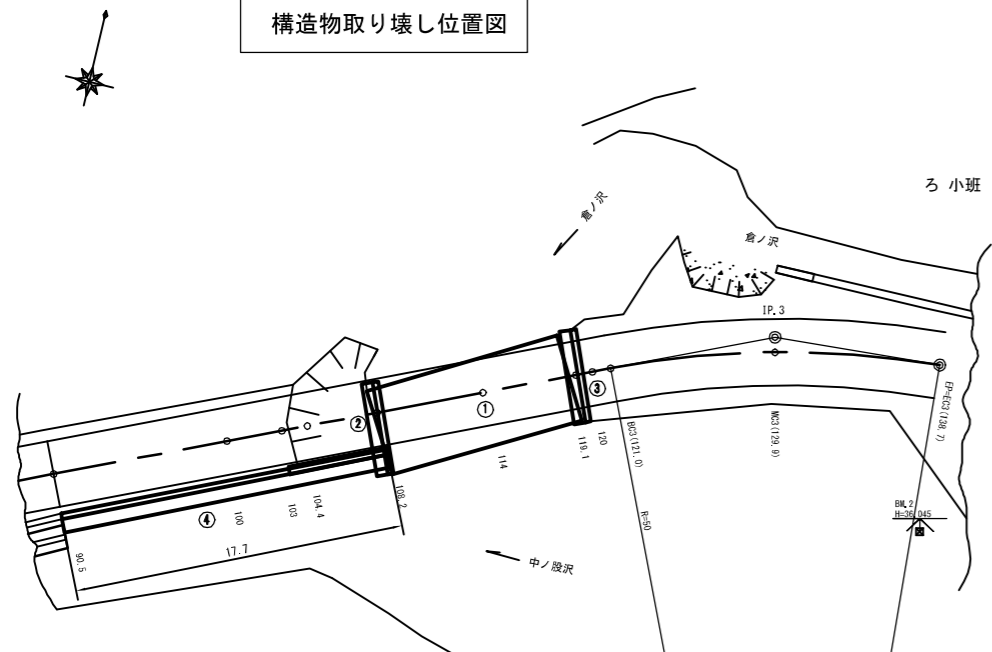
A2橋台側
水替日数算定図



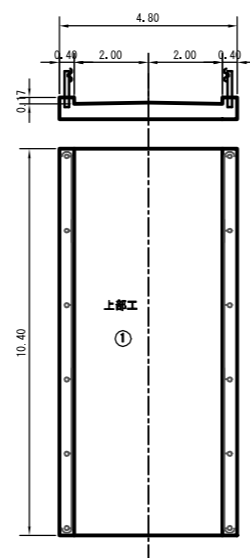
水替工日数算定表（擁壁m当たり）より
下幅：L=1.0m 水深：H=3.1m
上記から0.53日を算定
 $0.53 \times 5.1m = 2.70$ 日

図名	構造図 9/14
署名	津軽森林管理署 金木支署
名称	仲の股林道 災害復旧工事
縮尺	1/100

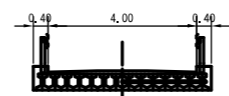
構造物取り壊し位置図



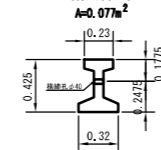
A1橋台上流



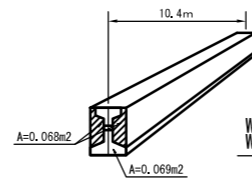
上部工断面図



主桁断面図



主桁クレーン撤去 1本当り最重量

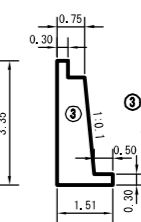
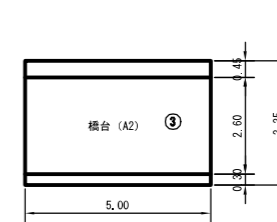


$$W1 = 0.068 \times 10.40 \times 2.35 = 1.66 \text{ t}$$

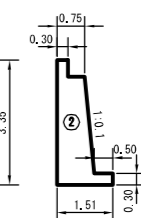
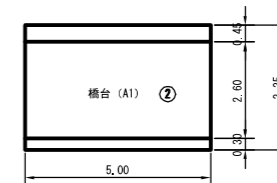
$$W2 = 0.069 \times 10.40 \times 2.50 = 1.79 \text{ t}$$

$$W = 3.45 \text{ t/本}$$

$$\Sigma W = 3.45 \times 14 \text{本} = 48.30 \text{ t}$$

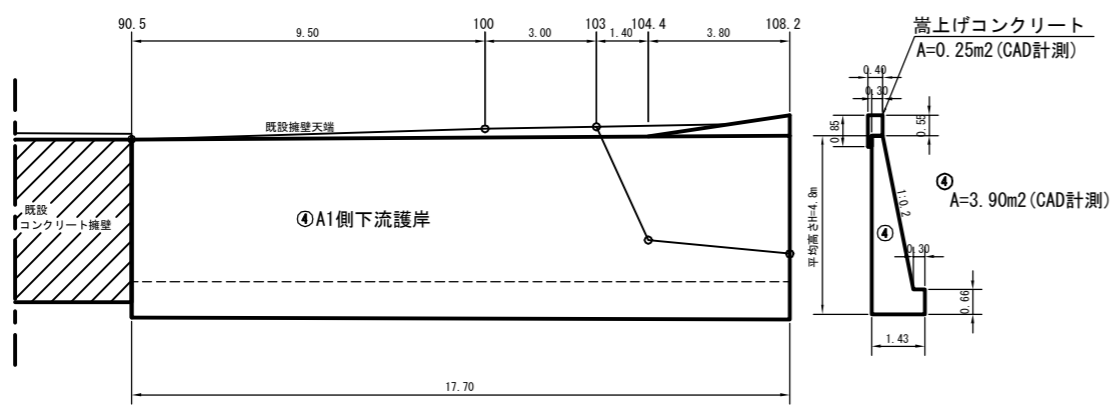


A=2.88m² (CAD計測)

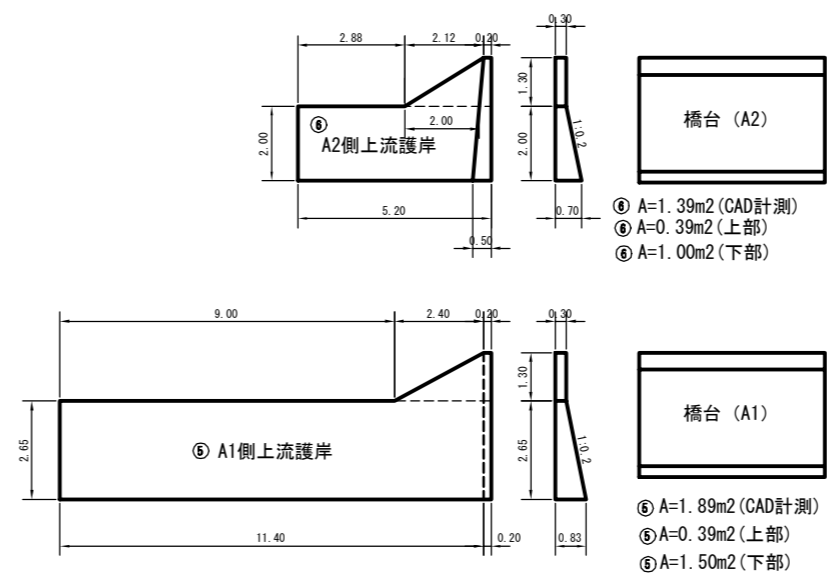


A=2.88m² (CAD計測)

図名	構 造 図 10/14
署名	津軽森林管理署 金木支署
名称	仲の股林道 災害復旧工事
縮尺	1/100

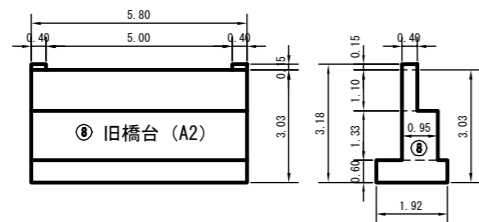


※ フーチング形状については想定図である。



図名	構造図 11/14
署名	津軽森林管理署 金木支署
名称	仲の股林道 災害復旧工事
縮尺	1/100

⑥ A=2.86m² (CAD計測) 地覆除く

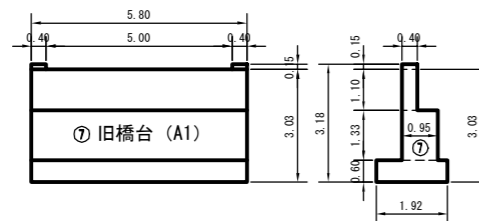


⑨ コンクリート基礎杭

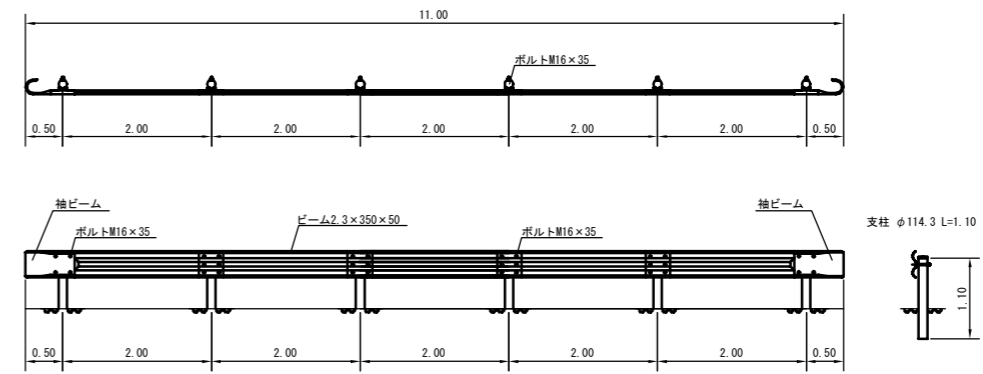
$V=0.15 \times 0.15 \times 3.14 \times 2.0$
 $V=0.14\text{m}^3$

*両岸目視で、計8本

⑦ A=2.86m² (CAD計測) 地覆除く



橋梁ガードレール撤去



- ※ 参考重量 16.4kg/m
- ※ 参考重量 ビーム17.1kg/枚
- ※ 参考重量 支柱13.6kg/本
- ※ 参考重量 フラケット0.9kg/枚
- ※ 参考重量 軸ビーム6.5kg/枚
- ※ 参考重量 継手ボルト0.13kg/個

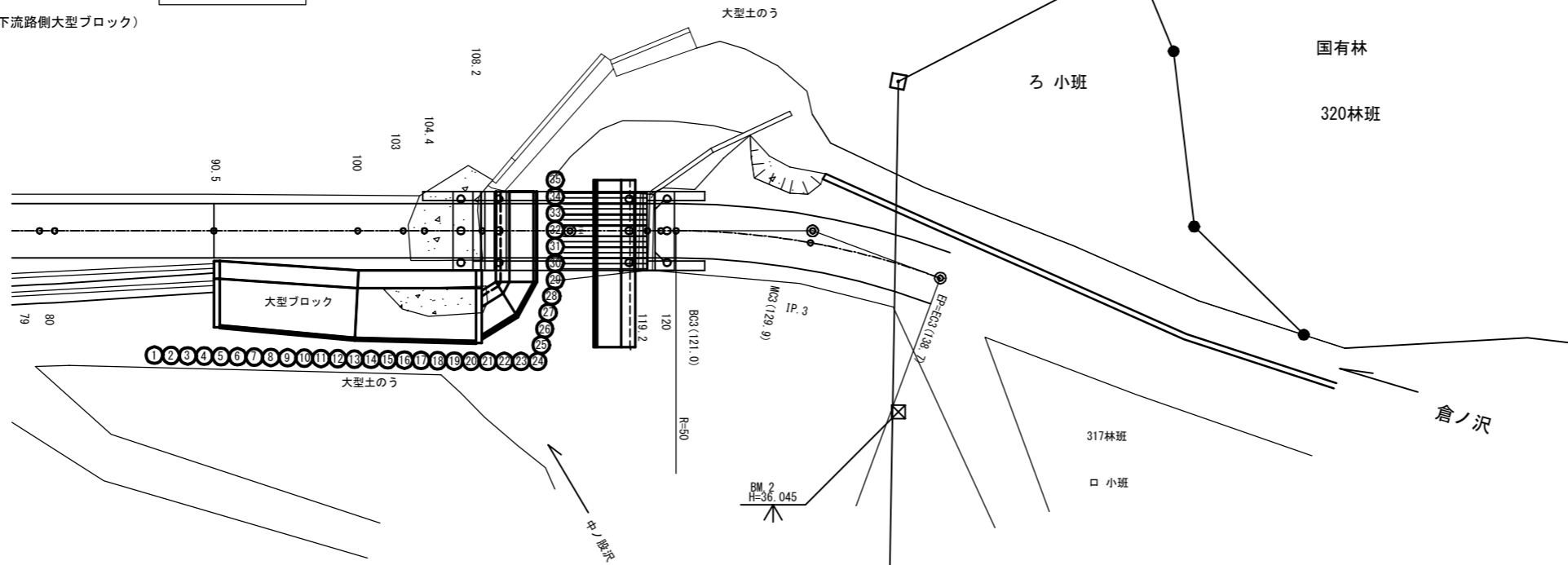
図名	構造図 12/14
署名	津軽森林管理署 金木支署
名称	仲の股林道 災害復旧工事
縮尺	1/100

仮締切工配置平面図

回転杭φ500施工・橋台本体施工後
 コルゲートパイプ撤去後
 A1橋台（右岸下流路側大型ブロック）

回転杭・橋台施工
 大型土のう配置72袋
 転用

仮締切工数量
 転用
 大型土のう
 35×1段 = 35袋



図名	構造図 13/14
署名	津軽森林管理署 金木支署
名称	仲の股林道 災害復旧工事
縮尺	1/200

仮締切工配置平面図

回転杭φ500施工・橋台本体施工後
コルゲートパイプ撤去後

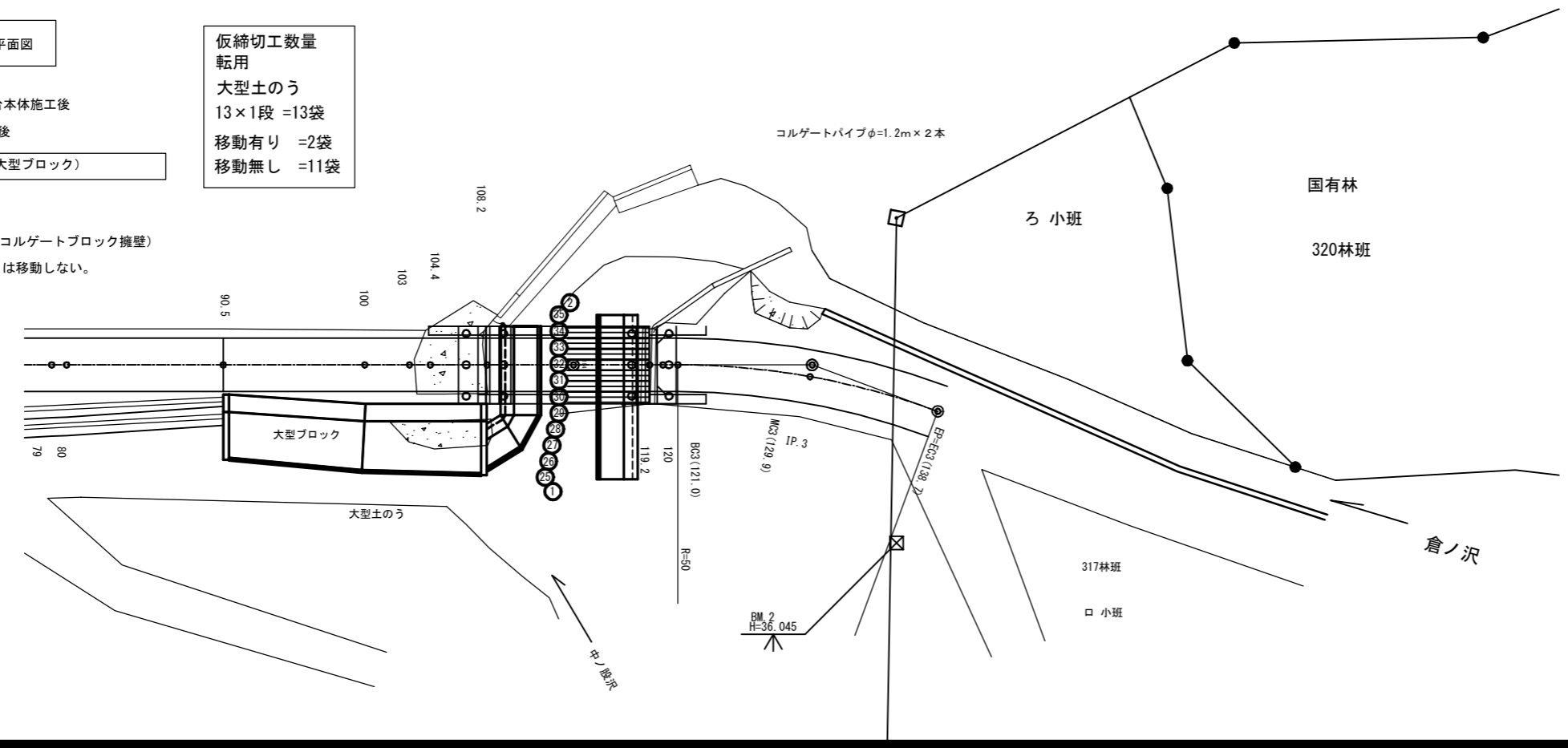
A1橋台（右岸下流路側大型ブロック）

上記施工終了後
A2橋台（左岸下流護岸工コルゲートブロック擁壁）
大型土のう25~35（11袋）は移動しない。

仮締切工数量

転用
大型土のう
13×1段 =13袋
移動有り =2袋
移動無し =11袋

コルゲートパイプφ=1.2m×2本

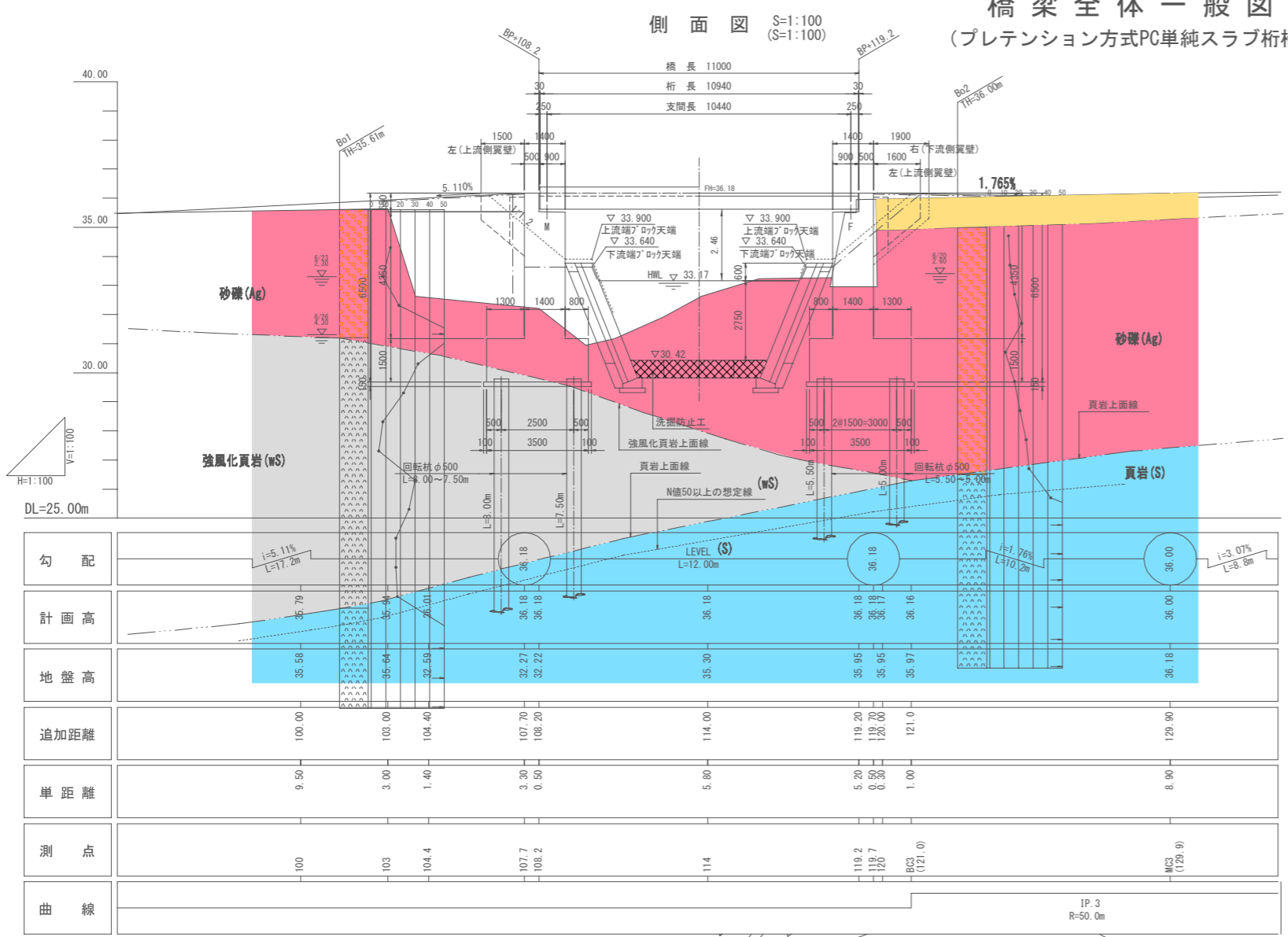


図名	構造図 14/14
署名	津軽森林管理署 金木支署
名称	仲の股林道 災害復旧工事
縮尺	1/200

図 面 目 録 2/2

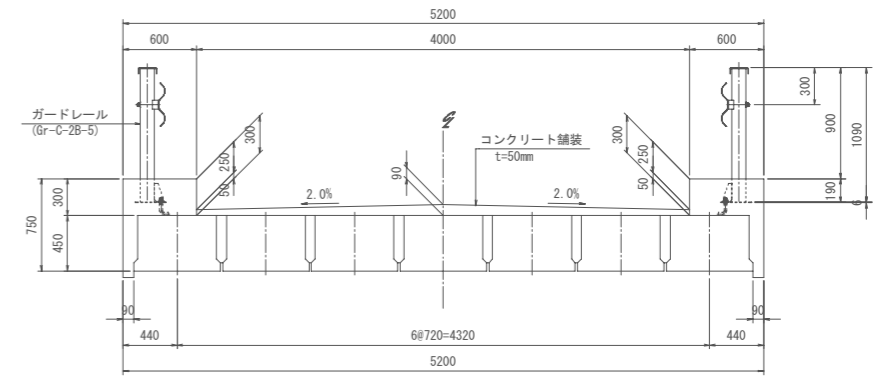
図 面 番 号	図 面 名 称	図 面 番 号	図 面 名 称
1/28	橋梁全体一般図	15/28	A1橋台配筋図(その4)
2/28	上部工構造一般図	16/28	A1橋台配筋図(その5)
3/28	主桁配筋図	17/28	A2橋台配筋図(その1)
4/28	地覆配筋図	18/28	A2橋台配筋図(その2)
5/28	支承詳細図	19/28	A2橋台配筋図(その3)
6/28	伸縮装置詳細図	20/28	A2橋台配筋図(その4)
7/28	排水装置詳細図	21/28	A2橋台配筋図(その5)
8/28	防護柵詳細図	22/28	A2橋台配筋図(その6)
9/28	上部工架設要領図(参考図)	23/28	A1橋台回転杭φ500詳細図
10/28	A1橋台構造一般図	24/28	A2橋台回転杭φ500詳細図
11/28	A2橋台構造一般図	25/28	回転杭φ500施工仮設図(その1)
12/28	A1橋台配筋図(その1)	26/28	回転杭φ500施工仮設図(その2)
13/28	A1橋台配筋図(その2)	27/28	各工事工程断面図(その1)
14/28	A1橋台配筋図(その3)	28/28	各工事工程断面図(その2)

橋梁全体一般図 (プレテンション方式PC単純スラブ桁橋)

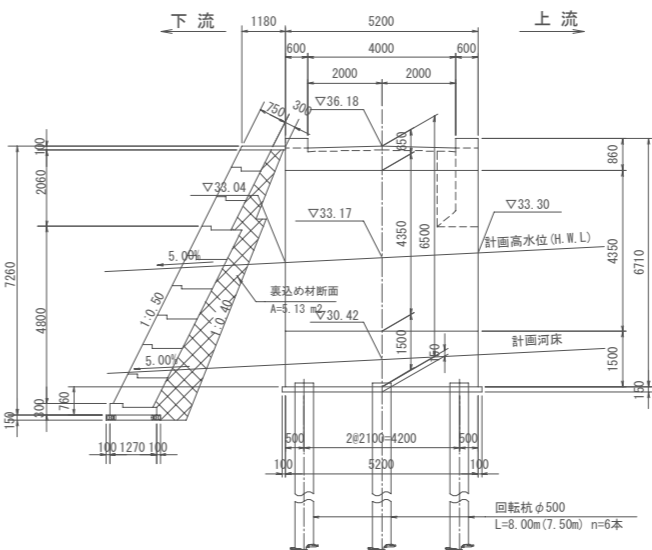


勾配	i=5.11% L=17.2m										
計画高	35.58	35.64	35.64	35.64	35.64	35.64	35.64	35.64	35.64	35.64	35.64
地盤高	35.58	35.64	35.64	35.64	35.64	35.64	35.64	35.64	35.64	35.64	35.64
追加距離	100.00	103.00	104.40	107.70	108.20	114.00	119.20	119.70	120.00	121.00	129.90
単距離	9.50	3.00	1.40	3.30	0.50	5.80	5.20	0.50	0.30	1.00	8.90
測点	100	103	104.4	107.7	108.2	114	119.2	119.7	120	121.0	MC3 (129.9)
曲線	IP.3 R=50.0m										

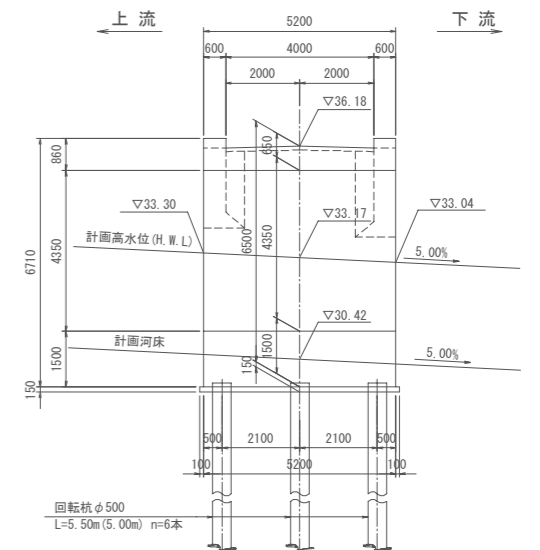
上部工断面図 S=1:30
(S=1:60)



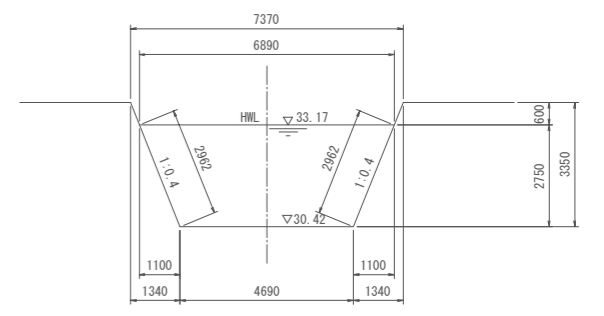
A1橋台正面図 S=1:100
(S=1:200)



A2橋台正面図 S=1:100
(S=1:200)



計画河川断面
(林道中心) S=1:100
(S=1:200)



粗度係数(n)=0.040
 流下断面(A)=15.9m²=(6.89+4.69)/2×2.75
 流辺(P)=2.96+4.69+2.96=10.6m
 径深(R)=A/P=15.9/10.6=1.500
 河床勾配(I)=1/20(5%)
 流速(V)=1/0.04×0.050^{1/2}×1.500^{2/3}=7.33m/s
 許容流量(Q2)=15.9×7.33=116.5m³/s
 計画洪水流量(Q1)=36.0m³/s
 安全率=Q2/Q1=3.2

設計条件

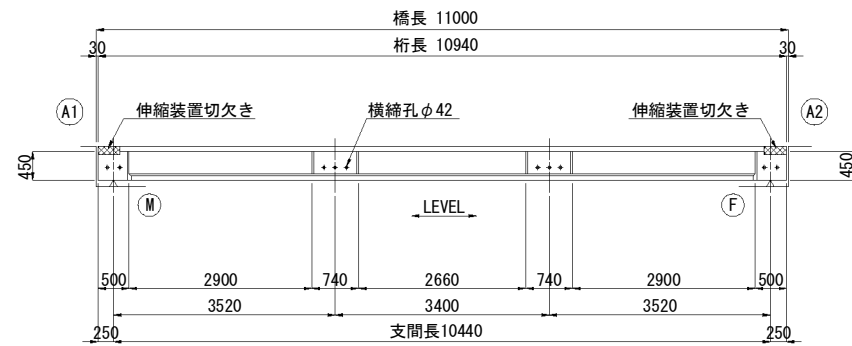
路線名	仲の股林道	
林道区分	自動車道	
級別区分	自動車2級	
設計速度	V=30km/h	
平面線形	R=∞	
縦断勾配	i=Level	
横断勾配	i=2.0%(直線)	
橋長(支間長)	11.000m (10.440m)	
幅員	有効 4.000m、総幅 5.200m	
斜角	θ = 90° - 00' - 00"	
活荷重	A活荷重	
雪荷重	Sw=5.60kN/m ² 、積雪深 H=1.60m	
設計震度	A1:Kh=0.20, A2:Kh=0.21 (B2区分Cz=0.85, II種地盤)	
形式	プレテンション方式PC単純床版橋	
材料強度	コンクリート	主桁 σ _{ck} =50N/mm ² 間詰 σ _{ck} =30N/mm ²
	PC鋼材	主桁 PC鋼より線1S12.7B (SWPR7BL) 横桁 PC鋼より線1S17.8 (SWPR19L)
形式	鉄筋	SD295 SD345
	基礎	逆T式橋台
材料強度	コンクリート	σ _{ck} =24N/mm ²
	鉄筋	SD345
支持地盤	頁岩	
適用基準	道路橋示方書 I~V (平成29年11月)	

注) ()内の縮尺は、A3サイズ印刷時を示す。

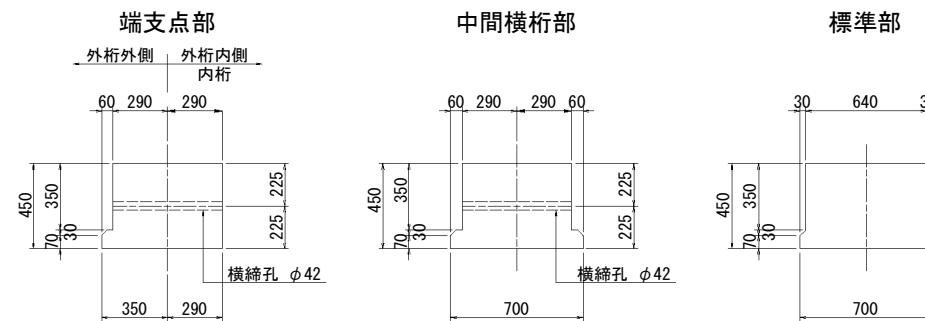
図名	橋梁全体一般図
署名	津軽森林管理署 金木支署
名称	仲の股林道 災害復旧工事
縮尺	図示

上部工構造一般図

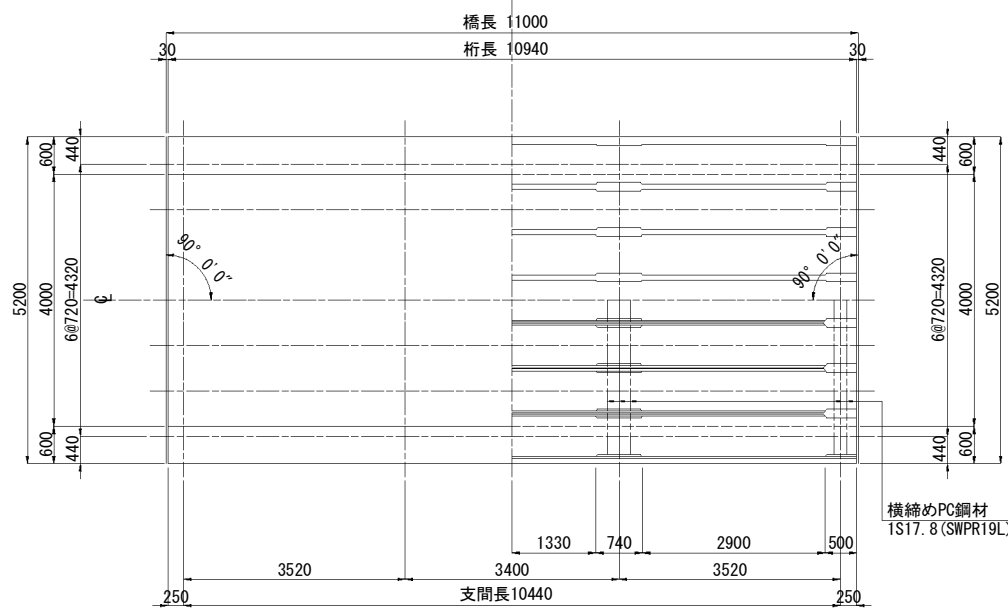
側面図 S=1:60
(S=1:120)



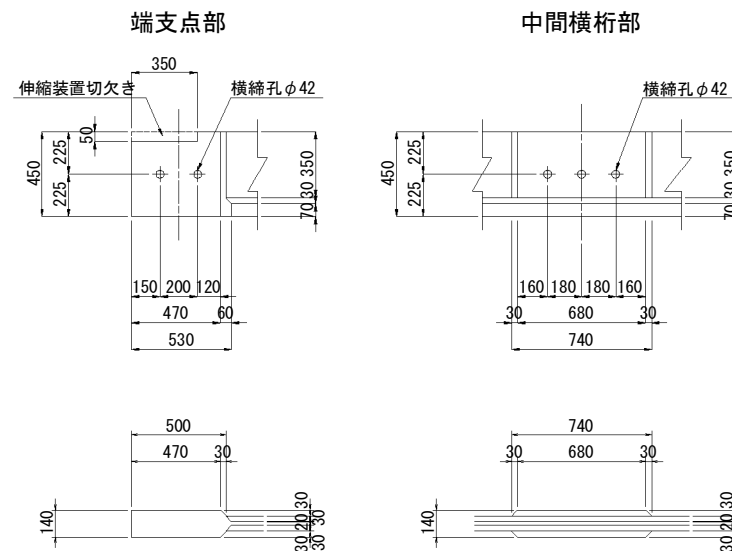
主桁断面図 S=1:20
(S=1:40)



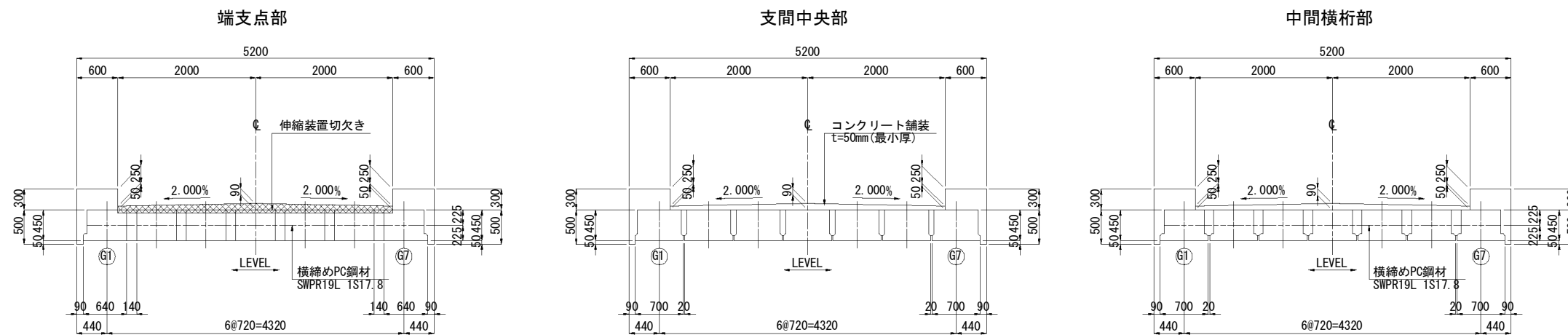
平面図 S=1:60
(S=1:120)



横締位置詳細図 S=1:20
(S=1:40)



断面図 S=1:40
(S=1:80)



設計条件

種別	プレストレストコンクリート道路橋
形式	プレテンション方式PC単床版橋
活荷重	A活荷重
橋長	11.000 m (道路中心線上)
桁長	10.940 m (道路中心線上)
支間	10.440 m (道路中心線上)
有効幅員	4.000m(車道)
斜角	90° 00' 00"
縦断勾配	LEVEL
横断勾配	2.000% 2.000%

材料強度及び許容応力度

(単位: N/mm²)

種別	主桁	場所打ち	
設計基準強度	50.0	30.0	
プレストレス導入時圧縮強度	35.0	25.0	
曲げ圧縮応力度制限値	プレストレス導入直後	24.00	16.86
	前提条件	16.00	11.00
	耐荷性能	24.00	16.50
	耐久性能	16.00	11.00
曲げ引張応力度制限値	プレストレス導入直後	1.89	1.51
	前提条件	0.00	0.00
	耐荷性能	3.10	2.20
	耐久性能	1.80	1.20
コンクリートが負担できる平均せん断応力度	基本値	0.44	0.37
	最大値	6.00	4.00
	前提条件	1.20	0.80
斜引張応力度制限値	耐荷性能	2.60	1.70
	耐久性能	2.30	1.70
	種別	縦締	横締
呼び径	SWPR7BL 1S12.7	SWPR19L 1S17.8	
引張強度	1850	1850	
降伏点応力度	1580	1580	
引張応力度制限値	導入時	1422	1422
	導入直後	1295	1295
	有効(耐荷性能)	1202	1202
	有効(耐久性能)	1110	1110
種別	SD345		
	引張応力度最大値	一般	210
	耐久性(疲労)		180
	頂版部 耐久性(防食)		100
引張応力度制限値	頂版部 耐久性(疲労)		120

主桁キャンバー図 (参考値)



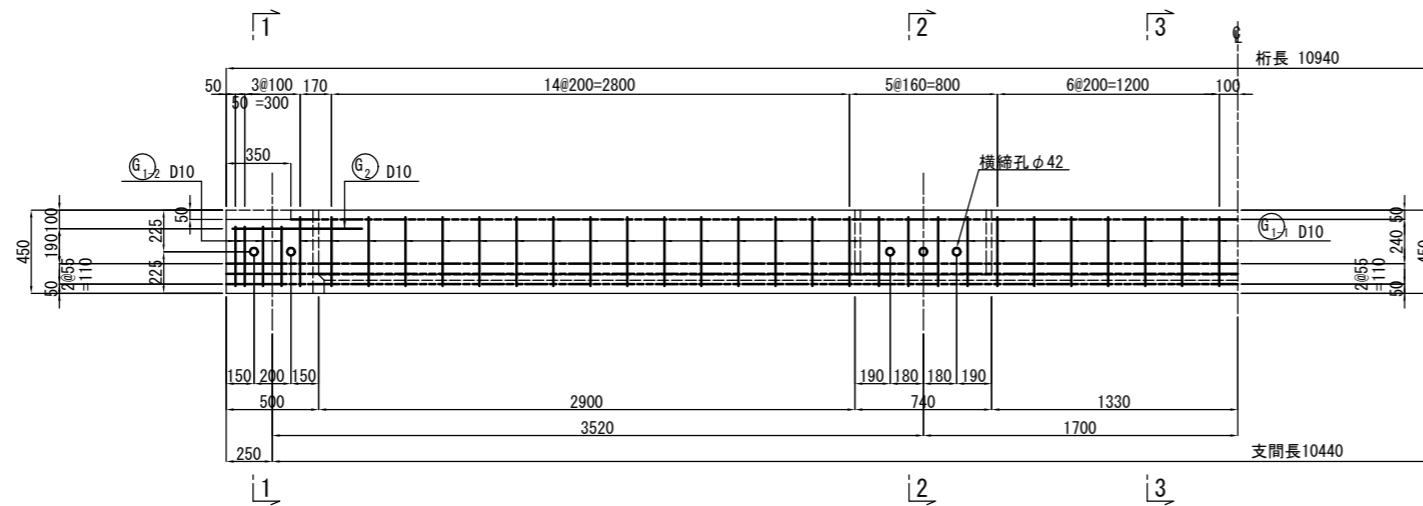
注) ()内のδの値は、主桁製作後90日のそり量の目安値である。よって架設時の測定結果を基にして、舗装厚を調整すること。舗装厚はクリープ終了時そり量10mmを想定し算出した。

図名	上部工構造一般図
署名	東北森林管理局 津軽森林管理署金木支署
名称	仲の股林道 災害復旧工事
縮尺	図示

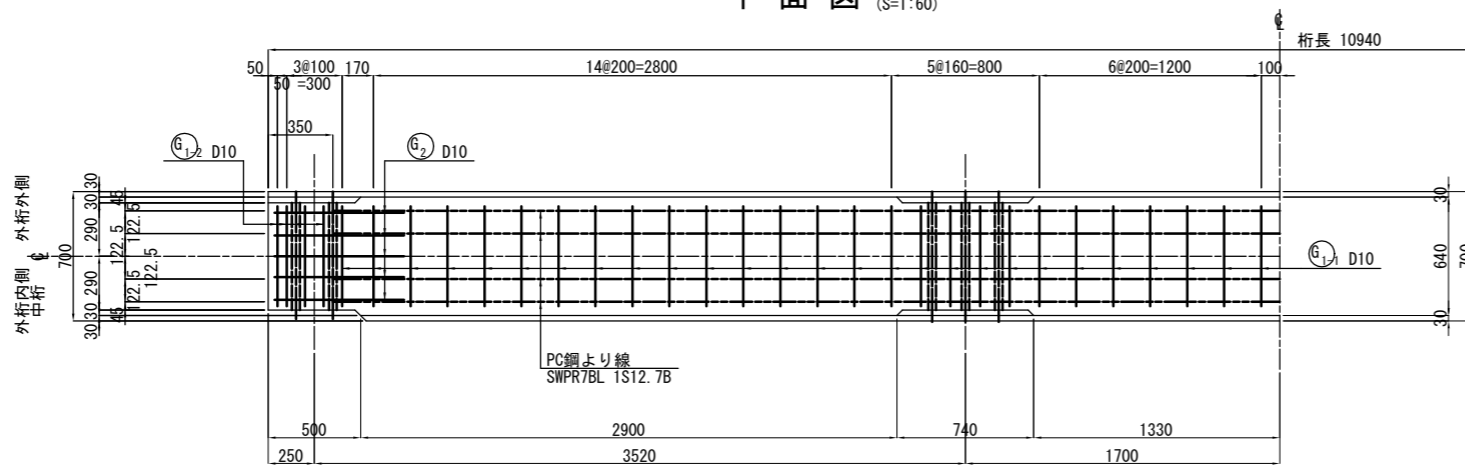
※ 図中、カッコ内の縮尺はA3印刷時を表す。

主桁配筋図

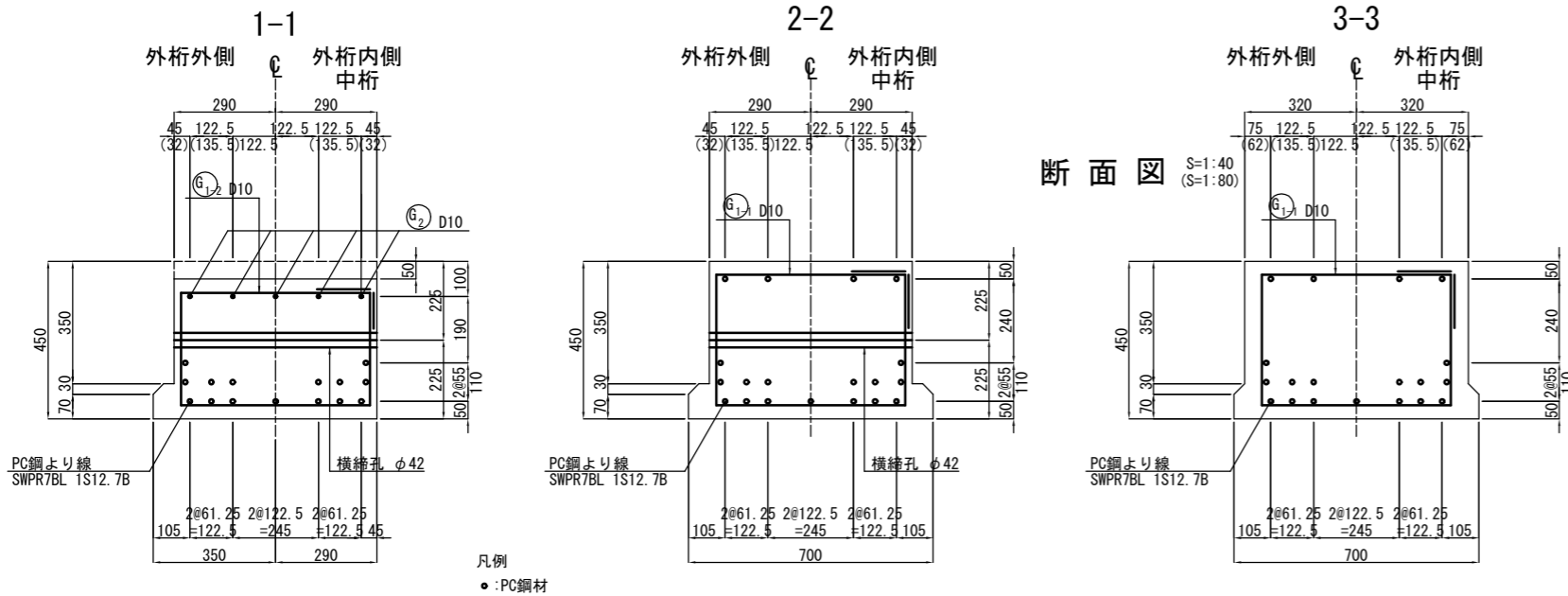
側面図 S=1:20
(S=1:40)



平面図 S=1:30
(S=1:60)

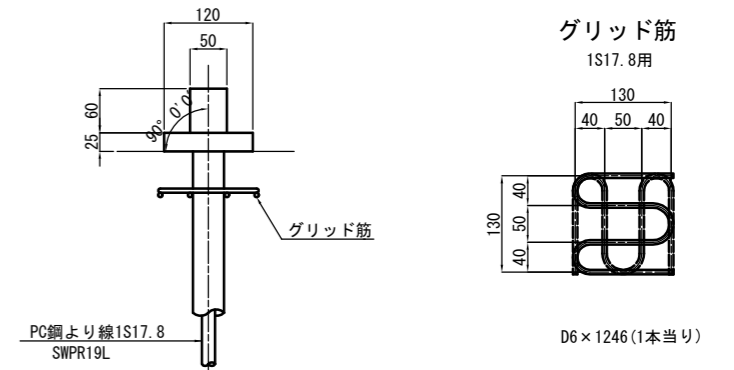


主桁断面図 S=1:10
(S=1:20)



注) () 内の数値は、最上段以外のPC鋼材の水平距離を示す。

横締め定着部詳細図 S=1:5
(S=1:10)



鉄筋表

記号	径	長さ	本数	単位重量	1本当り重量	重量	摘要
G1桁							
G1-1	D10	2130	54	0.56	1.19	64	□
G1-2	"	2030	8	"	1.14	9	□
G2	"	700	10	"	0.39	4	—
CL2	D13	1580	46	0.995	1.57	72	□
						149 kg	
G2~G6桁							
G1-1	D10	2130	54	0.56	1.19	64	□
G1-2	"	2030	8	"	1.14	9	—
G2	"	700	10	"	0.39	4	□
						77 kg	
G7桁							
G1-1	D10	2130	54	0.56	1.19	64	□
G1-2	"	2030	8	"	1.14	9	□
G2	"	700	10	"	0.39	4	—
CR2	D13	1580	46	0.995	1.57	72	□
						149 kg	
		G1桁	G2~G6桁	G7桁	合計		
D13		72 kg	0 kg	72 kg	144 kg		
D10		77 kg	77 kg	77 kg	539 kg		
合計		149 kg	77 kg	149 kg	683 kg		

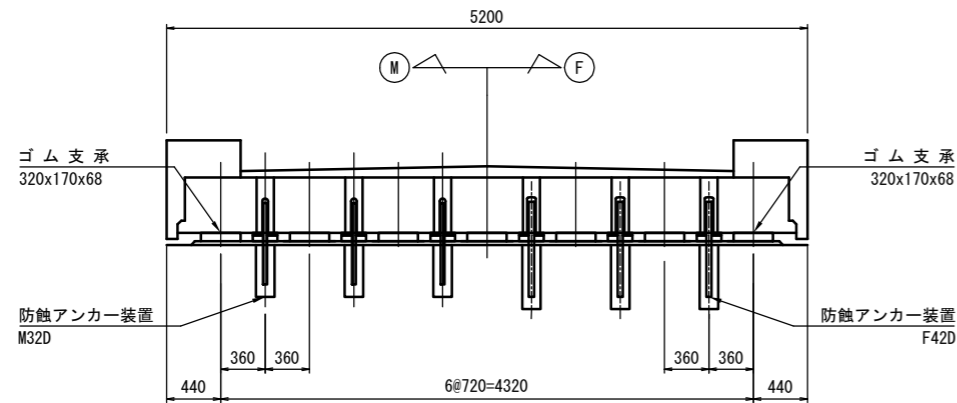
※ (G1, G2) 鉄筋は地覆配筋図を参照。

図名	主桁配筋図
署名	津軽森林管理署 金木支署
名称	仲の股林道 災害復旧工事
縮尺	図示

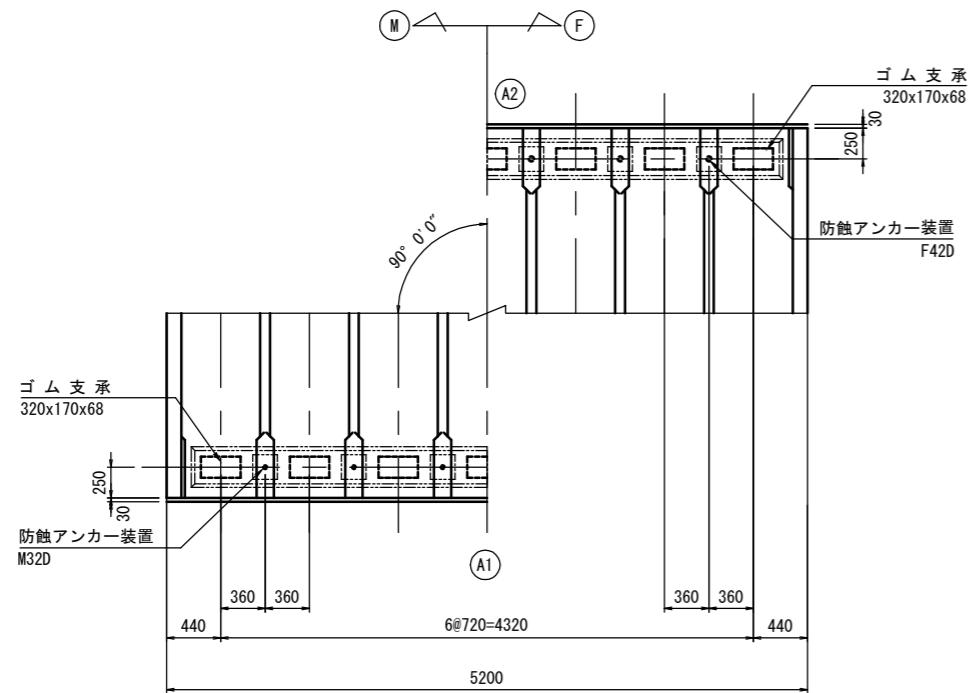
※ 図中、カッコ内の縮尺はA3印刷時を表す。

支承詳細図

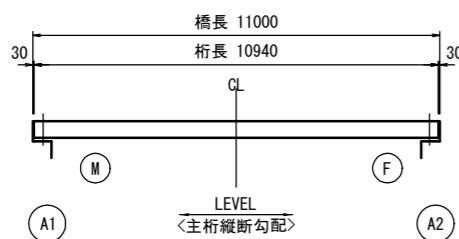
断面図 S=1:30 (S=1:60)



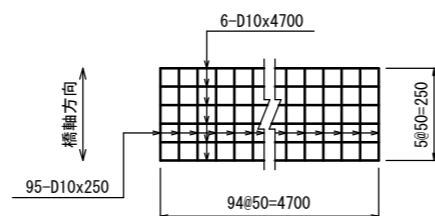
平面図 S=1:30 (S=1:60)



配置図 S=1:100 (S=1:200)



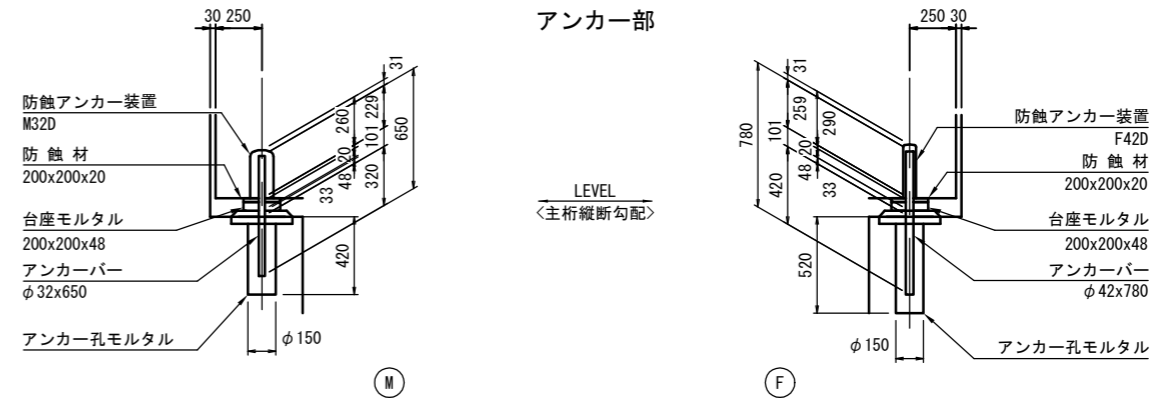
補強格子鉄筋 S=1:10 (S=1:20)



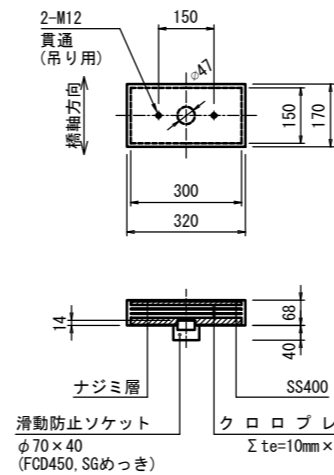
側面図 S=1:20 (S=1:40)



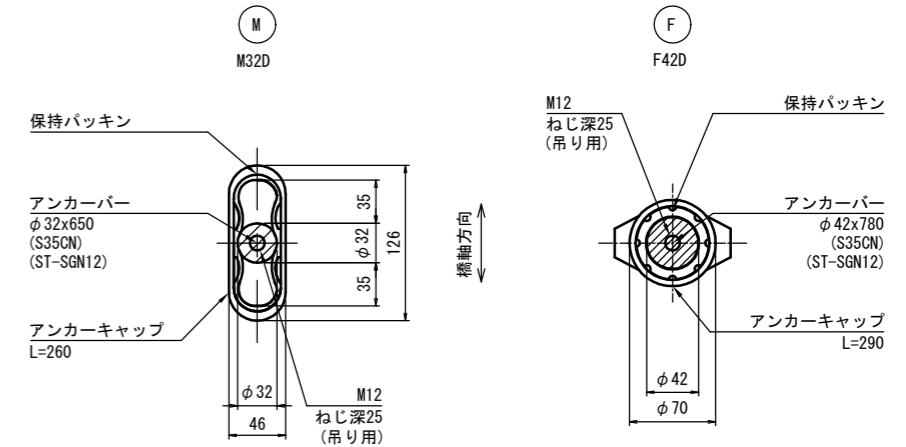
アンカー部



ゴム支承 S=1:10 (S=1:20)



防蝕アンカー装置 S=1:3 (S=1:6)



材料表

名称	寸法	材質	単位	数量			質量 (kg)	備考
				A1 (M)	A2 (F)	合計		
ゴム支承	320x170x68	図示	枚	7	7	14		DSF (CR Ge=0.8)
防蝕アンカー装置	M32D	S35CN 合成ゴム ポリエチレン	組	6	6	6		ST-SGN12
"	F42D	"	"	"	6	6		"
防蝕材	200x200x20	CRスポンジ	枚	6	6	12		RDパッキン
補強格子鉄筋	D10x50x50	SD345	kg	29.1	29.1		58.2	
沓座モルタル		無収縮モルタル	m ³	0.107	0.107	0.214		
アンカー孔モルタル		無収縮モルタル	m ³	0.036	0.045	0.081		
台座モルタル		無収縮モルタル	m ³	0.011	0.011	0.022		
アイボルト	M12用		本	8	8	16		ゴム支承施工用
"	"		"	3	3	6		防蝕アンカー装置施工用

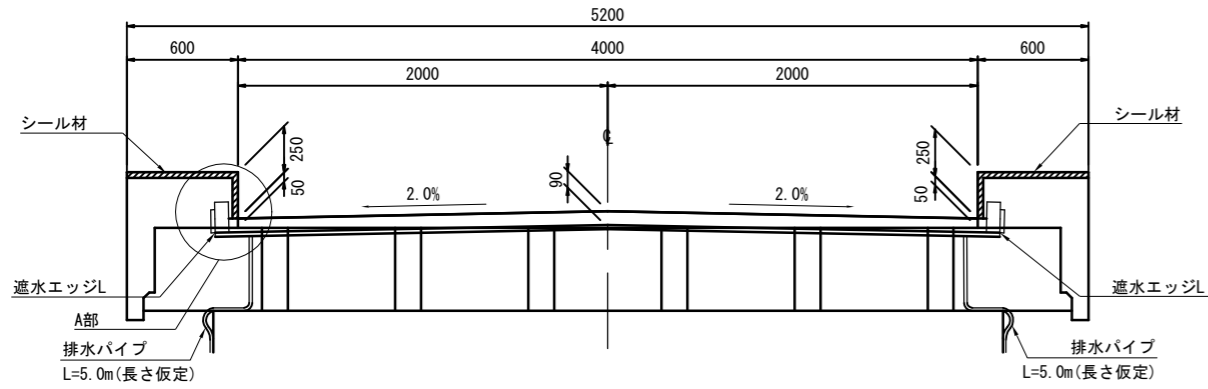
※防蝕アンカー装置は、アンカーバー、アンカーキャップ、保持パッキン、スパイラル筋を1組としている。
 ※施工用アイボルト数量は、1支承線当り半数分計上しているため、適宜、流用すること。
 ※台座モルタルは、参考形状(数量)とする。

※ 図中、カッコ内の縮尺はA3印刷時を表す。

図名	支承詳細図
署名	津軽森林管理署 金木支署
名称	仲の股林道 災害復旧工事
縮尺	図示

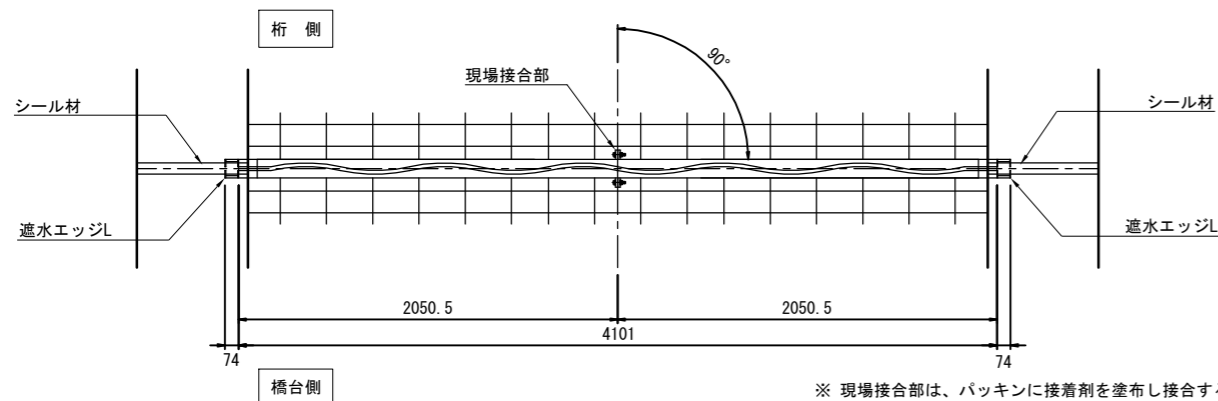
伸縮装置詳細図

断面図 S=1:20 (S=1:40)



※ 排水パイプ長及び取付位置は、現場打合せの上決定のこと。

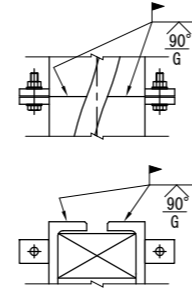
平面図 S=1:20 (S=1:40)



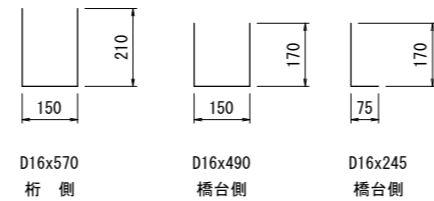
※ 現場接合部は、パッキンに接着剤を塗布し接合すること。また、指定範囲に溶接を施すこと。

現場接合部詳細

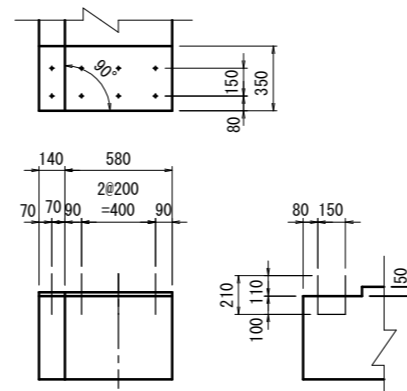
プロフジョイントCDx型



鉄筋加工図 S=1:10 (S=1:20)



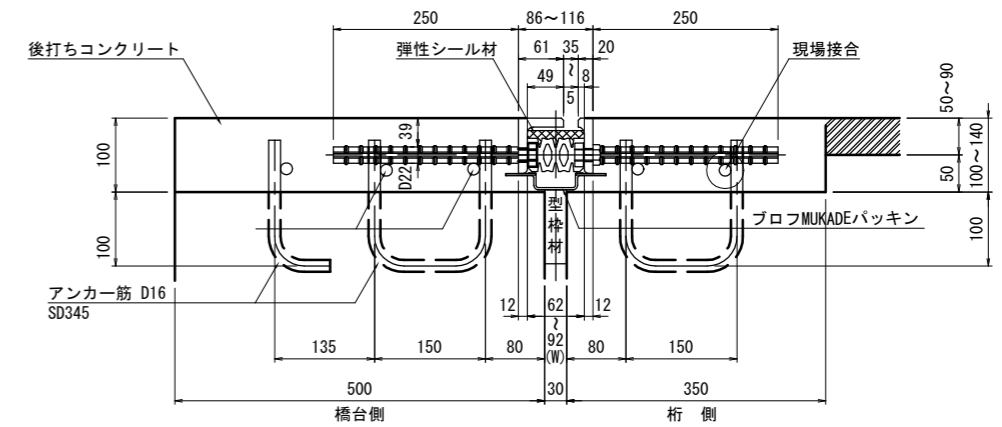
アンカー筋埋設図 S=1:20 (S=1:40)



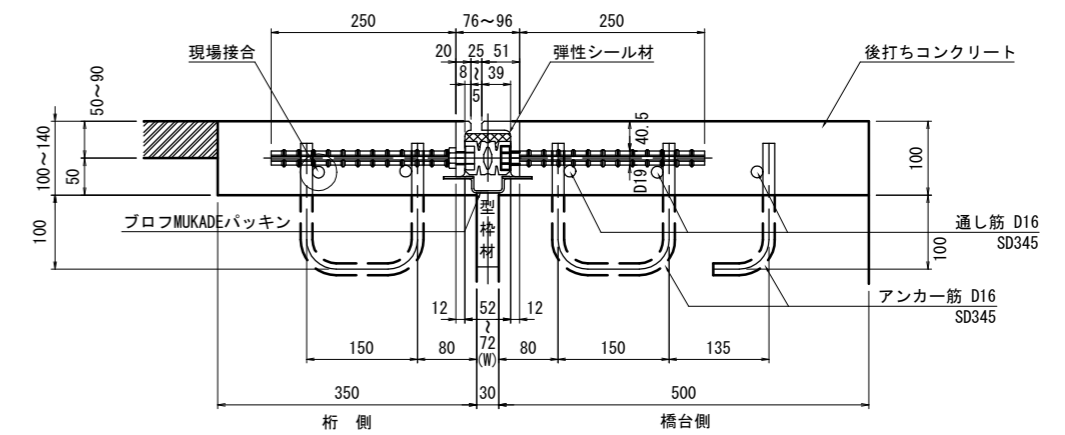
※ アンカー筋埋設位置は参考とし、構造部材と干渉する場合は適宜調整すること。

伸縮装置断面図 S=1:5 (S=1:10)

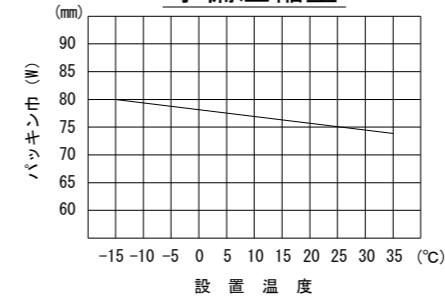
A1部 プロフジョイントCDx型-30用、樋付



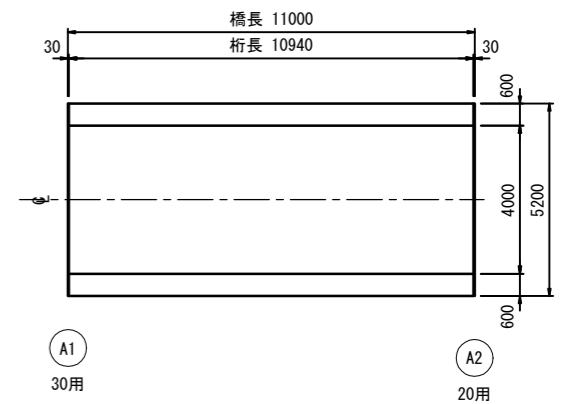
A2部 プロフジョイントCDx型-20用、樋付



予備圧縮量



配置図 S=1:100 (S=1:200)



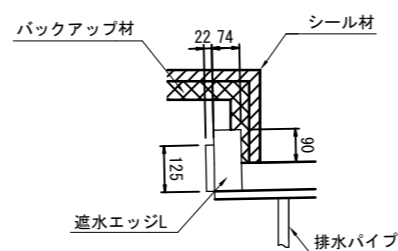
伸縮装置材料表

名称	材質	A1数量	A2数量	合計数量	備考
プロフジョイントCDx型-30用 樋付	SS400 合成ゴム SD345 弾性シール材	4.101 m		4.101 m	一般用
プロフジョイントCDx型-20用 樋付	"		4.101 m	4.101 m	"
プロフMUKADEパッキン-30用	SS400 合成ゴム	4.499 m		4.499 m	二次止水パッキン
プロフMUKADEパッキン-20用	"		4.499 m	4.499 m	"
遮水エッジL-30用	SS400 合成ゴム 弾性シール材	2箇所		2箇所	地覆部
遮水エッジL-20用	"		2箇所	2箇所	"
バックアップ材		1.700 m	1.700 m	3.400 m	"
シール材	シリコン系	1.0リッター	1.0リッター	2.0リッター	"
後打コンクリート		0.377 m ³	0.377 m ³	0.754 m ³	"
排水パイプ	ステンレス	2本	2本	4本	L=5000 鋼管金具含む、長さ仮定
通し筋	SD345	5本	5本	10本	D16x4101
CDx型用接着剤		1式		1式	30用
"			1式	1式	20用

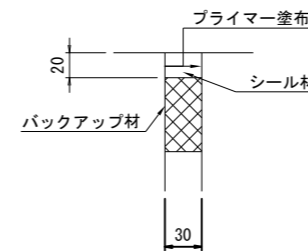
アンカー鉄筋表

材質	A1(M)数量	A2(F)数量	合計数量	合計質量	備考
D16x570	23本	23本	46本	40 kg	アンカー筋 桁側
D16x490	16本	16本	32本	24 kg	アンカー筋 橋台側
D16x245	16本	16本	32本	12 kg	"

A部詳細図 S=1:10 (S=1:20)



シール材充填図 S=1:3 (S=1:6)

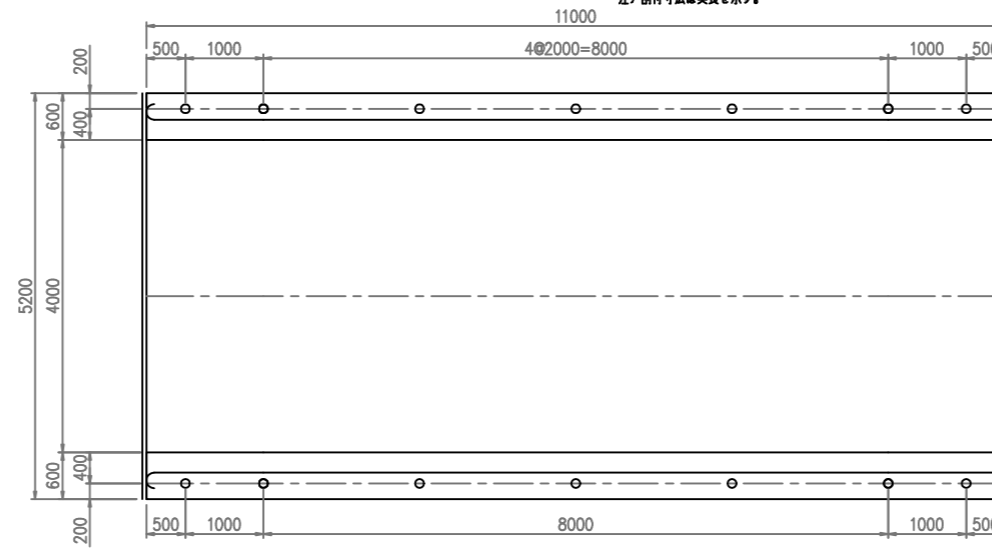


図名	伸縮装置詳細図
署名	津軽森林管理署 金木支署
名称	仲の股林道 災害復旧工事
縮尺	図示

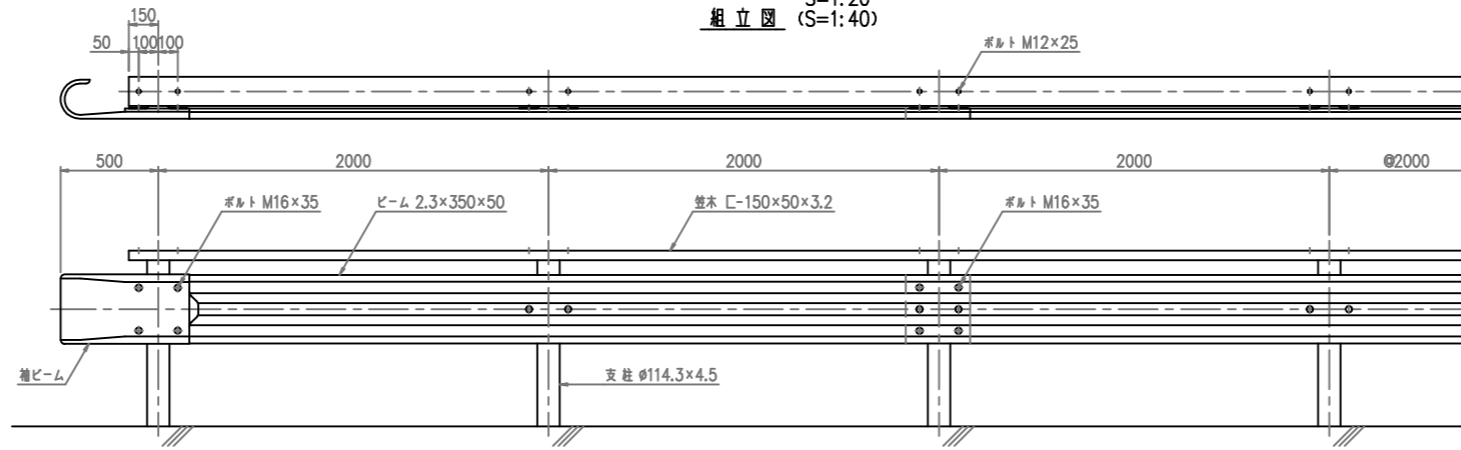
※ 図中、カッコ内の縮尺はA3印刷時を表す。

防護柵詳細図

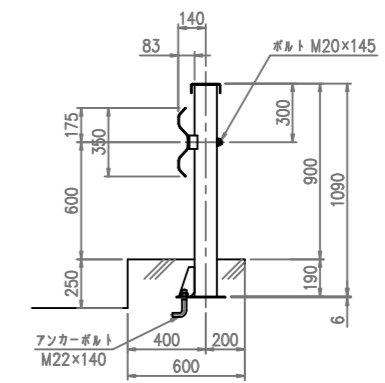
割付図 S=1:50
(S=1:100)
注) 割付寸法は実尺を示す。



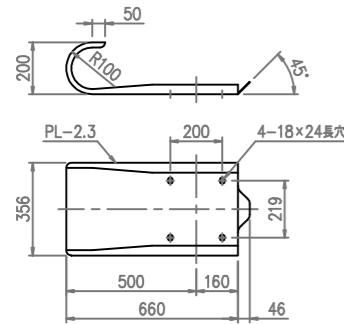
組立図 S=1:20
(S=1:40)



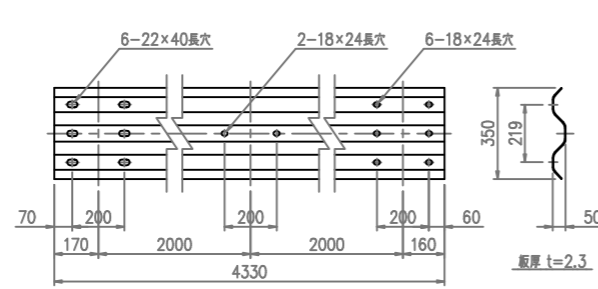
断面図



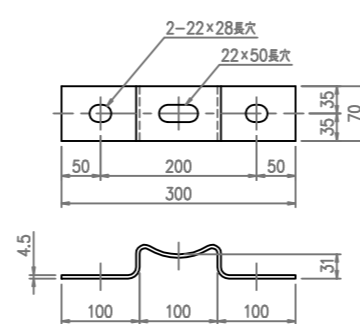
袖ビーム



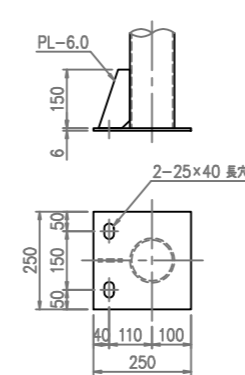
ビーム



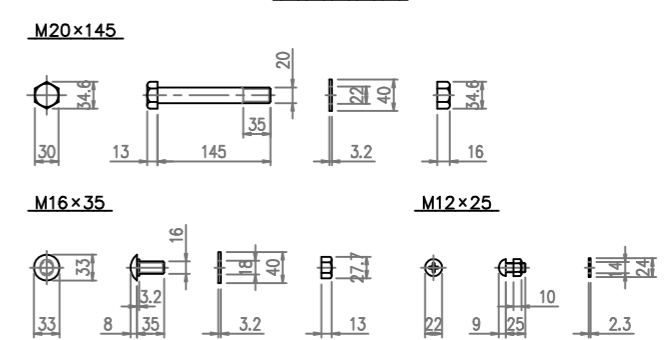
ブラケット



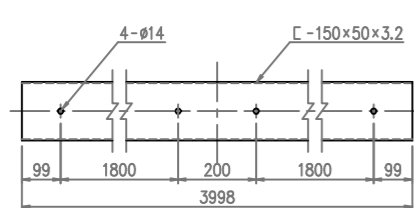
ベースプレート詳細図



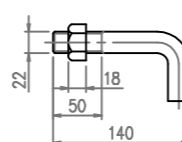
取付ボルト



笠木



アンカーボルト

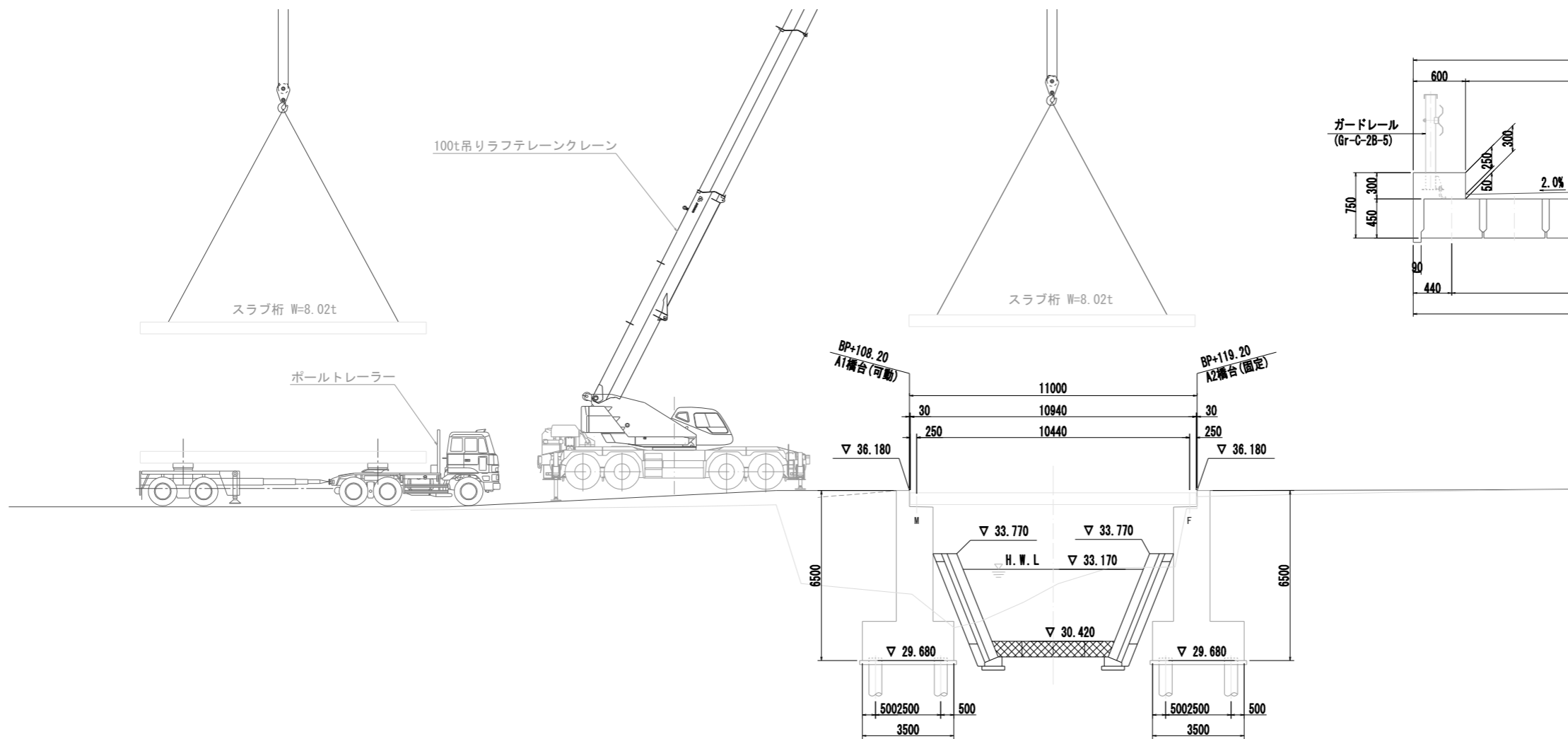


図名	防護柵詳細図
署名	津軽森林管理署 金木支署
名称	仲の股林道 災害復旧工事
縮尺	図示

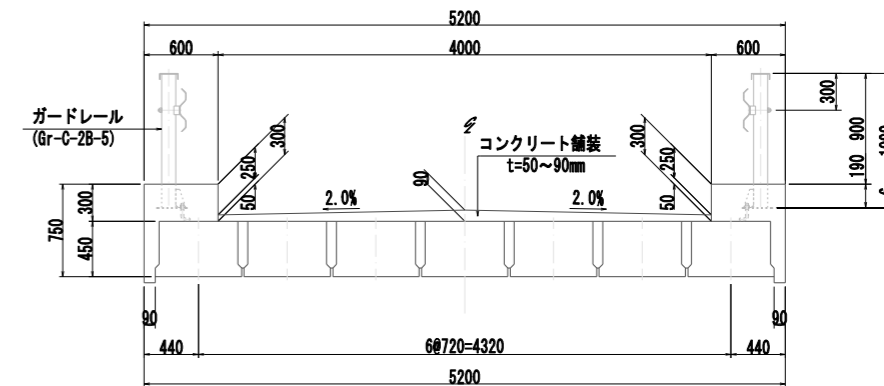
※ 図中、カッコ内の縮尺はA3印刷時を表す。

上部工架設要領図 (参考図)

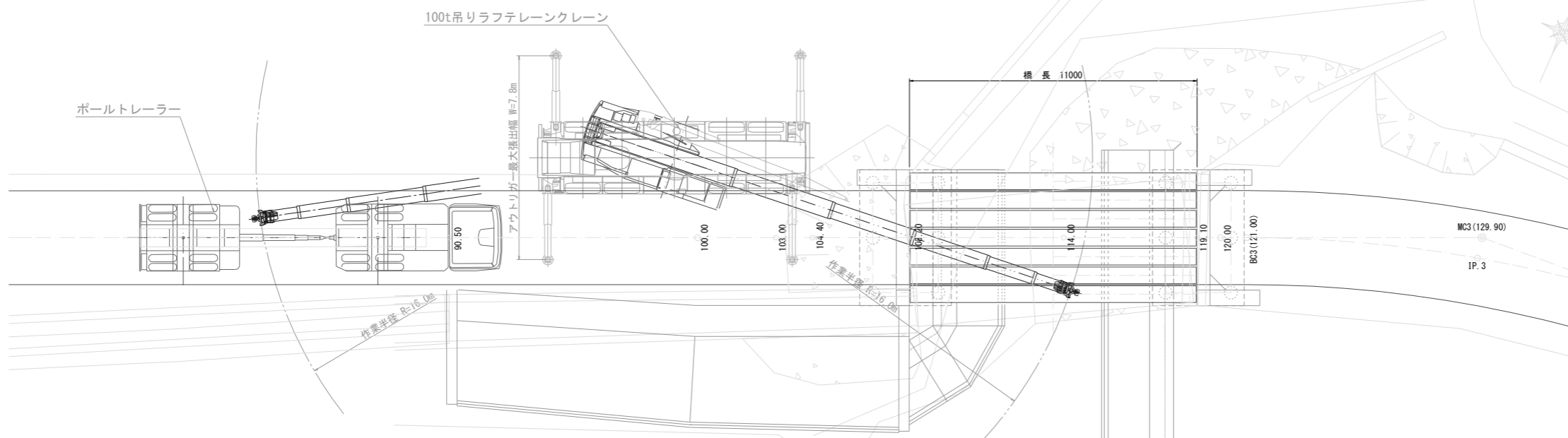
側面図 S=1:100
(S=1:200)



上部工断面図 S=1:30
(S=1:60)



平面図 S=1:100
(S=1:200)



100t吊りラフテレーンクレーン能力表 (t)

作業半径 (m)	アウトリガ最大張出 7.8m 全周 (加付クレーン4.0t装着)			
	ブーム長 (m)			
12.0	27.7	31.2	34.7	38.2
14.0	15.10	14.60	12.80	11.60
16.0	11.50	11.20	11.20	10.30
18.0	9.05	9.40	8.80	8.95
20.0	7.35	7.70	7.15	7.20
21.0	6.05	6.35	6.55	5.95
22.0	5.50	5.85	6.00	5.65
22.0	5.05	5.35	5.50	5.40

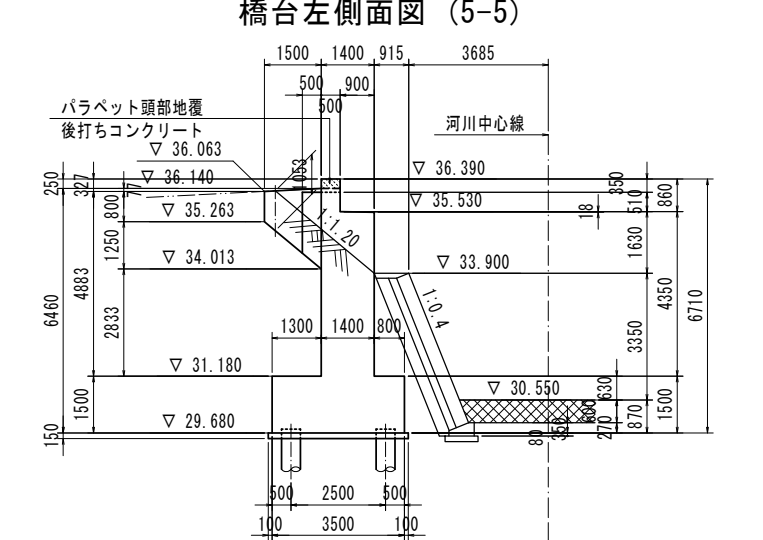
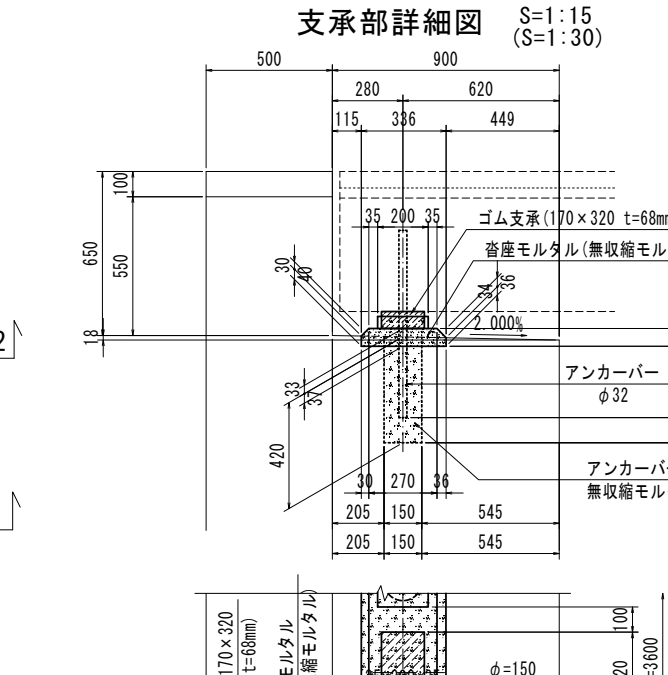
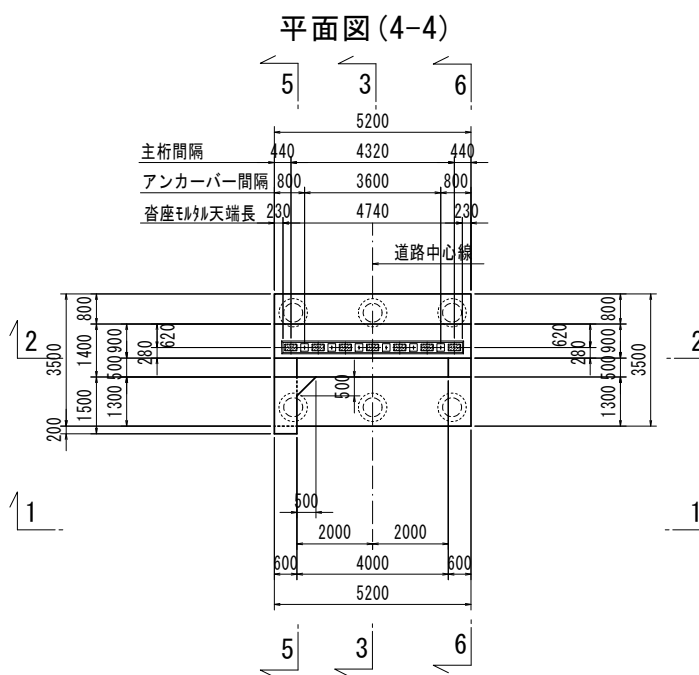
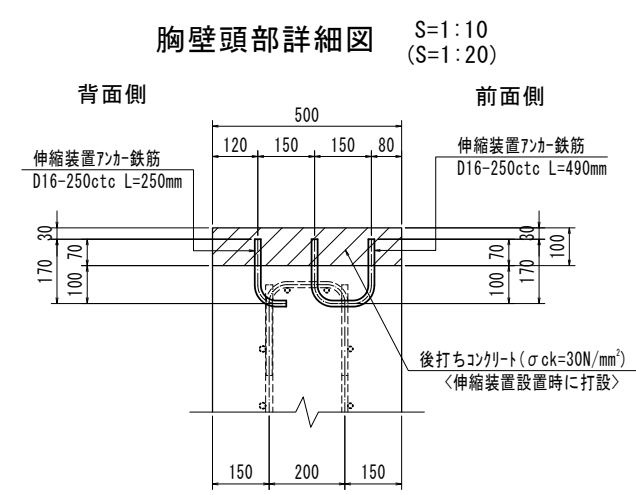
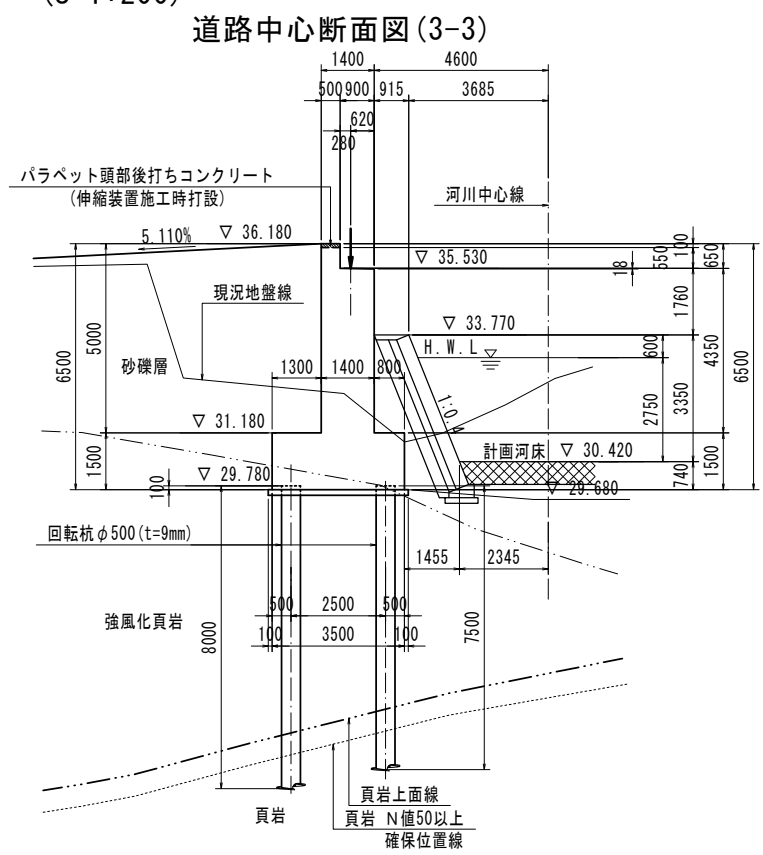
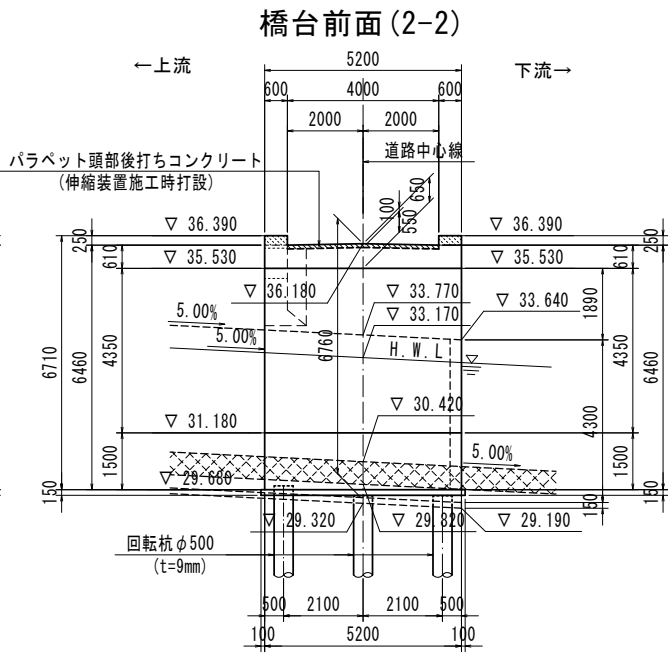
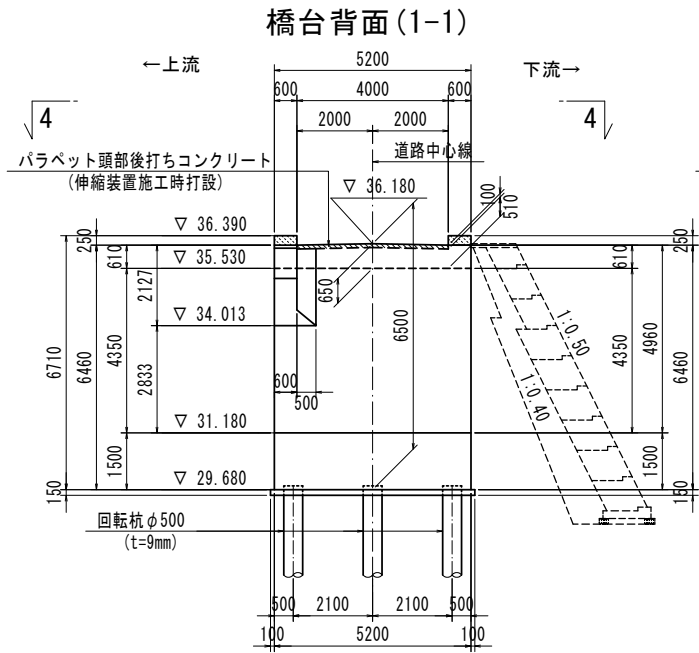
フックの種類 35t 定格総荷重
フックの重量 300kg スラブ桁: 8.02+0.30= 8.32≒ 8.4t

図名	上部工架設要領図
署名	津軽森林管理署 金木支署
名称	仲の股林道 災害復旧工事
縮尺	図示

注) ()内の縮尺は、A3サイズ印刷時を示す。

A1 橋台構造一般図

S=1:100
(S=1:200)



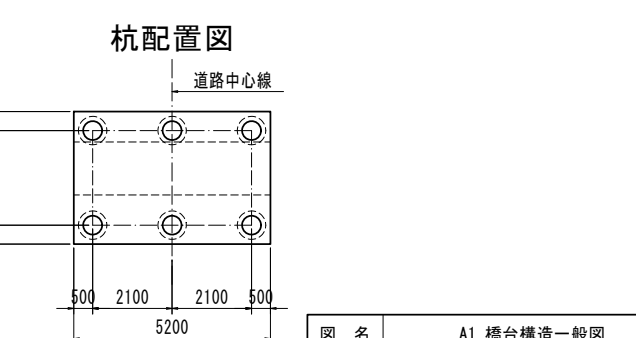
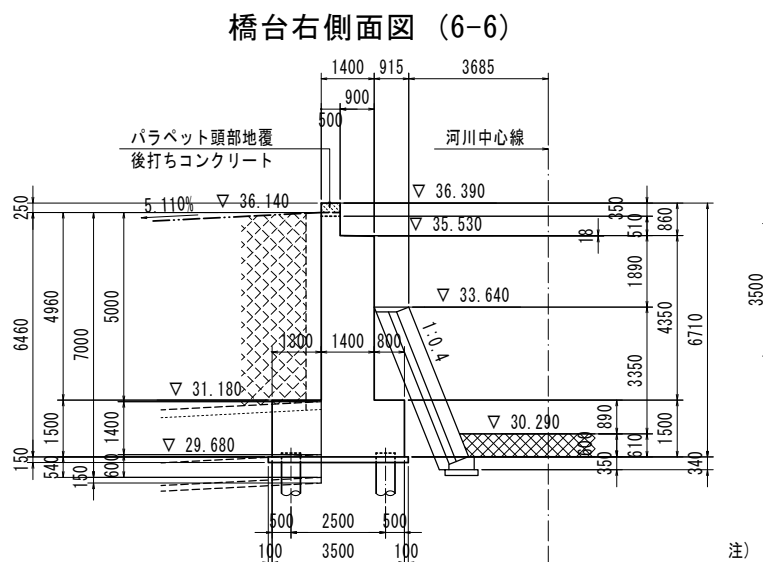
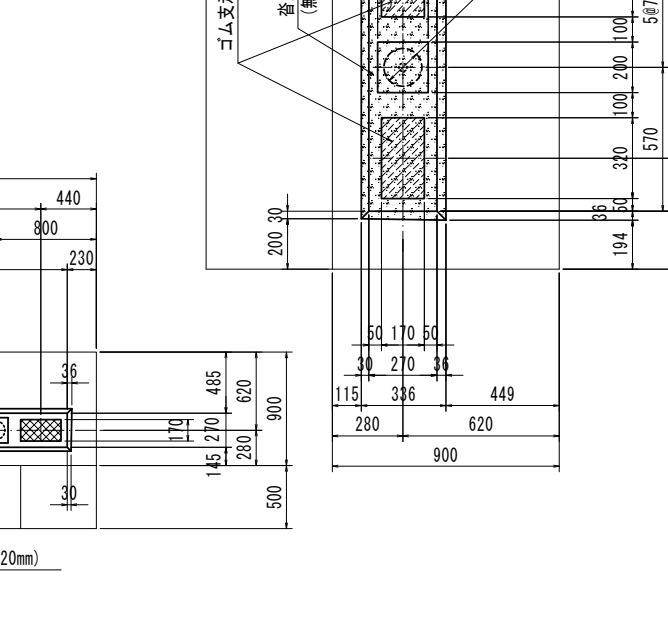
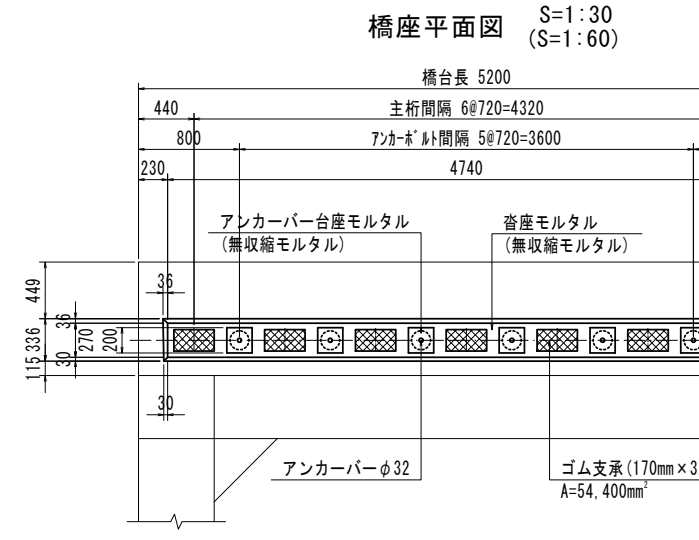
構造高算定図

構造高表(支承上)

	S1 (G1, G2)
路面標高(計画高) EL1 (m)	36.180
キャンパ-調整厚 T1 (mm)	0.015
舗装厚 T2 (mm)	0.050
調整舗装厚 T3 (mm)	0.040
桁上面標高 EL2 (m)	36.075
主桁高 H1 (mm)	0.450
桁下標高 EL3 (m)	35.625
支保高 H2 (mm)	0.068
支保底面標高 EL4 (m)	35.557
モルタル厚 T4 (mm)	0.033
構造高合計 ΣH (mm)	0.656
橋座天端標高 EL5 (m)	35.524
胸壁付根天端標高 EL6 (m)	35.530

設計条件

道路構造規格	幹線林道 自動車道2級 V=30km/h 計画交通量100台/日
橋台形式	逆T式橋台
基礎形式	杭基礎(回転杭φ500)
支点条件	可動
斜角	θ=90° 00' 00"
裏込め土	γ=20KN/m ³ 、φ=35° (礫質土)
埋戻し土	γ=19KN/m ³ (砂質土)
地盤種別	II種地盤
地域別補正係数	B2地域 (Cz=0.85, CIz=1.00, CIIz=0.85)
設計水平震度	KH=0.20 (K=KHo・Cz=0.2332X0.85)
設計荷重	活荷重 A活荷重 雪荷重 車輛通行時: 1.0KN/m ² 車輛通行止め時: 7.00KN/m ² 添架荷重 載荷無し
支持地盤	小治層(硬質頁岩 S) 若干の風化有り。
使用材料	躯体コンクリート 設計基準強度 σck=24N/mm ²
	均しコンクリート 設計基準強度 σck=18N/mm ²
	鉄筋 異形鉄筋 材質:SD345
杭	鋼管本体 材質:SKK490
	先端羽根 材質:SM490A (羽厚さ t=25mm)
適用基準	道路橋示方書 (I~V) 平成29年11月



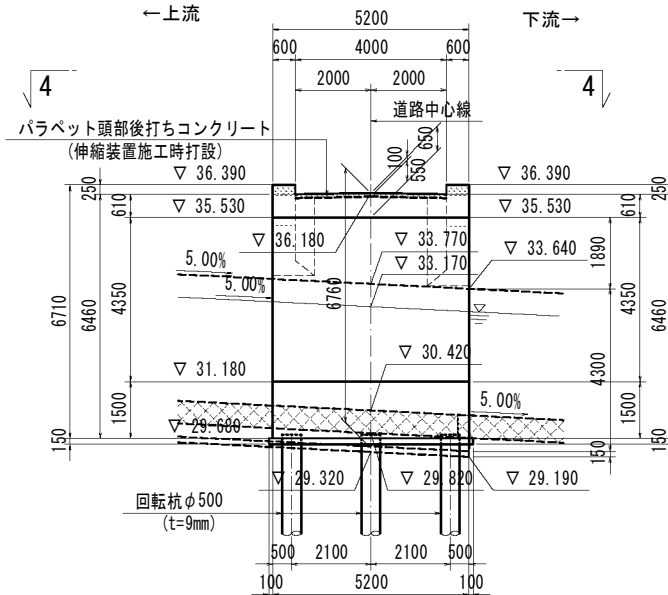
図名	A1 橋台構造一般図
署名	津軽森林管理署 金木支署
名称	仲の設林道 災害復旧工事
縮尺	図示

注) ()内の縮尺は、A3サイズ印刷時を示す。

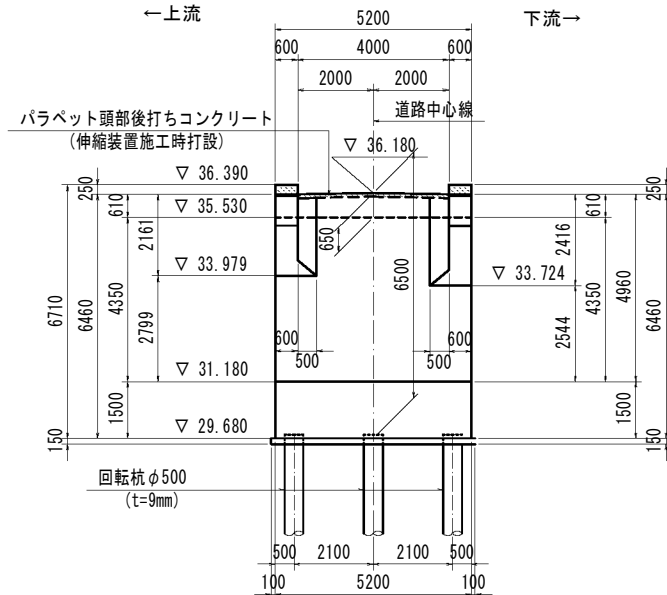
A2 橋台構造一般図

S=1:100
(S=1:200)

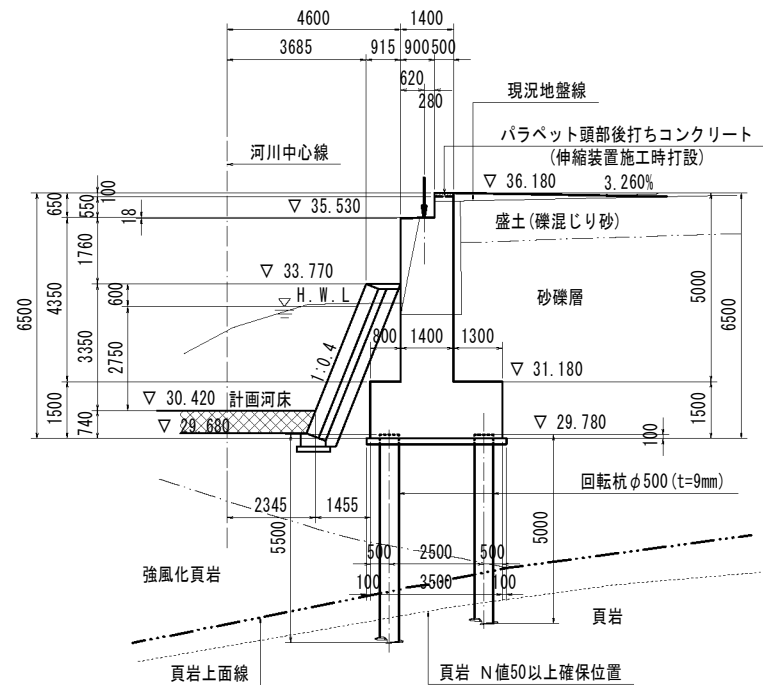
橋台前面(1-1)



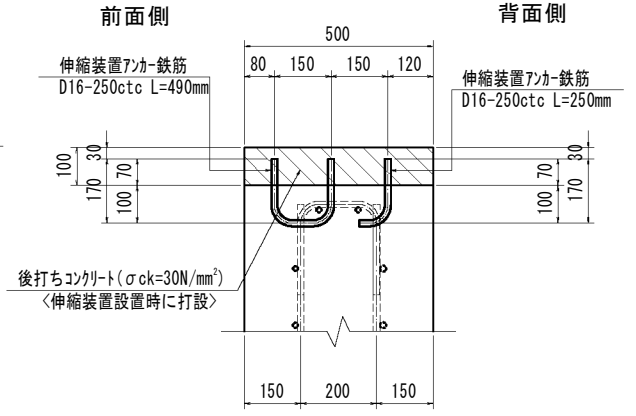
橋台背面(2-2)



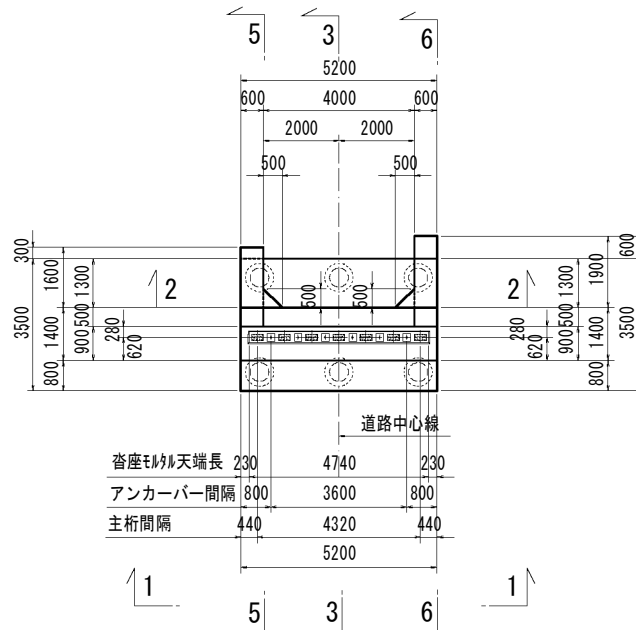
橋台縦断面図(3-3)



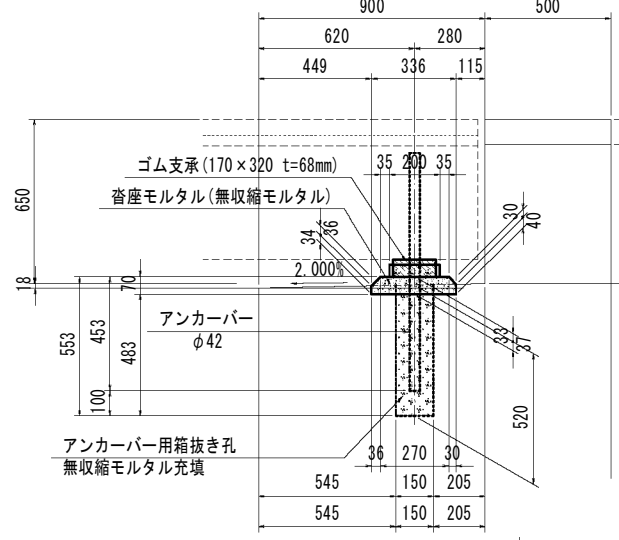
胸壁頭部詳細図 (S=1:10, S=1:20)



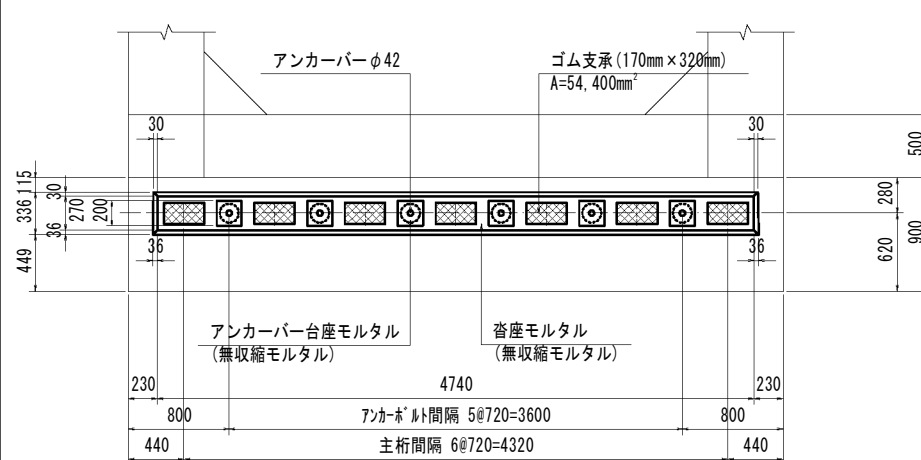
平面図(4-4)



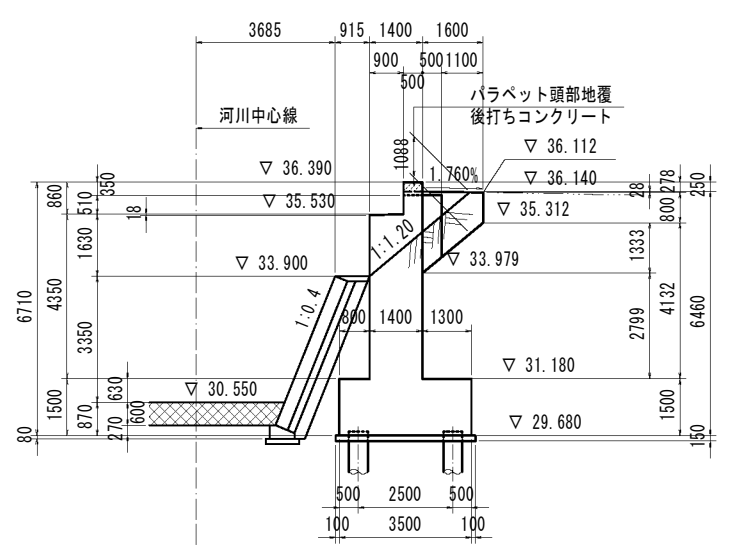
支承部詳細図 (S=1:15, S=1:30)



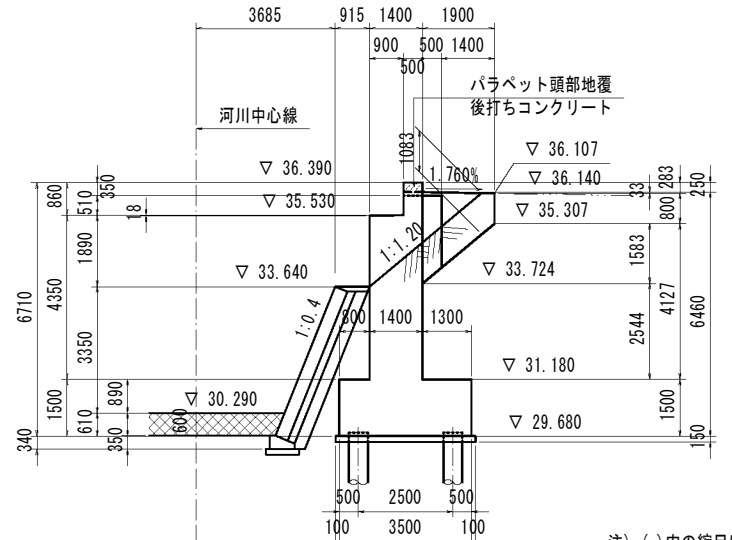
橋座平面図 (S=1:30, S=1:60)



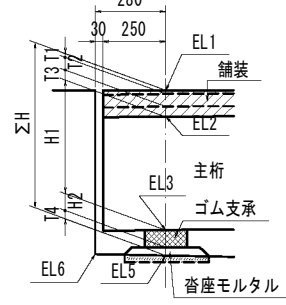
橋台左側面図(5-5)



橋台右側面図(6-6)



構造高算定図



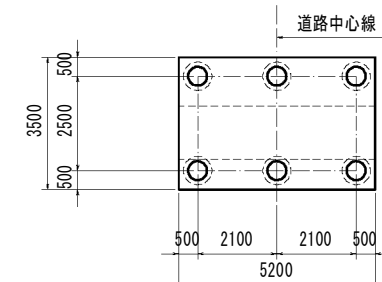
構造高表(支承上)

	S1 (G1, G2)
路面標高(計画高)	EL1 (m) 36.180
キャンバー調整厚	T1 (mm) 0.015
舗装厚	T2 (mm) 0.050
調整舗装厚	T3 (mm) 0.040
桁上面標高	EL2 (m) 36.075
主桁高	H1 (mm) 0.450
桁下標高	EL3 (m) 35.625
支承高	H2 (mm) 0.068
支承底面標高	EL4 (m) 35.557
モルタル厚	T4 (mm) 0.033
構造高合計	ΣH (mm) 0.656
橋座天端標高	EL5 (m) 35.524
胸壁付根天端標高	EL6 (m) 35.530

設計条件

道路構造規格	幹線林道 自動車道2級 V=30km/h 計画交通量100台/日
橋台形式	逆T式橋台
基礎形式	杭基礎(回転杭φ500)
支点条件	固定
斜角	θ=90° 00' 00"
裏込め土	γ=20KN/m ³ , φ=35° (燥混じり砂)
埋戻し土	γ=19KN/m ³ (砂質土)
地盤種別	II種地盤
地域別修正係数	B2地域 (Cz=0.85, C1z=1.00, C2z=0.85)
設計水平震度	KH=0.21 (K=KH ₀ ・Cz=0.25X0.85)
設計荷重	活荷重 A活荷重
設計荷重	雪荷重 車輛通行時: 1.0KN/m ² 車輛通行止め時: 7.00KN/m ²
設計荷重	添架荷重 載荷無し
支持地盤	小治層(硬質頁岩 S) 若干の風化有り。
使用材料	躯体コンクリート 設計基準強度 σ _{ck} =24N/mm ²
使用材料	均しコンクリート 設計基準強度 σ _{ck} =18N/mm ²
使用材料	鉄筋 異形鉄筋 材質:SD345
使用材料	鋼管本体 材質:SKK490
使用材料	先端羽根 材質:SM490A (羽厚さ t=25mm)
適用基準	道路橋示方書 (I~V) 平成29年11月

杭配置図

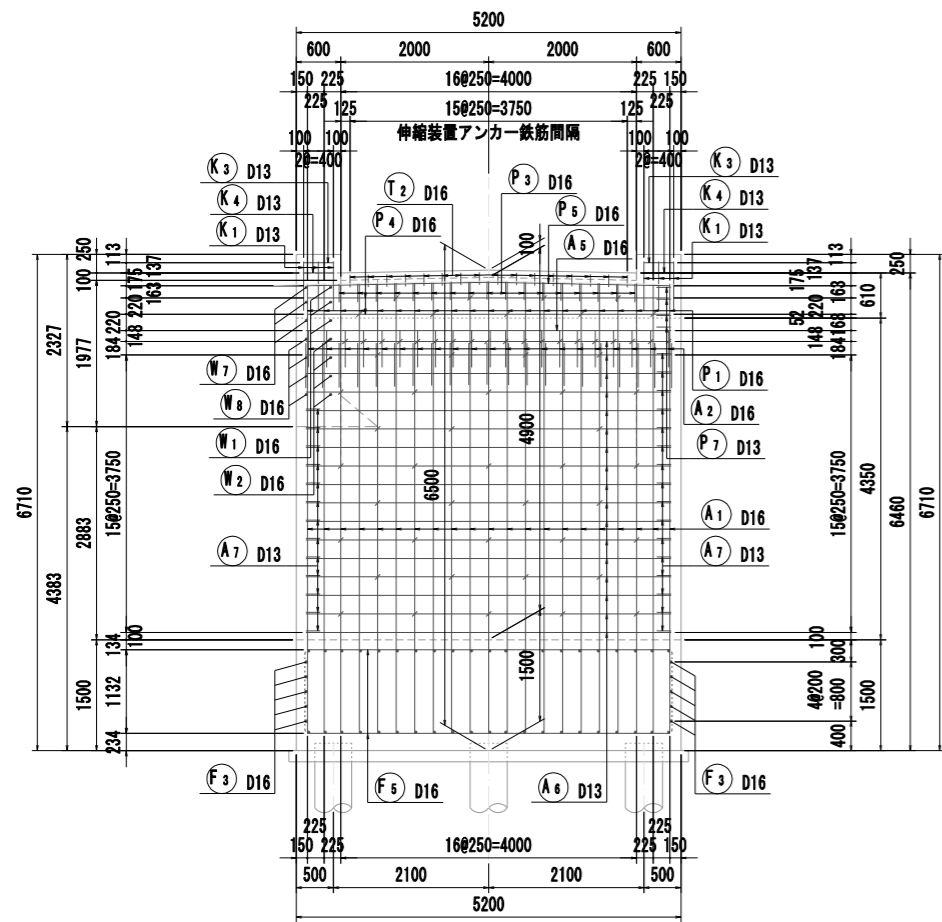


図名	A2 橋台構造一般図
署名	津軽森林管理署 金木支署
名称	仲の股林道 災害復旧工事
縮尺	図示

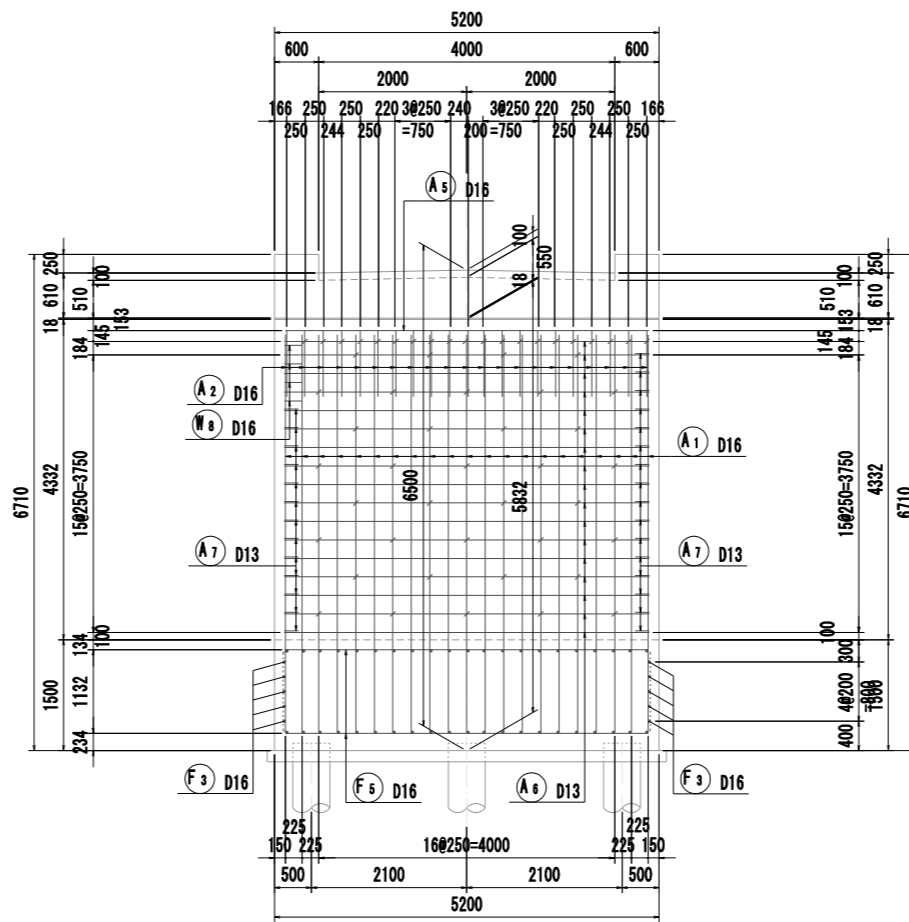
注) ()内の縮尺は、A3サイズ印刷時を示す。

A1橋台配筋図 (その1) $S=1:50$ $(S=1:100)$

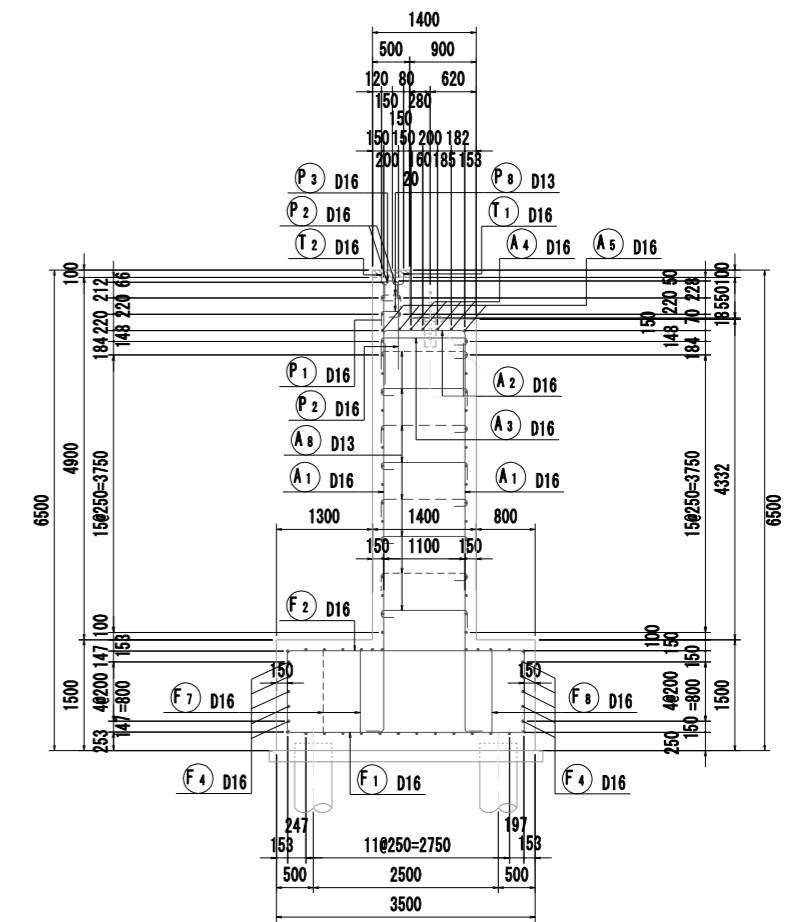
縦壁背面 (1-1)



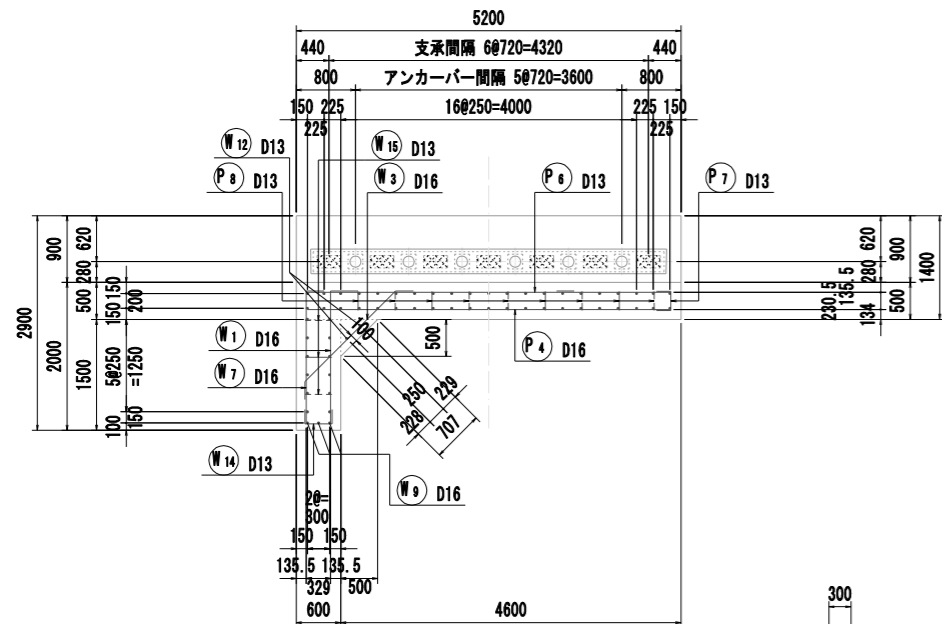
縦壁前面 (3-3)



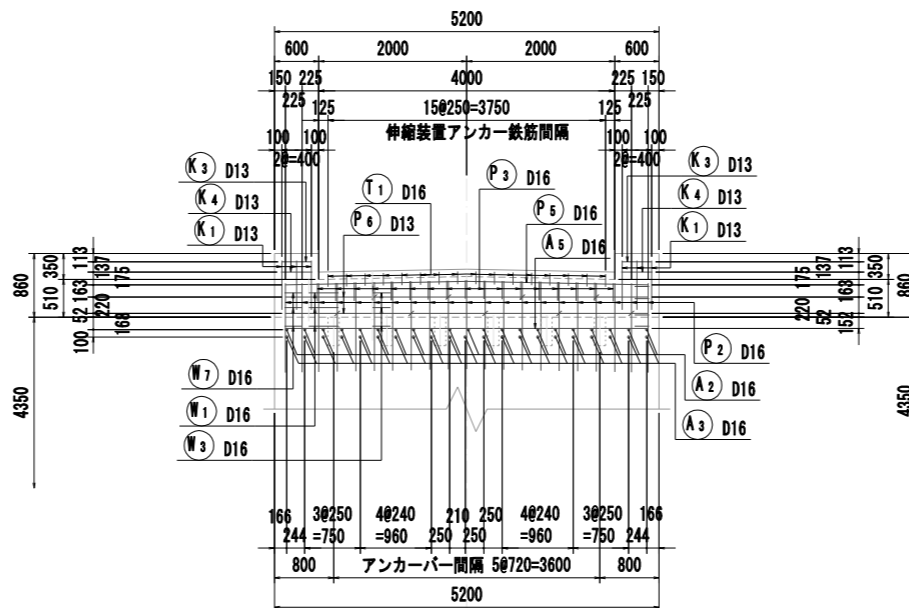
縦断面 (4-4)



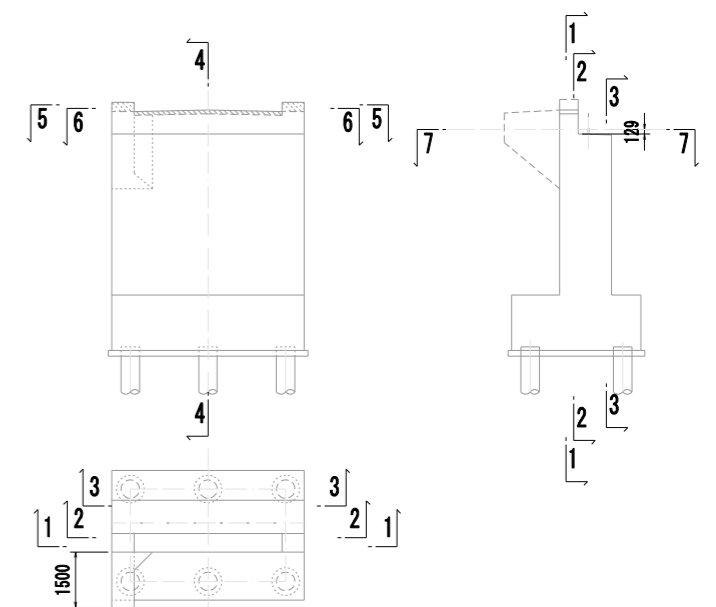
胸壁水平断面 (7-7)



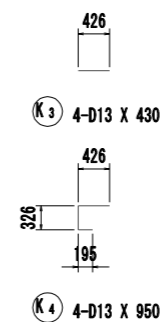
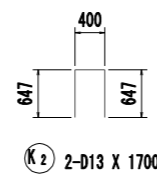
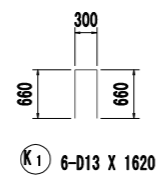
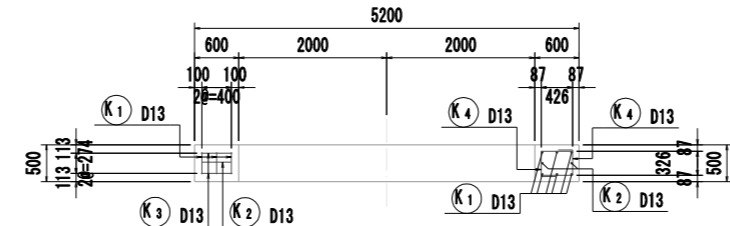
胸壁前面 (2-2)



断面位置図



地覆天端 (5-5) 地覆水平断面 (6-6)

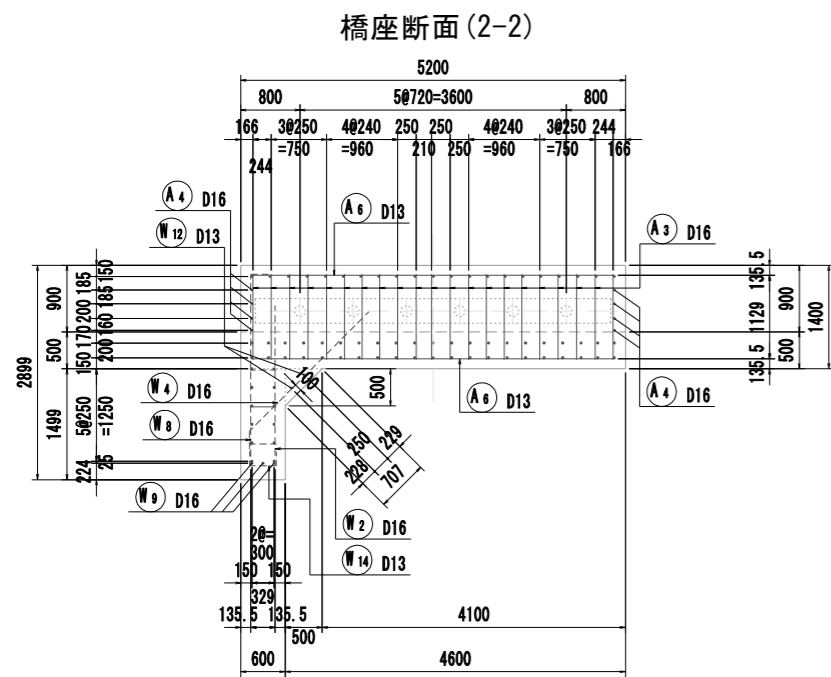
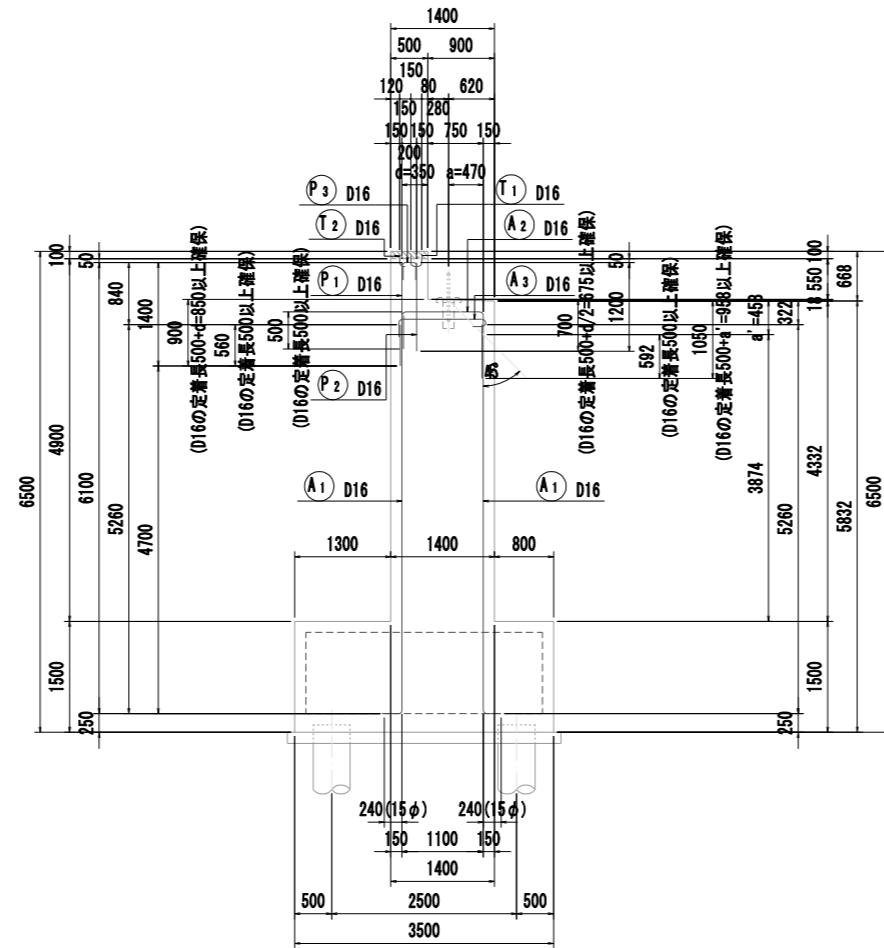
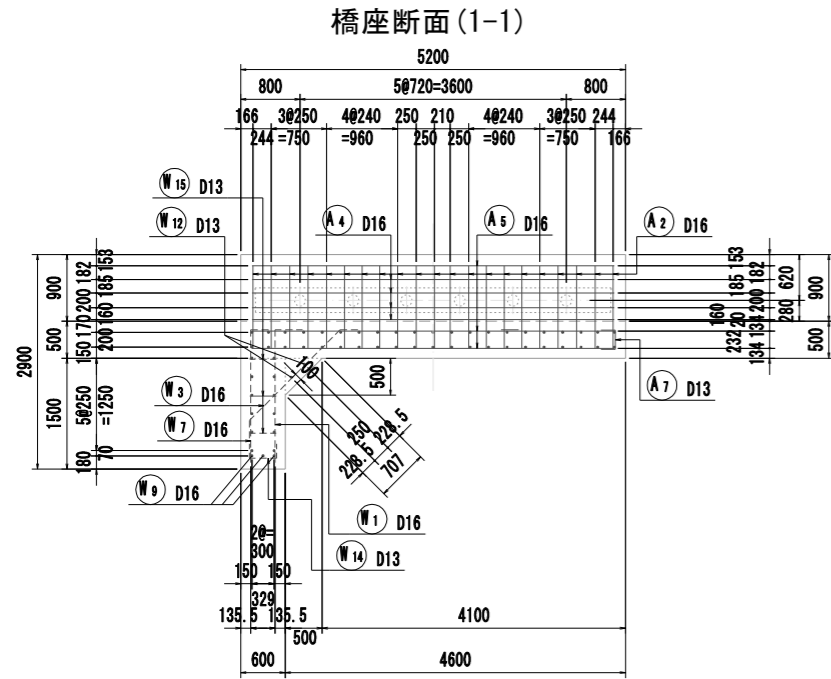


図名	A1橋台配筋図 (その1)
署名	津軽森林管理署 金木支署
名称	仲の股林道 災害復旧工事
縮尺	図示

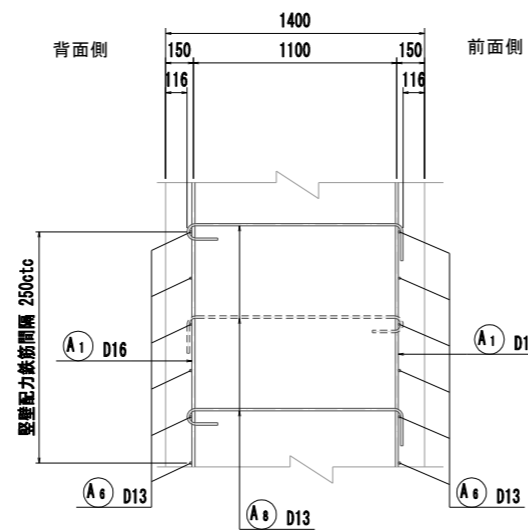
注) ()内の縮尺は、A3サイズ印刷時を示す。

A1橋台配筋図 (その2) S=1:50 (S=1:100)

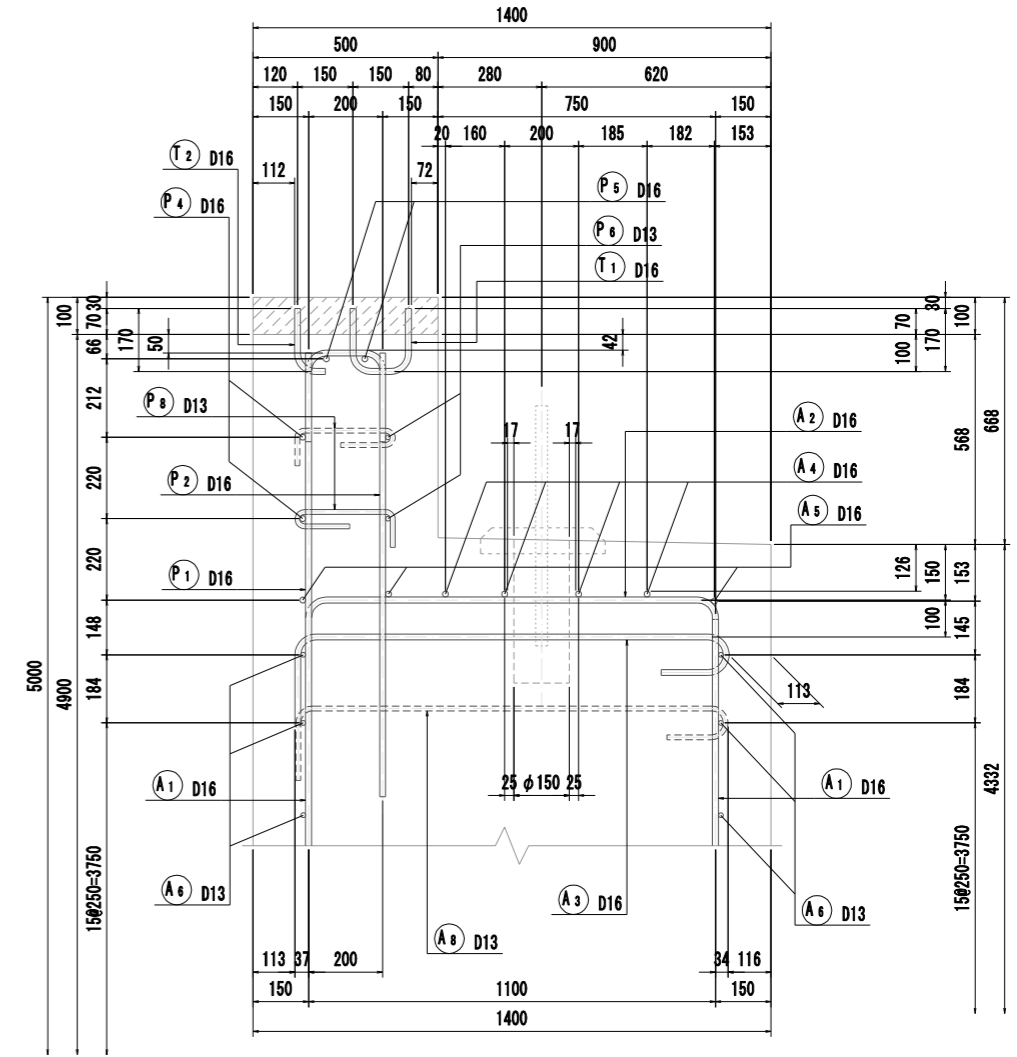
胸壁・縦壁の軸方向鉄筋組立て図



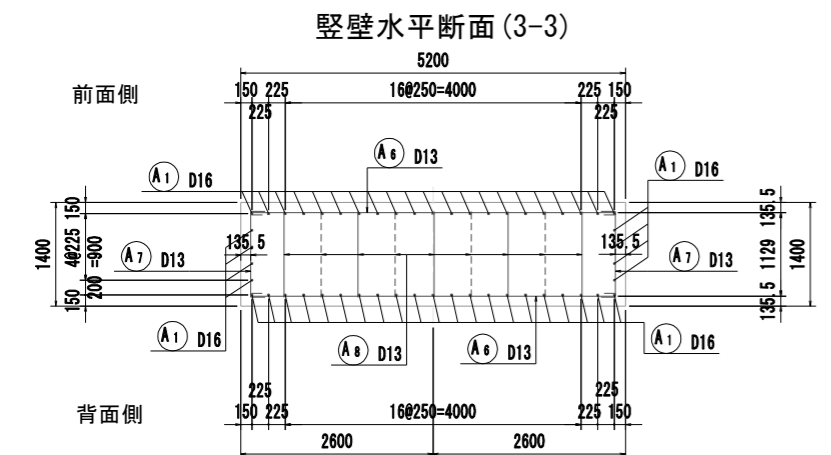
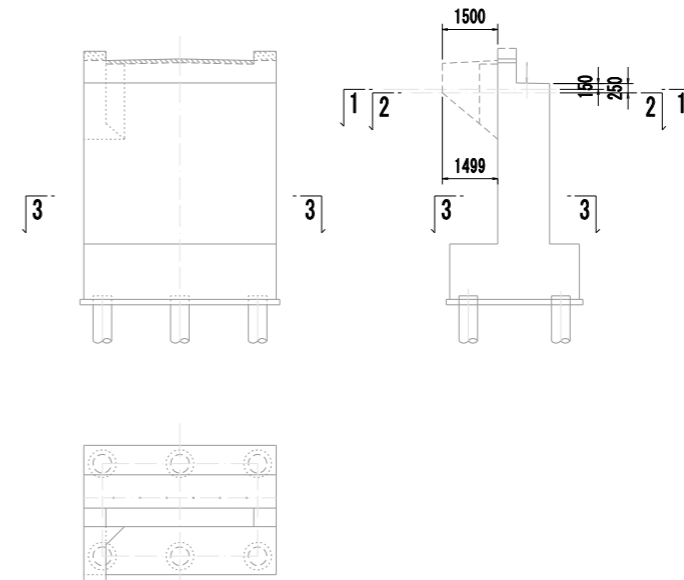
縦壁かぶり詳細図 S=1:20 (S=1:40)



胸壁及び橋座の被り詳細図 S=1:10 (S=1:20)



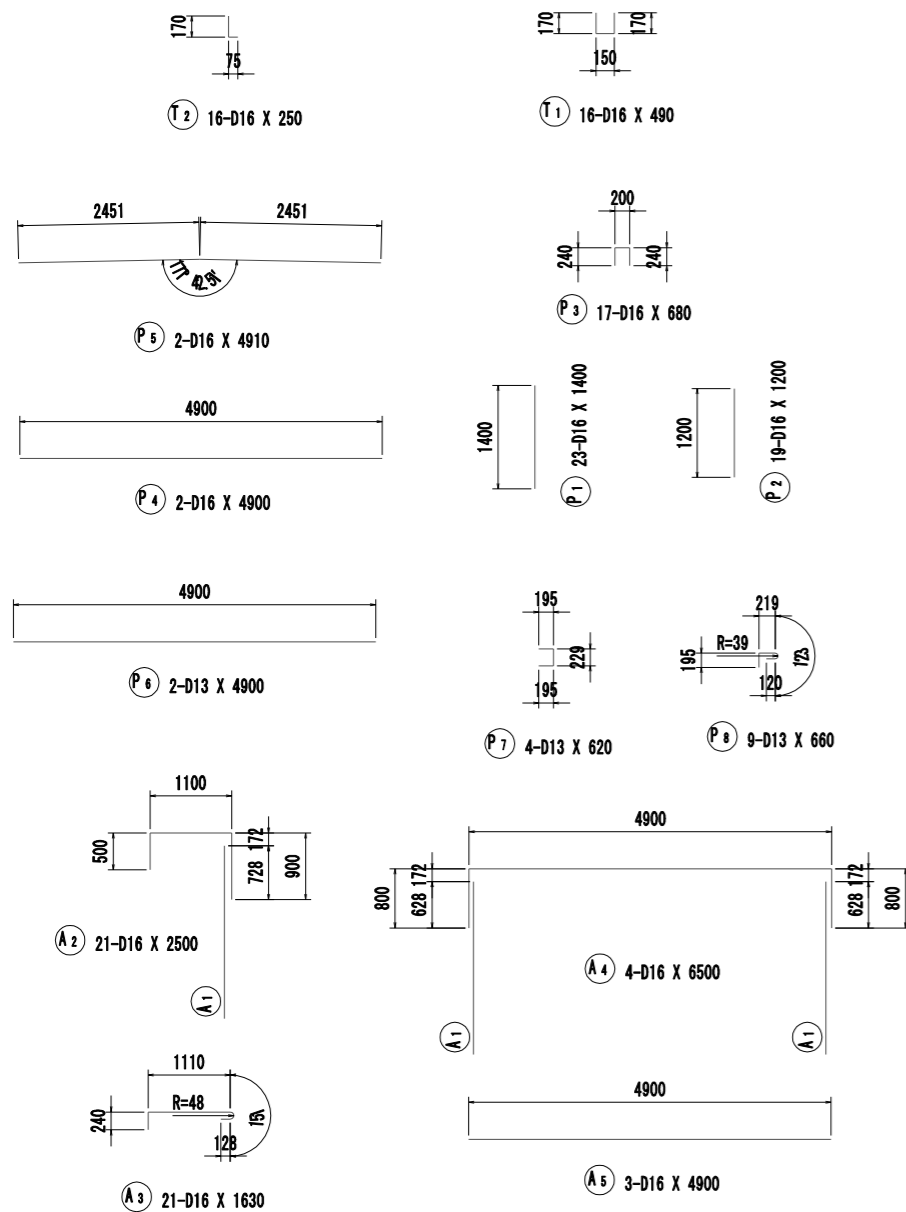
断面位置図



図名	A1橋台配筋図 (その2)
署名	津軽森林管理署 金木支署
名称	仲の股林道 災害復旧工事
縮尺	図示

注) ()内の縮尺は、A3サイズ印刷時を示す。

A1橋台配筋図 (その5) S=1: 50 (S=1: 100)



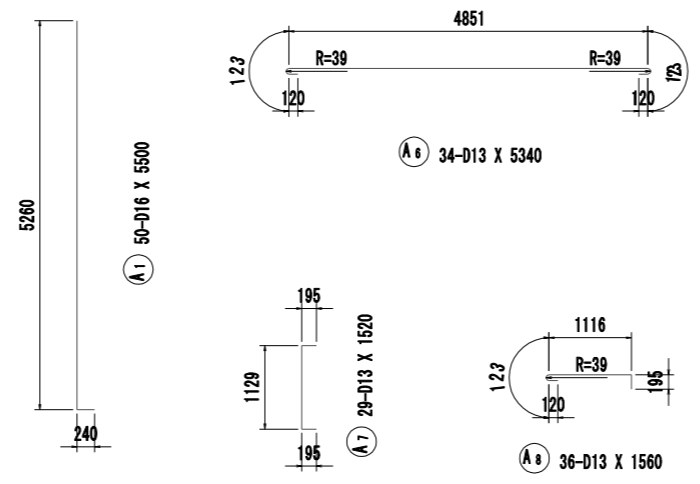
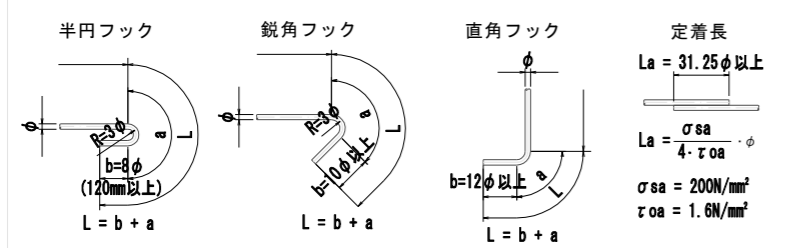
鉄筋表

記号	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg/本)	質量 (kg)	摘要
T ₁	D16	490	16	1.56	0.76	12	┌
T ₂	D16	250	16	1.56	0.39	6	└
							18
P ₁	D16	1400	23	1.56	2.18	50	
P ₂	D16	1200	19	1.56	1.87	36	
P ₃	D16	680	17	1.56	1.06	18	┌
P ₄	D16	4900	2	1.56	7.64	15	┌
P ₅	D16	4910	2	1.56	7.66	15	┌
P ₆	D13	4900	2	0.995	4.88	10	┌
P ₇	D13	620	4	0.995	0.62	2	┌
P ₈	D13	660	9	0.995	0.66	6	┌
							152
K ₁	D13	1620	6	0.995	1.61	10	┌
K ₂	D13	1700	2	0.995	1.69	3	┌
K ₃	D13	430	4	0.995	0.43	2	┌
K ₄	D13	950	4	0.995	0.95	4	┌
							19
A ₁	D16	5500	50	1.56	8.58	429	
A ₂	D16	2500	21	1.56	3.90	82	┌
A ₃	D16	1630	21	1.56	2.54	53	┌
A ₄	D16	6500	4	1.56	10.14	41	┌
A ₅	D16	4900	3	1.56	7.64	23	┌
A ₆	D13	5340	34	0.995	5.31	181	┌
A ₇	D13	1520	29	0.995	1.51	44	┌
A ₈	D13	1560	36	0.995	1.55	56	┌
							909

記号	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg/本)	質量 (kg)	摘要
F ₁	D16	5400	21	1.56	8.42	177	┌
F ₂	D16	3680	21	1.56	5.74	121	┌
F ₃	D16	3650	10	1.56	5.69	57	┌
F ₄	D16	5450	10	1.56	8.50	85	
F ₅	D16	4970	26	1.56	7.75	202	
F ₆	D16	1620	16	1.56	2.53	40	┌
F ₇	D16	1610	9	1.56	2.51	23	┌
F ₈	D16	1610	6	1.56	2.51	15	┌
							720
W ₁	D16	2190	3	1.56	3.42	10	┌
W ₂	D16	1650	4	1.56	2.57	10	┌ (平均長)
W ₃	D16	2170	3	1.56	3.39	10	┌
W ₄	D16	2500	1	1.56	3.90	4	┌
W ₅	D16	2380	1	1.56	3.71	4	┌
W ₆	D16	1800	2	1.56	2.81	6	┌ (平均長)
W ₇	D16	2030	3	1.56	3.17	10	┌
W ₈	D16	2300	4	1.56	3.59	14	┌ (平均長)
W ₉	D16	3500	3	1.56	5.46	16	┌
W ₁₀	D16	1790	2	1.56	2.79	6	┌
W ₁₁	D13	1380	12	0.995	1.37	16	┌ (平均長)
W ₁₂	D13	1680	2	0.995	1.67	3	┌ (平均長)
W ₁₃	D13	690	7	0.995	0.69	5	┌
W ₁₄	D13	720	7	0.995	0.72	5	┌
W ₁₅	D13	750	4	0.995	0.75	3	┌
							122
合計 D16				1590 kg			
D13				350 kg			
総質量				1940 kg			

鉄筋曲げ加工及び定着長(重ね継手長)表

径	半円フック				鋭角フック(α=45°)				直角フック				定着長 La
	半径 R	円弧長 a	直線長 b	全長 L	半径 R	円弧長 a	直線長 b	全長 L	半径 R	円弧長 a	直線長 b	全長 L	
D13	39	123	120	243	39	92	130	222	39	61	156	217	410
D16	48	151	128	279	48	113	160	273	48	75	192	267	500
D19	57	179	152	331	57	134	190	324	57	90	228	318	600
D22	66	207	176	383	66	156	220	376	66	104	264	368	690
D25	75	236	200	436	75	177	250	427	75	118	300	418	790
D29	87	273	232	505	87	205	290	495	87	137	348	485	910
D32	96	302	256	558	96	226	320	546	96	151	384	535	1,000
D35	105	330	280	610	105	247	350	597	105	165	420	585	1,100

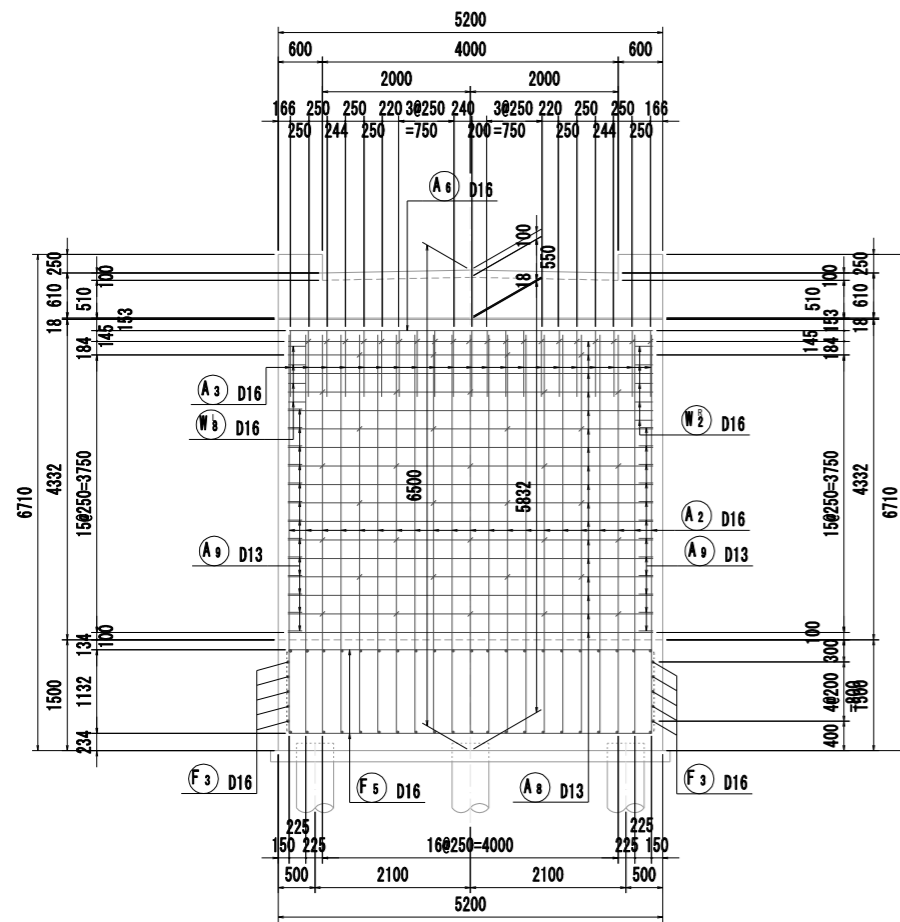


(注) ()内の縮尺は、A3サイズ印刷時を示す。

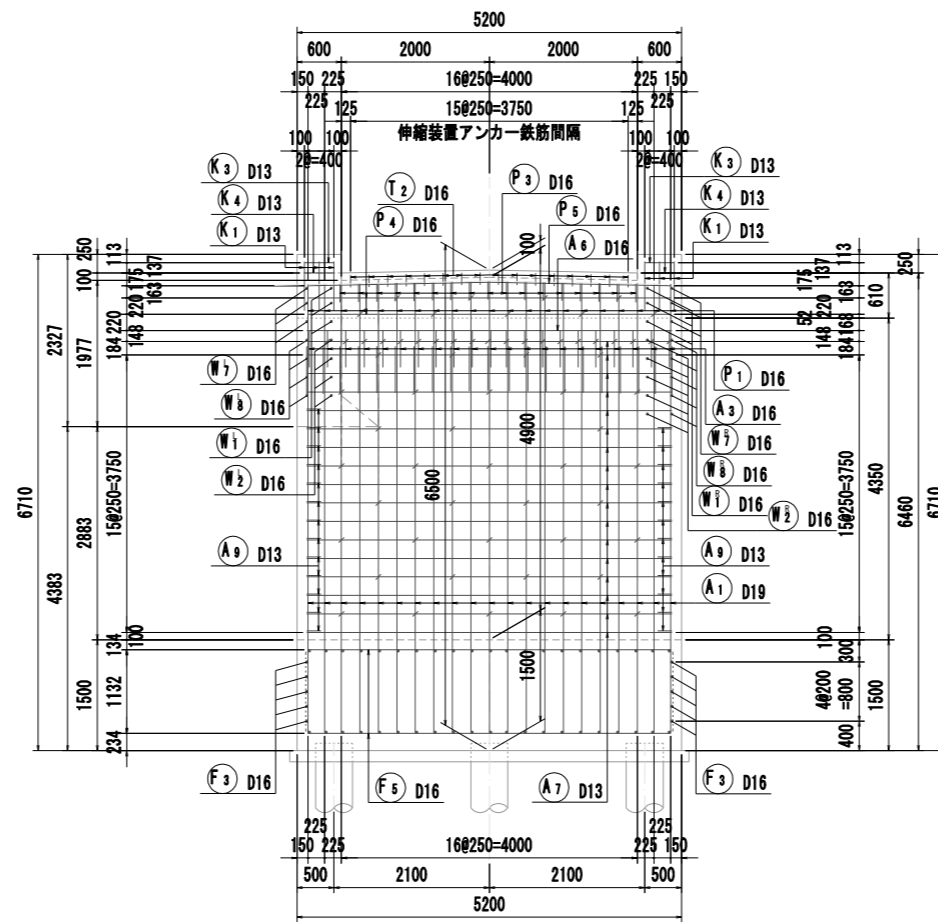
図名	A1橋台配筋図 (その5)
署名	津軽森林管理署 金木支署
名称	仲の股林道 災害復旧工事
縮尺	図示

A2橋台配筋図 (その1) S=1:50 (S=1:100)

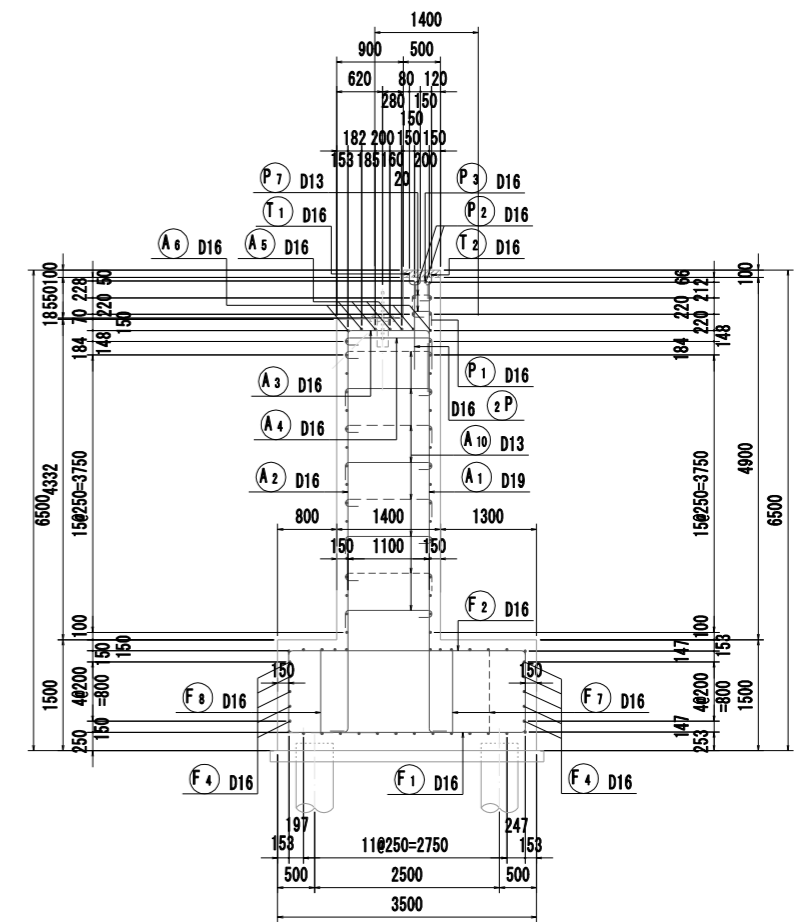
縦壁前面 (1-1)



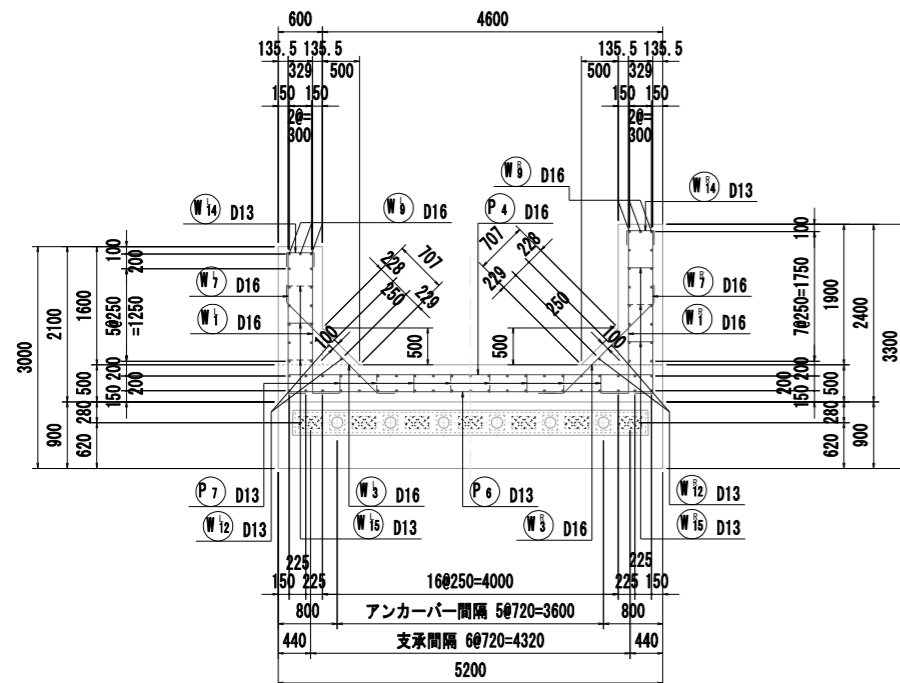
縦壁背面 (3-3)



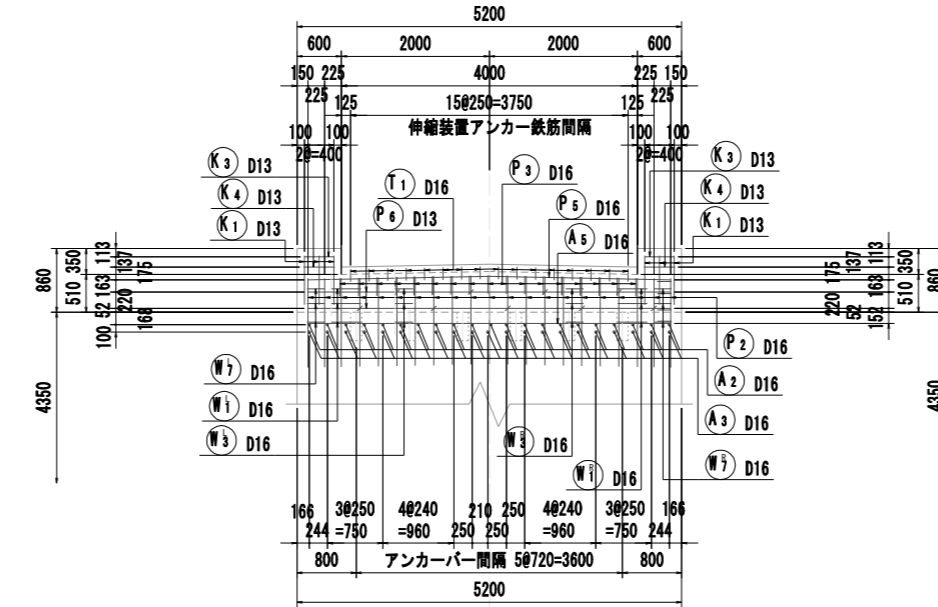
縦断面 (4-4)



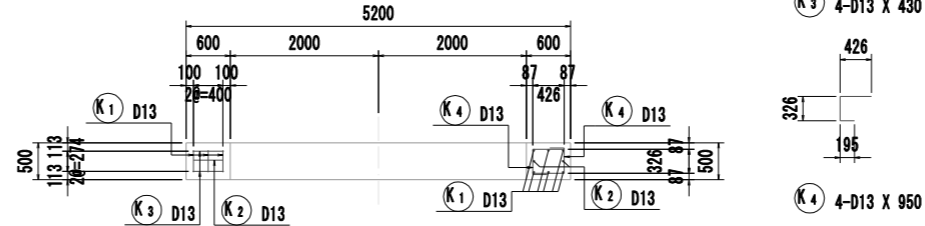
胸壁水平断面 (7-7)



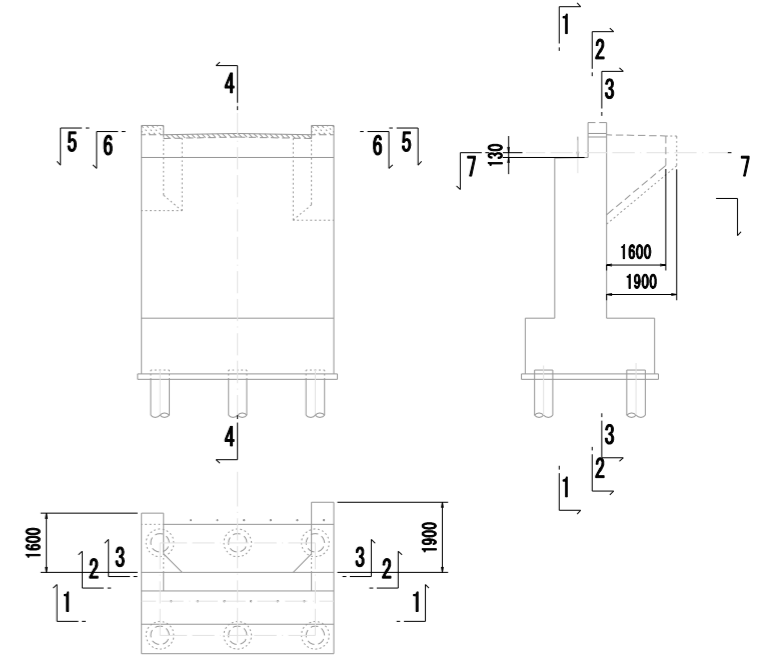
胸壁前面 (2-2)



地覆天端 (5-5) 地覆水平断面 (6-6)



断面位置図



注) ()内の縮尺は、A3サイズ印刷時を示す。

図名	A2橋台配筋図 (その1)
署名	津軽森林管理署 金木支署
名称	仲の股林道 災害復旧工事
縮尺	図示

Ⓚ3 4-D13 X 430

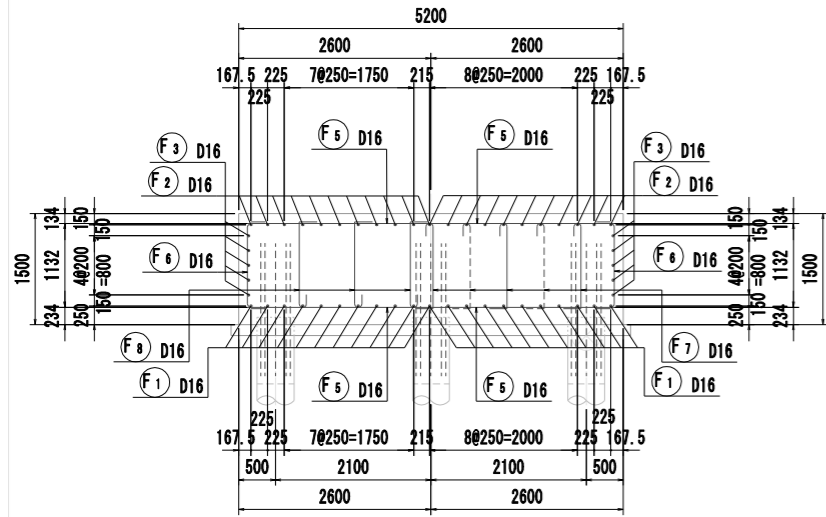
Ⓚ4 4-D13 X 950

Ⓚ1 6-D13 X 1620

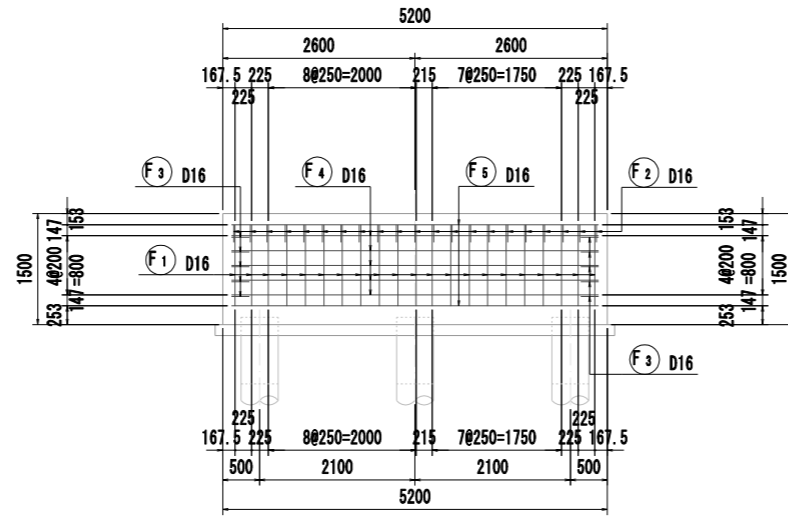
Ⓚ2 2-D13 X 1700

A2橋台配筋図 (その3) $S=1:50$ ($S=1:100$)

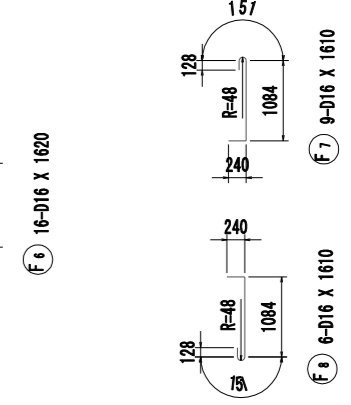
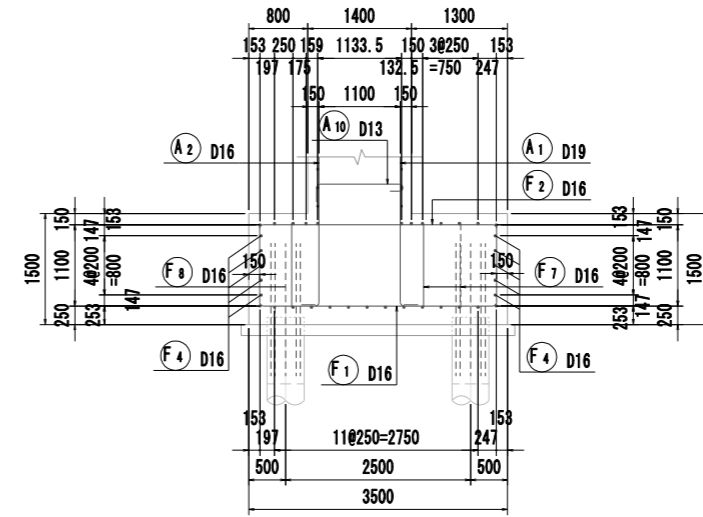
底版前趾断面(2-2) 底版後趾断面(3-3)



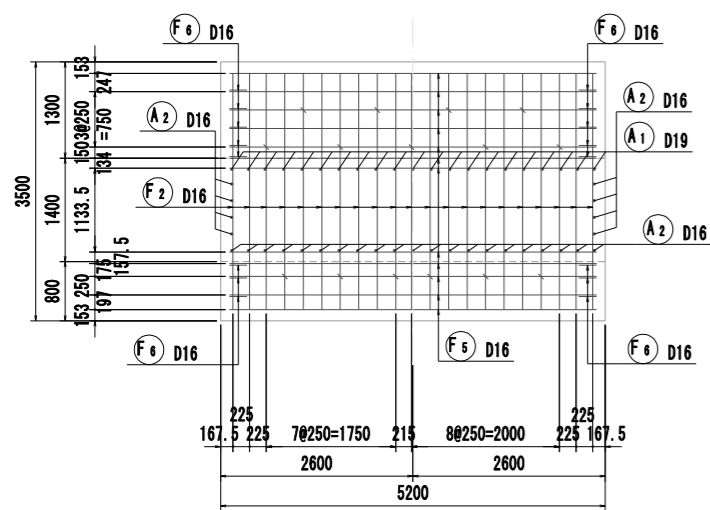
底版前後趾端(1-1, 4-4)



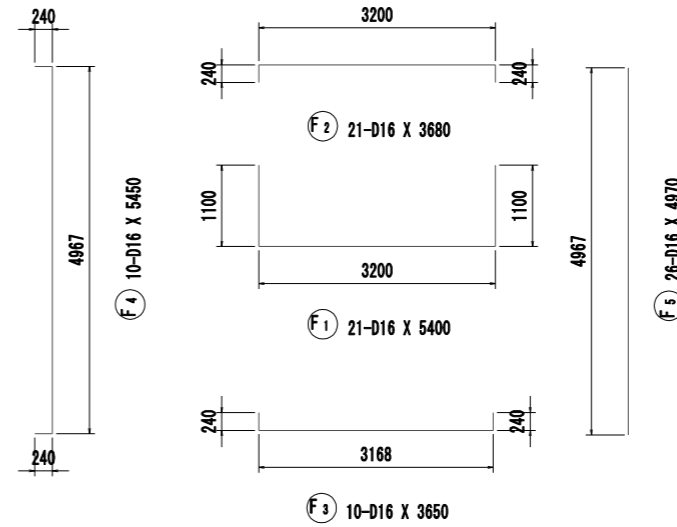
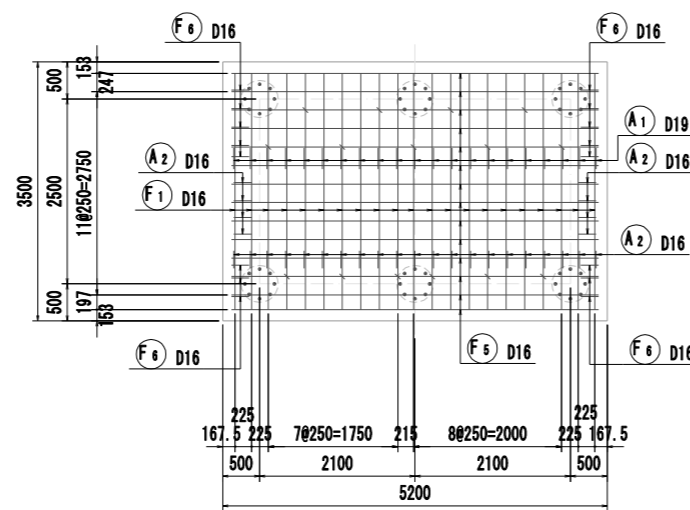
底版縦断面図(5-5)



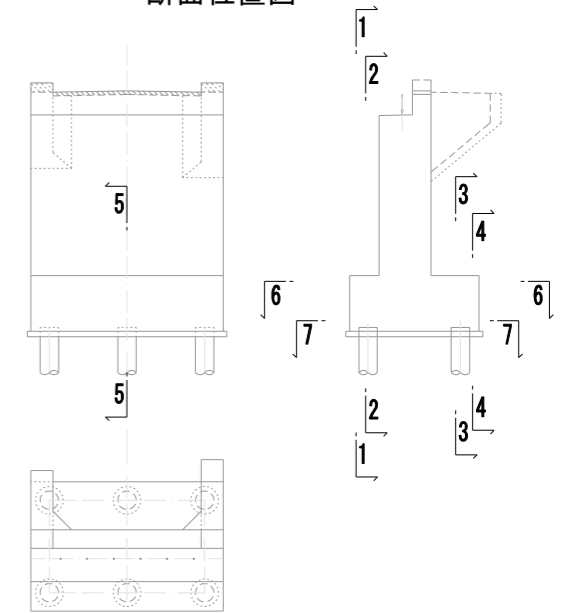
底版上面(6-6)



底版下面(7-7)

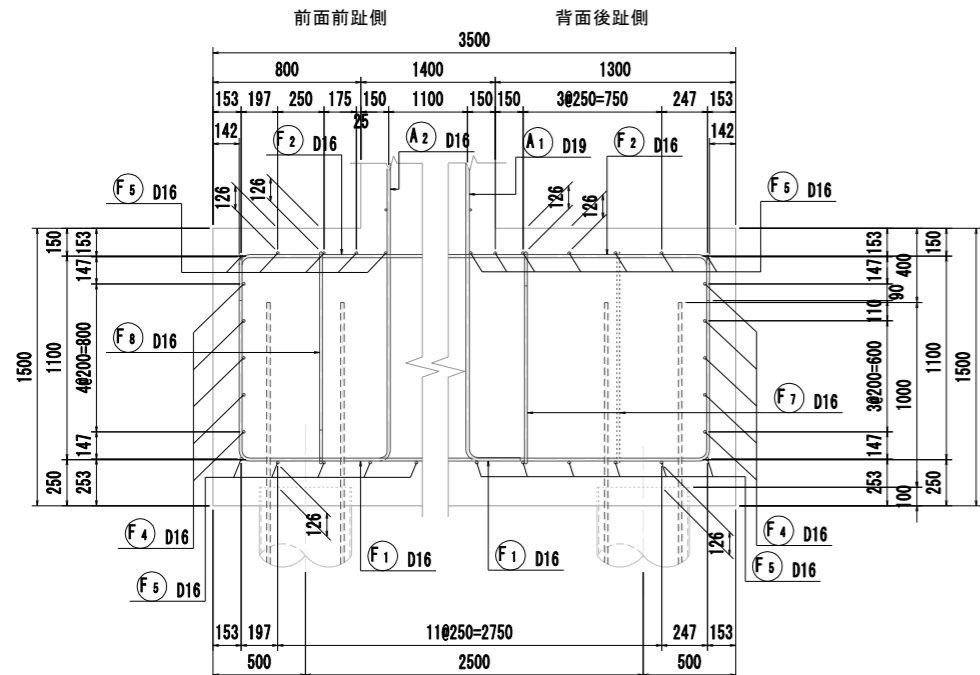


断面位置図

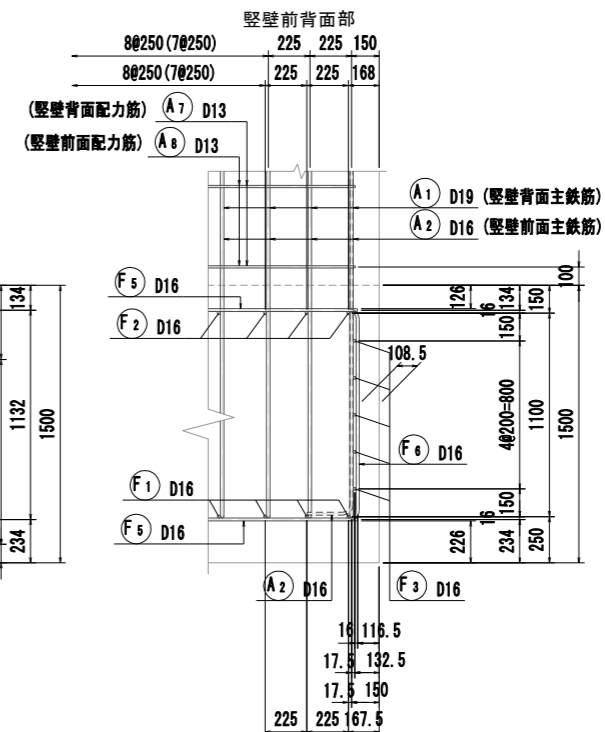
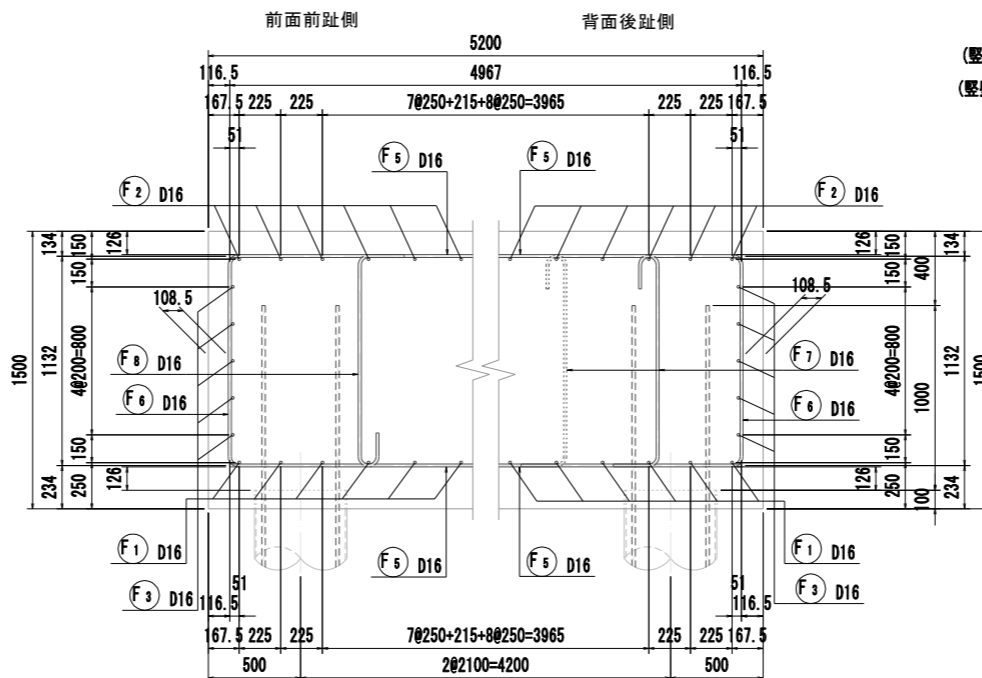


底版部かぶり詳細図 $S=1:20$
($S=1:40$)

橋軸方向断面



橋軸直角方向断面

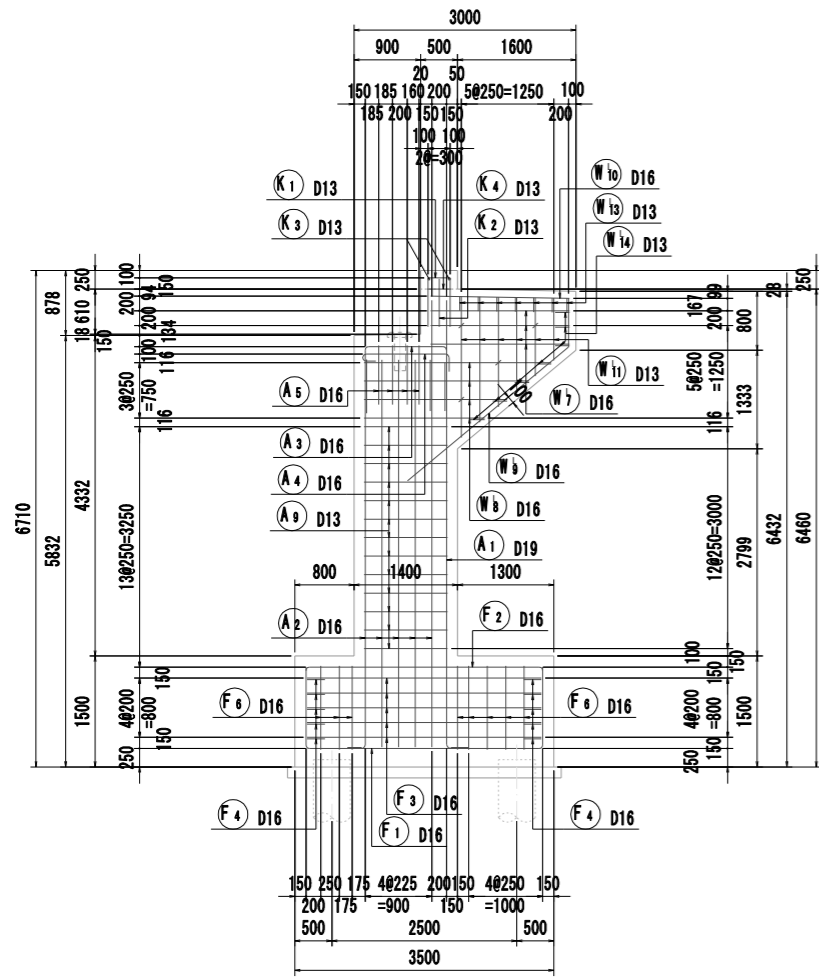


注) ()内の縮尺は、A3サイズ印刷時を示す。

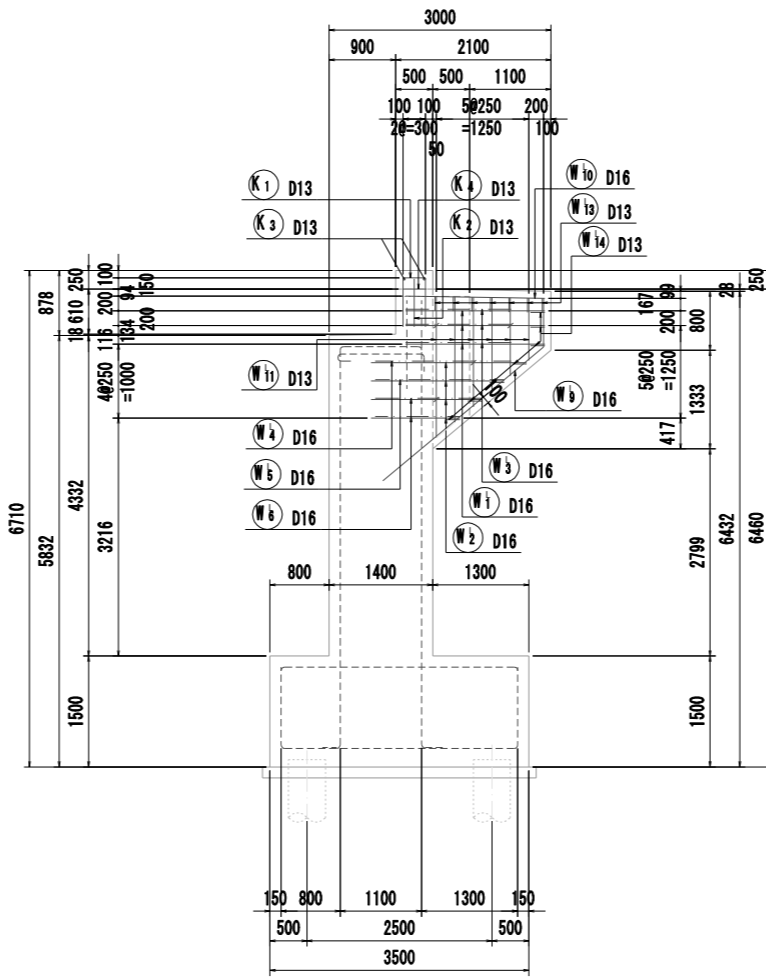
図名	A2橋台配筋図 (その3)
署名	津軽森林管理署 金木支署
名称	仲の股林道 災害復旧工事
縮尺	図示

A2橋台配筋図 (その4) $S=1:50$ ($S=1:100$)

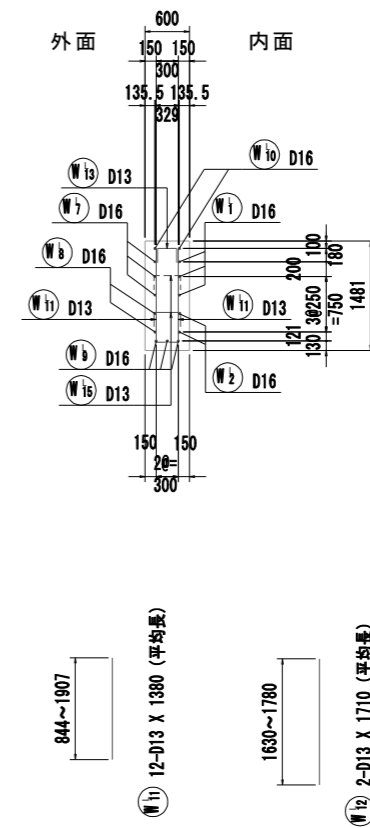
左翼壁外面 (1-1)



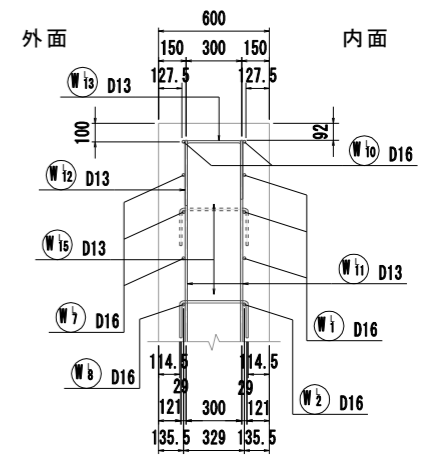
左翼壁内面 (2-2)



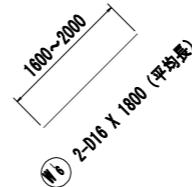
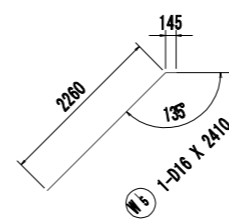
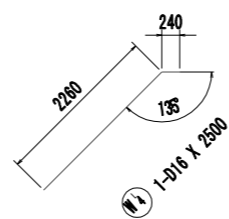
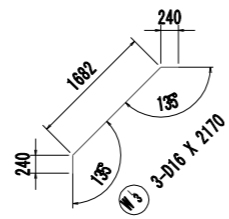
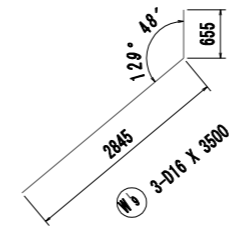
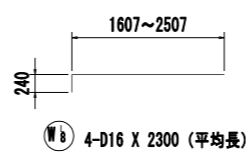
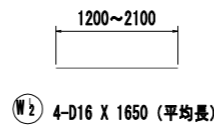
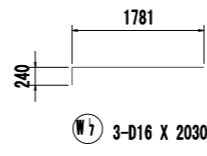
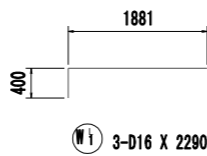
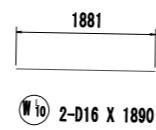
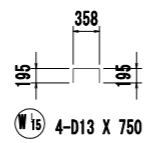
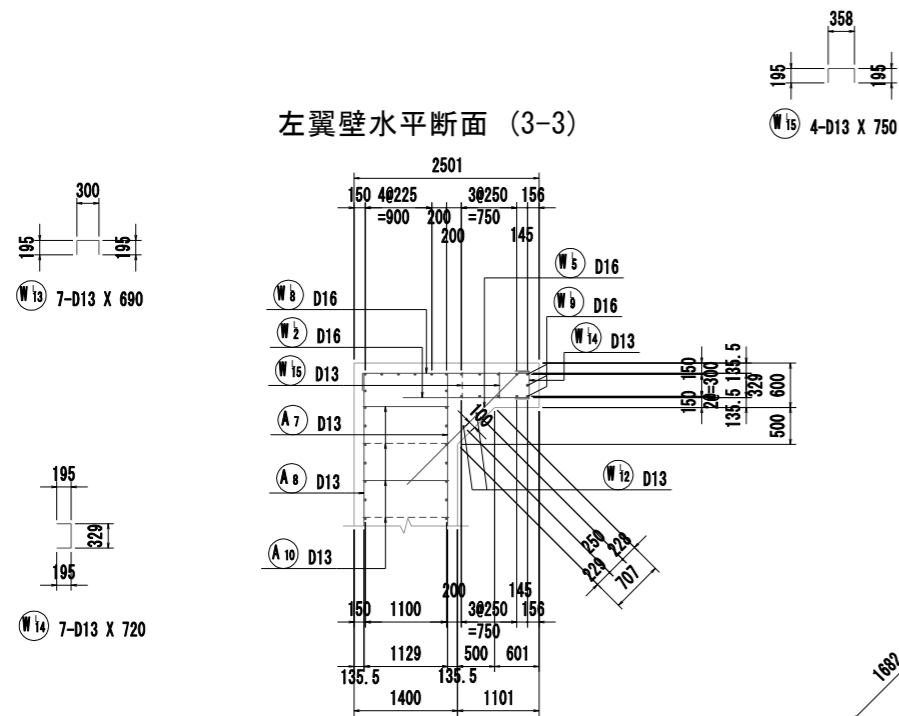
左翼壁鉛直断面 (4-4)



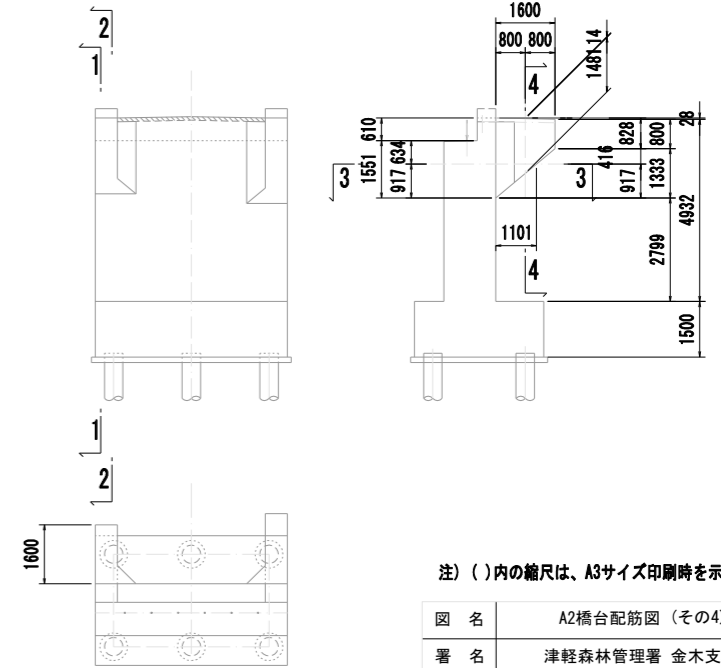
左翼壁かぶり詳細図 ($S=1:20$)
($S=1:40$)



左翼壁水平断面 (3-3)



断面位置図

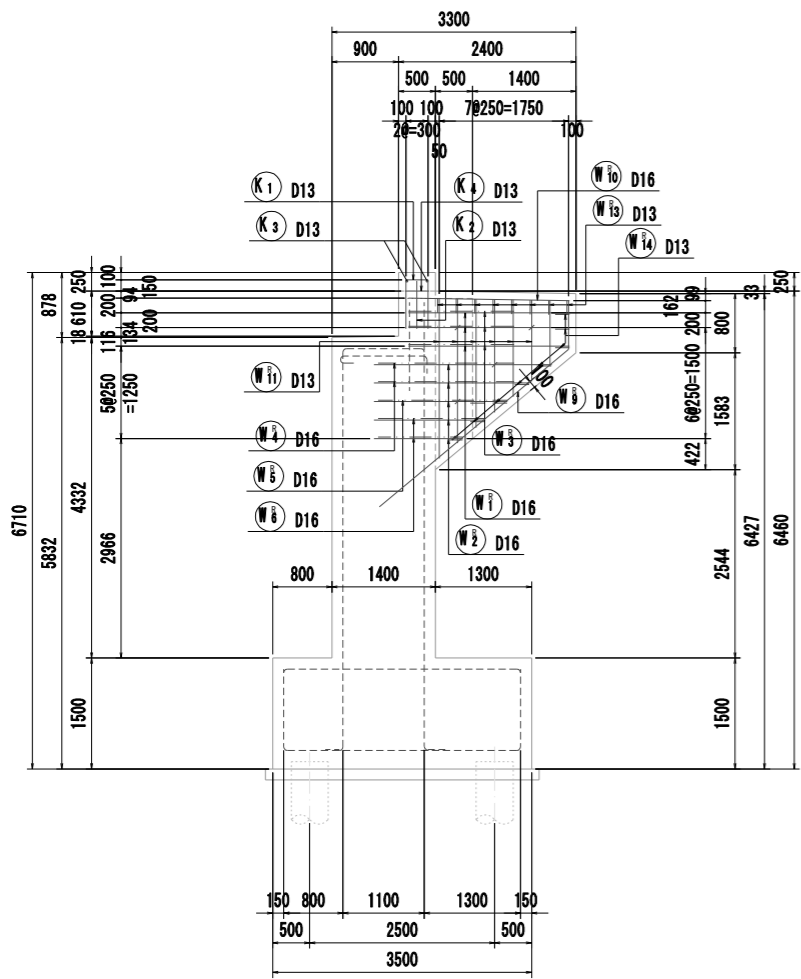


注) ()内の縮尺は、A3サイズ印刷時を示す。

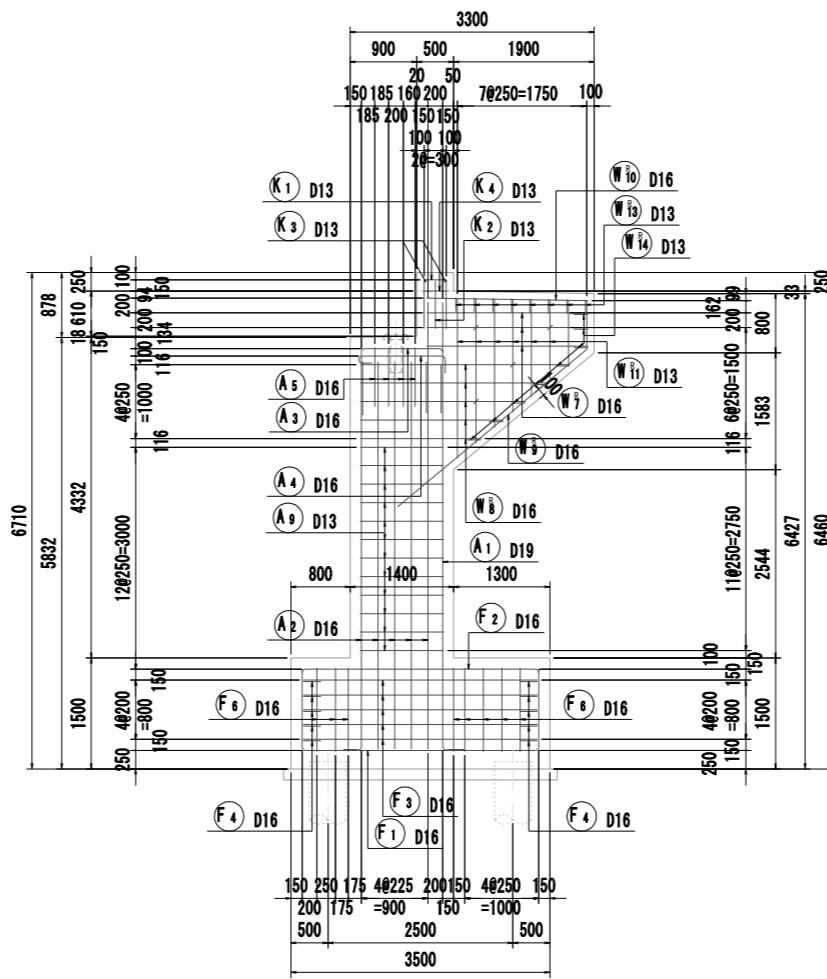
図名	A2橋台配筋図 (その4)
署名	津軽森林管理署 金木支署
名称	仲の股林道 災害復旧工事
縮尺	図示

A2橋台配筋図 (その5) $S=1:50$ ($S=1:100$)

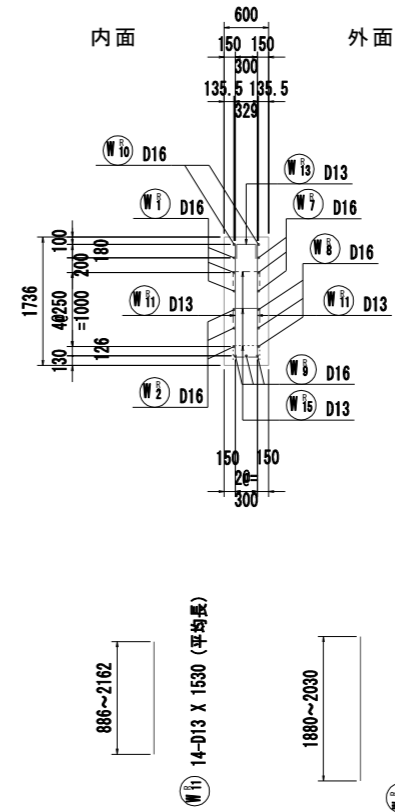
右翼壁内面 (1-1)



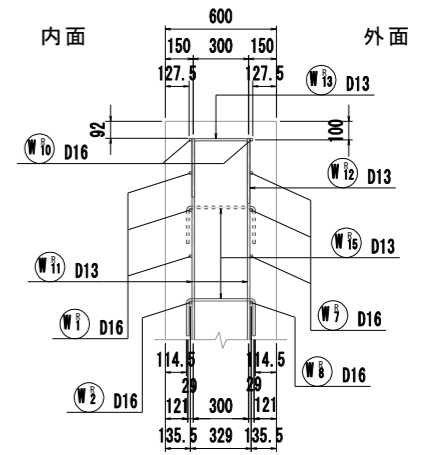
右翼壁外面 (2-2)



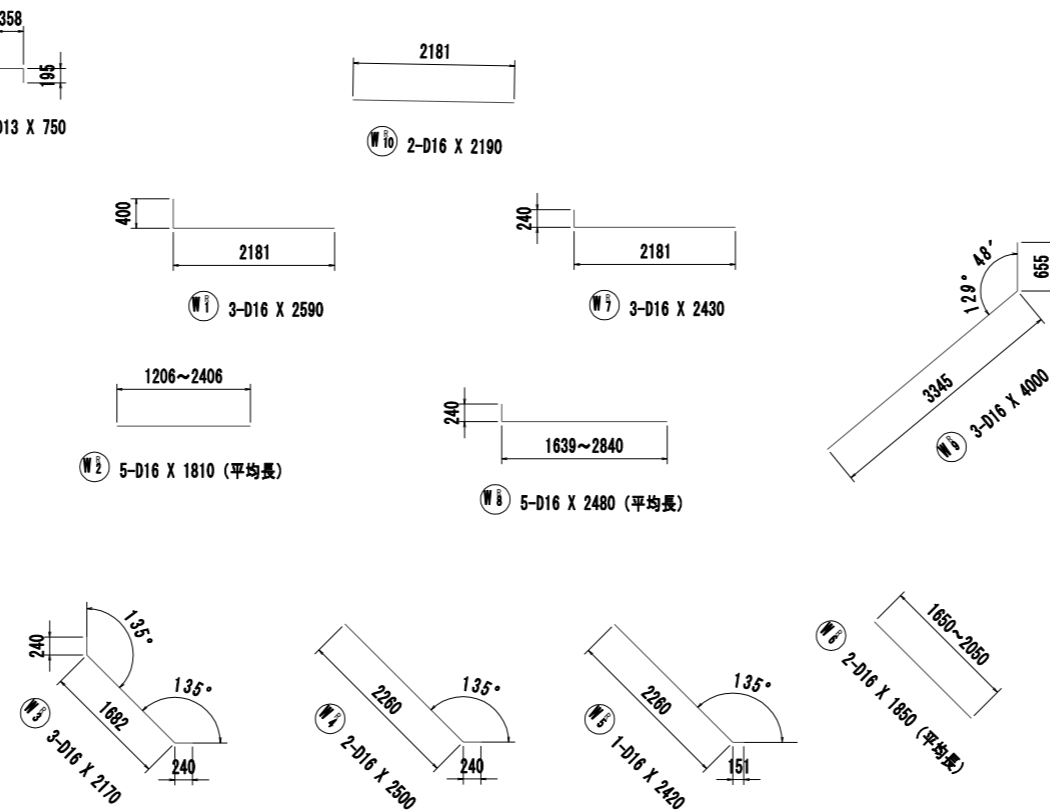
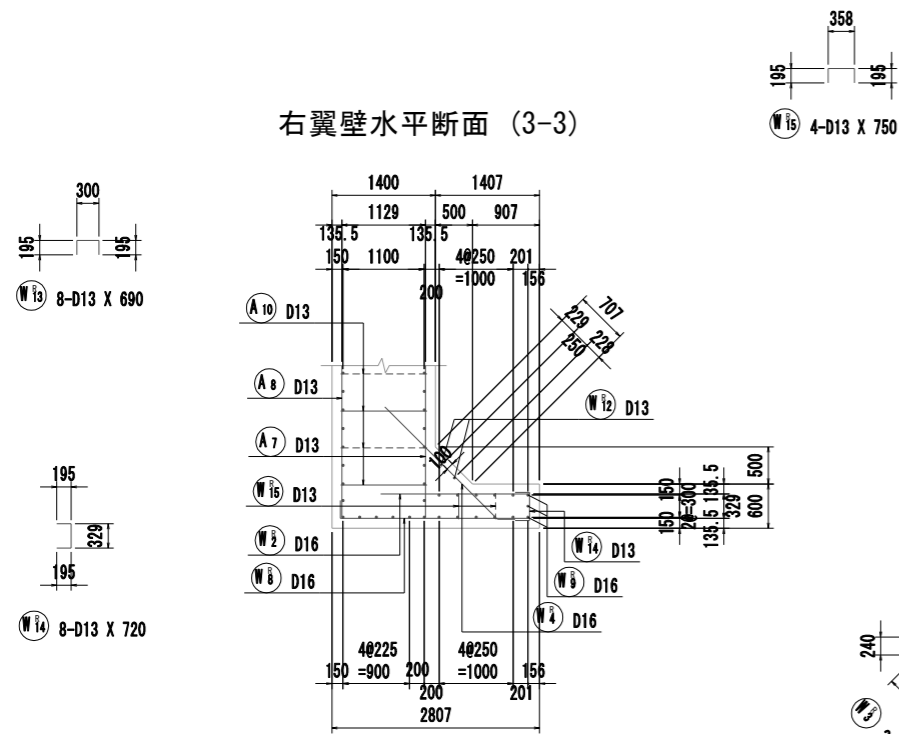
右翼壁鉛直断面 (4-4)



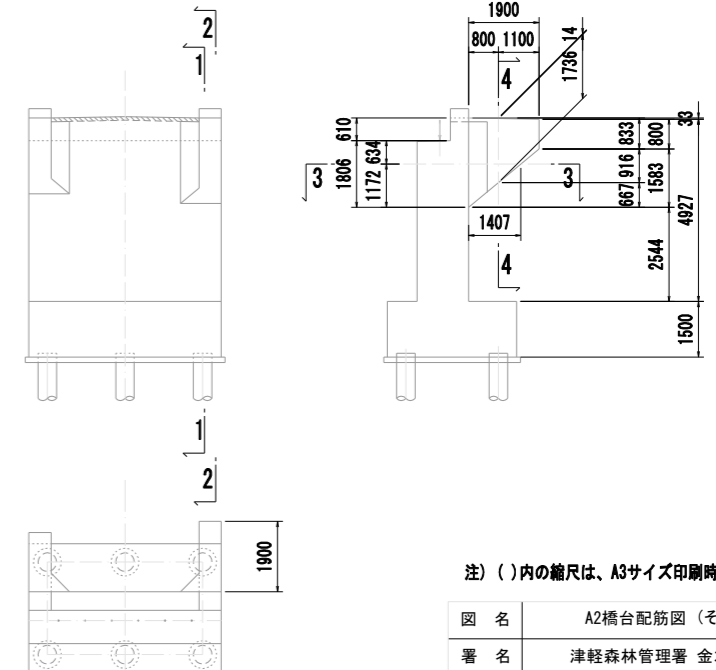
右翼壁かぶり詳細図 ($S=1:20$)
($S=1:40$)



右翼壁水平断面 (3-3)



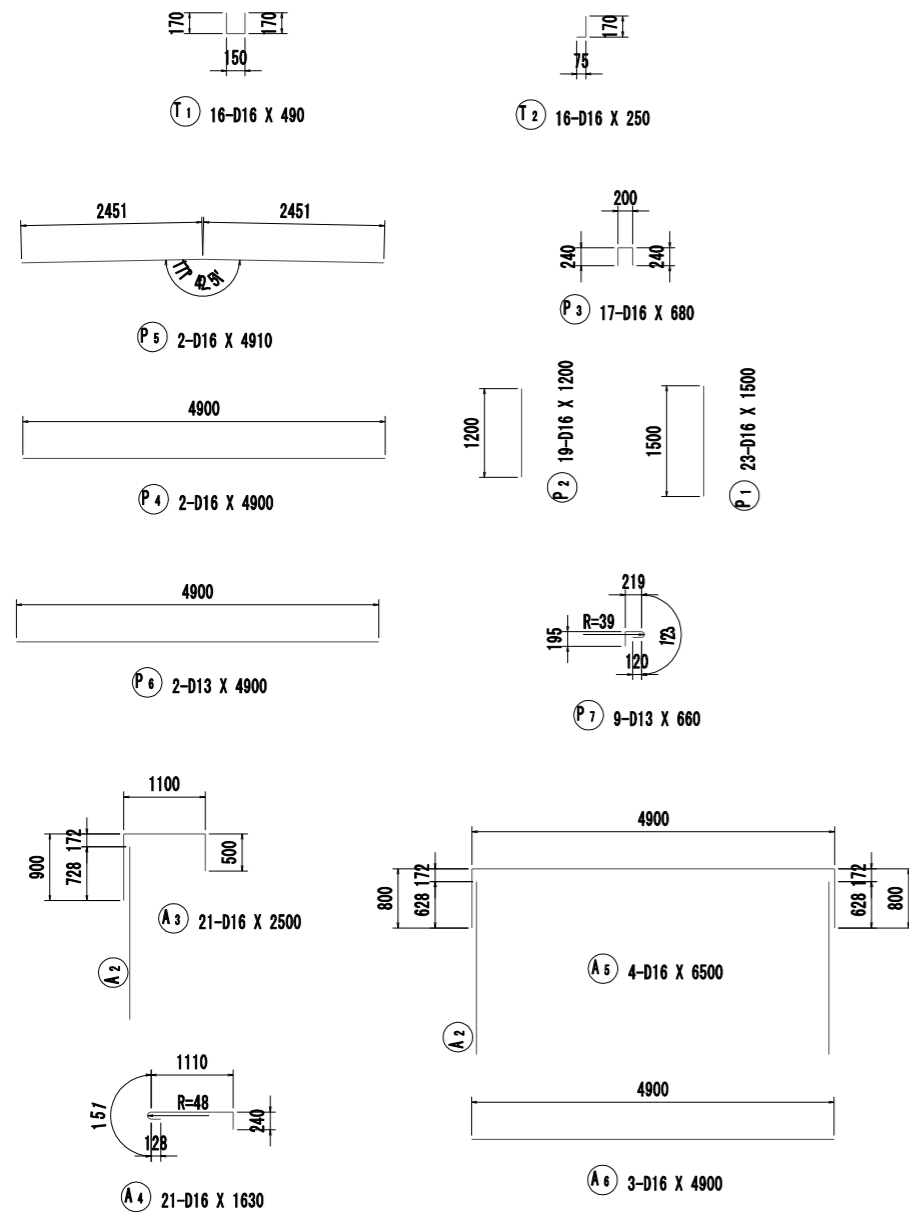
断面位置図



注) ()内の縮尺は、A3サイズ印刷時を示す。

図名	A2橋台配筋図 (その5)
署名	津軽森林管理署 金木支署
名称	仲の股林道 災害復旧工事
縮尺	図示

A2橋台配筋図 (その6) S=1: 50 (S=1: 100)



鉄筋表

記号	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg/本)	質量 (kg)	摘要
T ₁	D16	490	16	1.56	0.76	12	┌
T ₂	D16	250	16	1.56	0.39	6	└
							18
P ₁	D16	1500	23	1.56	2.34	54	
P ₂	D16	1200	19	1.56	1.87	36	
P ₃	D16	680	17	1.56	1.06	18	
P ₄	D16	4900	2	1.56	7.64	15	—
P ₅	D16	4910	2	1.56	7.66	15	—
P ₆	D13	4900	2	0.995	4.88	10	—
P ₇	D13	660	9	0.995	0.66	6	—
							154
K ₁	D13	1620	6	0.995	1.61	10	┐
K ₂	D13	1700	2	0.995	1.69	3	┐
K ₃	D13	430	4	0.995	0.43	2	—
K ₄	D13	950	4	0.995	0.95	4	└
							19
A ₁	D19	5500	21	2.25	12.38	260	
A ₂	D16	5500	29	1.56	8.58	249	
A ₃	D16	2500	21	1.56	3.90	82	┌
A ₄	D16	1630	21	1.56	2.54	53	┐
A ₅	D16	6500	4	1.56	10.14	41	┐
A ₆	D16	4900	3	1.56	7.64	23	—
A ₇	D13	5340	17	0.995	5.31	90	—
A ₈	D13	5340	17	0.995	5.31	90	—
A ₉	D13	1530	25	0.995	1.52	38	┌
A ₁₀	D13	1560	36	0.995	1.55	56	┐
							982

記号	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg/本)	質量 (kg)	摘要
F ₁	D16	5400	21	1.56	8.42	177	┌
F ₂	D16	3680	21	1.56	5.74	121	┐
F ₃	D16	3650	10	1.56	5.69	57	┐
F ₄	D16	5450	10	1.56	8.50	85	
F ₅	D16	4970	26	1.56	7.75	202	
F ₆	D16	1620	16	1.56	2.53	40	└
F ₇	D16	1610	9	1.56	2.51	23	└
F ₈	D16	1610	6	1.56	2.51	15	└
							720

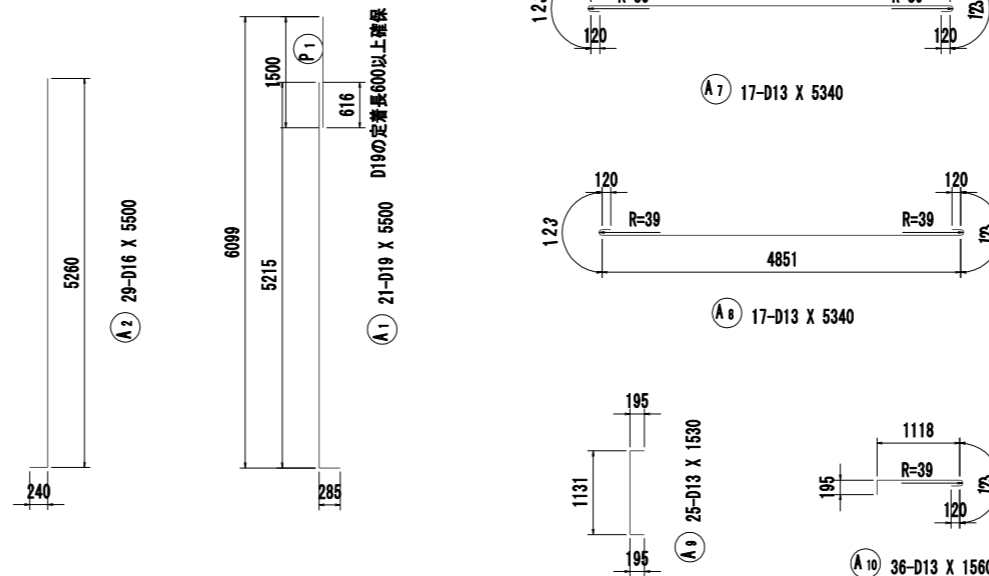
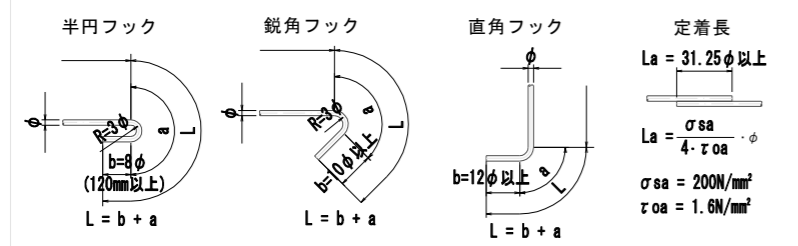
記号	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg/本)	質量 (kg)	摘要
W ₁	D16	2290	3	1.56	3.57	11	┐
W ₂	D16	1650	4	1.56	2.57	10	— (平均長)
W ₃	D16	2170	3	1.56	3.39	10	┐
W ₄	D16	2500	1	1.56	3.90	4	┐
W ₅	D16	2410	1	1.56	3.76	4	┐
W ₆	D16	1800	2	1.56	2.81	6	┐ (平均長)
W ₇	D16	2030	3	1.56	3.17	10	┐
W ₈	D16	2300	4	1.56	3.59	14	┐ (平均長)
W ₉	D16	3500	3	1.56	5.46	16	┐
W ₁₀	D16	1890	2	1.56	2.95	6	┐
W ₁₁	D13	1380	12	0.995	1.37	16	┐ (平均長)
W ₁₂	D13	1710	2	0.995	1.70	3	┐ (平均長)
W ₁₃	D13	690	7	0.995	0.69	5	┐
W ₁₄	D13	720	7	0.995	0.72	5	┐
W ₁₅	D13	750	4	0.995	0.75	3	┐
							123

記号	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg/本)	質量 (kg)	摘要
W ₁	D16	2590	3	1.56	4.04	12	┐
W ₂	D16	1810	5	1.56	2.82	14	┐ (平均長)
W ₃	D16	2170	3	1.56	3.39	10	┐
W ₄	D16	2500	2	1.56	3.90	8	┐
W ₅	D16	2420	1	1.56	3.78	4	┐
W ₆	D16	1850	2	1.56	2.89	6	┐ (平均長)
W ₇	D16	2430	3	1.56	3.79	11	┐
W ₈	D16	2480	5	1.56	3.87	19	┐ (平均長)
W ₉	D16	4000	3	1.56	6.24	19	┐
W ₁₀	D16	2190	2	1.56	3.42	7	┐
W ₁₁	D13	1530	14	0.995	1.52	21	┐ (平均長)
W ₁₂	D13	1960	2	0.995	1.95	4	┐ (平均長)
W ₁₃	D13	690	8	0.995	0.69	6	┐
W ₁₄	D13	720	8	0.995	0.72	6	┐
W ₁₅	D13	750	4	0.995	0.75	3	┐
							150

合計 D19	260 kg
D16	1525 kg
D13	381 kg
総質量	2166 kg

鉄筋曲げ加工及び定着長(重ね継手長)表

	半円フック				鋭角フック(α=45°)				直角フック				定着長 La
	半径 R	円弧長 a	直線長 b	全長 L	半径 R	円弧長 a	直線長 b	全長 L	半径 R	円弧長 a	直線長 b	全長 L	
D13	39	123	120	243	39	92	130	222	39	61	156	217	410
D16	48	151	128	279	48	113	160	273	48	75	192	267	500
D19	57	179	152	331	57	134	190	324	57	90	228	318	600
D22	66	207	176	383	66	156	220	376	66	104	264	368	690
D25	75	236	200	436	75	177	250	427	75	118	300	418	790
D29	87	273	232	505	87	205	290	495	87	137	348	485	910
D32	96	302	256	558	96	226	320	546	96	151	384	535	1,000
D35	105	330	280	610	105	247	350	597	105	165	420	585	1,100

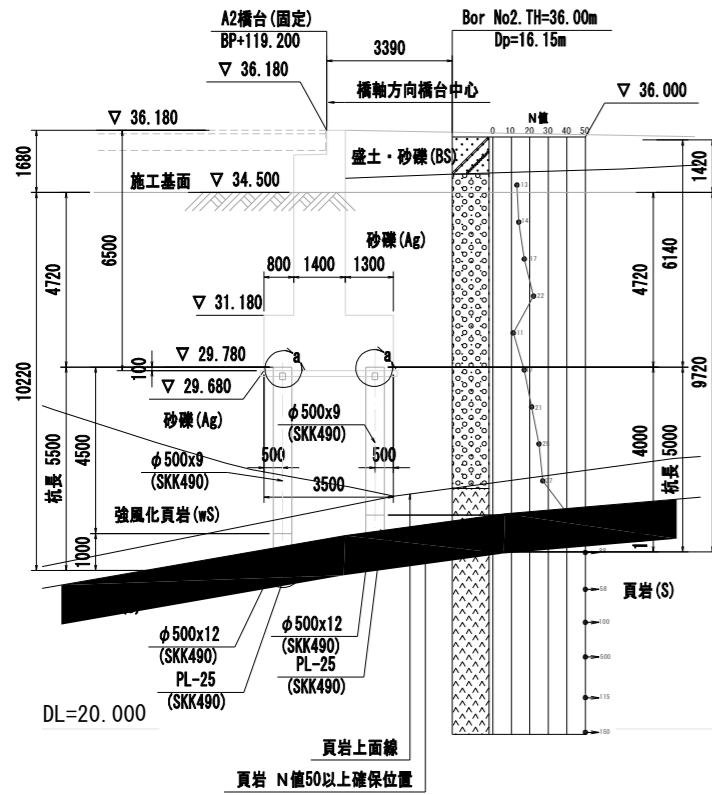


注) ()内の縮尺は、A3サイズ印刷時を示す。

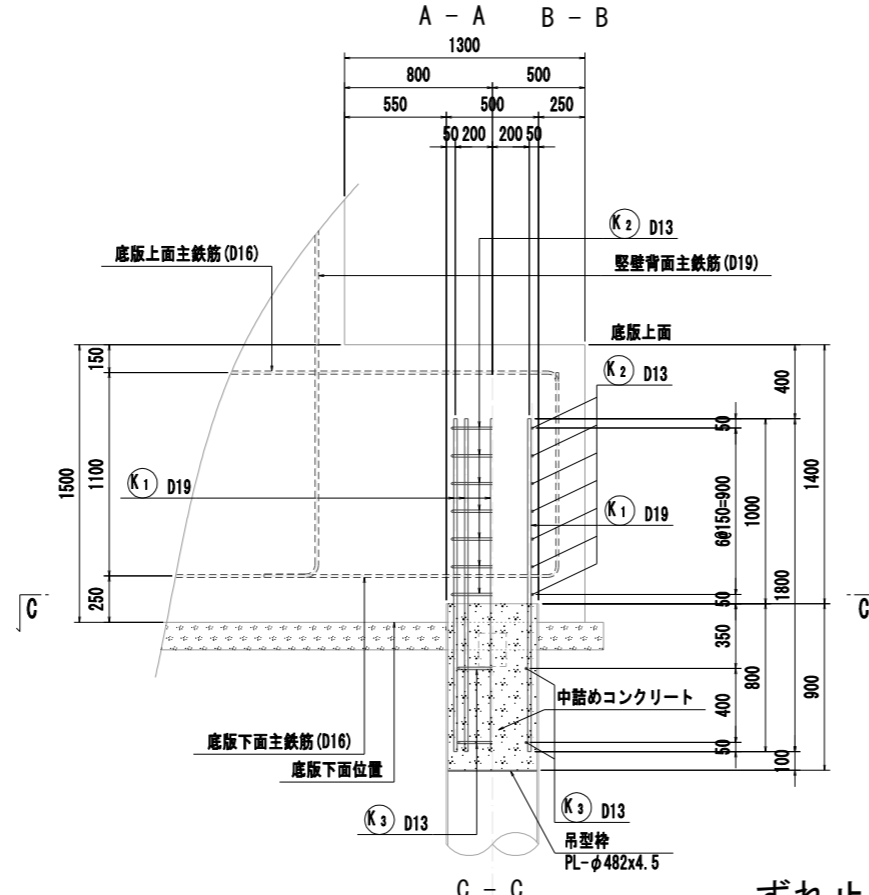
図名	A2橋台配筋図 (その6)
署名	津軽森林管理署 金木支署
名称	仲の股林道 災害復旧工事
縮尺	図示

A2橋台回転杭φ500詳細図

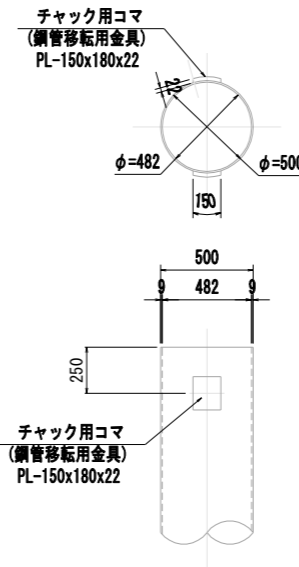
基礎杭(回転杭)側面図 S=1:100 (S=1:200)



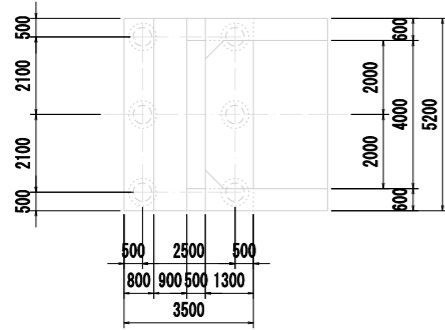
杭頭アノカ鉄筋詳細図



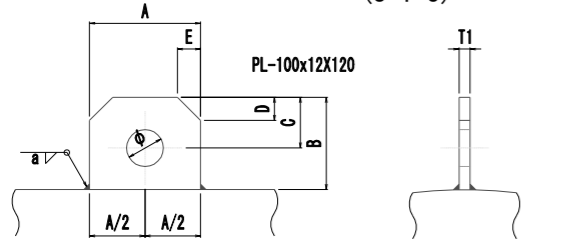
杭頭部詳細図(a) S=1:20 (S=1:40)



基礎杭配置図 S=1:100 (S=1:200)



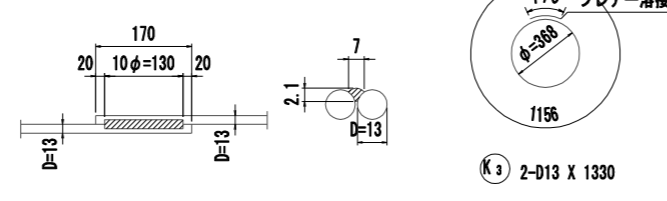
吊金具詳細図 S=1:4 (S=1:8)



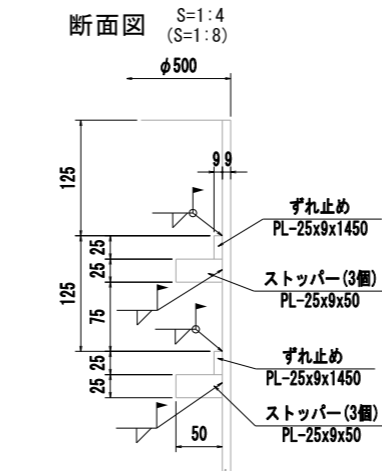
吊金具寸法表 (mm)

最大吊荷重 (ton)	A	B	C	D	E	T1	φ	a	吊金具質量 (kg/箇)
3以下	120	100	55	25	25	12	40	6	1
3~5以下	120	100	55	25	25	16	40	9	2
5~10以下	200	150	90	30	30	22	65	15	5

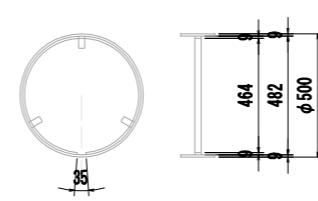
フレア溶接詳細図



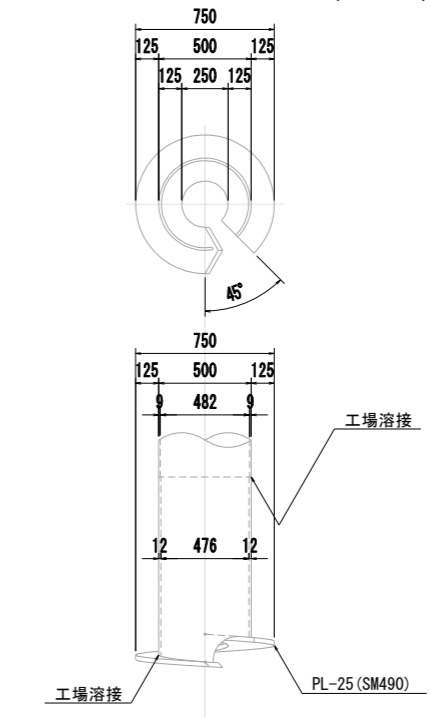
ずれ止め詳細図



ずれ止め平面図 S=1:15 (S=1:30)



羽根部詳細図(b) S=1:20 (S=1:40)



材料表

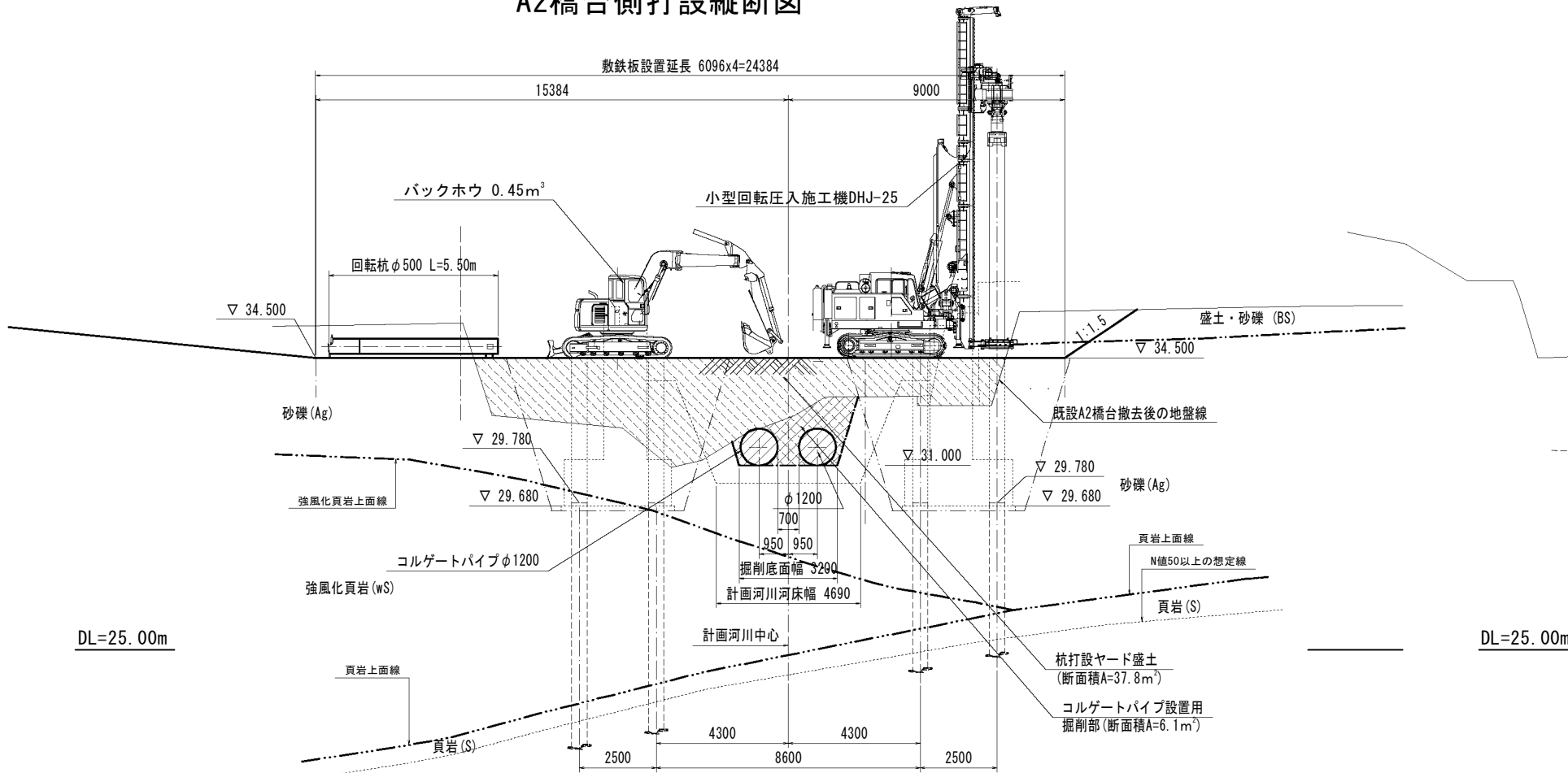
種別	形状寸法	長さ(mm)	本数	単位重量(kg/m)	一本当り重量(kg)	重量(kg)	摘要	
杭本体重量(前面杭1本当り)								
PILE	500×9	4500	1	109.0	490.5	490.5	SKK490	
						490.5 kgf		
杭本体重量(背面杭1本当り)								
PILE	500×9	4000	1	109.0	436.0	436.0	SKK490	
						436.0 kgf		
付属品(杭1本当り)								
PL	25×9	1450	2	1.766	2.561	5.1	ずれ止め	
"	9×25	50	6	1.766	0.088	0.5	ストッパー	
"	100×12	120	2	9.420	1.130	2.3	吊り金具	
"	150×22	180	2	25.905	4.663	9.3	鋼管回転用金具	
"	φ482×4.5		1		6.446	6.4	吊り型枠	
						23.6 kgf		
鉄筋								
種別	径	長さ	本数	単位重量(kg/m)	一本当り重量(kg)	重量	摘要	
K1	D19	1800	8	2.25	4.050	32.4		
K2	D13	1530	7	0.995	1.522	10.7	○	
K3	D13	1330	2	0.995	1.323	2.6	○	
						45.7 kgf		
		前面杭1本当り重量				490.5 kgf		
		背面杭1本当り重量				436.0 kgf		
		橋台1基当り(n=6本)				2,779.5 kgf	(SKK490)	
		鋼管(SKK490)				213.0 kgf	(SKK490)	
		先端羽根(SKK490)				213.0 kgf	(SKK490)	
		PL(SS400)				23.6 kgf	(SS400)	
		鉄筋(SD345)				45.7 kgf	(SD345)	
		合計				772.8 kgf		
		先端羽根抜き重量				559.8 kgf		
						505.3 kgf		
						3,195.3 kgf		
		先端羽根個数				6個		
		先端羽根	— [外径φ750 内径φ250(SM490) / 母管φ500x12tx1000(SKK490)] W=213kg/個					
		中詰めコンクリート (σ _{ck} =24N/mm ²)	1本当り V = 1/4 X π X 0.482 ² X 0.900 = 0.164m ³					
			橋台1基当り V = 0.164 X 6 = 0.98m ³					

注) ()内の縮尺は、A3サイズ印刷時を示す。

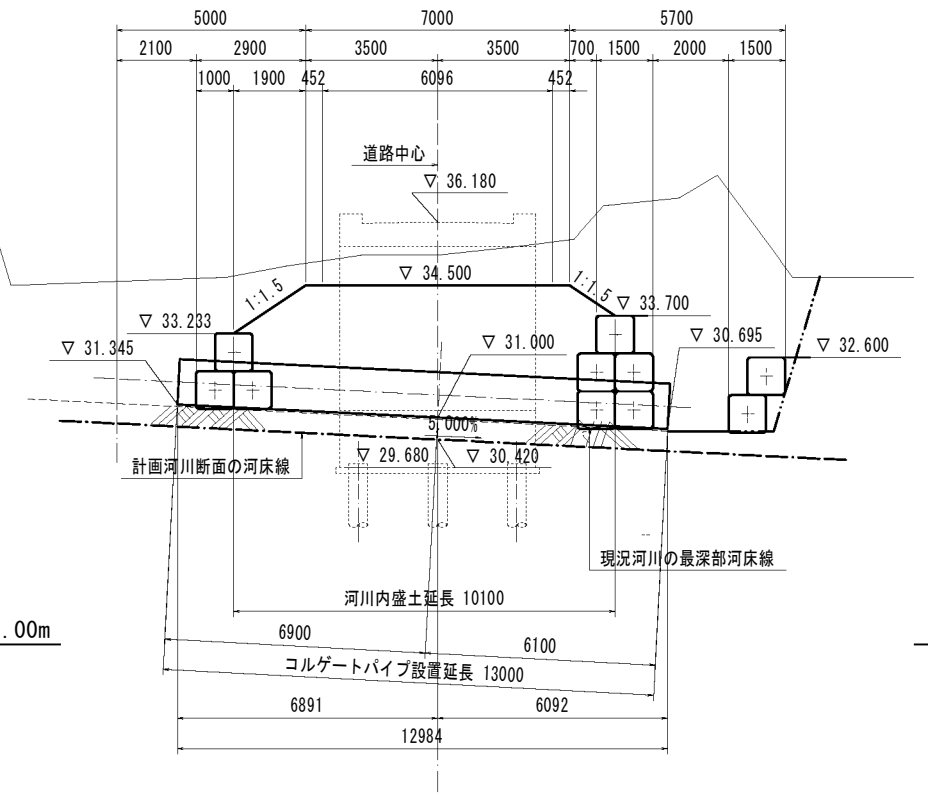
図名	A2 橋台回転杭φ500詳細図
署名	津軽森林管理署 金木支署
名称	仲の股林道 災害復旧工事
縮尺	図示

回転杭φ500施工仮設図(その1) S = 1:100

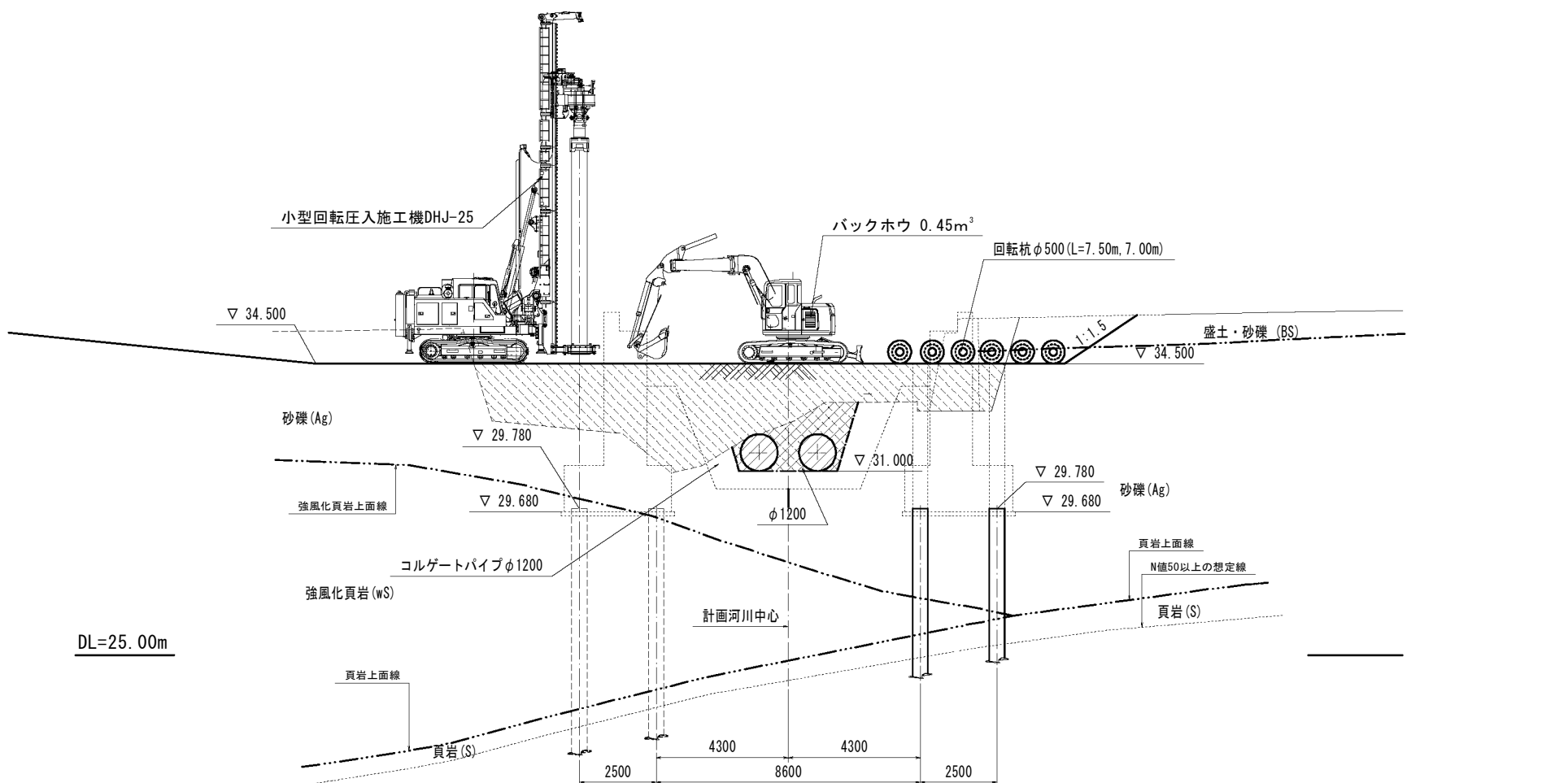
A2橋台側打設縦断図



河川方向断面図



A1橋台側打設縦断図



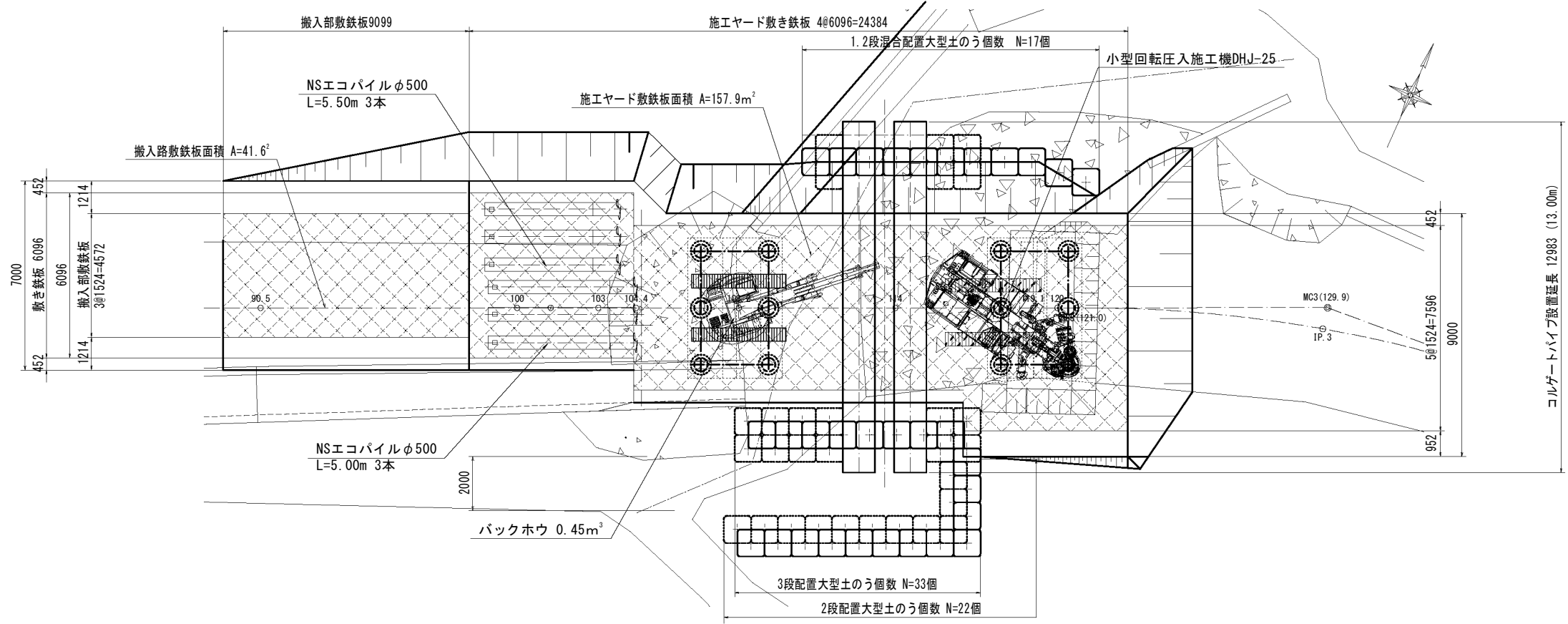
仮設関係数量表

・大型土のうの数	上流部 N1=17個	合計設置・撤去個数 ΣN=88個
河川盛土及びコルゲート管設置時	下流部 N1=55個	購入個数 N=72個
流水位置切り替え時	流水部 N3=16個	(流水位置切り替え時は転用とする。)
・コルゲート管設置及び購入数量	設置・購入延長	流水部 L=13.00×2=26.0m
・河川内盛土体積	流水部	V=37.8×10.10=381.8m³

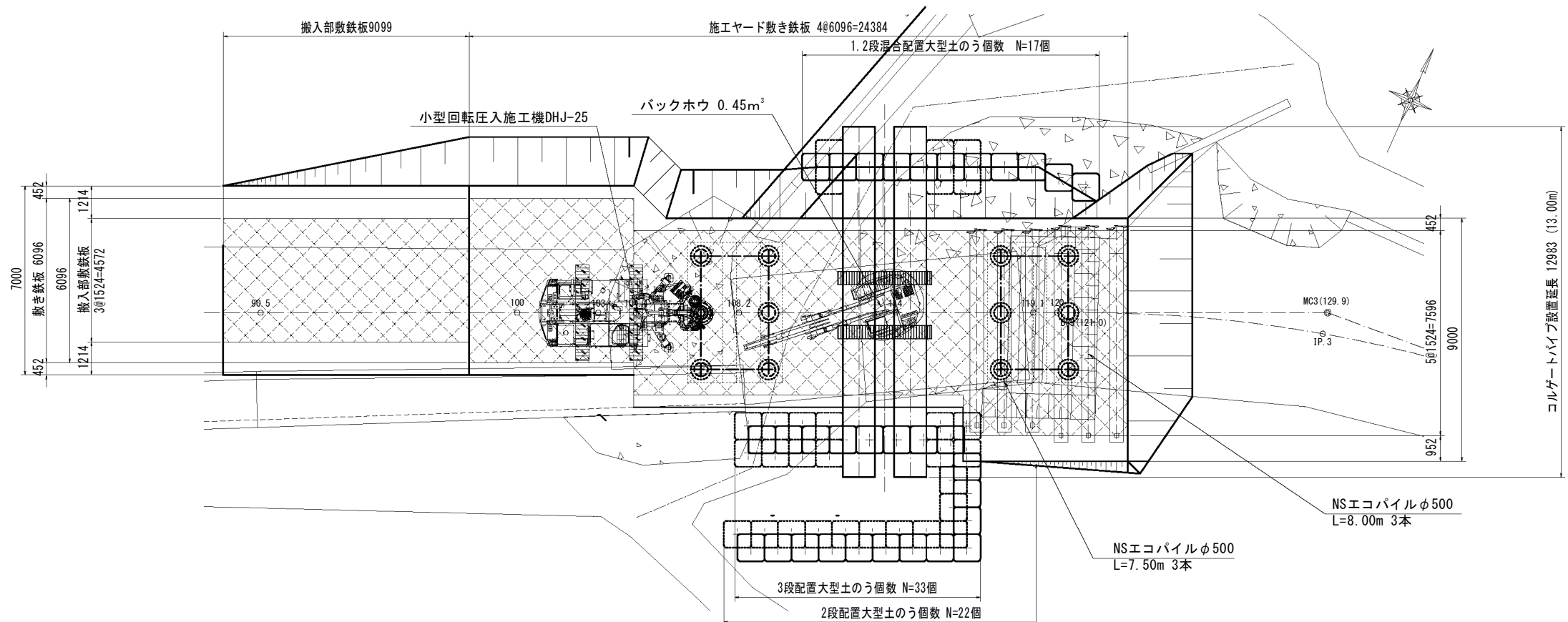
図名	回転杭φ500施工仮設図(その1)
署名	津軽森林管理署 金木支署
名称	仲の股林道 災害復旧工事
縮尺	図示

回転杭φ500施工仮設図(その2) S = 1:100

A2橋台側打設平面図



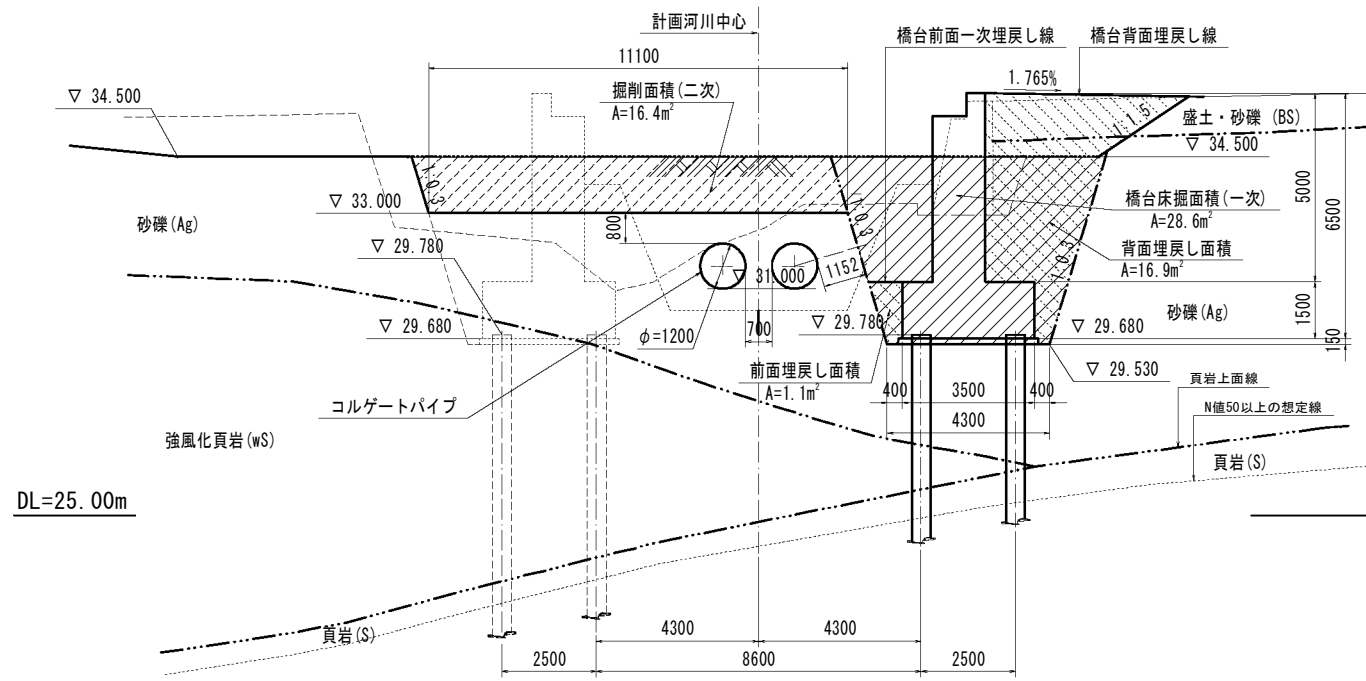
A1橋台側打設平面図



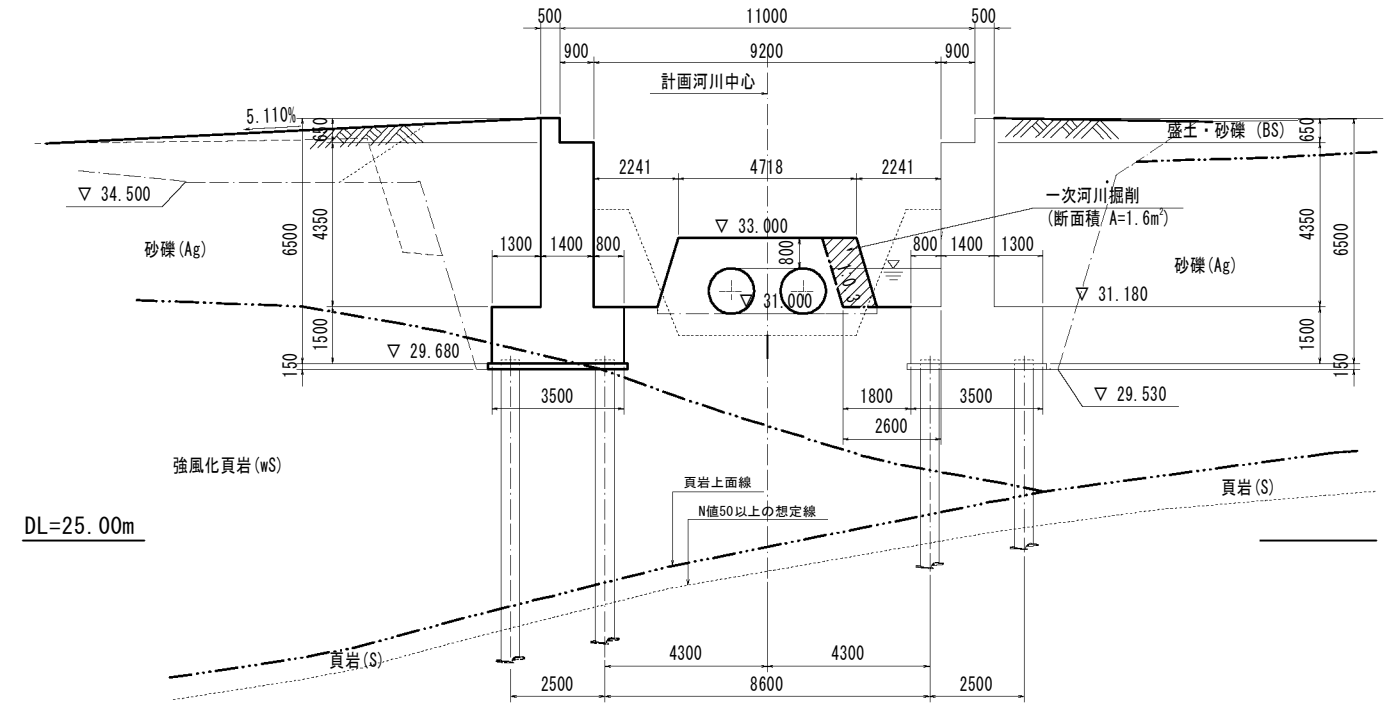
図名	回転杭φ500施工仮設図(その2)
署名	津軽森林管理署 金木支署
名称	仲の股林道 災害復旧工事
縮尺	図示

各工事工程断面図(その1) S = 1:100

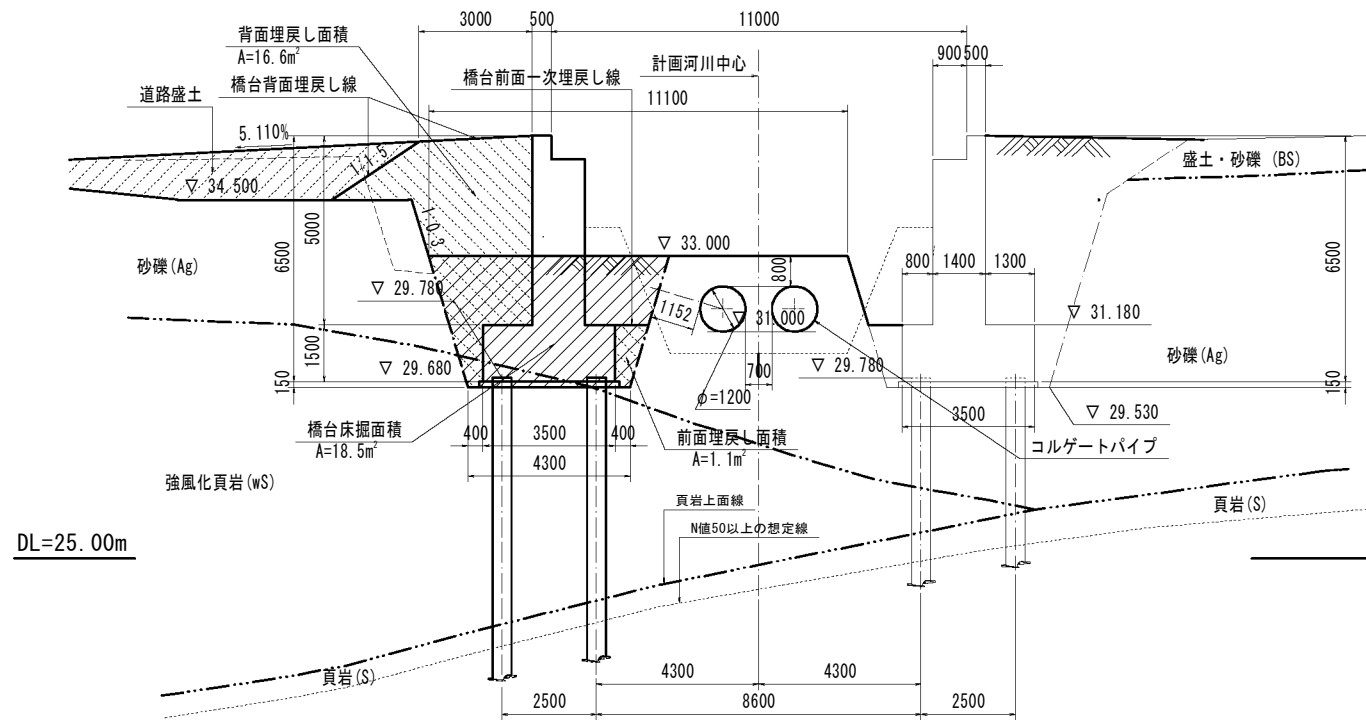
A2橋台本体施工時



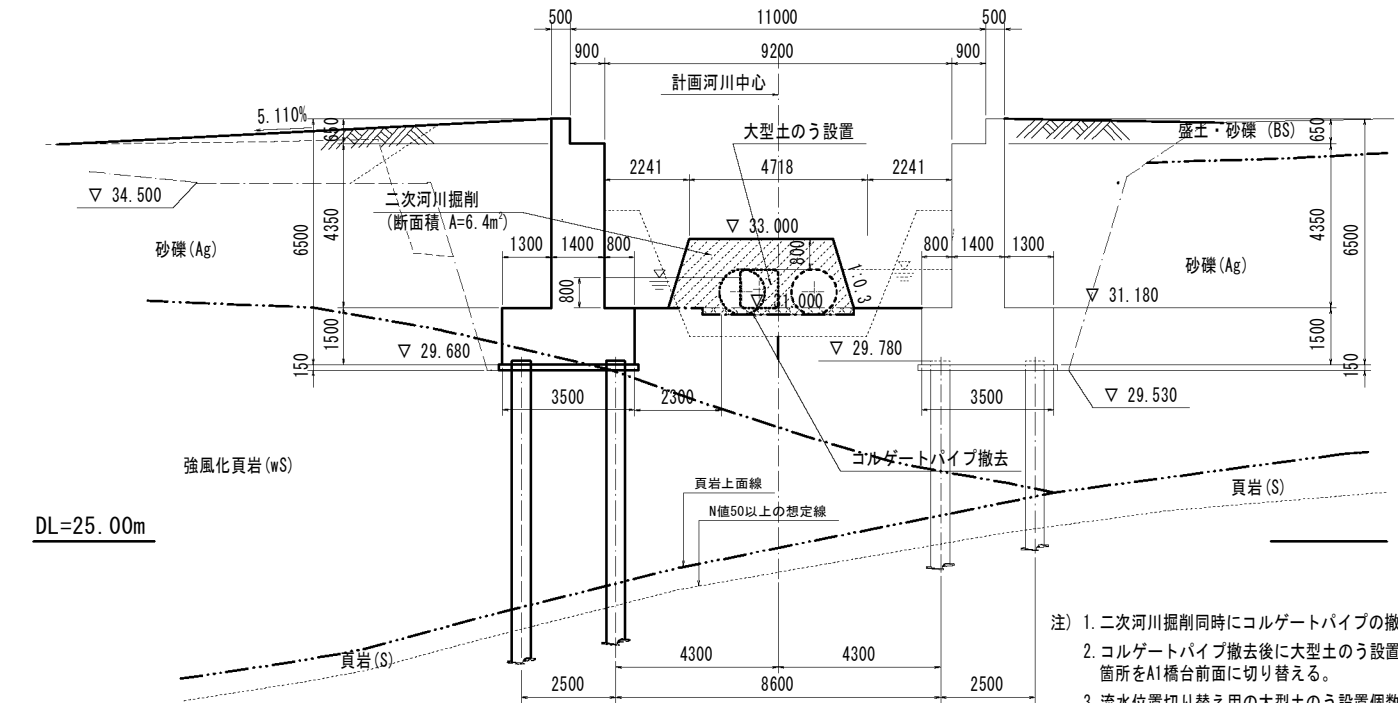
通水切り替え時



A1橋台本体施工時



コルゲートパイプ撤去時

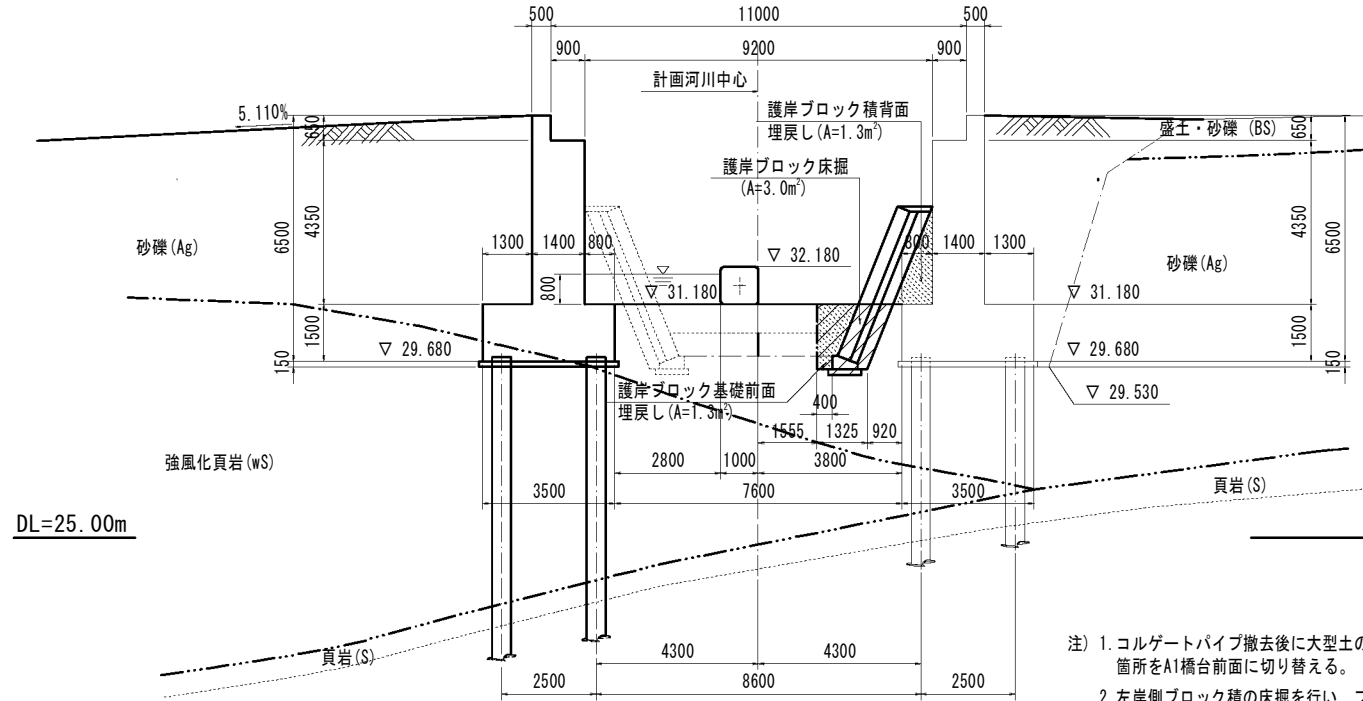


- 注) 1. 二次河川掘削同時にコルゲートパイプの撤去を行う。
 2. コルゲートパイプ撤去後に大型土のう設置し、通水箇所をA1橋台前面に切り替える。
 3. 流水位置切り替え用の大型土のう設置個数 N=16個 (設置延長 L=16.00m 1段積み)

図名	各工事工程時断面図(その1)
署名	津軽森林管理署 金木支署
名称	仲の股林道 災害復旧工事
縮尺	図示

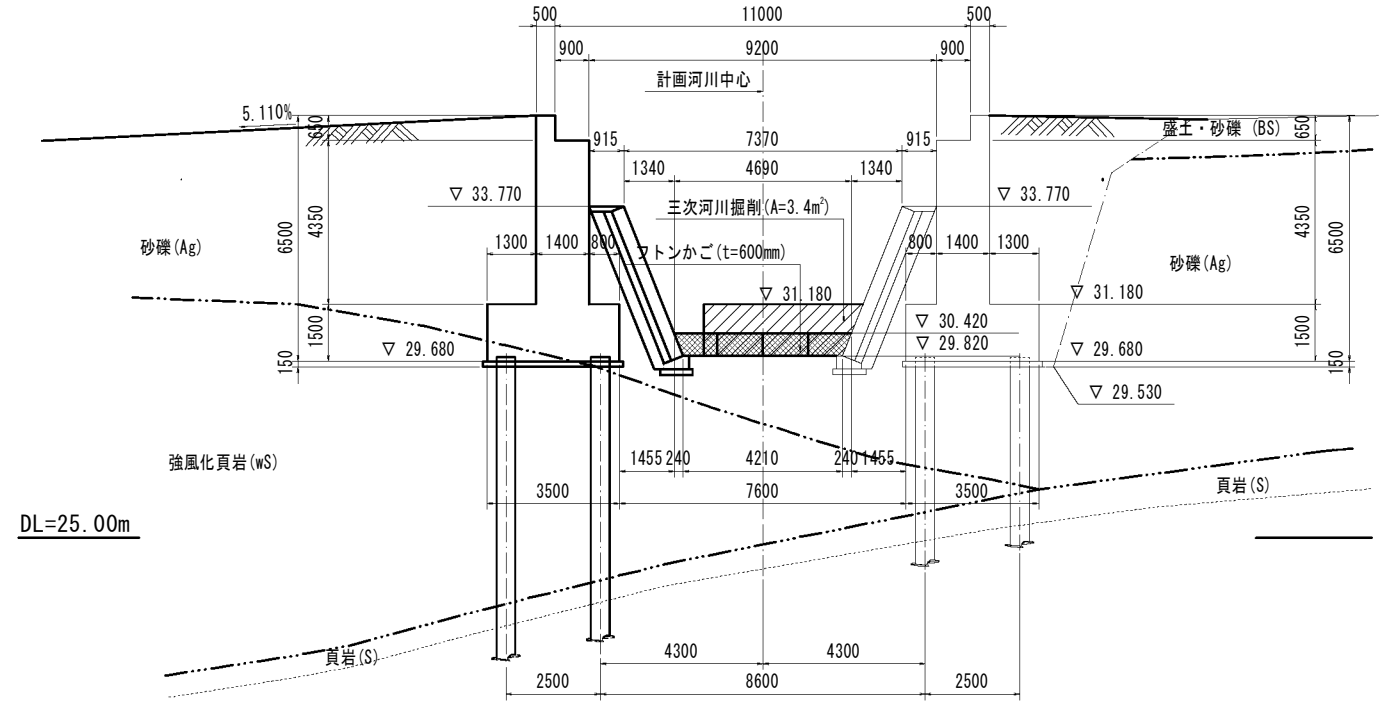
各工事工程断面図(その2) S = 1:100

左岸(A2橋台)側護岸ブロック積施工時



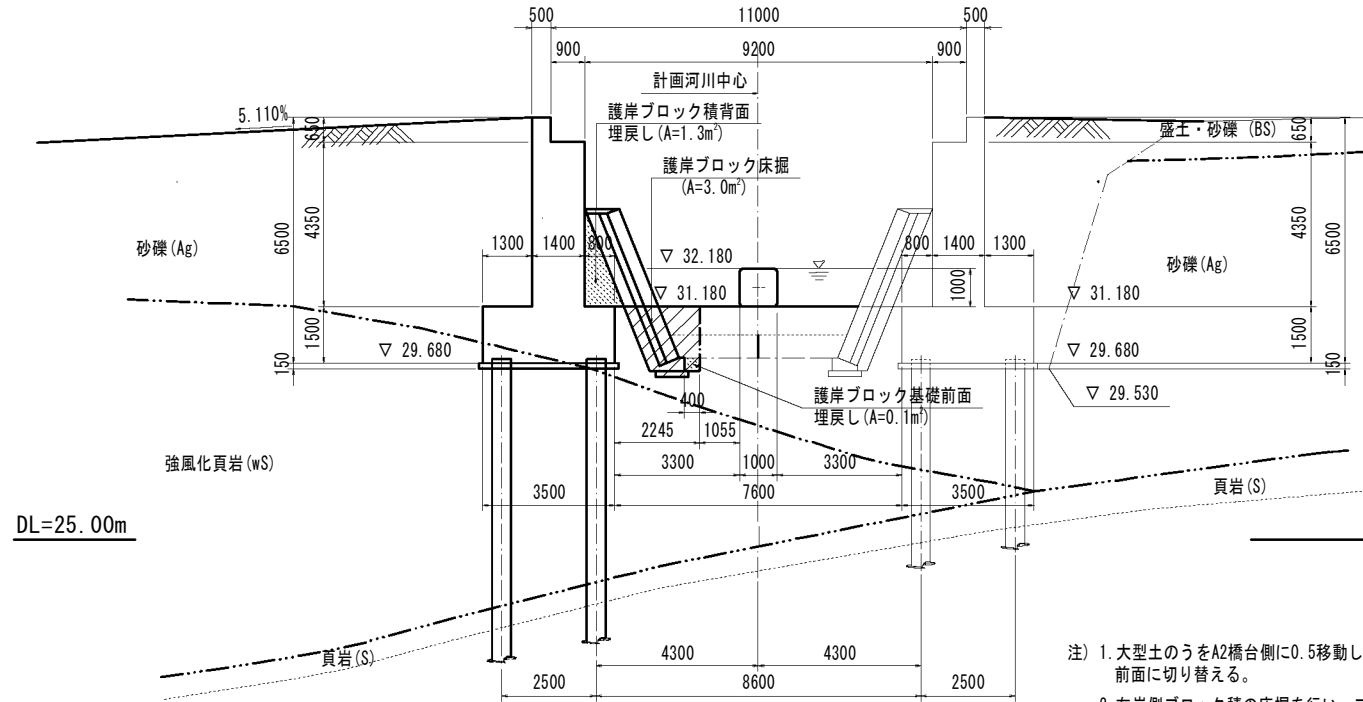
- 注) 1. コルゲートパイプ撤去後に大型土のう設置し、通水箇所をA1橋台前面に切り替える。
2. 左岸側ブロック積の床掘を行い、ブロック積の築造と同時に橋台前面とブロック前背面部の埋戻しを行う。

洗掘防止工(ふとんかご)施工時



- 注) 大型土のうを移動しながら、河川掘削を行い、順次ふとんかごを設置する。

右岸(A1橋台)側護岸ブロック積施工時



- 注) 1. 大型土のうをA2橋台側に0.5移動し、通水箇所をA2橋台前面に切り替える。
2. 右岸側ブロック積の床掘を行い、ブロック積の築造と同時に橋台前面とブロック前背面部の埋戻しを行う。

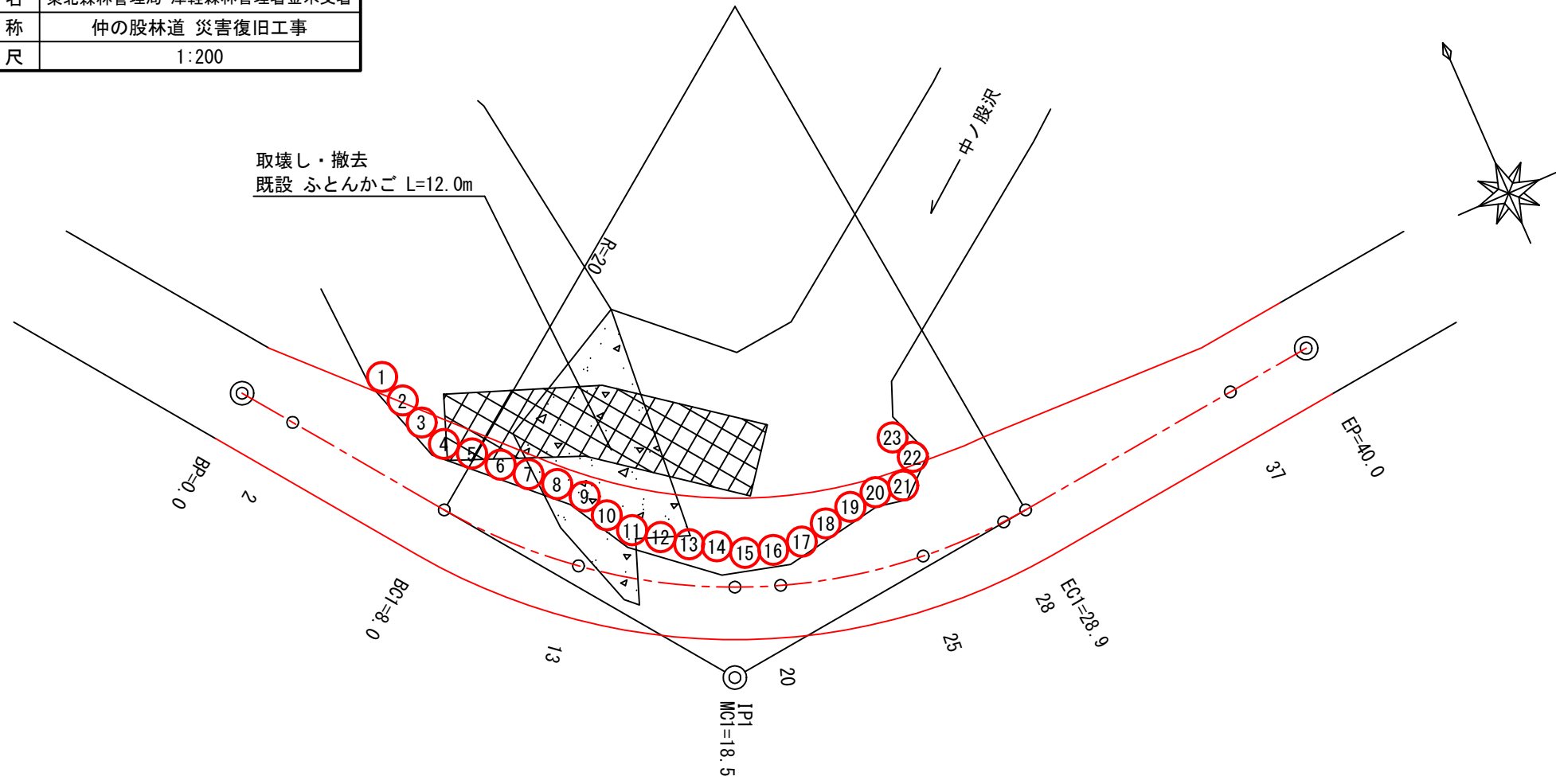
図名	各工事工程時断面図(その2)
署名	津軽森林管理署 金木支署
名称	仲の股林道 災害復旧工事
縮尺	図示

仲の股林道災害復旧工事

被災箇所 2号

図名	平面図 1/1
署名	東北森林管理局 津軽森林管理署金木支署
名称	仲の股林道 災害復旧工事
縮尺	1:200

被災番号 2号 - 2.4km地点



曲線表

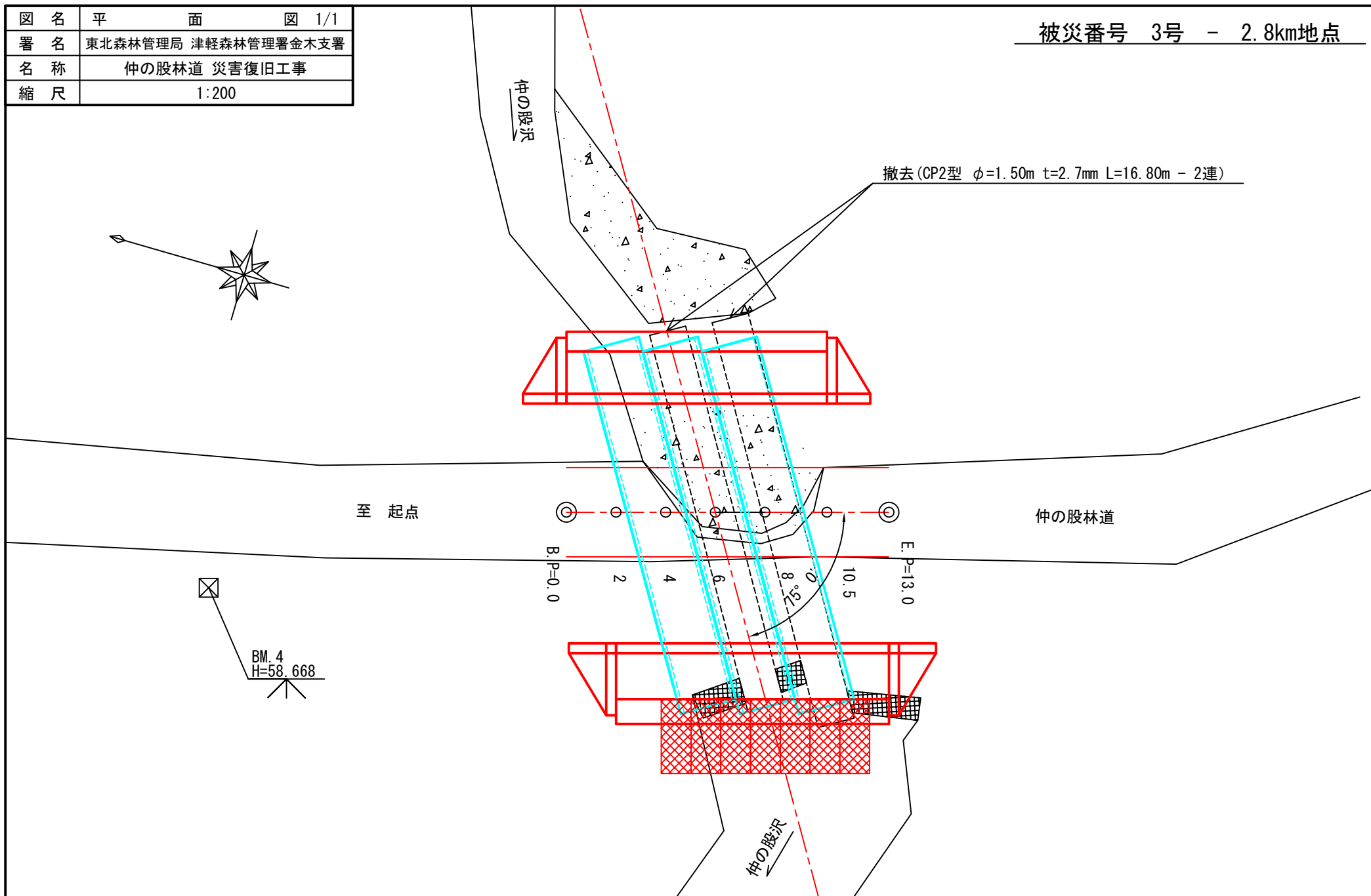
IPNO	D	LR	A	IA	R	T.L	S.L	C.L	B.C	M.C	E.C	IP.D
BP												
1	19.5	L	120-01	59-59	20	11.5	3.1	20.9	8.0	18.5	28.9	19.5
EP	22.6										EP=40.0	

仲の股林道災害復旧工事

被災箇所 3号

図名	平面図 1/1
署名	東北森林管理局 津軽森林管理署金木支署
名称	仲の股林道 災害復旧工事
縮尺	1:200

被災番号 3号 - 2.8km地点



撤去 (CP2型 φ=1.50m t=2.7mm L=16.80m - 2連)

至 起点

仲の股林道

BM. 4
H=58.668

B.P.=0.0

E.P.=13.0

2

4

6

10.5


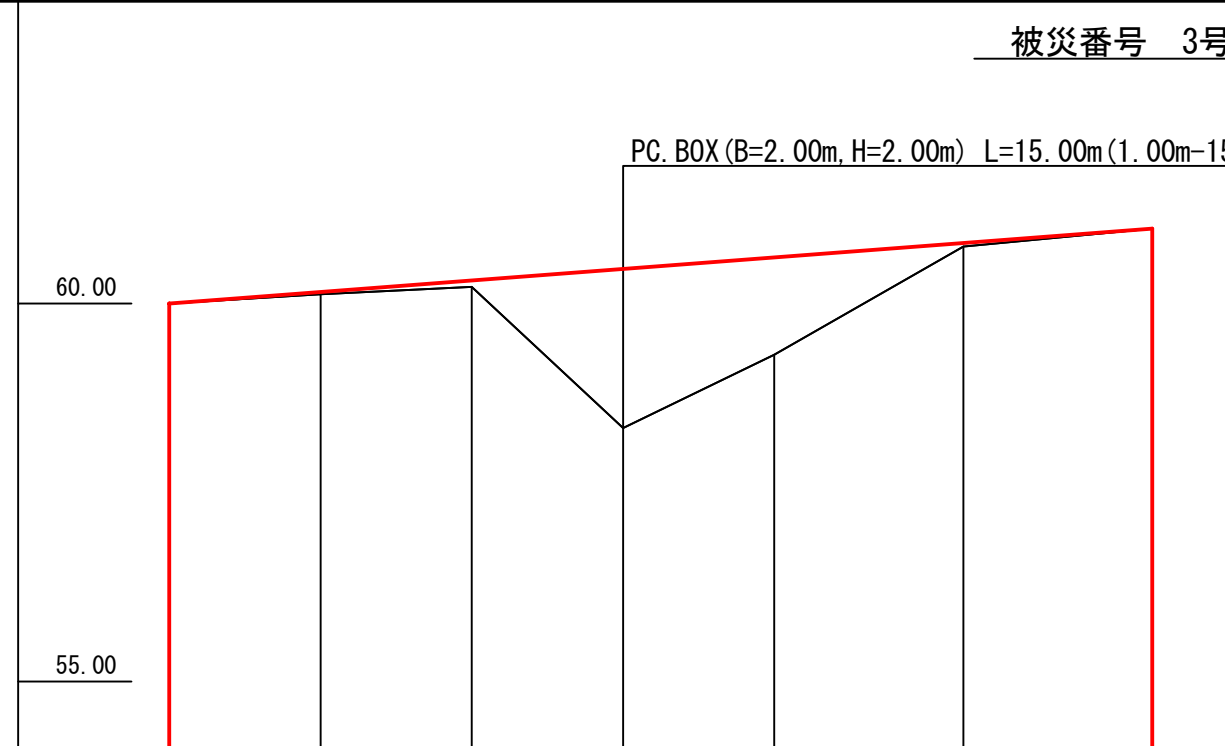
仲の股

図名	縦断面図 1/1
署名	東北森林管理局 津軽森林管理署金木支署
名称	仲の股林道 災害復旧工事
縮尺	縦 1:100 横 1:100

被災番号 3号 - 2.8km地点

PC BOX (B=2.00m, H=2.00m) L=15.00m (1.00m-15本) 3連 G=8.0%

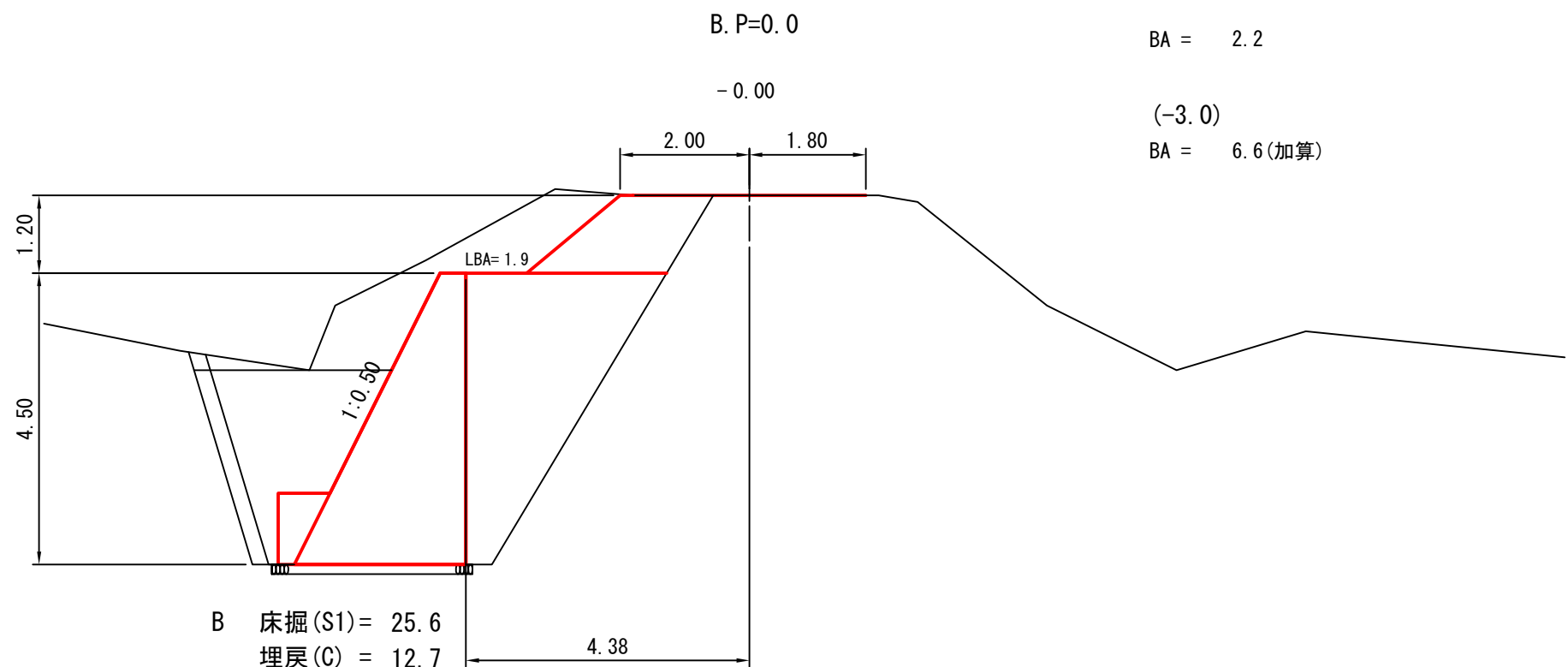
BM. 4
H=58.668

勾配	7.62 13.0						
盛土高		0.03	0.08	2.11	1.29	0.05	
切土高	0.00						0.00
計画高	60.00	60.15	60.30	60.46	60.61	60.80	60.99
地盤高	60.00	60.12	60.22	58.35	59.32	60.75	60.99
測点	B. P=0.0	2	4	6	8	10.5	E. P=13.0
曲線	—————						

図名	横断面図 1/8
署名	東北森林管理局 津軽森林管理署金木支署
名称	仲の股林道 災害復旧工事
縮尺	1:100

被災番号 3号 - 2.8km地点

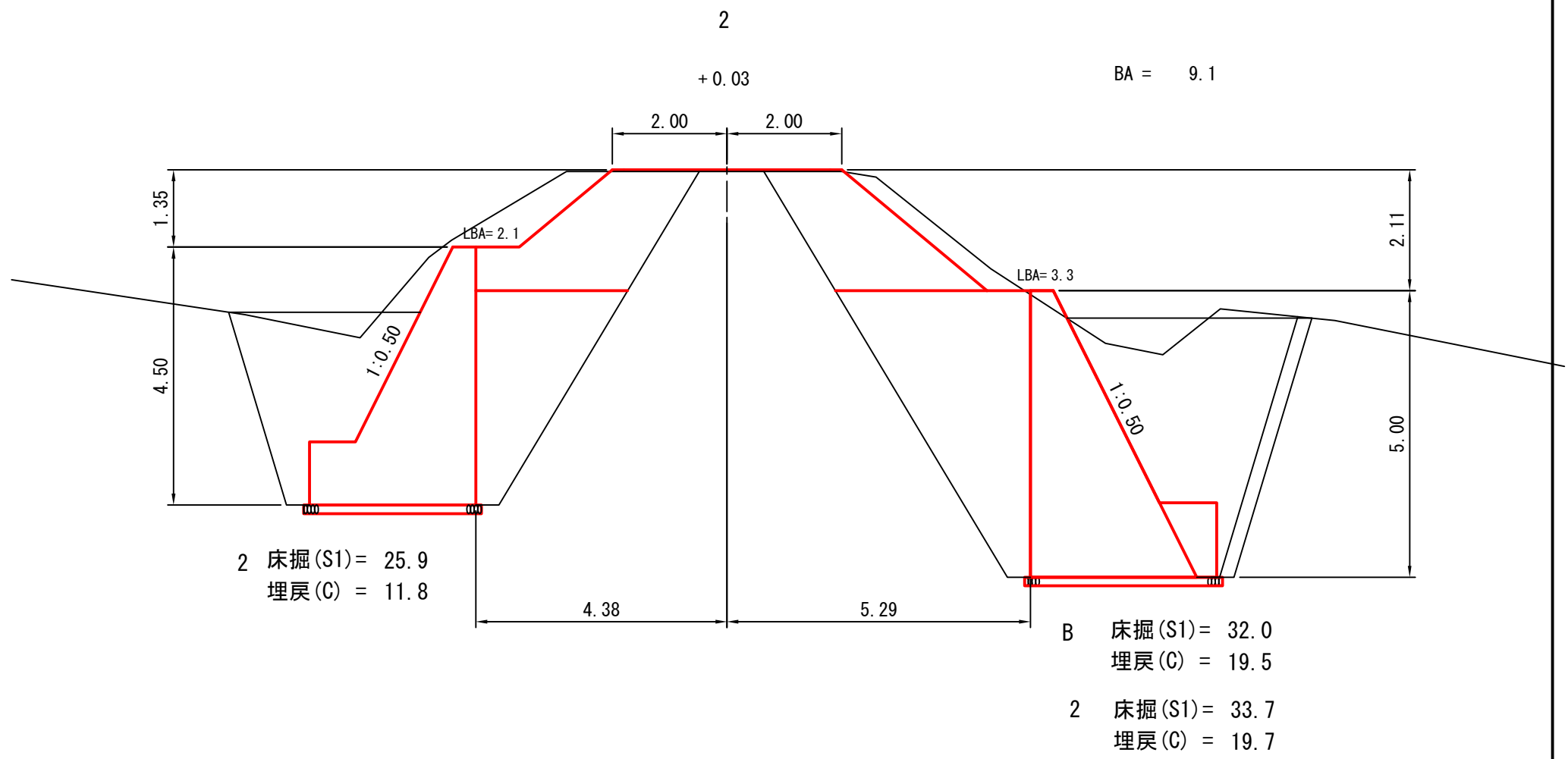


B 床掘 (S1) = 25.6
埋戻 (C) = 12.7

B.P 床掘 (S1) = 26.9
埋戻 (C) = 12.8

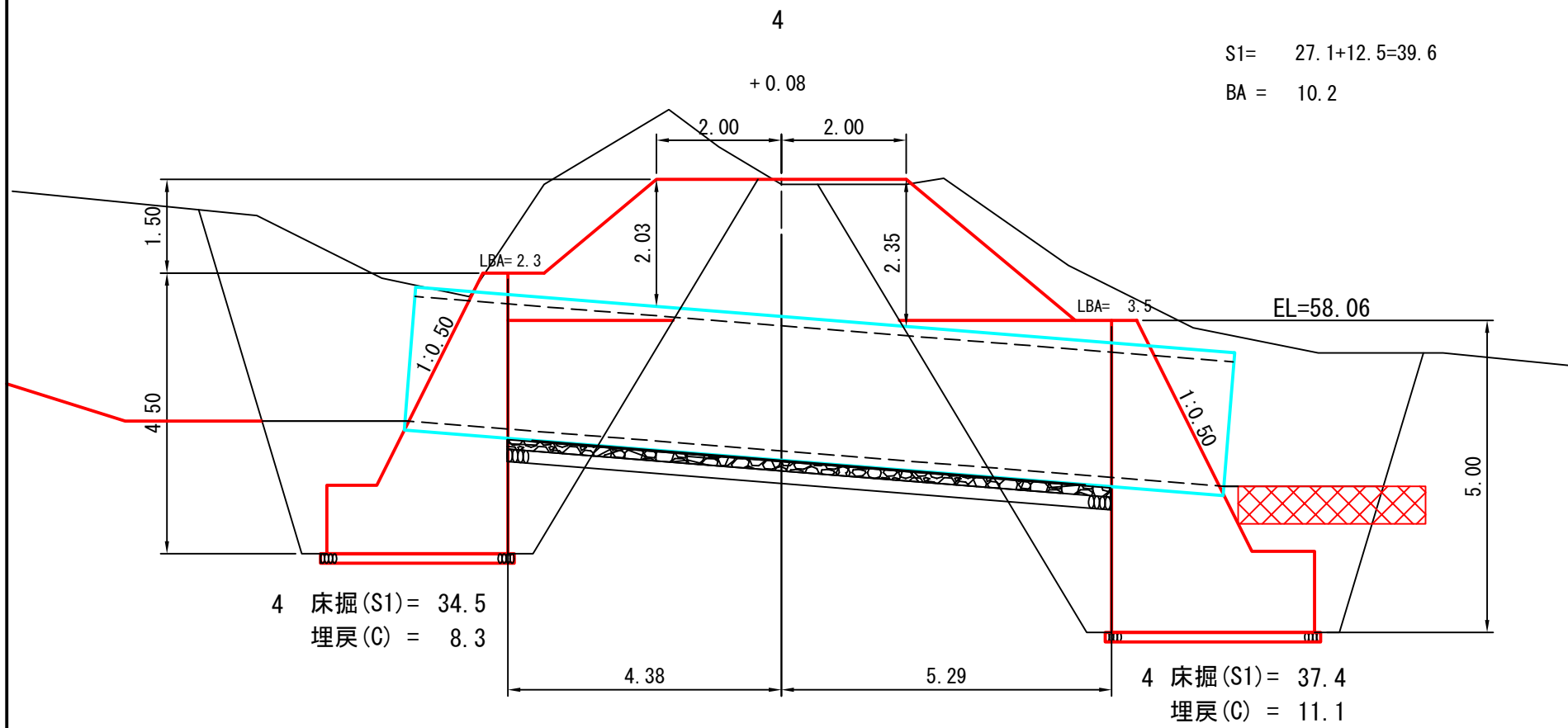
図名	横断面図 2/8
署名	東北森林管理局 津軽森林管理署金木支署
名称	仲の股林道 災害復旧工事
縮尺	1:100

被災番号 3号 - 2.8km地点



図名	横断面図 3/8
署名	東北森林管理局 津軽森林管理署金木支署
名称	仲の股林道 災害復旧工事
縮尺	1:100

被災番号 3号 - 2.8km地点



図名	横断面図 4/8
署名	東北森林管理局 津軽森林管理署金木支署
名称	仲の股林道 災害復旧工事
縮尺	1:100

被災番号 3号 - 2.8km地点

4 上 流

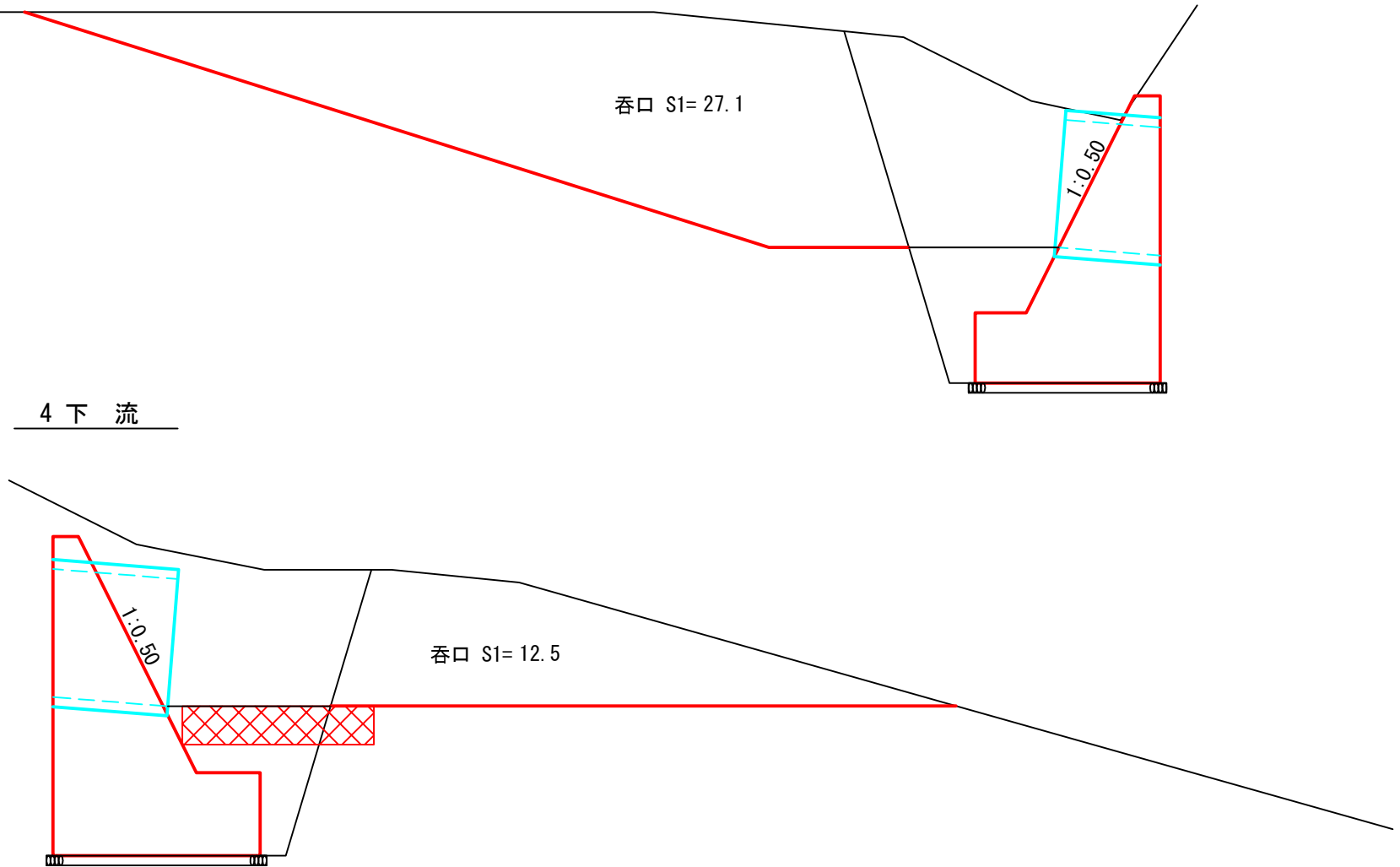
呑口 $S1=27.1$

1:0.50

4 下 流

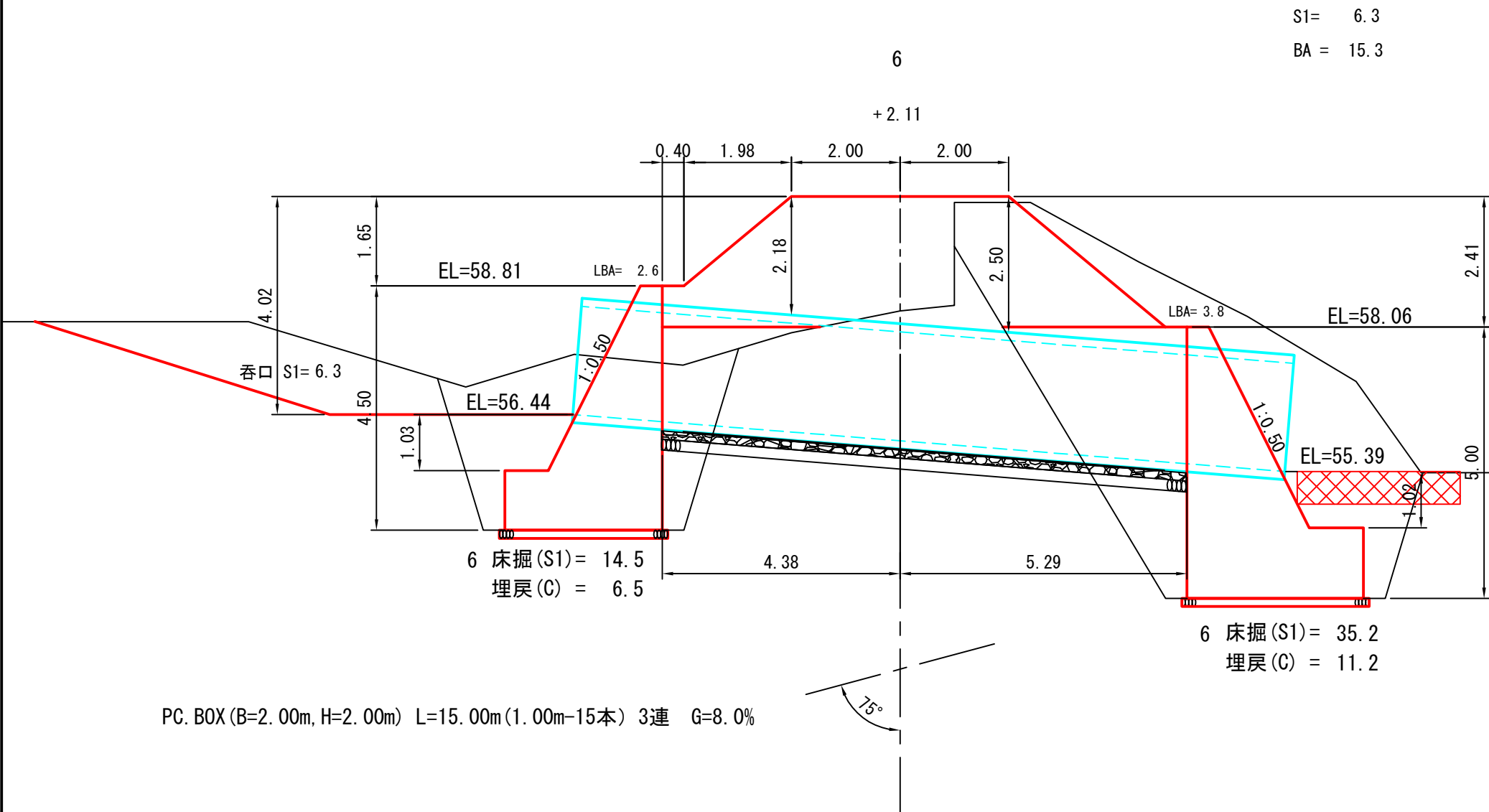
呑口 $S1=12.5$

1:0.50



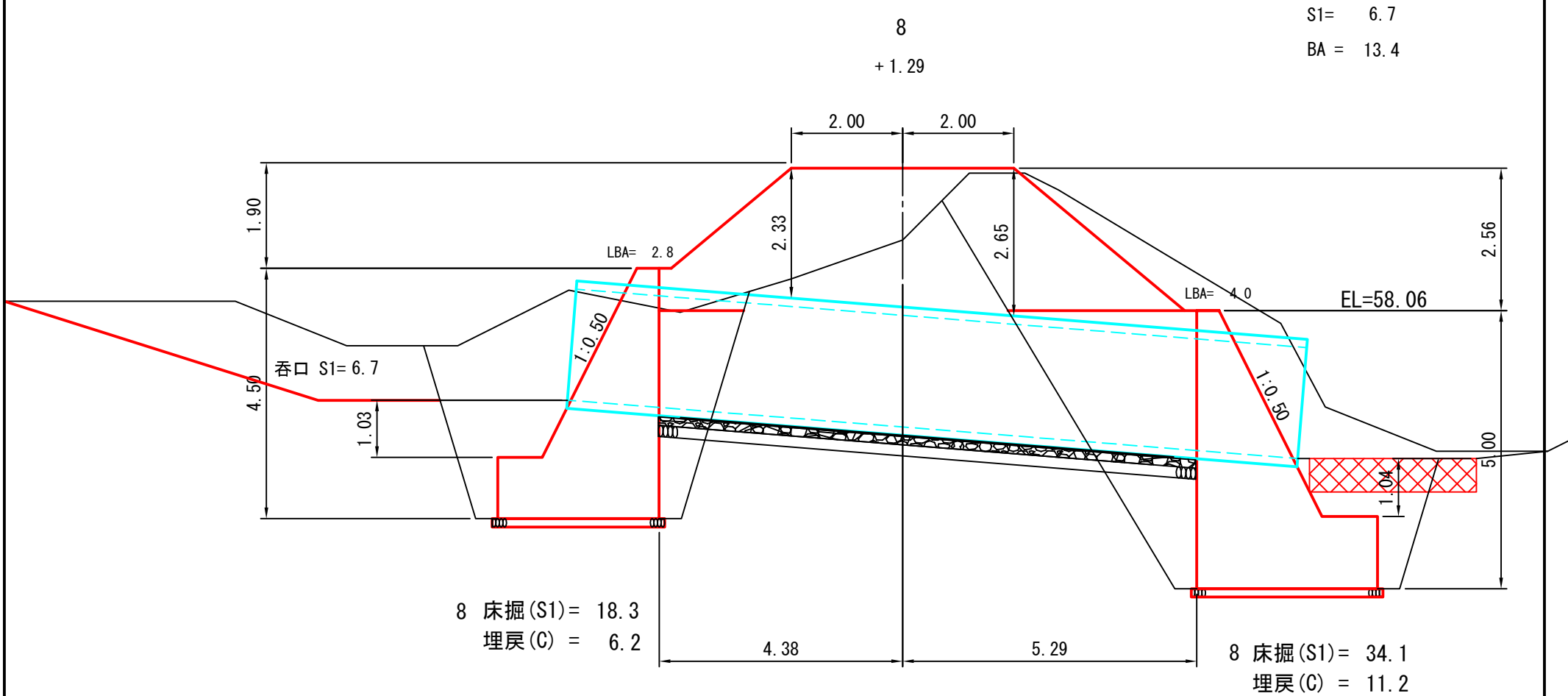
図名	横断面図 5/8
署名	東北森林管理局 津軽森林管理署金木支署
名称	仲の股林道 災害復旧工事
縮尺	1:100

被災番号 3号 - 2.8km地点



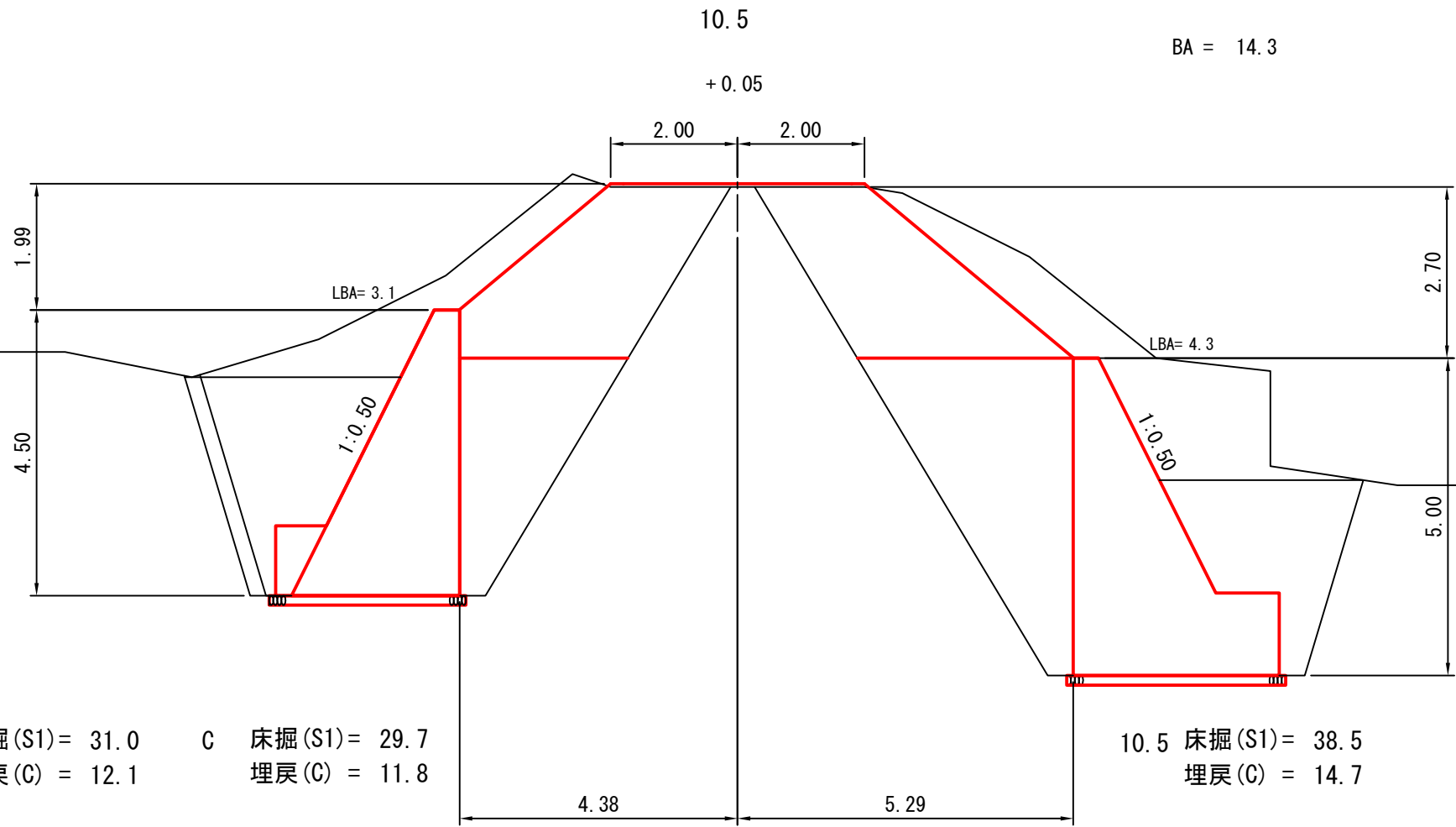
図名	横断面図 6/8
署名	東北森林管理局 津軽森林管理署金木支署
名称	仲の股林道 災害復旧工事
縮尺	1:100

被災番号 3号 - 2.8km地点



図名	横断面図 7/8
署名	東北森林管理局 津軽森林管理署金木支署
名称	仲の股林道 災害復旧工事
縮尺	1:100

被災番号 3号 - 2.8km地点

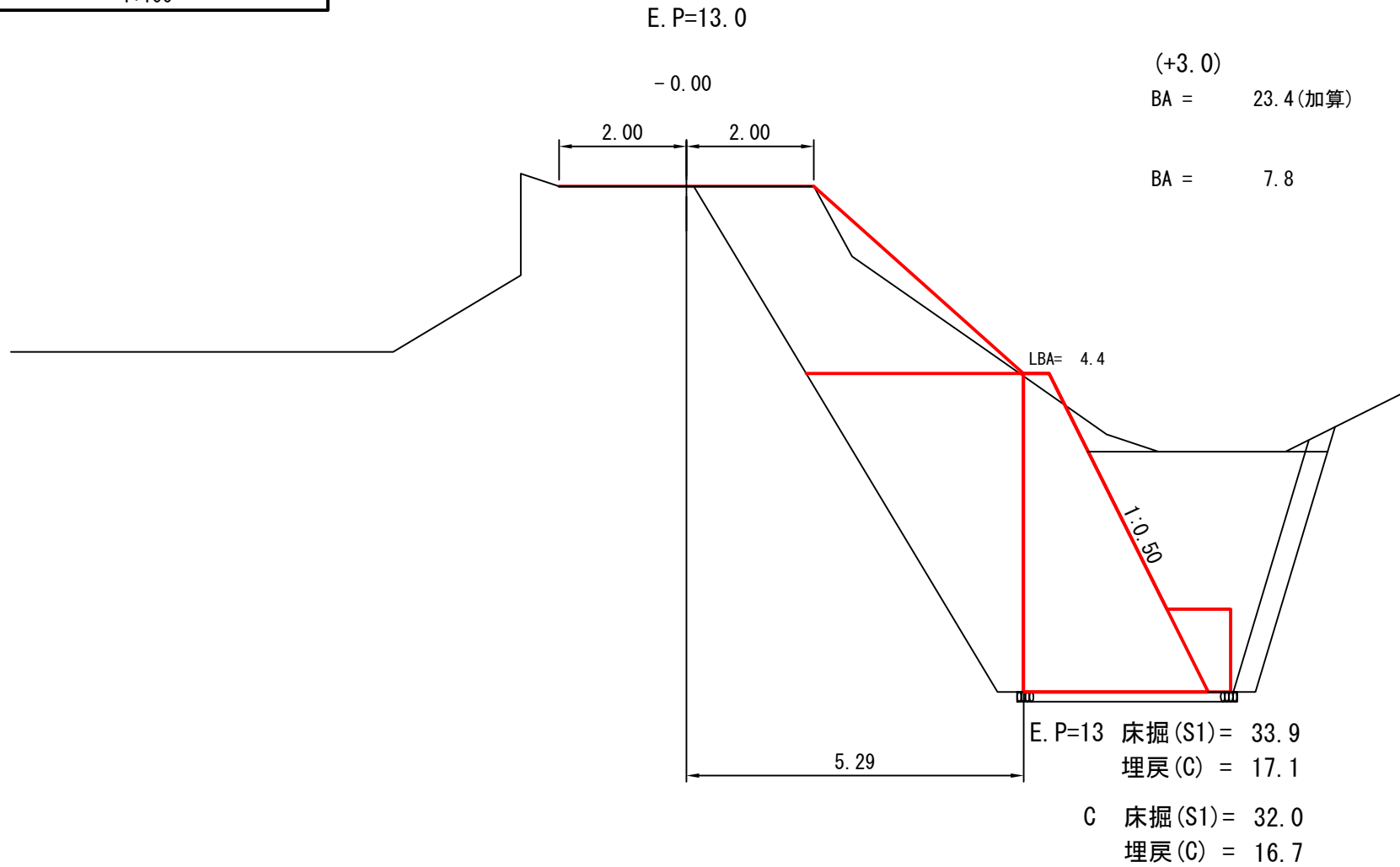


10.5 床掘(S1) = 31.0 C 床掘(S1) = 29.7
埋戻(C) = 12.1 埋戻(C) = 11.8

10.5 床掘(S1) = 38.5
埋戻(C) = 14.7

図名	横断面図 8/8
署名	東北森林管理局 津軽森林管理署金木支署
名称	仲の股林道 災害復旧工事
縮尺	1:100

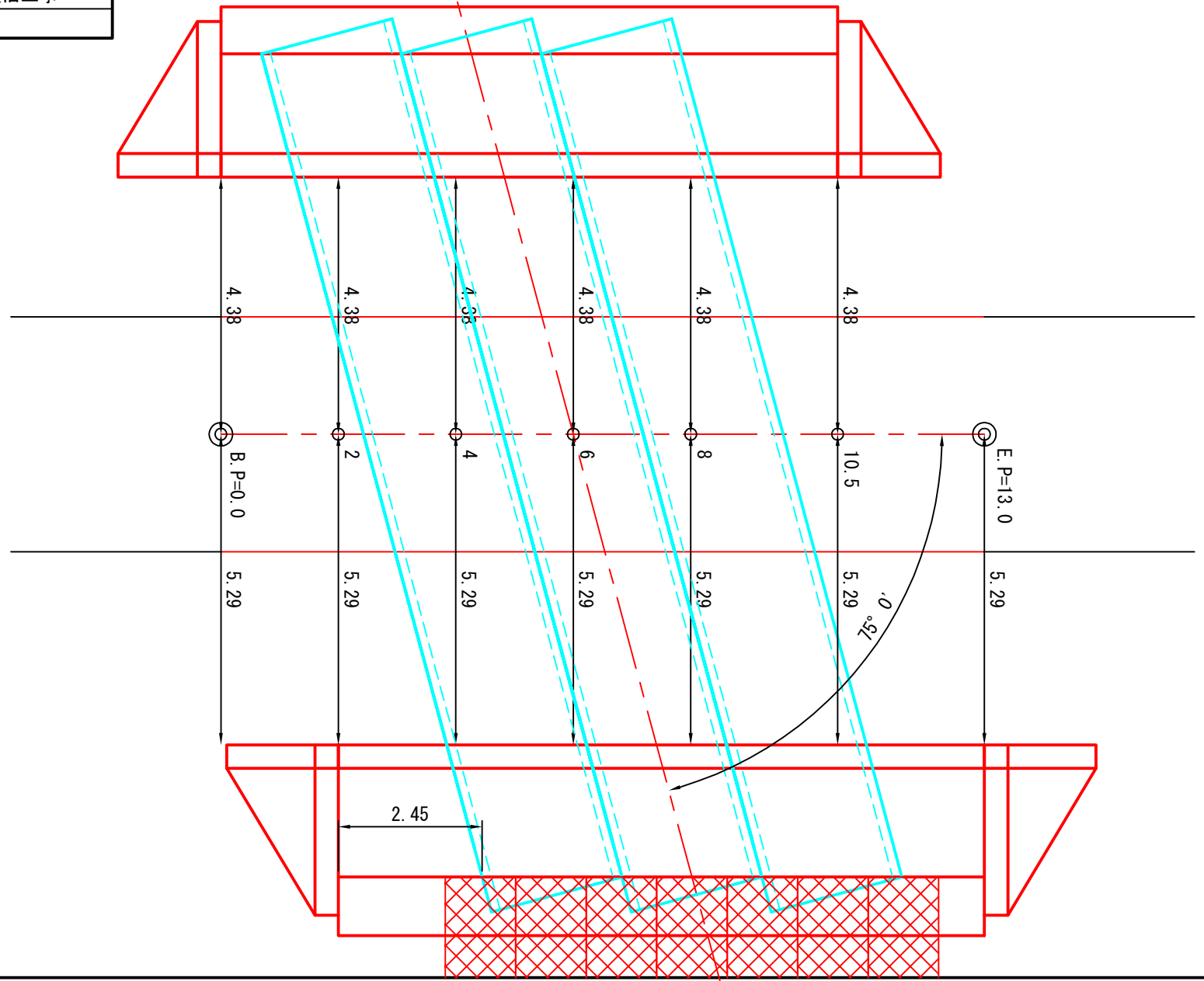
被災番号 3号 - 2.8km地点



図名	構造図 1/12
署名	東北森林管理局 津軽森林管理署金木支署
名称	仲の股林道 災害復旧工事
縮尺	1:100

被災番号 3号 - 2.8km地点

平面図



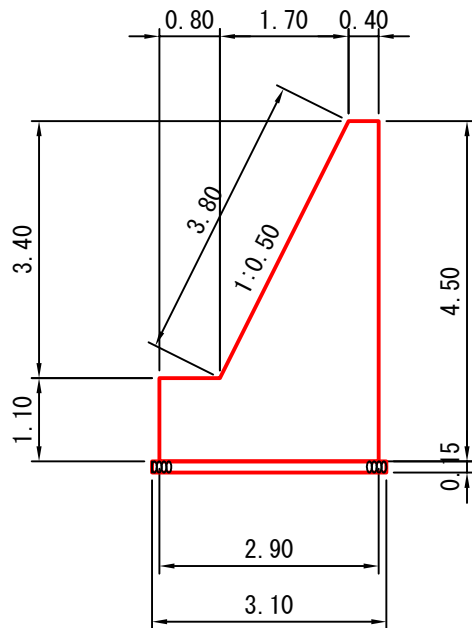
図名	構造図 3/12
署名	東北森林管理局 津軽森林管理署金木支署
名称	仲の股林道 災害復旧工事
縮尺	1:100

被災番号 3号 - 2.8km地点

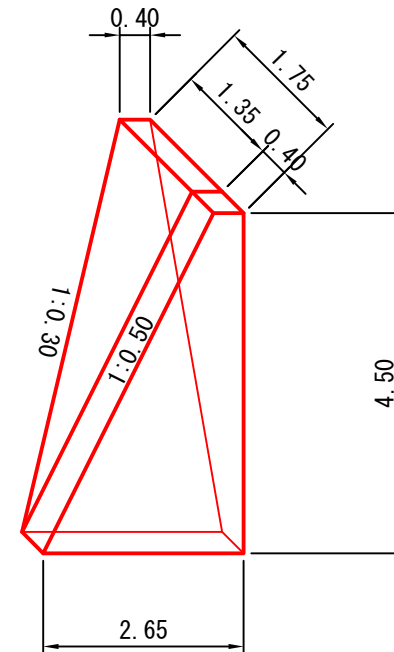
上流側

GW-1.2-I (b-S)
法長係数 (1:0.50)=1.118

H=4.50m



端部コンクリート
法長係数 (1:0.50)=1.118

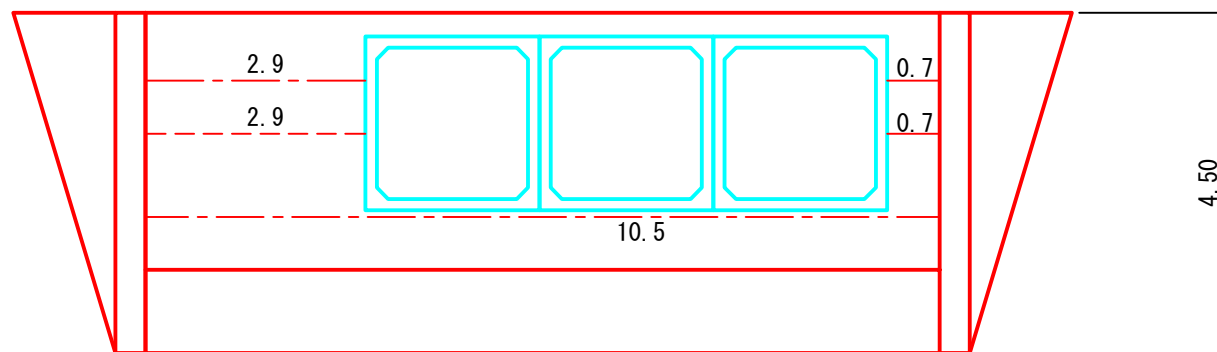
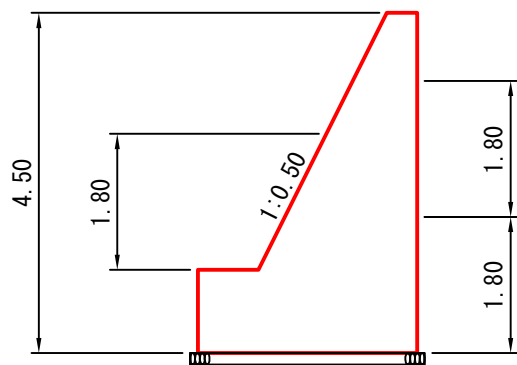


図名	構造図 4/12
署名	東北森林管理局 津軽森林管理署金木支署
名称	仲の股林道 災害復旧工事
縮尺	1:100

被災番号 3号 - 2.8km地点

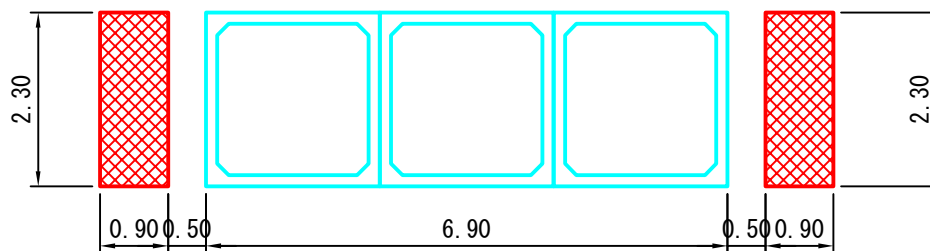
上流側

足場工 (キャットウォーク)



	前面
	背面

ボックスカルバート



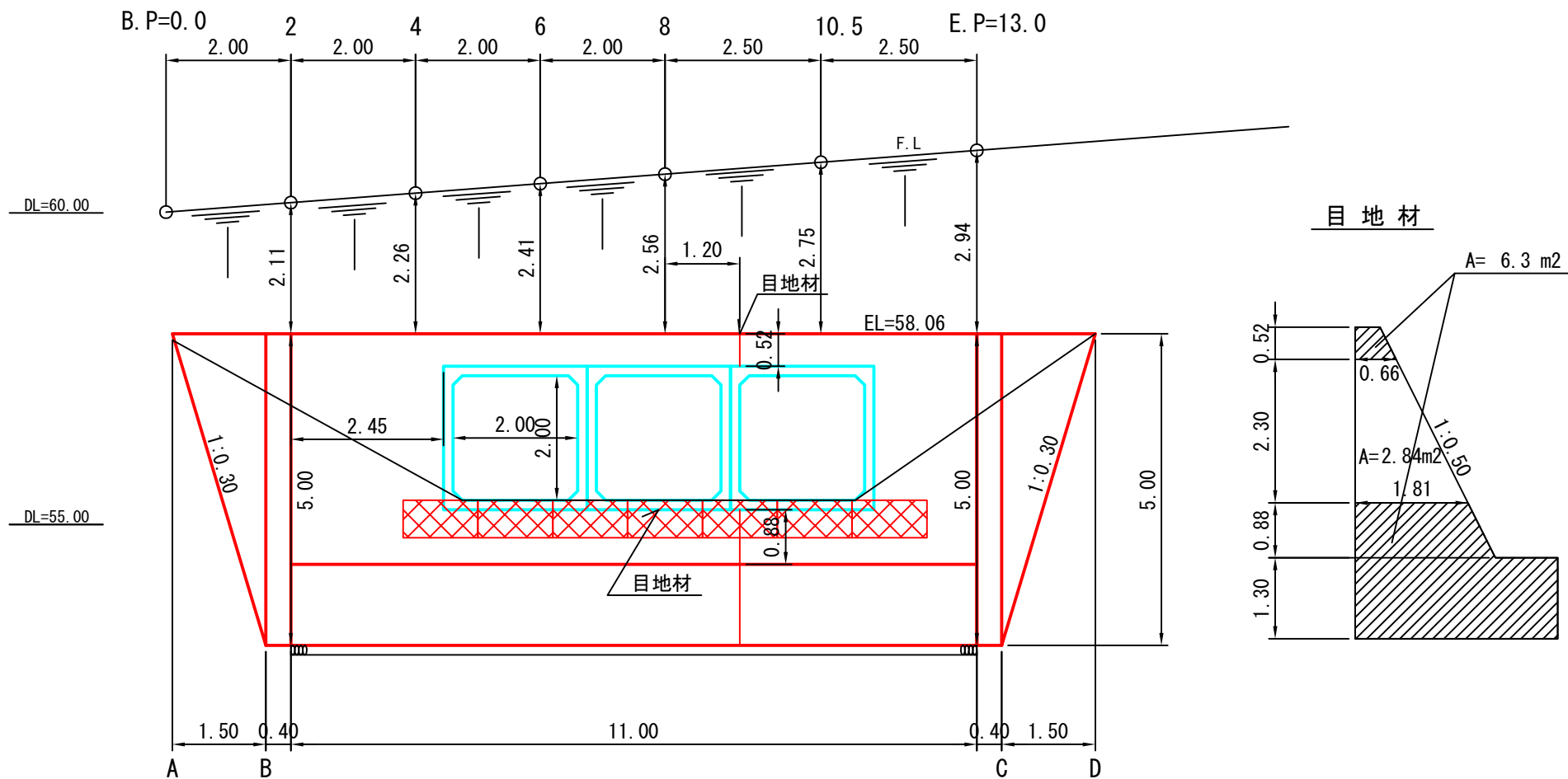
単管足場

$$A = 2.30 \times 15.0 \times 2 = 69.0 \text{ m}^2$$

図名	構造図 5/12
署名	東北森林管理局 津軽森林管理署金木支署
名称	仲の股林道 災害復旧工事
縮尺	1:100

被災番号 3号 - 2.8km地点

正面図
下流側

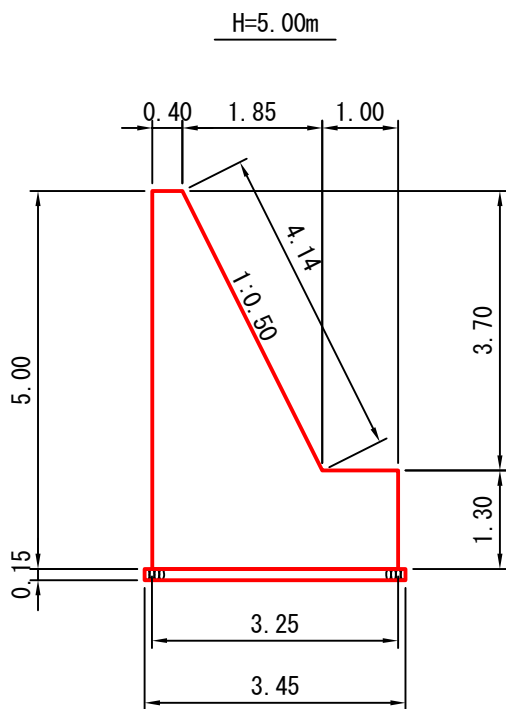


図名	構造図 6/12
署名	東北森林管理局 津軽森林管理署金木支署
名称	仲の股林道 災害復旧工事
縮尺	1:100

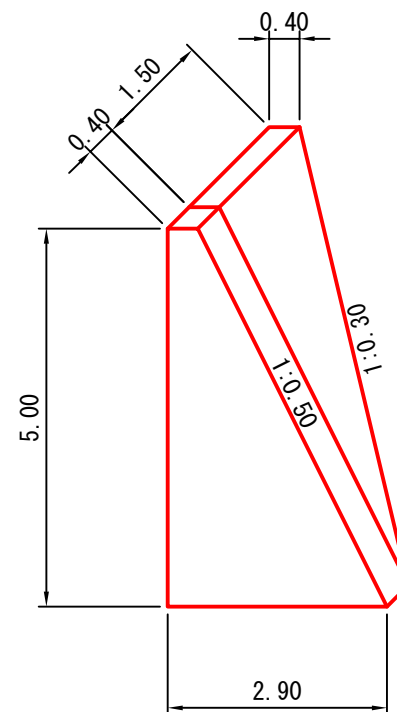
被災番号 3号 - 2.8km地点

下流側

GW-1.2-I (b-S)
法長係数 (1:0.50)=1.118



端部コンクリート
法長係数 (1:0.50)=1.118

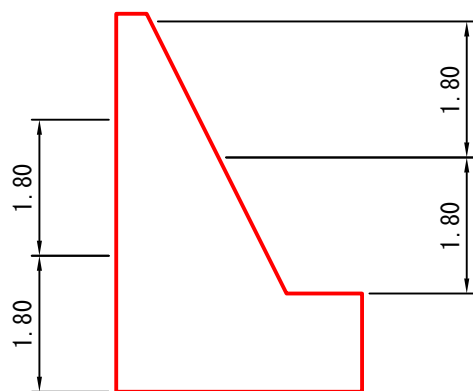


図名	構 造 図 7/12
署名	東北森林管理局 津軽森林管理署金木支署
名称	仲の股林道 災害復旧工事
縮尺	1:100

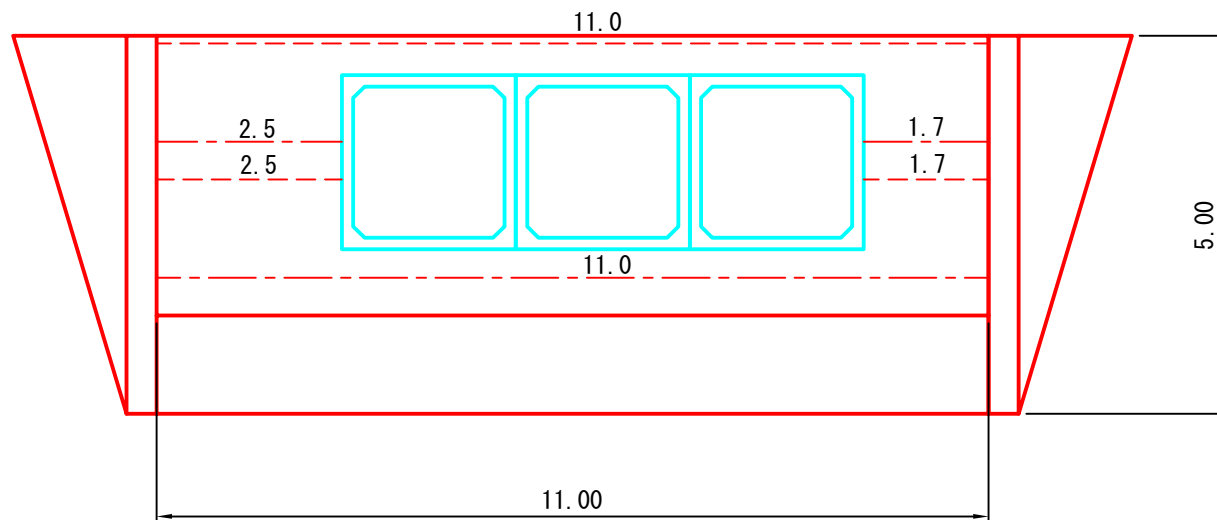
被災番号 3号 - 2.8km地点

下 流 側

足 場 工 (キャットウォーク)



---	前 面
---	背 面



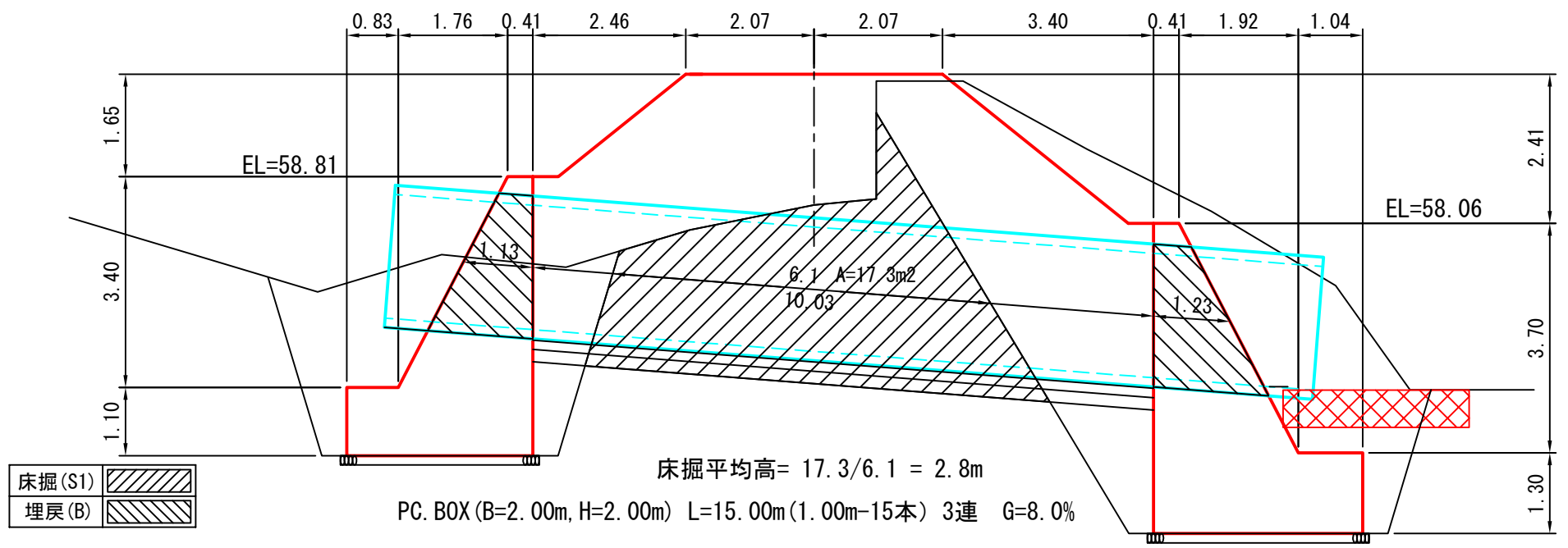
図名	構造図 8/12
署名	東北森林管理局 津軽森林管理署金木支署
名称	仲の股林道 災害復旧工事
縮尺	1:100

被災番号 3号 - 2.8km地点

沢方向 横断面図

6

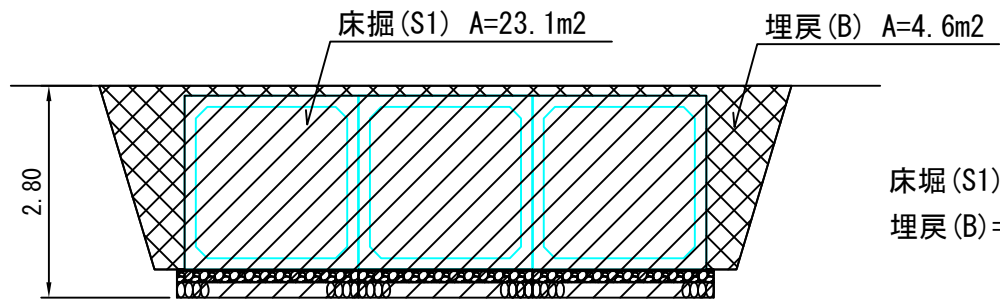
+2.11



床掘 (S1)	
埋戻 (B)	

床掘平均高 = $17.3 / 6.1 = 2.8\text{m}$

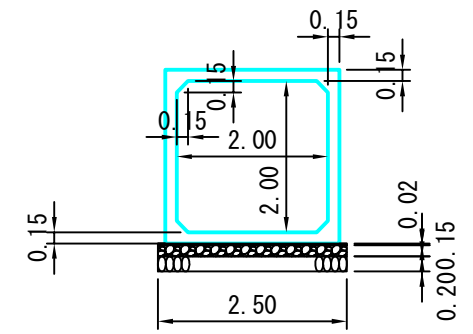
PC. BOX (B=2.00m, H=2.00m) L=15.00m (1.00m-15本) 3連 G=8.0%



床掘 (S1) = $23.1 \times 6.1 = 140.9\text{m}^3$

埋戻 (B) = $4.6 \times 6.1 = 28.1\text{m}^3$

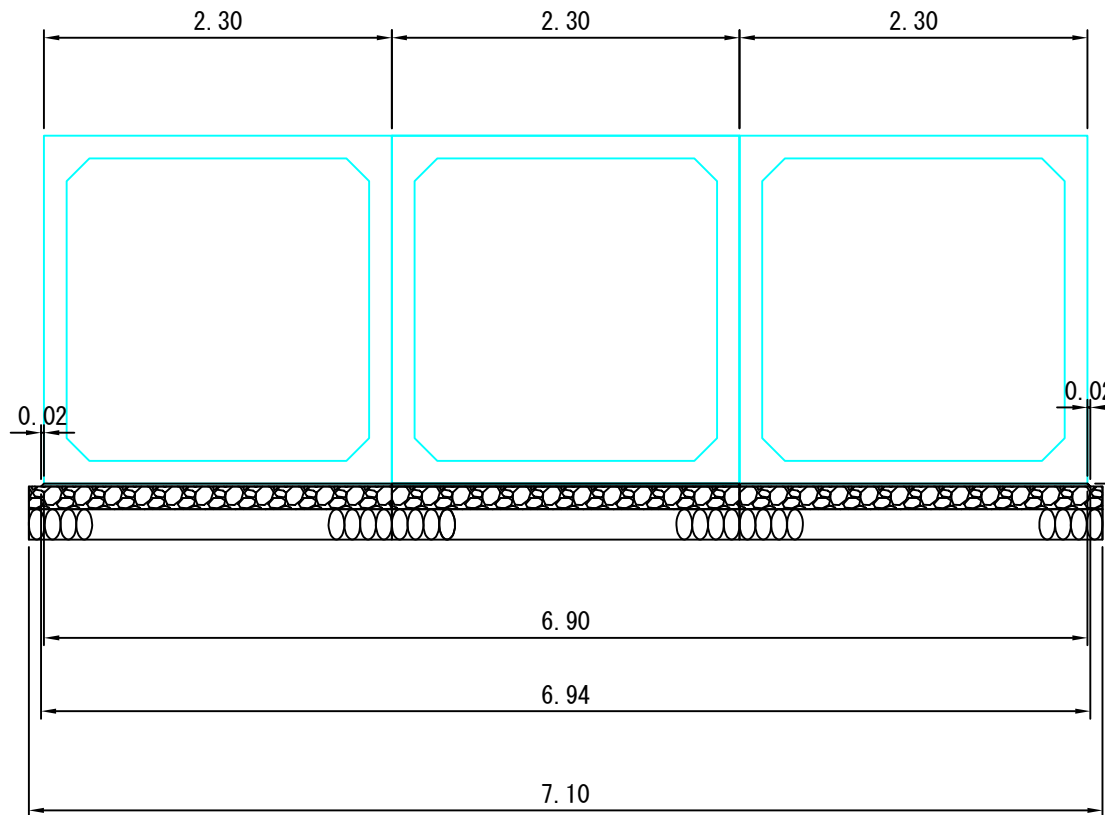
PC. BOX (B=2.00m, H=2.00m)



図名	構造図 9/12
署名	東北森林管理局 津軽森林管理署金木支署
名称	仲の股林道 災害復旧工事
縮尺	1:50

被災番号 3号 - 2.8km地点

PC BOX (B=2.00m, H=2.00m) 基礎工詳細図



沢方向延長 L=10.03m

無収縮モルタル

$$A = (6.90 + 6.94) / 2 \times 0.02 = 0.138\text{m}^2$$

基礎コンクリート

$$A = 7.10 \times 0.15 = 1.065\text{m}^2$$

基礎栗石

$$A = 7.10 \times 0.20 = 1.420\text{m}^2$$

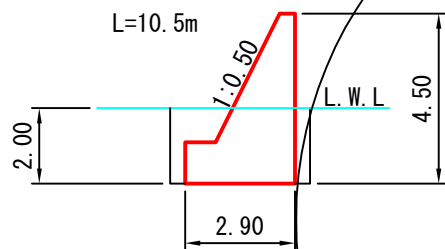
図名	構造図	10/12
署名	東北森林管理局 津軽森林管理署金木支署	
名称	仲の股林道 災害復旧工事	
縮尺	1:200	

仮締切工(大型土のう)

被災番号 3号 - 2.8km地点

B.P側施工時

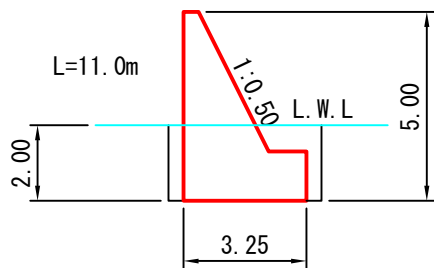
水替日数



至 起点

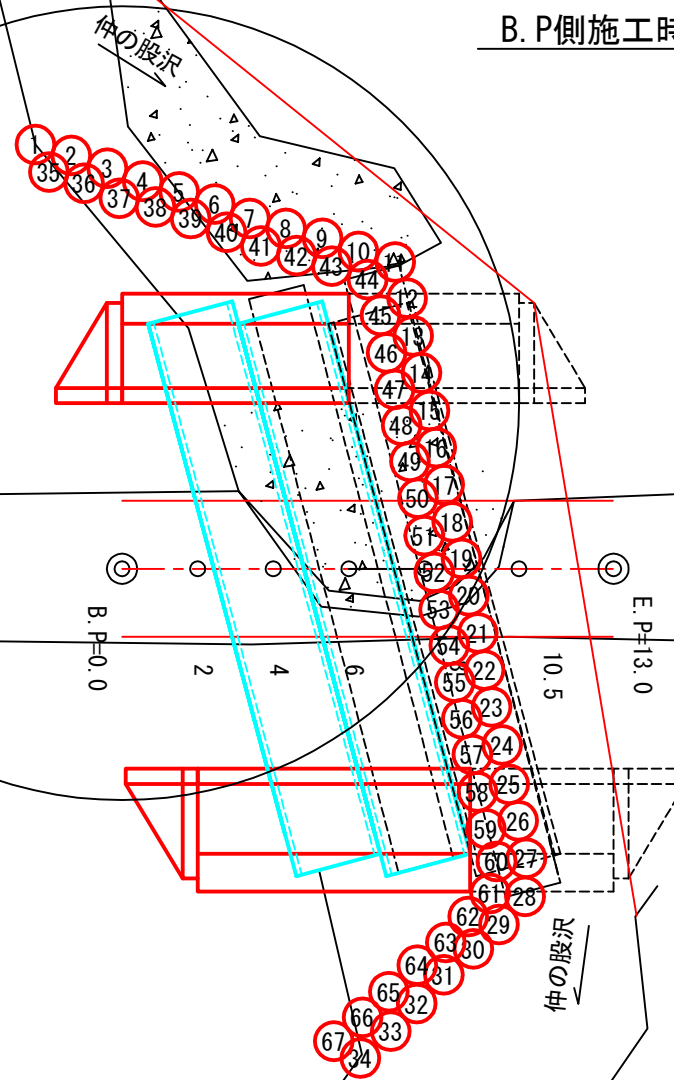
仲の股林道

水替日数



B.P=0.0

E.P=13.0



図名	構造図 11/12
署名	東北森林管理局 津軽森林管理署金木支署
名称	仲の股林道 災害復旧工事
縮尺	1:200

仮締切工(大型土のう)

被災番号 3号 - 2.8km地点

E. P側施工時

※ 起点側施工の大型土のうを転用する。

